

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄							備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホウジンゴトウイケイカイ 学校法人 五島育英会							
フリガナ大学の名称	トウキョウトシダク 東京都市大学 (Tokyo City University)							
大学本部の位置	東京都世田谷区玉堤一丁目28番1号							
大学の目的	本大学は、学校教育法に基づき、豊かな教養を授け、深く専門の学術を教授研究し、もって文化の向上に寄与するとともに、人類福祉の増進に貢献することを目的とする。							
新設学部等の目的	本大学は、平成21年に武蔵工業大学から東京都市大学に名称変更し、理工系人材の育成とともに社会科学系等においても、広く社会に貢献する教育研究を展開し、有意義な人材輩出の実績をあげてきた。好調な志願者数及び入学者数並びに就職状況は、本学の教育研究活動が社会の要請に込えているものと自負している。こうした実績を踏まえて、デジタル人材の不足という日本の将来に向けた大きな不安の解消に向けた貢献の1つとして、デザイン・データ科学部を新設するため、大学の収容定員の増員を行う。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	理工学部 [Faculty of Science and Engineering]							
	機械工学科 [Department of Mechanical Engineering]	4	120	—	480	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	昭和24年4月 第1年次	東京都世田谷区 玉堤一丁目28番1号
	機械システム工学科 [Department of Mechanical Systems Engineering]	4	110	—	440	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成 9年4月 第1年次	同上
	電気電子通信工学科 [Department of Electrical, Electronics and Communication Engineering]	4	150	—	600	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	昭和24年4月 第1年次	同上
	医用工学科 [Department of Medical Engineering]	4	60	—	240	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成19年4月 第1年次	同上
	応用化学科 [Department of Applied Chemistry]	4	75	—	300	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成 9年4月 第1年次	同上
	原子力安全工学科 [Department of Nuclear Safety Engineering]	4	45	—	180	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成20年4月 第1年次	同上
	自然科学科 [Department of Natural Sciences]	4	60	—	240	学士(理学) [Bachelor of Science]	令和 2年4月 第1年次	同上
	建築都市デザイン学部 [Faculty of Architecture and Urban Design]							
	建築学科 [Department of Architecture]	4	120	—	480	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	令和 2年4月 第1年次	同上
	都市工学科 [Department of Urban and Civil Engineering]	4	100	—	400	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	令和 2年4月 第1年次	同上
	情報工学部 [Faculty of Information Technology]							
	情報科学科 [Department of Computer Science]	4	100	—	400	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成19年4月 第1年次	同上
	知能情報工学科 [Department of Intelligent Systems]	4	80	—	320	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成19年4月 第1年次	同上
	環境学部 [Faculty of Environmental Studies]							
	環境創生学科 [Department of Restoration Ecology and Built Environment]	4	90	—	360	学士(環境学) [Bachelor of Environmental Studies]	平成25年4月 第1年次	神奈川県横浜市都筑区 牛久保西三丁目3番1号
	環境経営システム学科 [Department of Environmental Management and Sustainability]	4	90	—	360	学士(環境学) [Bachelor of Environmental Studies]	平成25年4月 第1年次	同上
	メディア情報学部 [Faculty of Informatics]							
社会メディア学科 [Department of Sociology and Media Studies]	4	90	—	360	学士(社会情報学) [Bachelor of Social Informatics]	平成25年4月 第1年次	同上	
情報システム学科 [Department of Information Systems]	4	100	—	400	学士(情報学) [Bachelor of Informatics]	平成25年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	デザイン・データ科学部 [Faculty of Design and Data Science] デザイン・データ科学科 [Department of Design and Data Science]	4	100 (0)	—	400 (0)	学士(学術) [Bachelor of Arts and Sciences]	令和5年4月 第1年次	同上	令和4年4月設置届出予定	
	都市生活学部 [Faculty of Urban Life Studies] 都市生活学科 [Department of Urban Life Studies]	4	160	—	640	学士(都市生活学) [Bachelor of Urban Life Studies]	平成21年4月 第1年次	東京都世田谷区 玉堤一丁目28番1号		
	人間科学部 [Faculty of Human Life Sciences] 人間科学科 [Department of Human Life Sciences]	4	100	—	400	学士(人間科学) [Bachelor of Human Life Sciences]	平成21年4月 第1年次	同上		
	計		1,750 (1,650)	—	7,000 (6,600)					
同一設置者内における変更状況(定員の移行, 名称の変更等)		令和5年4月名称変更予定 人間科学部 児童学科→人間科学科 デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科 (100) (令和4年4月届出予定)								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計	— 単位				
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
			人	人	人	人	人	人	人	
	新設	理工学部	機械工学科	6 (6)	10 (10)	1 (1)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	95 (95)
			機械システム工学科	7 (7)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	94 (94)
			電気電子通信工学科	10 (10)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	92 (92)
			医用工学科	5 (5)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	87 (87)
			応用化学科	4 (4)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	87 (87)
			原子力安全工学科	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	82 (82)
			自然科学科	6 (6)	7 (7)	5 (5)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	89 (89)
		建築都市デザイン学部	建築学科	8 (8)	4 (4)	4 (4)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	126 (126)
			都市工学科	6 (6)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	95 (95)
			情報工学部	情報科学科	8 (8)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	1 (1)
		情報工学部	知能情報工学科	6 (6)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	81 (81)
			環境学部	環境創生学科	5 (5)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)
		環境経営システム学科		7 (7)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	129 (129)
		メディア情報学部	社会メディア学科	7 (7)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	123 (123)
			情報システム学科	8 (8)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	120 (120)
		デザイン・データ科学部	デザイン・データ科学科	10 (10)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	19 (15)
		都市生活学部	都市生活学科	9 (9)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	95 (95)
		人間科学部	人間科学科	6 (6)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	81 (81)
		計		124 (124)	91 (91)	28 (28)	0 (0)	243 (243)	1 (1)	— (—)
	既設分	共通教育部	13 (13)	14 (14)	10 (10)	0 (0)	37 (37)	0 (0)	0 (0)	
		ものづくり支援センター	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
		総合研究所	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	
			令和4年4月名称変更届出予定							

教員組織の概要	既設分	国際センター	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	
		教育開発機構	5 (5)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	
		計	22 (22)	15 (15)	16 (16)	0 (0)	53 (53)	0 (0)	- (-)	
	合計	146 (146)	106 (106)	44 (44)	0 (0)	296 (296)	1 (1)	- (-)		
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事務職員		133 (133)		73 (73)		206 (206)			
	技術職員		35 (35)		0 (0)		35 (35)			
	図書館専門職員		5 (5)		3 (3)		8 (8)			
	その他の職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
	計		173 (173)		76 (76)		249 (249)			
校地等	区 分	専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計			
	校舎敷地	81,393.26 m ²	0.00 m ²		0.00 m ²		81,393.26 m ²			
	運動場用地	31,023.80 m ²	0.00 m ²		0.00 m ²		31,023.80 m ²			
	小 計	112,417.06 m ²	0.00 m ²		0.00 m ²		112,417.06 m ²			
	そ の 他	106,484.21 m ²	0.00 m ²		0.00 m ²		106,484.21 m ²			
	合 計	218,901.27 m ²	0.00 m ²		0.00 m ²		218,901.27 m ²			
校舎	専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計				
	99,550.48 m ² (97,234.98 m ²)	0.00 m ² (0.00 m ²)		0.00 m ² (0.00 m ²)		99,550.48 m ² (97,234.98 m ²)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			大学全体		
	83 室	66 室	221 室	14 室 (補助職員6人)	4 室 (補助職員0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			大学全体		
		大学全体			296 室					
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体		
	大学全体	371,542 [68,528] (368,140 [67,754])	19,289 [16,534] (19,289 [16,534])	17,463 [15,897] (17,463 [15,897])	2,042 (1,862)	38,240 (38,240)	9 (9)			
	計	371,542 [68,528] (368,140 [67,754])	19,289 [16,534] (19,289 [16,534])	17,463 [15,897] (17,463 [15,897])	2,042 (1,862)	38,240 (38,240)	9 (9)			
図書館	面積	閲覧座席数		取 納 可 能 冊 数			大学全体			
	6,781.14 m ²	876 席		270,444 冊						
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体		
	3,867.93 m ²	バスケットコート 2面 フットサルコート 1面		トレーニングルーム 2面 テニスコート 6面						
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
		教員1人当り研究費等		500千円	500千円	500千円	500千円	- 千円	- 千円	
		共同研究費等		107,000千円	107,000千円	107,000千円	107,000千円	- 千円	- 千円	
		図書購入費	14,643千円	14,643千円	14,643千円	14,643千円	14,643千円	- 千円	- 千円	
	設備購入費	378,508千円	378,508千円	378,508千円	378,508千円	378,508千円	- 千円	- 千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。	
	学生1人当り納付金	学部等の名称	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		理工学部	1,676千円	1,476千円	1,476千円	1,476千円	- 千円	- 千円		
		建築都市デザイン学部	1,676千円	1,476千円	1,476千円	1,476千円	- 千円	- 千円		
		情報工学部	1,676千円	1,476千円	1,476千円	1,476千円	- 千円	- 千円		
		環境学部	1,490千円	1,290千円	1,290千円	1,290千円	- 千円	- 千円		
		メディア情報学部	1,490千円	1,290千円	1,290千円	1,290千円	- 千円	- 千円		
		デザイン・テクノロジー学部	1,490千円	1,290千円	1,290千円	1,290千円	- 千円	- 千円		
		都市生活学部	1,394千円	1,194千円	1,194千円	1,194千円	- 千円	- 千円		
人間科学部	1,376千円	1,176千円	1,176千円	1,176千円	- 千円	- 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、寄付金、補助金、資産運用収入及びその他の収入								

大 学 の 名 称	東京都市大学								
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所 在 地
		年	人	年次人	人		倍		
既 設 大 学 等 の 状 況	理工学部						1.01		東京都
	機械工学科	4	120	—	480	学士(工学)	0.98	昭和24年度	世田谷区玉堤 一丁目28番1号
	機械システム工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.02	平成9年度	
	電気電子通信工学科	4	150	—	600	学士(工学)	0.98	昭和24年度	
	医用工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.05	平成19年度	
	応用化学科	4	75	—	300	学士(工学)	1.02	平成9年度	
	原子力安全工学科	4	45	—	180	学士(工学)	1.06	平成20年度	
	自然科学科	4	60	—	180	学士(理学)	1.00	令和2年度	
	建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和32年度	令和2年度より学生募集停止
	都市工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和32年度	令和2年度より学生募集停止
	建築都市デザイン学部						0.99		東京都
	建築学科	4	120	—	360	学士(工学)	1.00	令和2年度	世田谷区玉堤 一丁目28番1号
	都市工学科	4	100	—	300	学士(工学)	0.99	令和2年度	
	情報工学部						1.05		東京都
	情報科学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.10	平成19年度	世田谷区玉堤 一丁目28番1号
	知能情報工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.05	平成19年度	
	情報通信工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成19年度	平成31年度より学生募集停止
	自然科学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成21年度	令和2年度より学生募集停止
	環境学部						1.02		神奈川県横浜市
	環境創生学科	4	90	—	360	学士(環境学)	1.01	平成25年度	都筑区牛久保西 三丁目3番1号
	環境経営システム学科	4	90	—	320	学士(環境学)	1.02	平成25年度	
	メディア情報学部						1.08		神奈川県横浜市
	社会メディア学科	4	90	—	360	学士(社会情報学)	1.03	平成25年度	都筑区牛久保西 三丁目3番1号
	情報システム学科	4	100	—	380	学士(情報学)	1.13	平成25年度	
	都市生活学部						1.05		東京都
	都市生活学科	4	160	—	640	学士(都市生活学)	1.05	平成21年度	世田谷区玉堤 一丁目28番1号
	人間科学部						1.04		東京都
	児童学科	4	100	—	400	学士(児童学)	1.04	平成21年度	世田谷区玉堤 一丁目28番1号
	大学院総合理工学研究科								東京都
	機械専攻 (博士前期課程)	2	60	—	120	修士(工学)	1.01	昭和41年度	世田谷区玉堤 一丁目28番1号
	電気・化学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.23	平成21年度	
	共同原子力専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(工学)	1.09	平成22年度	
	自然科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(理学)	0.46	令和2年度	
	建築・都市専攻 (博士前期課程)	2	54	—	108	修士(工学)	0.79	昭和41年度	
	情報専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.09	平成21年度	
	機械専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.20	昭和43年度	
	電気・化学専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49	平成21年度	
	共同原子力専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.33	平成22年度	
	自然科学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.50	令和2年度	
	建築・都市専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.74	昭和43年度	
	情報専攻 (博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41	平成21年度	
	生体医工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成21年度	平成30年度より学生募集停止
都市工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	昭和56年度	平成30年度より学生募集停止	
システム情報工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成18年度	平成30年度より学生募集停止	
大学院環境情報学研究科								環境情報学専攻	
環境情報学専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士(環境情報学)	1.20	平成13年度	神奈川県横浜市 都筑区牛久保西 三丁目3番1号	
都市生活学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士(都市生活学)	1.24	平成25年度		
環境情報学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(環境情報学)	3.83	平成17年度	都市生活学専攻	
都市生活学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(都市生活学)	3.00	令和3年度	東京都 世田谷区玉堤 一丁目28番1号	

附属施設の概要	<p>総合研究所</p> <p>目的 特色ある研究の推進・支援</p> <p>住所 東京都世田谷区 等々力八丁目15番1号</p> <p>設置 平成16年4月</p> <p>規模 土地 3,659.00㎡ 建物 4,212.89㎡</p>	<p>情報基盤センター(横浜キャンパス)</p> <p>目的 情報施設設備の管理運営</p> <p>住所 神奈川県横浜市都筑区 牛久保西三丁目3番1号</p> <p>設置 平成9年4月</p> <p>規模 建物 4,881.60㎡</p>
	<p>原子力研究所</p> <p>目的 原子力の研究</p> <p>住所 神奈川県川崎市麻生区 王禅寺971番地</p> <p>設置 昭和35年4月</p> <p>規模 土地 84,234.00㎡ 建物 2,715.77㎡</p>	

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の出容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「－」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人 五島育英会 設置認可等に関わる組織の移行表

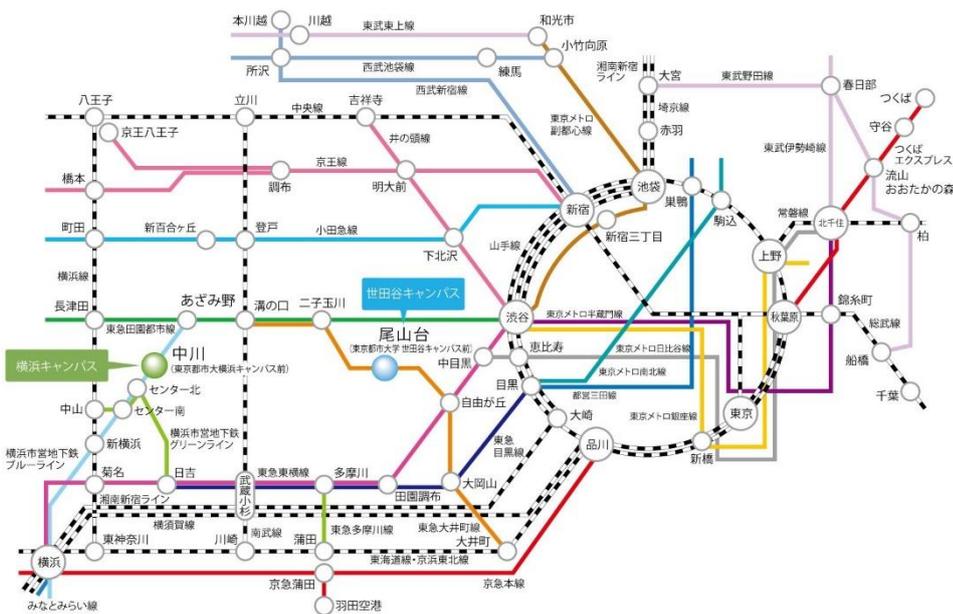
令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
東京都市大学				東京都市大学				
理工学部				理工学部				
機械工学科	120	—	480	機械工学科	120	—	480	
機械システム工学科	110	—	440	機械システム工学科	110	—	440	
電気電子通信工学科	150	—	600	電気電子通信工学科	150	—	600	
医用工学科	60	—	240	医用工学科	60	—	240	
応用化学科	75	—	300	応用化学科	75	—	300	
原子力安全工学科	45	—	180	原子力安全工学科	45	—	180	
自然科学科	60	—	240	自然科学科	60	—	240	
建築都市デザイン学部				建築都市デザイン学部				
建築学科	120	—	480	建築学科	120	—	480	
都市工学科	100	—	400	都市工学科	100	—	400	
情報工学部				情報工学部				
情報科学科	100	—	400	情報科学科	100	—	400	
知能情報工学科	80	—	320	知能情報工学科	80	—	320	
環境学部				環境学部				
環境創生学科	90	—	360	環境創生学科	90	—	360	
環境経営システム学科	90	—	360	環境経営システム学科	90	—	360	
メディア情報学部				メディア情報学部				
社会メディア学科	90	—	360	社会メディア学科	90	—	360	
情報システム学科	100	—	400	情報システム学科	100	—	400	
都市生活学部				都市生活学部				
都市生活学科	160	—	640	都市生活学科	160	—	640	
人間科学部				人間科学部				
児童学科	100	—	400	人間科学科	100	—	400	名称変更
計	1,650	—	6,600	計	1,750	—	7,000	
東京都市大学大学院				東京都市大学大学院				
総合理工学研究科				総合理工学研究科				
機械専攻(M)	60	—	120	機械専攻(M)	60	—	120	
電気・化学専攻(M)	66	—	132	電気・化学専攻(M)	66	—	132	
共同原子力専攻(M)	15	—	30	共同原子力専攻(M)	15	—	30	
自然科学専攻(M)	15	—	30	自然科学専攻(M)	15	—	30	
建築・都市専攻(M)	54	—	108	建築・都市専攻(M)	54	—	108	
情報専攻(M)	66	—	132	情報専攻(M)	66	—	132	
機械専攻(D)	8	—	24	機械専攻(D)	8	—	24	
電気・化学専攻(D)	8	—	24	電気・化学専攻(D)	8	—	24	
共同原子力専攻(D)	4	—	12	共同原子力専攻(D)	4	—	12	
自然科学専攻(D)	2	—	6	自然科学専攻(D)	2	—	6	
建築・都市専攻(D)	8	—	24	建築・都市専攻(D)	8	—	24	
情報専攻(D)	8	—	24	情報専攻(D)	8	—	24	
環境情報学研究科				環境情報学研究科				
環境情報学専攻(M)	20	—	40	環境情報学専攻(M)	20	—	40	
都市生活学専攻(M)	6	—	12	都市生活学専攻(M)	6	—	12	
環境情報学専攻(D)	2	—	6	環境情報学専攻(D)	2	—	6	
都市生活学専攻(D)	2	—	6	都市生活学専攻(D)	2	—	6	
計	344	—	730	計	344	—	730	

校地校舎等の図面

都道府県内における位置関係の図面



キャンパス間の移動に要する距離・時間・交通手段



世田谷・横浜キャンパス間	
距離	約 15.0km
交通手段・時間	
[バス]SC⇄YC間	約 30分
[電車]尾山台駅⇄中川駅	約 30分

横浜キャンパス

- 所在地 〒224-8551
神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3 - 3 - 1

- 設置学部 環境学部／メディア情報学部／
デザイン・データ科学部／
大学院環境情報学研究科 環境情報学専攻

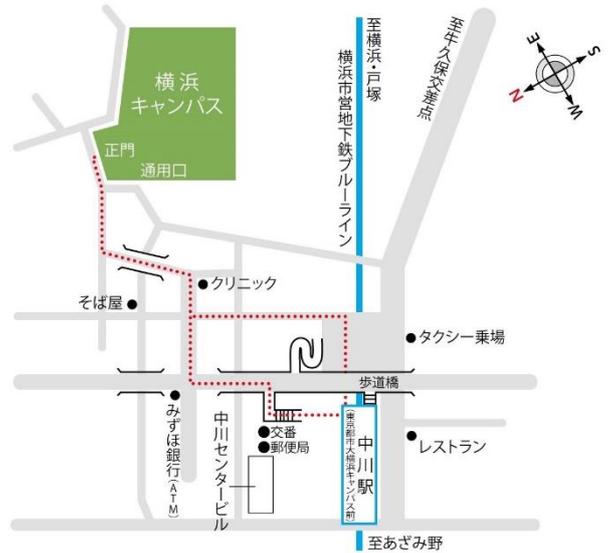
- 校地面積 (㎡) 64,687.96 ㎡ (キャンパス全体)

- 校舎面積 (㎡) 18,078.07 ㎡ (キャンパス全体)

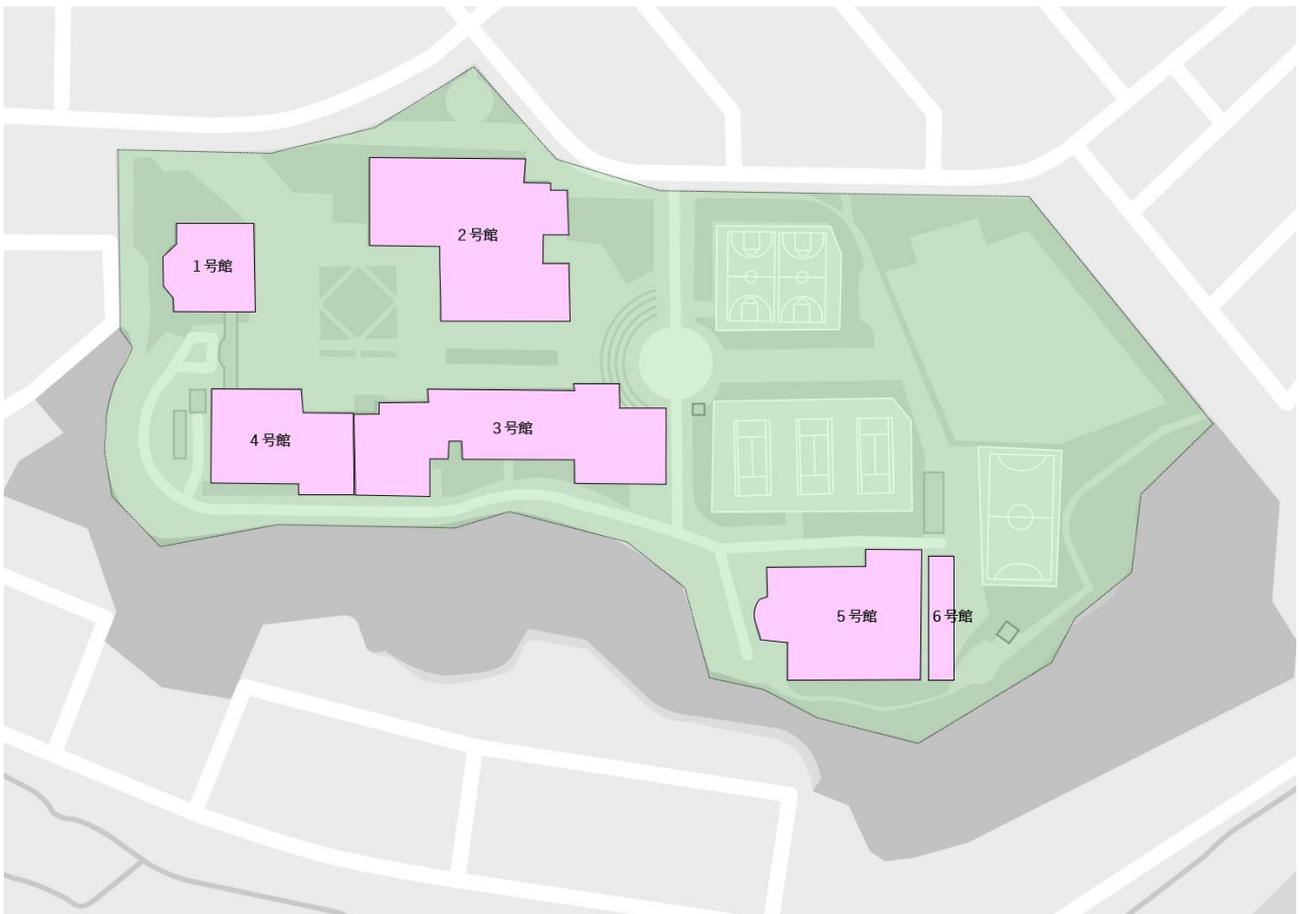
- 最寄り駅からの距離 0.5 k m

最寄り駅からの図面

横浜市営地下鉄「中川(京都市大 横浜キャンバス前)」駅 徒歩5分



キャンパスの校舎・運動場等の配置図



- 校地面積算入部分
- デザイン・データ科学部が使用する校舎
- ※当該学部はすべての建物を使用(他学部と共用)

第1章 総則

(目的)

第1条 本大学は、学校教育法に基づき、豊かな教養を授け、深く専門の学術を教授研究し、もって文化の向上に寄与するとともに、人類福祉の増進に貢献することを目的とする。

(自己点検及び評価)

第1条の2 本大学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価に関する事項は、別に定める。

(名称)

第2条 本大学は、東京都市大学と称する。

(位置)

第3条 本大学は、東京都世田谷区玉堤1丁目28番1号に置く。

第2章 組織

(学部、学科及び収容定員)

第4条 本大学に、理工学部、建築都市デザイン学部、情報工学部、環境学部、メディア情報学部、デザイン・データ科学部、都市生活学部及び人間科学部を置く。

2 各学部に設ける学科及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
理工学部	機械工学科	120	480
	機械システム工学科	110	440
	電気電子通信工学科	150	600
	医用工学科	60	240
	応用化学科	75	300
	原子力安全工学科	45	180
	自然科学科	60	240
	計	620	2,480
建築都市デザイン学部	建築学科	120	480
	都市工学科	100	400
	計	220	880
情報工学部	情報科学科	100	400
	知能情報工学科	80	320
	計	180	720
環境学部	環境創生学科	90	360
	環境経営システム学科	90	360
	計	180	720
メディア情報学部	社会メディア学科	90	360
	情報システム学科	100	400
	計	190	760
デザイン・データ科学部	デザイン・データ科学科	100	400
都市生活学部	都市生活学科	160	640
人間科学部	人間科学科	100	400
合 計		1,750	7,000

(人材の養成及び教育研究上の目的)

第4条の2 第1条を実現するため、各学部と学科における人材の養成及び教育研究上の目的を別表6に定める。

(共通教育部)

第4条の3 本大学に、共通教育部を置く。

2 共通教育部に関する規程は、別に定める。

(大学院)

第5条 本大学に、大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

(図書館)

第6条 本大学に、図書館を置く。

2 図書館に関する規程は、別に定める。

(学生部)

第7条 本大学に、学生部を置く。

2 学生部に関する規程は、別に定める。

(付属施設)

第8条 本大学に、以下の付属施設を置く。

(1) 総合研究所

(2) 情報基盤センター

2 理工学部に、原子力研究所を置く。

3 付属施設に関する規程は、別に定める。

(付属学校)

第9条 本大学に、次の付属学校を置く。

(1) 附属高等学校

(2) 附属中学校

(3) 等々力高等学校

(4) 等々力中学校

(5) 塩尻高等学校

(6) 附属小学校

(7) 二子幼稚園

2 付属学校の学則は、別に定める。

第3章 職員

(職員組織)

第10条 本大学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、技術職員及び事務職員を置く。

2 前項のほか、副学長を置くことができる。

3 学長及び副学長に関する規程は、別に定める。

4 各学部に、学部長を置く。

5 学部長に関する規程は、別に定める。

(教員資格)

第11条 各学科の主要な学科目は、各専門分野につき資格を有する専任の教授、准教授、講師又は助教が担当する。

2 各学科の学科目を担当する教員の資格基準及び資格審査に関し必要な規程は、別に定める。

第4章 大学協議会及び教授会

(大学協議会)

第12条 本大学に、大学協議会を置き、学長の求めに応じ、本大学の運営に関する重要事項を審議する。

2 大学協議会に関する規程は、別に定める。

(教授会)

第13条 各学部には、教授会を置く。

2 学部長は、教授会を招集し、その議長となる。

3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議し、意見を述べる。

(1) 当該学部における学生の入学、卒業及び学位授与に関すること。

(2) 当該学部における教育研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要であると認めるもの。

4 教授会は、前項に規定するもののほか、当該学部の教育研究に関する事項について審議し、学長及び学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 教授会には、准教授その他の職員を加えることができる。

6 教授会の運営に関する規程は、別に定める。

第5章 教育課程及び履修方法

(授業科目の区分)

第14条 理工学部にあつては、授業科目を教養科目、体育科目、外国語科目、PBL科目、理工学基礎科目、専門科目並びに教科及び教職に関する科目に区分する。

2 建築都市デザイン学部にあつては、授業科目を教養科目、体育科目、外国語科目、PBL科目、学部基盤科目、専門科目に区分する。

3 情報工学部にあつては、授業科目を教養科目、体育科目、外国語科目、PBL科目、情報工学基盤科目、専門科目並びに教科及び教職に関する科目に区分する。

4 環境学部にあつては、授業科目を基礎科目(体育科目・外国語科目・教養科目)、PBL科目、専門基礎科目、専門科目(学科基盤科目・学科専門科目)に区分する。

5 メディア情報学部にあつては、授業科目を基礎科目(体育科目・外国語科目・教養科目)、PBL科目、専門基礎科目、専門科目(学科基盤科目・学科専門科目)、並びに教科及び教職に関する科目に区分する。

6 デザイン・データ科学部にあつては、授業科目を教養科目、外国語科目、専門基礎科目、専門応用科目に区分する。

7 都市生活学部にあつては、授業科目を教養科目、外国語科目、体育科目、PBL科目、専門基礎科目、専門科目に区分する。

8 人間科学部にあつては、授業科目を教養科目、外国語科目、体育科目、PBL科目、専門科目並びに教科及び教職に関する科目に区分する。

(履修単位及び年限)

第15条 学生は、4年以上在学し、次の区分に従って所定の単位数以上を修得しなければならない。

理工学部

区 分	卒 業 要 件
教養科目	10単位
体育科目	1単位
外国語科目	8単位
PBL科目	3単位
理工学基礎科目	30単位
専門科目	60単位
小 計	112単位
自由選択 ※	12単位
合 計	124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して12単位以上修得しなければならない。

建築都市デザイン学部 建築学科

区 分	卒 業 要 件
教養科目	10単位
体育科目	1単位
外国語科目	8単位
PBL科目	3単位
学部基盤科目	30単位
専門科目	68単位
小 計	120単位
自由選択 ※	4単位
合 計	124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して4単位以上修得しなければならない。

建築都市デザイン学部 都市工学科

区 分	卒 業 要 件
教養科目	10単位
体育科目	1単位
外国語科目	8単位
PBL科目	3単位
学部基盤科目	30単位
専門科目	60単位
小 計	112単位
自由選択 ※	12単位
合 計	124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して12単位以上修得しなければならない。

情報工学部 一般コース

区 分	卒 業 要 件
教養科目	10単位
体育科目	1単位
外国語科目	8単位
PBL科目	3単位
情報工学基盤科目	30単位
専門科目	60単位
小 計	112単位
自由選択 ※	12単位
合 計	124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して12単位以上修得しなければならない。

情報工学部 国際コース

区 分	卒 業 要 件
教養科目	10単位
体育科目	1単位
外国語科目	12単位
PBL科目	3単位
情報工学基盤科目	30単位
専門科目	60単位
小 計	116単位
自由選択 ※	8単位
合 計	124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して8単位以上修得しなければならない。

環境学部

区 分		卒 業 要 件
基礎科目	外国語科目	8単位
	体育科目	1単位
	教養科目	10単位
PBL科目		4単位
小 計		23単位
専門基礎科目		30単位
小 計		30単位
専門科目	学科基盤科目	60単位
	学科専門科目	
小 計		60単位
自由選択科目	※	11単位
合 計		124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して11単位以上修得しなければならない。

メディア情報学部

区 分		卒 業 要 件
基礎科目	外国語科目	8単位
	体育科目	1単位
	教養科目	10単位
PBL科目		3単位
小 計		22単位
専門基礎科目		30単位
小 計		30単位
専門科目	学科基盤科目	60単位
	学科専門科目	
小 計		60単位
自由選択科目	※	12単位
合 計		124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して12単位以上修得しなければならない。

デザイン・データ科学部

区 分		卒 業 要 件
教養科目		12単位
外国語科目		14単位
専門基礎科目		50単位
専門応用科目		40単位
小 計		116単位
自由選択 ※		8単位
合 計		124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して8単位以上修得しなければならない。

都市生活学部

区 分		卒 業 要 件
教養科目		10単位
外国語科目		8単位
体育科目		1単位
PBL科目		3単位
専門基礎科目		37単位
専門科目		53単位
小 計		112単位
自由選択 ※		12単位
合 計		124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して12単位以上修得しなければならない。

人間科学部

区 分	卒 業 要 件
教養科目	20単位
外国語科目	
体育科目	
専門科目	90単位
小 計	110単位
自由選択 ※	14単位
合 計	124単位

※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して14単位以上修得しなければならない。

- 2 学部の定めるところにより、他学部、他学科で開設する指定授業科目を履修したときは、当該授業科目の単位を卒業に必要な単位として認めることができる。
- 3 理工学部、建築都市デザイン学部及び情報工学部の学生は、60単位以上を修得しなければ3年次に進級することができない。
- 4 環境学部の学生は、2年以上在学し、66単位以上を修得しなければ事例研究（1）に着手することができない。
- 5 メディア情報学部の学生は、2年以上在学し、66単位以上を修得しなければ3年次に進級することができない。
- 6 デザイン・データ科学部の学生は、2年以上在学し、50単位以上を修得しなければ3年次に進級することができない。
- 7 理工学部、建築都市デザイン学部及び情報工学部の学生は、3年以上在学し、100単位以上を修得しなければ4年次に進級することができない。
- 8 都市生活学部及び人間科学部の学生は、3年以上在学し、100単位以上を修得しなければ卒業研究に着手することができない。
- 9 環境学部の学生は、3年以上在学し、事例研究（1）及び事例研究（2）を含む100単位以上を修得しなければ卒業研究に着手することができない。
- 10 メディア情報学部の学生は、3年以上在学し、事例研究を含む100単位以上を修得しなければ卒業研究に着手することができない。
- 11 デザイン・データ科学部の学生は、3年半以上在学し、110単位以上を修得しなければキャップストーンプロジェクトに着手することができない。

（在学年数及び在学年限）

第16条 本大学及び前条における在学年数とは、本大学入学後の年数とする。

- 2 編入学又は転入学した者の在学年数は、前項の在学年数に以下の年数を加えたものとする。
 - (1) 2年次入学の場合は1年
 - (2) 3年次入学の場合は2年
- 3 転学部又は転学科した者の在学年数は、転学部又は転学科の学年次にかかわらず、第1項による。
- 4 再入学した者の在学年数は、第1項の在学年数に再入学する前の在学年数を加えたものとする。
- 5 休学期間は、在学年数に含めない。
- 6 在学年数は、8年を超えることができない。
- 7 理工学部、建築都市デザイン学部、情報工学部、メディア情報学部及びデザイン・データ科学部については、2年次までの在学年数は、4年を超えることができない。

（科目の履修届出）

第17条 学生は、履修しようとする科目について、所定の届出をしなければならない。

(教育課程、単位の計算方法及び授業の方法)

第18条 各学部各学科の教育課程、授業科目の単位数及び授業時間数は、別表1のとおりとし、履修の順序、その他履修方法は、別に定める。

2 本条に規定する各授業科目の単位数は、1単位の履修時間を教室内及び教室外を合わせ45時間とし、次の標準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習は、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習、製図及び実技は、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、45時間の授業をもって1単位とする。

(3) 卒業研究は、30時間をもって1単位とするが、内容を考慮して定める。

3 本条に規定する各授業科目の授業を、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。なお、この授業において修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

(各授業科目の授業期間)

第18条の2 各授業科目の授業は、10週又は15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(編入学者等の既修得単位の認定)

第19条 学生が本大学の学部に編入学又は転入学する前に、大学、短期大学、高等専門学校又は専修学校の専門課程において履修した授業科目について修得した単位を、本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学生が転学部又は転学科する前に所属した学部・学科において履修した授業科目について修得した単位を、転学部又は転学科後の学部・学科における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

3 前2項の単位認定は当該学部教授会の議を経て行うものとする。

(教育職員の免許状)

第20条 教育職員免許状の資格を得ようとする者は、卒業に必要な単位を修得するほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定められている所定の単位を修得しなければならない。

2 前項に定める免許状の種類及び免許教科は次のとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類	(教科)
理工学部	機械工学科	高等学校教諭一種免許状	(数学, 工業)
		中学校教諭一種免許状	(数学, 技術)
	機械システム工学科	高等学校教諭一種免許状	(数学, 工業)
		中学校教諭一種免許状	(数学, 技術)
	電気電子通信工学科	高等学校教諭一種免許状	(数学, 理科, 工業)
		中学校教諭一種免許状	(数学, 理科, 技術)
	医用工学科	高等学校教諭一種免許状	(数学, 理科)
中学校教諭一種免許状		(数学, 理科)	
応用化学科	高等学校教諭一種免許状	(理科, 工業)	
	中学校教諭一種免許状	(理科, 技術)	
原子力安全工学科	高等学校教諭一種免許状	(理科, 工業)	
	中学校教諭一種免許状	(理科, 技術)	
自然科学科	高等学校教諭一種免許状	(数学, 理科)	
	中学校教諭一種免許状	(数学, 理科)	
情報工学部	情報科学科	高等学校教諭一種免許状	(数学, 情報)
		中学校教諭一種免許状	(数学)
	知能情報工学科	高等学校教諭一種免許状	(数学, 情報)
		中学校教諭一種免許状	(数学)
メディア情報学部	社会メディア学科	高等学校教諭一種免許状	(情報)
	情報システム学科	高等学校教諭一種免許状	(情報)
人間科学部	人間科学科	幼稚園教諭一種免許状	

3 教科及び教職に関する科目の単位数及び授業時間数は、別表2のとおりとし、履修の順序、その他履修方法は、別に定める。

(学芸員の資格)

第20条の2 学芸員の資格を得ようとする者は、卒業に必要な単位を修得するほか、博物館法及び同法施行規則に定められている博物館に関する科目の単位を修得しなければならない。

2 前項の博物館に関する科目の単位を修得するために開講する科目及びその単位数は、別表1の理工学部自然科学科の専門科目教育課程表に定める。

3 第2項の科目の履修に関する規定は別に定める。

(保育士の資格)

第20条の3 人間科学部人間科学科の学生で保育士の資格を得ようとする者は、卒業に必要な単位を修得するほか、児童福祉法及び同法施行規則に定められている所定の単位を修得しなければならない。

2 保育士養成課程の単位数、授業時間数、履修の順序、その他履修方法は、別に定める。

第6章 学年及び休業

(学年)

第21条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期・クォーター)

第22条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月20日まで

後学期 9月21日から翌年3月31日まで

- 2 前項に規定する各学期を2つの期間(以下「クォーター」という。)に分けることができる。
- 3 各クォーターの始期及び終期については、別に定める。

(休業日)

第23条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 創立記念日 10月17日

(4) 夏期休業日 7月26日から9月20日まで

(5) 冬期休業日 12月15日から翌年1月10日まで

- 2 学長は、必要に応じ当該学部教授会の議を経て、臨時に前項に定める休業日を変更し、又は別に休業日を定めることができる。

第7章 入学、休学、退学及び賞罰

(入学の時期)

第24条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第25条 本大学1年次に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(8) その他本大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学志願の手続)

第26条 入学志願者は、指定の期間内に、入学検定料を添えて、所定の書類を提出しなければならない。

- 2 入学志願の手続きに関し、必要な事項は別に定める。

(入学者の選考)

第27条 入学志願者に対しては、学力、健康その他について選考の上、入学者を定める。入学者の選考に関し、必要な事項は別に定める。

(入学手続)

第28条 入学試験に合格した者は、所定の期日までに、本大学の定める入学手続きをしなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に、入学を許可する。
- 3 入学手続きに関し、必要な事項は別に定める。

(編入学及び転入学)

第29条 次の各号の一に該当する者が編入学又は転入学を願い出たときは、定員を考慮し、選考の上、入学を許可することができる。

- (1) 大学(外国の大学を含む。)を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 短期大学(外国の短期大学を含む。)を卒業した者
- (4) 我が国において、外国の短期大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者(第25条に定める入学資格を有する者に限る。)
- (5) 高等専門学校を卒業した者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(第25条に定める入学資格を有する者に限る。)
- (7) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程に在学した者(第25条に定める入学資格を有する者に限る。)

2 他の大学(外国の大学を含む。)の在学生在が、本大学への転入学を願い出たときは、定員を考慮し、選考の上、入学を許可することができる。

(再入学)

第30条 やむをえない事情で本大学を退学した者が再入学を願い出たときは、定員を考慮し、選考の上、入学を許可することができる。ただし、懲戒による退学者の再入学は許可しない。

(転学部又は転学科)

第31条 本大学の学生が、本大学の他学部への転学部又は同一学部内の他学科への転学科を願い出たときは、定員を考慮し、選考の上、これを許可することができる。

(休学)

第32条 やむを得ない理由により長期にわたって修学することができない者は、その理由を休学願に詳記の上、各学期の始めまでに願い出て休学の許可を得なければならない。

2 休学の期間は、原則として1学期または1学年を区分とし、当該年度限りとする。ただし、既に許可を得ている休学期間の延長を希望するときは引き続き許可するが、通算して3年を超えることはできない。

3 前2項にかかわらず、不慮の傷病等特別な事情により、連続して2ヶ月以上修学できなくなった場合、学期途中でであっても証明書類を添付して休学を願い出ることができる。

(退学)

第33条 病気その他やむをえない事情のため、学業を続ける見込みがない者は、その理由を退学願に詳記の上、願い出て退学することができる。

2 授業料を納入せずに退学しようとするときは、前学期は4月30日、後学期は10月20日までに願い出なければならない。

3 前項により退学した者の在籍期間は、第46条に定める授業料等を納入した学期の末日までとする。

(除籍)

第34条 次の各号の一に該当する学生があるときは、学長は当該学部教授会の議を経て、除籍する。

- (1) 所定の期日までに授業料等を納入しない者
- (2) 第16条第6項に定める在学年限に及んでなお卒業できない者
- (3) 第16条第7項に定める在学年限に及んでなお3年次に進級できない者

2 前項第1号により除籍となった者の在籍期間は、第46条に定める授業料等を納入した学期の末日までとする。

(授賞)

第35条 学生で、人物及び学業が優秀な者には授賞することができる。

(懲戒)

第36条 学生で、本大学の規則に違反し、又は学生の本分に反する行為があったときは、学長は当該学部教授会の議を経てこれを懲戒する。

- 2 懲戒は、譴責、停学及び退学とする。
- 3 懲戒に関し必要な規程は、別に定める。

第8章 試験及び卒業

(試験の種類)

第37条 試験を分けて、科目試験及び卒業試験とする。

(試験の方法)

第38条 科目試験は、所定の期間内に行う。ただし、平常の成績によって考査することがある。

(卒業試験)

第39条 卒業試験は、論文、設計又は実験報告等につき、その作成経過を加味して行う。

(受験資格)

第40条 学生は、本学則及びこれに基づいて定められる規程に従って履修した科目についてのみ受験することができる。

(成績の評価)

第41条 試験の成績は、原則として秀、優、良、可及び不可の5級に分け、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。

(単位の授与)

第42条 科目試験に合格した者には、第18条に掲げる単位を与える。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第43条 本大学は、教育上有益と認めるときは、協議により他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、当該学部教授会の議を経て、本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第44条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、当該学部教授会の議を経て、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることのできる単位数は、前条により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(卒業及び学位)

第45条 本大学に4年以上在学し、第15条に定める単位を修得し、かつ、卒業試験に合格した者には、当該学部教授会の議を経て、卒業証書を授与する。

2 本大学を卒業した者には、本大学学位規程の定めるところにより以下の学位を授与する。

学部 (学科)	学位
理工学部 (機械工学科, 機械システム工学科, 電気電子通信工学科, 医用工学科, 応用化学科, 原子力安全工学科)	学士 (工学)
理工学部 (自然科学科)	学士 (理学)
建築都市デザイン学部	学士 (工学)
情報工学部	学士 (工学)
環境学部	学士 (環境学)
メディア情報学部 (社会メディア学科)	学士 (社会情報学)
メディア情報学部 (情報システム学科)	学士 (情報学)
デザイン・データ科学部	学士 (学術)
都市生活学部	学士 (都市生活学)
人間科学部	学士 (人間科学)

3 第1項の在学年数については、第16条を準用する。

第9章 入学検定料, 入学金及び授業料

(授業料等)

第46条 入学検定料, 入学金及び授業料の額は、別表3に定める。

2 授業料は、所定の期日までに納入しなければならない。

3 一旦納入した入学検定料, 入学金及び授業料は返還しない。ただし、入学手続き時の授業料については、所定の期日までに入学辞退の届け出があった場合は返還することがある。

4 休学中の授業料等は、別に定める東京都市大学授業料等納入規程によるものとする。

第10章 研究生, 科目等履修生, 外国人留学生, 特別研究生及び特別聴講学生

(研究生)

第47条 本大学において研究を志望する者は、許可を得て、研究生として入学することができる。研究生は、本大学の指定する教授等の指導を受けるものとする。

(研究生の資格)

第48条 研究生は、本大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者に限る。

(研究生の在学期間)

第49条 研究生の在学期間は、半年又は1カ年とする。ただし、事情によっては期間の延長を認めることがある。

(研究生の授業料等)

第50条 研究生は、別表4に定める入学金及び授業料を納入しなければならない。

(研究生の証明書)

第51条 研究生で、研究について相当の成果を収めた者に対しては、研究証明書を授与することがある。

(科目等履修生)

第52条 本大学の授業科目中、特定の科目の履修を希望する者があるときは、科目等履修生として入学を許可することがある。

(科目等履修生の資格)

第53条 科目等履修生は、履修科目を学修し得る能力のある者に限る。

(科目等履修生の在学期間)

第54条 科目等履修生の在学期間は、1年以内とする。ただし、事情によっては、期間の延長を認めることがある。

(履修料)

第55条 科目等履修生は、別表5に定める入学検定料、入学金及び履修料を納入しなければならない。

(科目等履修生の証明書)

第56条 科目等履修生で、履修科目の試験に合格した者に対しては、第42条に定める規定を準用し、単位修得証明書を授与する。

(外国人留学生)

第57条 第25条に定める入学資格を有する外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関して必要な事項については、別に定める。

(特別研究生)

第57条の2 本大学において、他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)との協議により、当該大学等の学生に特別研究生として本大学の指定する教授等の指導を受けさせることがある。

2 特別研究生に関して必要な事項については、別に定める。

(特別聴講学生)

第58条 本大学において、他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)との協議により、当該大学等の学生に特別聴講学生として本大学の授業科目を履修させることがある。

2 特別聴講学生に関して必要な事項については、別に定める。

(規定の準用)

第59条 研究生及び特別研究生については、本章に規定する場合のほか、第15条、第16条、第20条、第42条、第43条、第44条及び第45条を除き、一般学生の規定を準用する。

2 科目等履修生及び特別聴講学生については、本章に規定する場合のほか、第15条、第16条及び第45条を除き、一般学生の規定を準用する。

3 外国人留学生については、第57条に規定するもののほかは一般学生の規定を準用する。

第11章 学生寮

(学生寮)

第60条 本大学に、学生寮を置く。

2 学生寮に関する規程は、別に定める。

付 則（令和2年3月13日）

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、令和2年度以前に入学した者については、従前どおりとする（一部変更（第4条、第20条、第45条、第18条別表1、第4条の2別表6））。
- 2 環境学部及びメディア情報学部の収容定員は、第4条の規定にかかわらず、令和3年度から令和5年度までの間は、次のとおりとする。

学 部	学 科	令和3年度	令和4年度	令和5年度
環境学部	環境創生学科	360	360	360
	環境経営システム学科	300	320	340
	計	660	680	700
メディア情報学部	社会メディア学科	360	360	360
	情報システム学科	370	380	390
	計	730	740	750

付 則（令和2年5月28日）

この学則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、令和2年度以前に入学した者については、従前どおりとする（一部変更（第46条別表3））。

付 則（令和3年2月16日）

この学則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、令和2年度以前に入学した者については、第32条、第33条及び第34条の変更を除き従前どおりとする（一部変更（第15条、第16条、第32条、第33条、第34条、第18条別表1、第20条別表2））。

付 則（令和4年2月15日）

この学則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、令和3年度以前に入学した者については、従前どおりとする（一部変更（第15条、第18条別表1、第20条別表2、第4条の2別表6））。

付 則（令和4年3月23日）

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、令和4年度以前に入学した者については、従前どおりとする（一部変更（第4条、第14条、第15条、第16条、第20条、第20条の3、第45条、第18条別表1、第20条別表2、第46条別表3、第4条の2別表6））。
- 2 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科の収容定員は、第4条の規定にかかわらず、令和5年度は100名、令和6年度は200名、令和7年度は300名とする。

別表1 教育課程、授業科目の単位数及び授業時間数（学則第18条）

1-1 理工学部 教育課程表

1-1① 理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部

教養科目・体育科目・外国語科目・PBL科目 教育課程表

1-1② 理工学部 機械工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

1-1③ 理工学部 機械システム工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

1-1④ 理工学部 電気電子通信工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

1-1⑤ 理工学部 医用工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

1-1⑥ 理工学部 応用化学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

1-1⑦ 理工学部 原子力安全工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

1-1⑧ 理工学部 自然科学科 自然コース 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

1-1⑨ 理工学部 自然科学科 数理コース 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

1-2 建築都市デザイン学部 教育課程表

1-2① 建築都市デザイン学部 建築学科 学部基盤科目・専門科目 教育課程表

1-2② 建築都市デザイン学部 都市工学科 学部基盤科目・専門科目 教育課程表

1-3 情報工学部 教育課程表

1-3① 情報工学部 情報科学科 情報工学基盤科目・専門科目 教育課程表

1-3② 情報工学部 知能情報工学科 情報工学基盤科目・専門科目 教育課程表

1-4 環境学部 教育課程表

1-4① 環境学部 学部共通科目 基礎科目・PBL科目 教育課程表

1-4② 環境学部 環境創生学科 専門基礎科目・専門科目 教育課程表

1-4③ 環境学部 環境経営システム学科 専門基礎科目・専門科目 教育課程表

1-5 メディア情報学部 教育課程表

1-5① メディア情報学部 学部共通科目 基礎科目・PBL科目 教育課程表

1-5② メディア情報学部 社会メディア学科 専門基礎科目・専門科目 教育課程表

1-5③ メディア情報学部 情報システム学科 専門基礎科目・専門科目 教育課程表

1-6 デザイン・データ科学部 教育課程表

デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科

教養科目・外国語科目・専門基礎科目・専門応用科目 教育課程表

1-7 都市生活学部 教育課程表

都市生活学部 都市生活学科

教養科目・外国語科目・体育科目・PBL科目・専門基礎科目・専門科目 教育課程表

1-8 人間科学部 教育課程表

人間科学部 人間科学科 教育課程表

1-1① 理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部
 教養科目・体育科目・外国語科目・PBL科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群 系統	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
人文 学系	哲学(1)		2	2											
	哲学(2)		2		2										
	倫理学(1)		2	2											
	倫理学(2)		2		2										
	倫理学(a)		1		1										
	倫理学(b)		1		1										
	文化人類学		2		2										
	視覚芸術史(1)		2	2											
	視覚芸術史(2)		2		2										
	デザイン概論(1)		2			2									
	デザイン概論(2)		2				2								
	日本文学		2			2									
	日本史(1)		2	2											
	日本史(2)		2		2										
	西洋史(1)		2	2											
	西洋史(2)		2		2										
	民俗学(a)		1		1										
	民俗学(b)		1		1										
	宗教学		2	2											
	社会 科学系	社会学(1a)		1	1										
		社会学(1b)		1	1										
		社会学(2a)		1		1									
		社会学(2b)		1		1									
		社会学入門(a)		1	1										
		社会学入門(b)		1	1										
		経済学(1a)		1	1										
		経済学(1b)		1	1										
		経済学(2a)		1		1									
		経済学(2b)		1		1									
		日本経済論(a)		1				1							
		日本経済論(b)		1				1							
		政治学(1a)		1	1										
		政治学(1b)		1	1										
		政治学(2a)		1		1									
		政治学(2b)		1		1									
		日本の政治(a)		1			1								
		日本の政治(b)		1			1								
		国際関係論(1a)		1	1										
国際関係論(1b)			1	1											
国際関係論(2a)			1		1										
国際関係論(2b)			1		1										
日本国憲法			2	2	(2)										
法学			2	2											
民法			2		2										
西洋経済史			2	(2)	2										
人文地理学(a)			1	1											
人文地理学(b)		1	1												
現代中国論		2		2											
人間 科学系	教育学(1a)		1	1											
	教育学(1b)		1	1											
	教育学(2a)		1		1										
	教育学(2b)		1		1										
	スポーツ・健康論		2	2	(2)										
	心理学(1a)		1	1											
	心理学(1b)		1	1											
	心理学(2a)		1		1										
	心理学(2b)		1		1										
	心理学入門		2	2											

区分 科目群 系統	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
教養科目	人間科学系	社会とジェンダー(a)	1		1										
		社会とジェンダー(b)	1		1										
		国際化と異文化理解(a)	1						1						
		国際化と異文化理解(b)	1						1						
		日本文化の伝承(a)	1		1										
		日本文化の伝承(b)	1		1										
	情報科学系		データサイエンスリテラシー(1)	1	2	(2)									※DS
			データサイエンスリテラシー(2)	1	(2)	2									※DS
			論理学(1a)	1	1										
			論理学(1b)	1	1										
			論理学(2a)	1		1									
			論理学(2b)	1		1									
	その他		ボランティア(1)	1											
			ボランティア(2)	1											
			教養ゼミナール(1)	2	2	(2)									
			教養ゼミナール(2)	2	2	(2)									
		教養特別講義(1)	2	2	(2)										
		教養特別講義(2)	2	2	(2)										
体育科目		教養特別講義(3)	2	2	(2)										
		基礎体育(1a)	△	0.5	1										
		基礎体育(1b)	△	0.5	1										
		基礎体育(2a)	△	0.5	1										
		基礎体育(2b)	△	0.5	1										
		応用体育(1)		1			2	(2)						集中授業あり	
	応用体育(2)		1			2	(2)						集中授業あり		
外国語科目	英語科目(スキル)	Communication Skills(1)	○	1	2										
		Communication Skills(2)	○	1		2									
		Reading and Writing(1a)	○	0.5	1										
		Reading and Writing(1b)	○	0.5	1										
		Reading and Writing(2a)	○	0.5		1									
		Reading and Writing(2b)	○	0.5		1									
		Basic English Training(a)		1			1	(1)							
		Basic English Training(b)		1			1	(1)							
		Grammar(1a)		1			1	(1)							
		Grammar(1b)		1			1	(1)							
		Grammar(2a)		1			1	(1)							
		Grammar(2b)		1			1	(1)							
		Test Taking Skills(1a)		1			1	(1)							
		Test Taking Skills(1b)		1			1	(1)							
		Test Taking Skills(2a)		1			1	(1)							
		Test Taking Skills(2b)		1			1	(1)							
		Test Taking Skills(3a)		1			1	(1)							*
		Test Taking Skills(3b)		1			1	(1)							*
		Critical Reading(1a)		1			1	(1)							
		Critical Reading(1b)		1			1	(1)							
		Critical Reading(2a)		1			1	(1)							*
		Critical Reading(2b)		1			1	(1)							*
		Critical Reading(3a)		1			1	(1)							*
		Critical Reading(3b)		1			1	(1)							*
		Critical Listening(1a)		1			1	(1)							
		Critical Listening(1b)		1			1	(1)							
		Critical Listening(2a)		1			1	(1)							*
		Critical Listening(2b)		1			1	(1)							*
		Critical Listening(3a)		1			1	(1)							*
		Critical Listening(3b)		1			1	(1)							*
		Communication Strategies(1a)		1			1	(1)							
		Communication Strategies(1b)		1			1	(1)							
		Communication Strategies(2a)		1			1	(1)							*
		Communication Strategies(2b)		1			1	(1)							*
		Communication Strategies(3a)		1			1	(1)							*
		Communication Strategies(3b)		1			1	(1)							*
Academic English(1a)		1			1	(1)									
Academic English(1b)		1			1	(1)									
Academic English(2a)		1			1	(1)							*		
Academic English(2b)		1			1	(1)							*		
Academic English(3a)		1			1	(1)							*		
Academic English(3b)		1			1	(1)							*		

区分 科目群 系統	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
英語科目 (教養)	Literature in English(1a)		1			1	(1)								
	Literature in English(1b)		1			1	(1)								
	Literature in English(2a)		1			1	(1)								
	Literature in English(2b)		1			1	(1)								
	Global Culture(1a)		1			1	(1)								
	Global Culture(1b)		1			1	(1)								
	Global Culture(2a)		1			1	(1)							*	
	Global Culture(2b)		1			1	(1)								*
	Language Sciences(1a)		1			1	(1)								
	Language Sciences(1b)		1			1	(1)								
	Language Sciences(2a)		1			1	(1)								*
	Language Sciences(2b)		1			1	(1)								*
	Global Society(1a)		1			1	(1)								
	Global Society(1b)		1			1	(1)								
	Global Society(2a)		1			1	(1)								
	Global Society(2b)		1			1	(1)								
	共通	海外・特別選抜セミナー		2	2	(2)									
		外国語特別講義(1a)		1			1	(1)							
		外国語特別講義(1b)		1			1	(1)							
		外国語特別講義(2a)		1			1	(1)							
	外国語科目	英語以外の外国語科目	ドイツ語(1a)		1			1	(1)						
			ドイツ語(1b)		1			1	(1)						
			ドイツ語(2a)		1			1	(1)						
			ドイツ語(2b)		1			1	(1)						
			フランス語(1a)		1			1	(1)						
			フランス語(1b)		1			1	(1)						
			フランス語(2a)		1			1	(1)						
			フランス語(2b)		1			1	(1)						
			スペイン語(1a)		1			1	(1)						
			スペイン語(1b)		1			1	(1)						
			スペイン語(2a)		1			1	(1)						
			スペイン語(2b)		1			1	(1)						
			イタリア語(1a)		1			1	(1)						
			イタリア語(1b)		1			1	(1)						
			イタリア語(2a)		1			1	(1)						
			イタリア語(2b)		1			1	(1)						
		中国語(1a)		1			1	(1)							
		中国語(1b)		1			1	(1)							
		中国語(2a)		1			1	(1)							
		中国語(2b)		1			1	(1)							
		アラビア語(1a)		1			1	(1)							
		アラビア語(1b)		1			1	(1)							
アラビア語(2a)			1			1	(1)								
アラビア語(2b)			1			1	(1)								
韓国語(1a)			1			1	(1)								
韓国語(1b)			1			1	(1)								
韓国語(2a)			1			1	(1)								
韓国語(2b)			1			1	(1)								
日本語表現(a)			1			1	(1)								
日本語表現(b)			1			1	(1)								
PBL科目		SD PBL(1)	○	1	2										
		SD PBL(2)	○	1		2									
	SD PBL(3)	○	1						2						

卒業要件	教養科目	10単位	
	体育科目	1単位	右記を含むこと △選択必修科目1単位
	外国語科目	8単位*	右記を含むこと ○必修科目4単位 ※情報工学部国際コースは、12単位とする。○必修科目4単位と「英語科目(教養)」・「英語科目(スキル)」科目群の*印の選択科目から8単位を含むこと。
	PBL科目	3単位	右記を含むこと ○必修科目3単位

1-1② 理工学部 機械工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考								
				1年		2年		3年		4年										
				前	後	前	後	前	後	前	後									
数学系	微分積分学(1a)	○	1	1*	(1)															※MS
	微分積分学(1b)	○	1	1*	(1)															*週時間数2とする場合がある。 ※MS
	微分積分学(2a)	○	1		1	(1)														※MS
	微分積分学(2b)	○	1		1	(1)														※MS
	線形代数学(1a)	○	1	1	(1)															※MS
	線形代数学(1b)	○	1	1	(1)															※MS
	線形代数学(2a)	○	1		1	(1)														※MS
	線形代数学(2b)	○	1		1	(1)														※MS
	微分方程式論	△1	2				2													
	ベクトル解析学	△1	2				2													
	フーリエ解析学	△1	2					2												
	数理統計学(a)	△1	1				1													※MS
数理統計学(b)	△1	1				1													※MS	
代数学		2				2														
自然科学系	物理学及び演習(1)	△2	3		4	(4)														
	物理学及び演習(2)	△2	3		4	(4)														
	物理学(3)	△2	2		2															
	物理学(4)	△2	2		2															
	電磁気学基礎	△2	2		2															
	上級力学	△2	2		2															
	物理学実験(a)	○	1	2	(2)															
	物理学実験(b)	○	1	2	(2)															
	化学(1)		2	2																
	化学(2)		2		2															
	化学実験		2	(4)	4															
	生物学(1)		2			2														
	生物学(2)		2				2													
	生物学実験(a)		1			2	(2)													
	生物学実験(b)		1			2	(2)													
	地学(1)		2			2														
地学(2)		2				2														
地学実験(a)		1			2	(2)														
地学実験(b)		1			2	(2)														
情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1																
	情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1																
	コンピュータ概論(a)		1		1															
	コンピュータ概論(b)		1		1															
	プログラミング基礎(a)		1		1															
	プログラミング基礎(b)		1		1															
	数値解析		2				2													
	AI・ビッグデータ基礎		1							2										
AI・ビッグデータ応用		1							2											
理工学教養系	技術者倫理	○	2					2												
	インターンシップ(1)		1																	
	インターンシップ(2)		1																	
	海外体験実習(1)		2																	
	海外体験実習(2)		2																	
	金属加工(製図・実習含)		2				2													
	電気工学概論(実習含)		2				2													
ことづくり	ことづくり(1)		2		2															
	ことづくり(2)		2			2														
	ことづくり(3)		2				2													
	ことづくり(4)		2					2												
	ことづくり(5)		1							1										

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
専 門 科 目	理工学と生活		2		2										
	工業概論		2		2										
	原子力汎論		2		2										
	量子力学入門		2				2								
	相対論入門		2				2								
	論理的な問題解決の進め方		2							2					
	学 部 共 通	電気電子通信計測応用		2					2						
		電気化学(a)		1			1								
		電気化学(b)		1			1								
		Direct Current Electrical Circuit Analysis		2		2									
	こ ひ ら め き づ く り	ひらめきづくり(1)		2	2										
		ひらめきづくり(2)		2		2									
		ひらめきづくり(3)		2			2								
		ひらめきづくり(4)		2				2							
		ひらめきづくり(5)		2					2						
		Next PBL		1									2		
	学 科 共 通	機械設計製図(a)	○	1	2	(2)									
		機械設計製図(b)	○	1	2	(2)									
		機械工作実習(a)	○	1	(2)	2									
		機械工作実習(b)	○	1	(2)	2									
		創成設計演習	○	2				4							
		知的財産		2											
		特別講義(1)		2											
		特別講義(2)		2											
	特別講義(3)		2												
	機 械 力 学	機械力学(1)及び演習・実験	○	3			4								
		機械力学(2)		2				2							
		制御工学(1)		2					2						
		制御工学(2)		2						2					
	材 料 力 学	材料力学	○	2		2									
		応力解析学及びFEM演習		3					4						
	流 体 力 学	流れ学及び演習・実験	○	3			4								
		流体力学		2					2						
		流体工学		2						2					
	熱 力 学	熱力学及び演習・実験	○	3			4								
		伝熱工学		2				2							
内燃機関			2					2							
トライボロジー			2						2						
材 料 学	機械材料学及び演習・実験	○	3		4										
	材料評価		2				2								
	材料強度学		2					2							
加 工 学	機械工作概論		2	2											
	機械要素設計及び演習	○	3			4									
	材料加工学		2					2							
関 連 専 門 科 目 研 究	事例研究	○	2					(4)	4						
	卒業研究(1)	○	3						(6)	6					
	卒業研究(2)	○	3							(6)	6				

卒 業 要 件	理工学基礎科目	30単位	専門科目	60単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと ○ 必修科目	13単位	以下を含むこと ○ 必修科目	31単位	以下を含むこと ※DS	1単位
	△1 選択必修科目	4単位				
	△2 選択必修科目	2単位				

1-1③ 理工学部 機械システム工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考								
				1年		2年		3年		4年										
				前	後	前	後	前	後	前	後									
数学系	微分積分学(1a)	○	1	1*	(1)															※MS
	微分積分学(1b)	○	1	1*	(1)															*週時間数2とする場合がある。 ※MS
	微分積分学(2a)	○	1		1	(1)														※MS
	微分積分学(2b)	○	1		1	(1)														※MS
	線形代数学(1a)	○	1	1	(1)															※MS
	線形代数学(1b)	○	1	1	(1)															※MS
	線形代数学(2a)	○	1		1	(1)														※MS
	線形代数学(2b)	○	1		1	(1)														※MS
	微分方程式論	△	2				2													
	ベクトル解析学	△	2				2													
	フーリエ解析学	△	2					2												
	数理統計学(a)	△	1				1													※MS
数理統計学(b)	△	1				1													※MS	
代数学		2				2														
自然科学系	物理学及び演習(1)		3		4	(4)														
	物理学及び演習(2)	○	3		4	(4)														
	物理学(3)		2		2															
	物理学(4)		2		2															
	電磁気学基礎		2		2															
	上級力学		2		2															
	物理学実験(a)	○	1	2	(2)															
	物理学実験(b)	○	1	2	(2)															
	化学(1)		2		2															
	化学(2)		2		2															
	化学実験		2	(4)	4															
	生物学(1)		2			2														
	生物学(2)		2				2													
	生物学実験(a)		1			2	(2)													
	生物学実験(b)		1			2	(2)													
	地学(1)		2			2														
地学(2)		2				2														
地学実験(a)		1			2	(2)														
地学実験(b)		1			2	(2)														
情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1																
	情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1																
	コンピュータ概論(a)		1		1															
	コンピュータ概論(b)		1		1															
	プログラミング基礎(a)	△	1		1															
	プログラミング基礎(b)	△	1		1															
	数値解析		2				2													
	AI・ビッグデータ基礎	△	1							2										
AI・ビッグデータ応用	△	1							2											
理工学教養系	技術者倫理	○	2					2												
	インターンシップ(1)		1																	
	インターンシップ(2)		1																	
	海外体験実習(1)		2																	
	海外体験実習(2)		2																	
	金属加工(製図・実習含)		2				2													
	電気工学概論(実習含)		2			2														
ことづくり	ことづくり(1)		2		2															
	ことづくり(2)		2			2														
	ことづくり(3)		2				2													
	ことづくり(4)		2					2												
	ことづくり(5)		1							1										

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
専 門 科 目	理工学と生活		2		2										
	工業概論		2		2										
	原子力汎論		2		2										
	量子力学入門		2			2									
	相対論入門		2			2									
	論理的な問題解決の進め方		2						2						
	学 部 共 通	電気電子通信計測応用		2					2						
		電気化学(a)		1			1								
		電気化学(b)		1			1								
		Direct Current Electrical Circuit Analysis		2		2									
	こ ひ ら め き づ く り	ひらめきづくり(1)		2	2										
		ひらめきづくり(2)		2		2									
		ひらめきづくり(3)		2			2								
		ひらめきづくり(4)		2				2							
		ひらめきづくり(5)		2					2						
		Next PBL		1									2		
	学 科 共 通	機械工作概論及び実習(a)	○	1.5	2	(2)									
		機械工作概論及び実習(b)	○	1.5	2	(2)									
		機械材料	△1	2		2									
		工業力学及び演習	○	1.5	2										
		電気物理及び演習(a)	○	1.5	2										
		電気物理及び演習(b)	○	1.5		2									
		機械システム	△1	2				2							
		機械要素	△1	2					2						
	材 料 力 学	材料力学(1)及び演習	○	1.5			2								
		材料力学(2)	△1	2				2							
		強度解析学		2						2					
	熱 流 体 工 学	熱力学(1)及び演習	○	1.5			2								
		熱力学(2)	△1	2				2							
		流れ学(1)及び演習	○	1.5			2								
		流れ学(2)	△1	2				2							
		伝熱工学	△1	2					2						
	電 気 電 子 工 学	電気電子回路及び演習(a)	○	1.5		2									
		電気電子回路及び演習(b)	△2	1.5			2								
		計測工学	△1	2					2						
		電気機器		2						2					
制 御 工 学	システム [※] イテックス及び演習(a)	○	1.5				2								
	システム [※] イテックス及び演習(b)	△2	1.5				2								
	制御システム設計	△1	2					2							
	制御理論		2						2						
ロ ボ ッ ト 工 学	ロボット工学		2						2						
	ロボット工学応用		2							2					
宇 宙 工 学	航空宇宙工学概論		2						2						
	宇宙システム学		2							2					
応 用 分 野 科 目	知的財産		2												
	特別講義(1)		2												
	特別講義(2)		2												
	特別講義(3)		2												
ア プ ロ グ ラ ム 開 発 科 目	プログラミング及び演習(a)	○	1.5			2									
	プログラミング及び演習(b)	△2	1.5				2								
	数値シミュレーション	△1	2					2							
	ロボット制御プログラミング	△1	2						2						
実 験 実 習 科 目	基礎設計製図	○	2	4	(4)										
	機械システム基礎実験	○	2				4								
	電気基礎実験	○	2					4							
	機械システム設計演習(1)	○	2						4						
	機械システム設計演習(2)	○	2							4					
関 連 学 科 研 究	事例研究	○	2					(4)	4						
	卒業研究(1)	○	3						(6)	6					
	卒業研究(2)	○	3							(6)	6				

卒 業 要 件	理工学基礎科目	30単位	専門科目	60単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと ○ 必修科目	16単位	以下を含むこと ○ 必修科目	34.5単位	※DS	1単位
	△ 選択必修科目	7単位	△1 選択必修科目	10単位		
			△2 選択必修科目	1.5単位		

1-1④ 理工学部 電気電子通信工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考									
				1年		2年		3年		4年											
				前	後	前	後	前	後	前	後										
数学系	微分積分学(1a)	○	1	1*	(1)															※MS	
	微分積分学(1b)	○	1	1*	(1)															※MS	
	微分積分学(2a)	△1	1		1	(1)														※MS	
	微分積分学(2b)	△1	1		1	(1)														※MS	
	線形代数学(1a)	○	1	1	(1)															※MS	
	線形代数学(1b)	○	1	1	(1)															※MS	
	線形代数学(2a)	△1	1		1	(1)														※MS	
	線形代数学(2b)	△1	1		1	(1)														※MS	
	微分方程式論	△1	2				2														
	ベクトル解析学	△1	2				2														
	フーリエ解析学	△1	2					2													
	数理統計学(a)	△1	1				1														※MS
数理統計学(b)	△1	1				1														※MS	
代数学		2				2															
自然科学系	物理学及び演習(1)	△2	3		4	(4)															
	物理学及び演習(2)	△2	3		4	(4)															
	物理学(3)	△2	2		2																
	物理学(4)	△2	2		2																
	電磁気学基礎	○	2		2																
	上級力学	△2	2		2																
	物理学実験(a)	○	1	2	(2)																
	物理学実験(b)	○	1	2	(2)																
	化学(1)		2	2																	
	化学(2)		2	2																	
	化学実験		2	(4)	4																
	生物学(1)		2			2															
	生物学(2)		2			2															
	生物学実験(a)		1			2	(2)														
	生物学実験(b)		1			2	(2)														
	地学(1)		2			2															
地学(2)		2			2																
地学実験(a)		1			2	(2)															
地学実験(b)		1			2	(2)															
情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1																	
	情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1																	
	コンピュータ概論(a)		1		1																
	コンピュータ概論(b)		1		1																
	プログラミング基礎(a)	○	1		1																
	プログラミング基礎(b)	○	1		1																
	数値解析		2				2														
	AI・ビッグデータ基礎	△1	1						2												
AI・ビッグデータ応用	△1	1						2													
理工学教養系	技術者倫理	○	2						2												
	インターンシップ(1)		1																		
	インターンシップ(2)		1																		
	海外体験実習(1)		2																		
	海外体験実習(2)		2																		
	金属加工(製図・実習含)		2				2														
	電気工学概論(実習含)		2				2														
ことづくり	ことづくり(1)		2		2																
	ことづくり(2)		2			2															
	ことづくり(3)		2				2														
	ことづくり(4)		2					2													
	ことづくり(5)		1							1											
専門科目	専門教養	理工学と生活		2	2																
		工業概論		2	2																
		原子力汎論		2	2																
		量子力学入門		2			2														
		相対論入門		2			2														
		論理的な問題解決の進め方		2				2													
	学部共通	電気電子通信計測応用	△1	2					2												
		電気化学(a)		1				1													
		電気化学(b)		1				1													
		Direct Current Electrical Circuit Analysis		2		2															

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考	
				1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
こ と づ く り	ひらめきづくり(1)		2	2									
	ひらめきづくり(2)		2		2								
	ひらめきづくり(3)		2			2							
	ひらめきづくり(4)		2				2						
	ひらめきづくり(5)		2					2					
	Next PBL		1									2	
学 科 共 通	電気数学(1)	○	2	2									
	電気数学(2)	○	2	2									
	電気電子通信基礎実験(a)	○	1			2							
	電気電子通信基礎実験(b)	○	1			2							
	電気電子通信工学実験(a)	○	1				2						
	電気電子通信工学実験(b)	○	1				2						
	電気電子通信応用実験(a)	○	1					2					
	電気電子通信応用実験(b)	○	1					2					
	電気回路概論	○	2	2									
	電気回路基礎及び演習	○	3		4								
	電気回路応用	△2	2			2							
	電磁気学概論	○	2	2									
	電磁気学基礎演習	○	1		2								
	電磁気学応用	△2	2			2							
	電気電子通信計測	○	2			2							
	電気電子材料		2			2							
	論理回路		2			2							
	電子回路	○	2			2							
	応用電子回路		2			2							
	デジタル工学		2						2				
	通信工学		2			2							
	符号理論		2			2							
	伝送回路		2				2						
	通信信頼性工学		2						2				
	電気電子通信技術英語(1)		2				2						
	電気電子通信技術英語(2)		2					2					
	音響工学		2					2					
	電気製図(a)		1					2					
	電気製図(b)		1					2					
	電気法規及び施設管理		2							2			
	プログラミング応用		2			2							
	デジタル信号処理		2			2							
知的財産		2	2										
サイバーフィジカルDX		2	2										
特別講義(1)		2											
特別講義(2)		2											
特別講義(3)		2											
グ リ ン エ レ ク ト ロ ニ ク ス	電子物理基礎	△1	2			2							
	半導体デバイス	△1	2				2						
	エレクトロニクス工学	△1	2					2					
	光エレクトロニクス	△1	2						2				
次 世 代 ド ラ イ ブ シ ス テ ム	電気機器工学	△1	2			2							
	パワーエレクトロニクス	△1	2				2						
	システム解析	△1	2				2						
	システム制御工学	△1	2					2					
超 ス マ ー ト エ ネ ル ギ ー 社 会	発変電工学	△1	2			2							
	高電圧工学	△1	2				2						
	配電工学	△1	2					2					
	送電工学	△1	2						2				
情 報 通 信 ア プ リ ケ ー シ ョ ン	デジタル通信方式	△1	2			2							
	通信システム	△1	2				2						
	集積回路システム工学	△1	2				2						
	電磁波工学	△1	2					2					
関 連 業 務 研 究	先端工学	○	2					2					
	事例研究	○	2					(4)	4				
	卒業研究(1)	○	3						(6)	6			
	卒業研究(2)	○	3							(6)	6		

卒 業 要 件	理工学基礎科目	30単位	専門科目	60単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと		以下を含むこと		以下を含むこと	
	○ 必修科目	13単位	○ 必修科目	32単位	※DS	1単位
	△1 選択必修科目	4単位	△1 選択必修科目	10単位		
	△2 選択必修科目	2単位	△2 選択必修科目	2単位		

1-1⑤ 理工学部 医用工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
理工学基礎科目	微分積分学(1a)	○	1	1*	(1)										※MS
	微分積分学(1b)	○	1	1*	(1)										*週時間数2とする場合がある。 ※MS
	微分積分学(2a)	○	1		1	(1)									※MS
	微分積分学(2b)	○	1		1	(1)									※MS
	線形代数学(1a)	○	1	1	(1)										※MS
	線形代数学(1b)	○	1	1	(1)										※MS
	線形代数学(2a)	○	1		1	(1)									※MS
	線形代数学(2b)	○	1		1	(1)									※MS
	微分方程式論		2			2									
	ベクトル解析学		2			2									
	フーリエ解析学		2				2								
	数理統計学(a)		1			1									※MS
	数理統計学(b)		1			1									※MS
	代数学		2			2									
	物理学及び演習(1)	△	3		4	(4)									
	物理学及び演習(2)	△	3		4	(4)									
	物理学(3)		2		2										
	物理学(4)		2		2										
	電磁気学基礎		2		2										
	上級力学		2		2										
	物理学実験(a)	△	1	2	(2)										
	物理学実験(b)	△	1	2	(2)										
	化学(1)	△	2		2										
	化学(2)	△	2		2										
	化学実験		2	(4)	4										
	生物学(1)	△	2			2									
	生物学(2)	△	2				2								
	生物学実験(a)		1			2	(2)								
生物学実験(b)		1			2	(2)									
地学(1)		2			2										
地学(2)		2				2									
地学実験(a)		1			2	(2)									
地学実験(b)		1			2	(2)									
情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1											
	情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1											
	コンピュータ概論(a)		1		1										
	コンピュータ概論(b)		1		1										
	プログラミング基礎(a)	○	1		1										
	プログラミング基礎(b)	○	1		1										
数値解析		2				2									
理工学教養系	技術者倫理	○	2					2							
	インターンシップ(1)		1												
	インターンシップ(2)		1												
	海外体験実習(1)		2												
	海外体験実習(2)		2												
	金属加工(製図・実習含)		2				2								
電気工学概論(実習含)		2				2									

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
専 門 科 目	理工学と生活		2		2										
	工業概論		2		2										
	原子力汎論		2		2										
	量子力学入門		2			2									
	相対論入門		2			2									
	論理的な問題解決の進め方		2						2						
	学 部 共 通	電気電子通信計測応用		2					2						
		電気化学(a)		1			1								
		電気化学(b)		1			1								
		Direct Current Electrical Circuit Analysis		2		2									
	医 学 系	生理学(1)	○	2			2								
		生理学(2)	△	2			2								
		解剖・外科学	○	2			2								
		解剖・生理学	△	2					2						
		内科・診断学	△	2					2						
		生化学		2					2						
		臨床医学総論		2						2					
		公衆衛生学		2						2					
	基礎医学総論		2						2						
	医 用 工 学 系	医用工学リテラシー	○	2	2										
		福祉ロボット工学及び実習(a)	○	1.5			2								
		福祉ロボット工学及び実習(b)	○	1.5			2								
		生理学及び実習(a)	○	1.5					2						
		生理学及び実習(b)	○	1.5					2						
		医用機械工学応用(1)	△	2					2						
		医用機械工学応用(2)		2					2						
		臨床機器学及び実習(a)	○	1.5					2						
		臨床機器学及び実習(b)	○	1.5					2						
		医用計測工学	△	2				2							
		医用機器	△	2					2						
		医用安全工学	△	2					2						
		総合実習(a)	○	1						2					
		総合実習(b)	○	1						2					
	音響工学		2						2						
	機 械 系	医用機械工学実習(1a)	○	1	2	(2)									
		医用機械工学実習(1b)	○	1	2	(2)									
		医用機械工学実習(2a)	○	1	(2)	2									
		医用機械工学実習(2b)	○	1	(2)	2									
		医用機械工学基礎(1)	△	2					2						
		医用機械工学基礎(2)	△	2					2						
電 気 ・ 電 子 ・ 情 報 系	医用電磁気学及び演習(a)	○	1.5			2									
	医用電磁気学及び演習(b)	○	1.5			2									
	医用電気回路	○	2			2									
	医用電子回路	○	2			2									
	プログラミング応用	△	2					2							
	デジタル信号処理		2					2							
	デジタル回路	△	2					2							
	計測工学	△	2					2							
学 科 共 通	特別講義(BME-1)		2												
	特別講義(BME-2)		2												
	特別講義(BME-3)		2												
関 連 業 科 研 究	事例研究(1)	○	2					2	(2)						
	事例研究(2)	○	2					(2)	2						
	卒業研究(1)	○	3						(6)	6					
	卒業研究(2)	○	3							(6)	6				

卒 業 要 件	理工学基礎科目	30単位	専門科目	60単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと		以下を含むこと		以下を含むこと	
	○ 必修科目	13単位	○ 必修科目	38単位	※DS	1単位
	△ 選択必修科目	8単位	△ 選択必修科目	14単位		

1-1⑥ 理工学部 応用化学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
理工学基礎科目	微分積分学(1a)	○	1	1*	(1)										※MS
	微分積分学(1b)	○	1	1*	(1)										*週時間数2とする場合がある。 ※MS
	微分積分学(2a)	○	1		1	(1)									※MS
	微分積分学(2b)	○	1		1	(1)									※MS
	線形代数学(1a)	○	1	1	(1)										※MS
	線形代数学(1b)	○	1	1	(1)										※MS
	線形代数学(2a)	○	1		1	(1)									※MS
	線形代数学(2b)	○	1		1	(1)									※MS
	微分方程式論	△1	2			2									
	ベクトル解析学	△1	2			2									
	フーリエ解析学	△1	2				2								
	数理統計学(a)	△1	1			1									※MS
	数理統計学(b)	△1	1			1									※MS
	代数学		2			2									
	物理学及び演習(1)	△2	3			4	(4)								
	物理学及び演習(2)	△2	3			4	(4)								
	物理学(3)	△2	2			2									
	物理学(4)	△2	2			2									
	電磁気学基礎	△2	2			2									
	上級力学	△2	2			2									
	物理学実験(a)	○	1	2	(2)										
	物理学実験(b)	○	1	2	(2)										
	化学(1)	○	2		2										
	化学(2)	○	2		2										
	化学実験	○	2	(4)	4										
	生物学(1)		2			2									
	生物学(2)		2				2								
	生物学実験(a)		1			2	(2)								
	生物学実験(b)		1			2	(2)								
	地学(1)		2			2									
地学(2)		2				2									
地学実験(a)		1			2	(2)									
地学実験(b)		1			2	(2)									
情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1											
	情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1											
	コンピュータ概論(a)		1		1										
	コンピュータ概論(b)		1		1										
	プログラミング基礎(a)		1		1										
	プログラミング基礎(b)		1		1										
数値解析		2				2									
理工学教養系	技術者倫理	○	2				2								
	インターンシップ(1)		1												
	インターンシップ(2)		1												
	海外体験実習(1)		2												
	海外体験実習(2)		2												
	金属加工(製図・実習含)		2				2								
電気工学概論(実習含)		2				2									

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考				
				1年		2年		3年		4年						
				前	後	前	後	前	後	前	後					
専 門 教 養	理工学と生活		2		2											
	工業概論		2		2											
	原子力汎論		2		2											
	量子力学入門		2				2									
	相対論入門		2				2									
	論理的な問題解決の進め方		2							2						
	学 部 共 通	電気電子通信計測応用		2					2							
		電気化学(a)		1			1									
		電気化学(b)		1			1									
		Direct Current Electrical Circuit Analysis		2		2										
	学 科 共 通	応用化学総合演習(a)	○	0.5		1										
		応用化学総合演習(b)	○	0.5		1										
		物理化学演習(a)	○	0.5			1									
		物理化学演習(b)	○	0.5			1									
		量子化学	○	2			2									
		化学熱力学(1)	○	2			2									
		化学熱力学(2a)		1				1								
		化学熱力学(2b)		1				1								
		物理化学(1)	○	2				2								
		物理化学(2)	○	2				2								
		物理化学(3)		2					2							
		分析化学(1)		2				2								
		有機化学(1a)	○	1			1									
		有機化学(1b)	○	1			1									
		有機化学(2)		2				2								
		無機化学(a)	○	1			1									
		無機化学(b)	○	1			1									
		グリーンケミストリー(a)		1			1									
		グリーンケミストリー(b)		1			1									
	分子構造論	○	2			2										
	特別講義(1)		2													
	特別講義(2)		2													
	特別講義(3)		2													
	実 験 ・ 実 習 系	応用化学実験基礎(1a)	○	1			2									
		応用化学実験基礎(1b)	○	1			2									
		応用化学実験基礎(2a)	○	1				2								
		応用化学実験基礎(2b)	○	1				2								
		応用化学実験発展(a)	○	1					2							
		応用化学実験発展(b)	○	1					2							
	有 機 ・ 生 物 化 学	高分子化学		2					2							
		生物化学		2					2							
		バイオプロセス化学		2						2						
		有機材料化学		2							2					
		構造化学		2							2					
	物 理 化 学 工 学 ・ 化 学 工 学	界面化学		2					2							
光機能性化学			2					2								
応用電気化学			2					2								
化学工学			2					2								
反応工学			2						2							
エネルギー変換工学			2							2						
無 機 ・ 分 析 化 学	固体化学		2				2									
	無機物質化学(a)		1					1								
	無機物質化学(b)		1					1								
	固体物性(a)		1					1								
	固体物性(b)		1					1								
	無機材料化学		2						2							
	分析化学(2a)		1						1							
分析化学(2b)		1							1							
関 卒 進 業 科 研 目 究	事例研究	○	2					(4)	4							
	卒業研究(1)	○	3						(6)	6						
	卒業研究(2)	○	3							(6)	6					

卒 業 要 件	理工学基礎科目	30単位	専門科目	60単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと		以下を含むこと		以下を含むこと	
	○ 必修科目	19単位	○ 必修科目	30単位	※DS	1単位
	△1 選択必修科目	2単位				
	△2 選択必修科目	4単位				

1-1⑦ 理工学部 原子力安全工学科 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
数学系	微分積分学(1a)	○	1	1*	(1)										※MS
	微分積分学(1b)	○	1	1*	(1)										*週時間数2とする場合がある。 ※MS
	微分積分学(2a)	○	1		1	(1)									※MS
	微分積分学(2b)	○	1		1	(1)									※MS
	線形代数学(1a)	○	1	1	(1)										※MS
	線形代数学(1b)	○	1	1	(1)										※MS
	線形代数学(2a)	○	1		1	(1)									※MS
	線形代数学(2b)	○	1		1	(1)									※MS
	微分方程式論	△1	2			2									
	ベクトル解析学	△1	2			2									
	フーリエ解析学	△1	2				2								
	数理統計学(a)	△1	1			1									※MS
	数理統計学(b)	△1	1			1									※MS
	代数学		2			2									
自然科学系	物理学及び演習(1)	○	3		4	(4)									
	物理学及び演習(2)	○	3		4	(4)									
	物理学(3)		2		2										
	物理学(4)		2		2										
	電磁気学基礎		2		2										
	上級力学		2		2										
	物理学実験(a)	△2	1	2	(2)										
	物理学実験(b)	△2	1	2	(2)										
	化学(1)	○	2	2											
	化学(2)		2		2										
	化学実験	△2	2	(4)	4										
	生物学(1)		2			2									
	生物学(2)		2				2								
	生物学実験(a)		1			2	(2)								
生物学実験(b)		1			2	(2)									
地学(1)		2			2										
地学(2)		2				2									
地学実験(a)		1			2	(2)									
地学実験(b)		1			2	(2)									
情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1											
	情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1											
	コンピュータ概論(a)		1		1										
	コンピュータ概論(b)		1		1										
	プログラミング基礎(a)		1		1										
	プログラミング基礎(b)		1		1										
数値解析		2				2									
理工学教養系	技術者倫理	○	2				2								
	インターンシップ(1)		1												
	インターンシップ(2)		1												
	海外体験実習(1)		2												
	海外体験実習(2)		2												
	金属加工(製図・実習含)		2				2								
電気工学概論(実習含)		2				2									

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
専 門 教 養	理工学と生活		2		2										
	工業概論		2		2										
	原子力汎論	○	2		2										
	量子力学入門		2				2								
	相対論入門		2				2								
	論理的な問題解決の進め方		2							2					
	学 部 共 通	電気電子通信計測応用		2						2					
		電気化学(a)		1				1							
		電気化学(b)		1				1							
		Direct Current Electrical Circuit Analysis		2		2									
	学 科 共 通	放射線概論	○	2	2										
		原子力構造工学基礎	○	2	2										
		基礎設計製図(a)		1	2	(2)									
		基礎設計製図(b)		1	2	(2)									
		放射線・電気工学基礎	△1	2				2							
		地球環境科学		2				2							
		原子力機械工学基礎	△1	2				2							
		核反応工学基礎	△1	2				2							
		原子力技術法規		2				2							
		プログラミング応用		2				2							
		デジタル信号処理		2				2							
		核燃料・放射化学基礎	△1	2				2							
		原子力安全工学基礎	△1	2				2							
		信号処理と数値計算		2							2				
		都市防災論		2				2							
		耐震工学		2							2				
	特別講義(1)		2												
	特別講義(2)		2												
	特別講義(3)		2												
	実 験 実 習 科 目	機械工作実習(a)	○	1	(2)	2									
		機械工作実習(b)	○	1	(2)	2									
		原子力設計製図(a)		0.5				1							
		原子力設計製図(b)		0.5				1							
		電気機械・放射線実験(1a)	○	1				2							
		電気機械・放射線実験(1b)	○	1				2							
		電気機械・放射線実験(2a)	○	1				2							
		電気機械・放射線実験(2b)	○	1				2							
		原子力実験実習(a)	○	1							2				
		原子力実験実習(b)	○	1							2				
	原 子 炉 工 学	原子炉物理学	△2	2						2					
原子炉設計工学			2							2					
核 燃 料 利 用 工 学	核燃料材料・サイクル化学工学	△2	2						2						
	バックエンド工学		2							2					
原 子 力 構 造 設 計 工 学	原子力耐震工学	△2	2						2						
	原子力メンテナンス工学		2							2					
原 子 力 安 全 工 学	原子炉熱流動・リスク工学	△2	2						2						
	原子力安全工学		2							2					
放 射 線 工 学	放射線計測工学	△2	2						2						
	放射線利用工学		2							2					
関 連 卒 業 科 目 究	事例研究	○	2						(2)	2					
	卒業研究(1)	○	3							(6)	6				
	卒業研究(2)	○	3								(6)	6			

卒 業 要 件	理工学基礎科目	30単位	専門科目	60単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと		以下を含むこと		以下を含むこと	
	○ 必修科目	19単位	○ 必修科目	22単位	※DS	1単位
	△1 選択必修科目	2単位	△1 選択必修科目	8単位		
	△2 選択必修科目	2単位	△2 選択必修科目	4単位		

1-1⑧ 理工学部 自然科学科 自然コース 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目 ◇博物館に関する科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考				
				1年		2年		3年		4年						
				前	後	前	後	前	後	前	後					
理工学基礎科目	数学系	微分積分学(1a)	○	1	1*	(1)									※MS	
		微分積分学(1b)	○	1	1*	(1)									*週時間数2とする場合がある。 ※MS	
		微分積分学(2a)		1		1	(1)								※MS	
		微分積分学(2b)		1		1	(1)								※MS	
		線形代数学(1a)	○	1	1	(1)									※MS	
		線形代数学(1b)	○	1	1	(1)									※MS	
		線形代数学(2a)		1		1	(1)								※MS	
		線形代数学(2b)		1		1	(1)								※MS	
		微分方程式論		2			2									
		ベクトル解析学		2			2									
フーリエ解析学		2				2										
数理統計学(a)		1			1									※MS		
数理統計学(b)		1			1									※MS		
理工学基礎科目	自然科学系	物理学及び演習(1)		3		4	(4)									
		物理学及び演習(2)		3		4	(4)									
		物理学(3)		2		2										
		物理学(4)		2		2										
		電磁気学基礎		2		2										
		上級力学		2		2										
		物理学実験(a)	○	1	2	(2)										
		物理学実験(b)	○	1	2	(2)										
		化学(1)	△	2	2											
		化学(2)	△	2	2											
		化学実験	○	2	(4)	4										
		生物学(1)	△	2	2											
		生物学(2)	△	2	2											
		生物学実験(a)	○	1	2	(2)										
		生物学実験(b)	○	1	2	(2)										
		地学(1)	△	2	2											
		地学(2)	△	2	2											
地学実験(a)	○	1	2	(2)												
地学実験(b)	○	1	2	(2)												
理工学基礎科目	情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1											
		情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1											
		コンピュータ概論(a)		1		1										
		コンピュータ概論(b)		1		1										
		プログラミング基礎(a)		1		1										
		プログラミング基礎(b)		1		1										
数値解析		2				2										
理工学基礎科目	理工学教養系	技術者倫理	○	2			2									
		インターンシップ(1)		1												
		インターンシップ(2)		1												
		海外体験実習(1)		2												
		海外体験実習(2)		2												
		金属加工(製図・実習含)		2			2									
		電気工学概論(実習含)		2			2									
専門科目	専門教養	理工学と生活		2		2										
		工業概論		2		2										
		原子力汎論		2		2										
		量子力学入門		2			2									
		相対論入門	△	2			2									
		論理的な問題解決の進め方		2					2							
	学部共通	電気電子通信計測応用	電気電子通信計測応用		2				2							
			電気化学(a)		1			1								
			電気化学(b)		1			1								
			Direct Current Electrical Circuit Analysis		2		2									

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
学 科 共 通	自然科学科実験及び演習	○	2			4								
	野外調査法及び実習(1)	○	3				4							
	野外調査法及び実習(2)		3					4						
	自然と数理	○	2				2							
	現代科学論	○	2				2							
	生涯学習概論		2			2								◇
	博物館教育論		2			2								◇
	博物館学(1)	○	2			2								◇
	博物館学(2)		2			2								◇
	博物館学(3)		2				2							◇
	映像表現論	○	2			2								◇
	博物館資料保存論		2					2						◇
	博物館展示論		2				2							◇
	博物館学実習(1)		1				2							◇
	博物館学実習(2)		2						4					◇
特別講義(NS-1)		2												
特別講義(NS-2)		2												
特別講義(NS-3)		2												
自 然	力学	○	2	2										
	力学演習		1	2										
	波動・熱力学	△	2		2									
	電磁気学	△	2		2									
	分子構造論	○	2		2									
	生命の化学	○	2			2								
	分子物性論	○	2			2								
	分子の運動	△	2				2							
	進化論	○	2		2									
	動物学	△	2			2								
	植物学	△	2			2								
	生命と物質	○	2				2							
	微生物学	△	2					2						
	地球変動論	○	2		2									
	プレート・テクトニクス	△	2		2									
宇宙科学	○	2			2									
惑星科学	△	2					2							
古生物学	△	2					2							
地理学	△	2					2							
数 理	数学演習(1a)		0.5	1										
	数学演習(1b)		0.5	1										
	数学演習(2a)		0.5		1									
	数学演習(2b)		0.5		1									
	基礎論理回路		2			2								
	離散数学		2		2									
	集合と論理		2			2								
	極限と位相		2				2							
	基礎確率統計		2	2										
	関数論		2			2								
	代数学(1)		2			2								
	代数学(2)		2				2							
	代数学(3)		2				2							
	幾何学(1)		2			2								
	幾何学(2)		2				2							
幾何学(3)		2				2								
ルベーグ積分論		2					2							
関数解析学		2						2						
現代代数学		2						2						
計算物理学		2							2					
関 卒 連 業 科 目 研 究	事例研究(1)	○	4					4	(4)					
	事例研究(2)	○	2					(2)	2					
	卒業研究(1)	○	3						(6)					
	卒業研究(2)	○	3							(6)	6			

卒業要件	理工学基礎科目	30単位	専門科目	60単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと ○ 必修科目 △ 選択必修科目	15単位 6単位	以下を含むこと ○ 必修科目 △ 選択必修科目	41単位 14単位	以下を含むこと ※DS	1単位

1-1⑨ 理工学部 自然科学科 数理コース 理工学基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目 ◇博物館に関する科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考				
				1年		2年		3年		4年						
				前	後	前	後	前	後	前	後					
数学系	微分積分学(1a)	○	1	1*	(1)										※MS	
	微分積分学(1b)	○	1	1*	(1)										*週時間数2とする場合がある。 ※MS	
	微分積分学(2a)	○	1		1	(1)									※MS	
	微分積分学(2b)	○	1		1	(1)									※MS	
	線形代数学(1a)	○	1	1	(1)										※MS	
	線形代数学(1b)	○	1	1	(1)										※MS	
	線形代数学(2a)	○	1		1	(1)									※MS	
	線形代数学(2b)	○	1		1	(1)									※MS	
	微分方程式論	○	2			2										
	ベクトル解析学	○	2			2										
フーリエ解析学	○	2				2										
数理統計学(a)		1			1										※MS	
数理統計学(b)		1			1										※MS	
自然科学系	物理学及び演習(1)		3		4	(4)										
	物理学及び演習(2)		3		4	(4)										
	物理学(3)		2		2											
	物理学(4)		2		2											
	電磁気学基礎		2		2											
	上級力学		2		2											
	物理学実験(a)	△	1	2	(2)											
	物理学実験(b)	△	1	2	(2)											
	化学(1)		2	2												
	化学(2)		2	2												
	化学実験	△	2	(4)	4											
	生物学(1)		2	2												
	生物学(2)		2	2												
	生物学実験(a)	△	1	2	(2)											
	生物学実験(b)	△	1	2	(2)											
	地学(1)		2	2												
地学(2)		2	2													
地学実験(a)	△	1	2	(2)												
地学実験(b)	△	1	2	(2)												
情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1												
	情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1												
	コンピュータ概論(a)		1		1											
	コンピュータ概論(b)		1		1											
	プログラミング基礎(a)		1		1											
	プログラミング基礎(b)		1		1											
数値解析		2				2										
理工学教養系	技術者倫理	○	2			2										
	インターンシップ(1)		1													
	インターンシップ(2)		1													
	海外体験実習(1)		2													
	海外体験実習(2)		2													
	金属加工(製図・実習含)		2				2									
電気工学概論(実習含)		2				2										
専門科目	理工学と生活		2		2											
	工業概論		2		2											
	原子力汎論		2		2											
	量子力学入門		2				2									
	相対論入門		2				2									
	論理的な問題解決の進め方		2						2							
	電気電子通信計測応用		2						2							
	電気化学(a)		1				1									
	電気化学(b)		1				1									
	Direct Current Electrical Circuit Analysis		2		2											

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
学 科 共 通	自然科学科実験及び演習	○	2			4								
	野外調査法及び実習(1)		3				4							
	野外調査法及び実習(2)		3					4						
	自然と数理	○	2				2							
	現代科学論	○	2				2							
	生涯学習概論		2			2								◇
	博物館教育論		2			2								◇
	博物館学(1)		2			2								◇
	博物館学(2)		2			2								◇
	博物館学(3)		2					2						◇
	映像表現論		2			2								◇
	博物館資料保存論		2						2					◇
	博物館展示論		2					2						◇
	博物館学実習(1)		1					2						◇
	博物館学実習(2)		2							4				◇
特別講義 (NS-1)		2												
特別講義 (NS-2)		2												
特別講義 (NS-3)		2												
自 然	力学		2	2										
	力学演習		1	2										
	波動・熱力学		2		2									
	電磁気学		2			2								
	分子構造論		2			2								
	生命の化学		2				2							
	分子物性論		2				2							
	分子の運動		2					2						
	進化論		2			2								
	動物学		2				2							
	植物学		2				2							
	生命と物質		2					2						
	微生物学		2						2					
	地球変動論		2			2								
	プレート・テクトニクス		2			2								
数 理	数学演習(1a)	△	0.5	1										
	数学演習(1b)	△	0.5	1										
	数学演習(2a)	△	0.5		1									
	数学演習(2b)	△	0.5		1									
	基礎論理回路	△	2			2								
	離散数学	△	2			2								
	集合と論理	○	2			2								
	極限と位相	△	2					2						
	基礎確率統計	△	2	2										
	関数論	○	2				2							
	代数学(1)	○	2			2								
	代数学(2)	△	2				2							
	代数学(3)	△	2				2							
	幾何学(1)	○	2				2							
	幾何学(2)	△	2				2							
幾何学(3)	△	2				2								
ルベーグ積分論	△	2						2						
関数解析学	○	2						2						
現代代数学	○	2						2						
計算物理学	○	2							2					
関 卒 連 業 科 目 研 究	事例研究(1)	○	4					4	(4)					
	事例研究(2)	○	2					(2)	2					
	卒業研究(1)	○	3							(6)				
	卒業研究(2)	○	3								(6)	6		

卒業要件	理工学基礎科目	30単位	専門科目	60単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと ○ 必修科目	17単位	以下を含むこと ○ 必修科目	32単位	※DS	1単位
	△ 選択必修科目	2単位	△ 選択必修科目	14単位		

1-2① 建築都市デザイン学部 建築学科 学部基盤科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考				
				1年		2年		3年		4年						
				前	後	前	後	前	後	前	後					
学部基盤科目	微分積分学(1a)	○	1	1*	(1)										※MS	
	微分積分学(1b)	○	1	1*	(1)										*週時間数2とする場合がある。※MS	
	微分積分学(2a)		1		1	(1)									※MS	
	微分積分学(2b)		1		1	(1)									※MS	
	線形代数学(1a)	○	1	1	(1)										※MS	
	線形代数学(1b)	○	1	1	(1)										※MS	
	線形代数学(2a)		1		1	(1)									※MS	
	線形代数学(2b)		1		1	(1)									※MS	
	微分方程式論	△	2			2										
	ベクトル解析学	△	2				2									
	フーリエ解析学	△	2				2									
	数理統計学	△	2			2									※MS	
	物理学及び演習(1)	○	3		4	(4)										
	物理学及び演習(2)	○	3		4	(4)										
	物理学(3)		2			2										
	物理学(4)		2			2										
	電磁気学基礎		2			2										
	物理学実験(a)	○	1	2	(2)											
	物理学実験(b)	○	1	2	(2)											
	化学(1)		2	2												
	化学(2)		2		2											
	化学実験		2	(4)	4											
	生物学		2			2										
	地学		2			2										
	情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1											
		情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1											
		プログラミング基礎(a)		1		1										
		プログラミング基礎(b)		1		1										
数値解析			2			2										
総合系	技術者倫理	○	2					2								
	インターンシップ(1)		1													
	インターンシップ(2)		1													
	海外体験実習(1)		2													
	海外体験実習(2)		2													
専門科目	専門教養		2		2											
	学部共通	都市計画(1)		2			2									
		都市計画(2)	△1	2				2								
		都市デザイン	△4	2					2							
		ランドスケープデザイン	△4	1					1							
		インフラデザイン		2							2					
		都市防災論		2			2									
		都市交通計画		2					2							
	都市・地域分析		2						2							
	学科共通	建築CAD演習(1)	△4	1					2							
		建築CAD演習(2)	△4	1					2							
		建築製図演習(1)	△4	1					2							
		建築製図演習(2)	△4	1					2							
		建築実験	△4	2					4							
		キャリア開発	○	1			2									
		特別講義(1)		2												
		特別講義(2)		2												
	特別講義(3)		2													
	建築基礎	図学	○	1	2											
		設計基礎(1)	○	1	2											
		設計基礎(2)	○	1.5		3										
		設計基礎(3)	○	1.5		3										
		設計(1)	○	2			4									
		設計(2)	○	2			4									
		設計(3)	○	2			4									
	設計(4)	○	2			4										

区分科目群	授業科目	必選の別	単位の別	週時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
専門科目	建築基礎	建築計画(1)	○	2			2							
		建築材料(1)	○	2			2							
		建築構法(1)	○	2			2							
		建築構造力学基礎(1)	○	1	1									
		建築構造力学基礎(2)	○	1	1									
		建築構造力学基礎(3)	○	1		1								
		建築構造力学基礎(4)	○	1		1								
		建築環境工学(1)	○	2			2							
		建築設備学基礎(1)	○	1			1							
		建築設備学基礎(2)	○	1			1							
		建築総合演習	○	1						2				
	建築計画・設計	建築計画(2)	△1	2				2						
		西洋建築史	△1	2			2							
		日本建築史	△1	2			2							
		建築意匠論	△1	2						2				
		設計(5)	△4	2					4					
		設計(6)	△4	2					4					
		設計スタジオ(1)	△4	2						4				
		設計スタジオ(2)	△4	2						4				
		設計スタジオ(3)	△4	2							4			
		設計スタジオ(4)	△4	2								4		
	空間デザイン演習	△4	1.5					2						
	建築工学	建築生産	△3	2					2					
		建築施工法	△3	2						2				
		建築材料(2)	△4	2					2					
		建築防災計画	△4	2						2				
		建築構法(2)	△2	1				1						
		木質構造	△2	1				1						
		建築構造力学(1)	△4	1			1							
		建築構造力学(2)	△4	1			1							
		建築構造力学(3)	△4	1				1						
		建築構造力学(4)	△4	1				1						
		建築構造力学(5)	△4	1					1					
		建築構造力学(6)	△4	1					1					
		鉄筋コンクリート構造	△2	2				2						
		鉄骨構造	△2	2					2					
建築構造計画		△2	2				2							
地盤と基礎		△4	2					2						
耐震・耐風構造		△4	2						2					
建築構造設計		△2	2							2				
建築環境工学(2)		△4	2				2							
建築環境工学(3)		△4	2					2						
建築設備学	△4	2					2							
建築設備学応用	△4	2						2						
建築音響学	△4	1					1							
建築工学モデリング(1)	△4	1					1							
建築工学モデリング(2)	△4	1					1							
関連卒業科目	事例研究	○	2					(2)	2					
	卒業研究(1)	○	3						(6)	6				
	卒業研究(2)	○	3							(6)	6			

卒業要件	学部基礎科目	30単位	専門科目	68単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと ○ 必修科目 15単位 △ 選択必修科目 2単位		以下を含むこと ○ 必修科目 37単位 △ 選択必修科目 ※△1～4の合計で31単位 内訳 △1 選択必修科目 6単位 △2 選択必修科目 2単位 △3 選択必修科目 2単位 △4 選択必修科目 ※		以下を含むこと ※DS	1単位

1-2② 建築都市デザイン学部 都市工学科 学部基盤科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
数学系	微積分分学(1a)	○	1	1*	(1)								※MS	
	微積分分学(1b)	○	1	1*	(1)								*週時間数2とする場合がある。※MS	
	微積分分学(2a)		1		1	(1)							※MS	
	微積分分学(2b)		1		1	(1)							※MS	
	線形代数学(1a)	○	1	1	(1)								※MS	
	線形代数学(1b)	○	1	1	(1)								※MS	
	線形代数学(2a)		1		1	(1)							※MS	
	線形代数学(2b)		1		1	(1)							※MS	
	微分方程式論	△	2			2								
	ベクトル解析学	△	2				2							
	フーリエ解析学	△	2				2							
	数理統計学	△	2				2						※MS	
自然科学系	物理学及び演習(1)	○	3		4	(4)								
	物理学及び演習(2)	○	3		4	(4)								
	物理学(3)		2			2								
	物理学(4)		2			2								
	電磁気学基礎		2			2								
	物理学実験(a)	○	1	2	(2)									
	物理学実験(b)	○	1	2	(2)									
	化学(1)		2	2										
	化学(2)		2		2									
	化学実験		2	(4)	4									
	生物学		2			2								
	地学		2			2								
情報系	情報リテラシー演習(a)	○	0.5	1										
	情報リテラシー演習(b)	○	0.5	1										
	プログラミング基礎(a)		1		1									
	プログラミング基礎(b)		1		1									
	数値解析		2			2								
総合系	技術者倫理	○	2					2						
	インターンシップ(1)		1											
	インターンシップ(2)		1											
	海外体験実習(1)		2											
	海外体験実習(2)		2											
専門科目	専門教養	都市のインフラストラクチャー	△4	2		2								
	学部共通	都市デザイン		2					2					
		ランドスケープデザイン		1					1					
		インフラデザイン		2						2				
		都市防災論		2			2							
		都市計画(1)	△2	2			2							
		都市計画(2)		2						2				
		都市交通計画	△2	2					2					
	都市・地域分析	△2	2						2					
	学科共通	都市工学概論	○	1	2									
		設計基礎	○	1	2									
		測量学	○	2			2							
		測量学実習	○	1			2							
		都市構造物設計	△1	2					2					
		都市工学設計製図	○	1					2					
都市工学実験演習(1)		○	1				2							
都市工学実験演習(2)		○	1				2							
総合演習ゼミナール		○	1					2						
キャリア開発		○	1				2							
特別講義(1)		2												
特別講義(2)		2												
特別講義(3)		2												

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
専門 科目	力学・ 材料	水理学及び演習(1)	○	3			4							
		水理学及び演習(2)	△1	3			4							
		構造力学及び演習(1)	○	3		4								
		構造力学及び演習(2)	○	3			4							
		構造力学及び演習(3)	△1	3			4							
		地盤工学及び演習(1)	△1	3			4							
		地盤工学及び演習(2)	△1	3				4						
		コンクリート工学及び演習	△1	3				4						
	鋼構造	△1	2					2						
	マシナリ	建設施工マネジメント	△2	2				2						
		インフラマネジメント	△2	2					2					
	都市 環境	水圏環境工学	△3	2					2					
		地圏環境工学	△3	2						2				
		上下水道工学	△3	2						2				
		水文河川工学	△3	2							2			
		海岸・港湾工学	△3	2					2					
	都市 防災	メンテナンス工学	△4	2					2					
		交通施設工学		2							2			
		エネルギー施設工学	△4	2						2				
		耐震工学	△4	2					2					
関連 卒業 科目 研究	事例研究	○	2					(2)	2					
	卒業研究(1)	○	3						(6)	6				
	卒業研究(2)	○	3							(6)	6			

卒業 要件	学部基盤科目	30単位	専門科目	60単位	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位
	以下を含むこと ○ 必修科目	15単位	以下を含むこと ○ 必修科目	27単位	以下を含むこと ※DS	1単位
	△ 選択必修科目	2単位	△1 選択必修科目	10単位	△3 選択必修科目	4単位
			△2 選択必修科目	4単位	△4 選択必修科目	4単位

1-3① 情報工学部 情報科学科 情報工学基盤科目・専門科目 教育課程表

①：一般コース ②：国際コース

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
数学系	数学演習(1a)			0.5	1										
	数学演習(1b)			0.5	1										
	数学演習(2a)			0.5		1									
	数学演習(2b)			0.5		1									
	微分積分学(1a)	○	○	1	1										※MS
	微分積分学(1b)	○	○	1	1										※MS
	微分積分学(2a)	○	○	1		1									※MS
	微分積分学(2b)	○	○	1		1									※MS
	線形代数学(1a)	○	○	1	1										※MS
	線形代数学(1b)	○	○	1	1										※MS
	線形代数学(2a)	○	○	1		1									※MS
	線形代数学(2b)	○	○	1		1									※MS
	基礎確率統計	○	○	2	2										※MS
	微分方程式論			2			2								
	ベクトル解析学			2			2								
	フーリエ解析学			2				2							
代数学			2			2									
自然科学系	物理学(1)	△1	○	2	2										
	物理学(1)演習			1	2										
	物理学(2)	△1	△1	2		2									
	物理学実験(a)	△2	△2	1	2	(2)									
	物理学実験(b)	△2	△2	1	2	(2)									
	化学(1)	△1	△1	2	2										
	化学(2)	△1	△1	2		2									
	化学実験	△2	△2	2	(4)	4									
	生物学(1)	△1	△1	2	2										
	生物学(2)	△1	△1	2		2									
	生物学実験(a)	△2	△2	1	2	(2)									
	生物学実験(b)	△2	△2	1	2	(2)									
	地学(1)			2	2										
	地学(2)			2		2									
地学実験(a)	△2	△2	1	2	(2)										
地学実験(b)	△2	△2	1	2	(2)										
情報基盤系	情報リテラシー	○	○	2	2										
	コンピュータ概論	○	○	2	2										
	数値解析	○	○	2		2									
	技術者倫理	○	○	1			1								
	情報社会と職業(a)			1				1							
	情報社会と職業(b)			1				1							
	情報と特許	○	○	2					2						
	キャリアデザイン	○	○	1			2								
	専門キャリアデザイン			1				2							
	インターンシップ(1)			1											
	インターンシップ(2)			1											
	インターンシップ(3)			1											
	インターンシップ(4)			1											
	海外体験実習(1)			1											
	海外体験実習(2)			1											
	海外体験実習(3)			1											
	海外体験実習(4)			1											
	特別講義(IT-1)			2											
特別講義(IT-2)			2												

①：一般コース ②：国際コース

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考													
		①	②		1年		2年		3年		4年															
					前	後	前	後	前	後	前	後														
学科 共通	プログラミング(1)	○	○	1	2																					
	プログラミング(2)	○	○	1	2																					
	プログラミング(3)	○	○	2			4																			
	プログラミング(4)	○	○	2			4																			
	基礎論理回路	○	○	2				2																		
	情報科学実験(a)	○	○	1.5					3																	
	情報科学実験(b)	○	○	1.5					3																	
	情報科学演習	○	○	3							6															
	離散数学	○	○	2			2																			
	コンピュータシステム	○	○	2				2																		
	オペレーティングシステム	○	○	2					2																	
	アルゴリズムとデータ構造	○	○	2					2																	
	ソフトウェア工学	○	○	2						2																
	デジタル信号処理	○	○	2						2																
	情報理論	○	○	2						2																
	情報セキュリティ			1										1												
	英語論文読解		○	2										2												
	特別講義 (CS-1)			2																						
	特別講義 (CS-2)			2																						
	特別講義 (CS-3)			2																						
	専門 科目	計算 機 工 学	ハードウェア記述言語			2				2																
			コンピュータアーキテクチャ			2					2															
			組込みシステム			2							2													
コンピュータネットワーク					2						2															
オブジェクト指向プログラミング(1)					1						2															
オブジェクト指向プログラミング(2)					1							2														
プログラミング言語処理					2								2													
並列分散処理					1										1											
メ デ ィ ア 工 学	画像処理			2						2																
	パターン認識	△	△	2					2															※DS		
	コンピュータグラフィックス			2								2														
	音声情報処理			2						2																
	インタラクティブ・メディア			2								2														
	自然言語処理			2									2													
データベースシステム			2						2																	
情 報 数 理	古典制御理論			2								2														
	システム解析			2						2																
	現代制御理論			2									2													
	人工知能	△	△	2									2											※DS		
	符号理論			2							2															
	計算論			2										2												
情報数学			2						2																	
卒業 研究 関連 科目	事例研究	○	○	2									(2)	2												
	卒業研究(1)	○	○	3											(6)	6										
	卒業研究(2)	○	○	3												(6)	6									

卒業 要件	情報工学基礎科目 30単位		専門科目 60単位		数理・テクノロジーイニシアティブプログラム 4単位 (※DS及び※MS)
	①：一般コース 以下を含むこと ○ 必修科目 20単位 △1 選択必修科目 4単位 △2 選択必修科目 2単位	②：国際コース 以下を含むこと ○ 必修科目 22単位 △1 選択必修科目 2単位 △2 選択必修科目 2単位	①：一般コース 以下を含むこと ○ 必修科目 36単位 △ 選択必修科目 2単位	②：国際コース 以下を含むこと ○ 必修科目 38単位 △ 選択必修科目 2単位	

1-3② 情報工学部 知能情報工学科 情報工学基盤科目・専門科目 教育課程表

①：一般コース ②：国際コース

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
数学系	数学演習(1a)			0.5	1										
	数学演習(1b)			0.5	1										
	数学演習(2a)			0.5		1									
	数学演習(2b)			0.5		1									
	微分積分学(1a)	○	○	1	1										※MS
	微分積分学(1b)	○	○	1	1										※MS
	微分積分学(2a)	○	○	1		1									※MS
	微分積分学(2b)	○	○	1		1									※MS
	線形代数学(1a)	○	○	1	1										※MS
	線形代数学(1b)	○	○	1	1										※MS
	線形代数学(2a)	○	○	1		1									※MS
	線形代数学(2b)	○	○	1		1									※MS
	基礎確率統計	○	○	2	2										※MS
	微分方程式論			2			2								
	ベクトル解析学			2			2								
フーリエ解析学			2				2								
代数学			2			2									
自然科学系	物理学(1)	△1	○	2	2										
	物理学(1)演習			1	2										
	物理学(2)	△1	△1	2		2									
	物理学実験(a)	△2	△2	1	2	(2)									
	物理学実験(b)	△2	△2	1	2	(2)									
	化学(1)	△1	△1	2	2										
	化学(2)	△1	△1	2		2									
	化学実験	△2	△2	2	(4)	4									
	生物学(1)	△1	△1	2	2										
	生物学(2)	△1	△1	2		2									
	生物学実験(a)	△2	△2	1	2	(2)									
	生物学実験(b)	△2	△2	1	2	(2)									
	地学(1)			2	2										
	地学(2)			2		2									
	地学実験(a)	△2	△2	1	2	(2)									
地学実験(b)	△2	△2	1	2	(2)										
情報基盤系	情報リテラシー	○	○	2	2										
	コンピュータ概論	○	○	2	2										
	数値解析			2		2									
	技術者倫理	○	○	1			1								
	情報社会と職業(a)			1				1							
	情報社会と職業(b)			1				1							
	情報と特許			2					2						
	キャリアデザイン			1			2								
	専門キャリアデザイン			1				2							
	インターンシップ(1)			1											
	インターンシップ(2)			1											
	インターンシップ(3)			1											
	インターンシップ(4)			1											
	海外体験実習(1)			1											
	海外体験実習(2)			1											
	海外体験実習(3)			1											
	海外体験実習(4)			1											
	特別講義(IT-1)			2											
特別講義(IT-2)			2												

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
学 科 共 通	知能情報工学概論	○	○	1		2									
	プログラミング	○	○	1	2										
	プログラミング演習	○	○	1	2										
	数理統計	○	○	1		2									※MS
	アルゴリズム設計	○	○	1		2									
	デジタル信号処理		○	2			2								
	情報理論		○	2			2								
	データサイエンス基礎			2			2								※DS
	オブジェクト指向プログラミング(a)	○	○	0.5			1								
	オブジェクト指向プログラミング(b)	○	○	0.5			1								
	オペレーションズリサーチ	○	○	1				2							
	シミュレーション基礎			2				2							
	データ解析演習	○	○	1				2							※DS
	プロジェクトマネジメント			1					2						
	データサイエンス応用			2					2						※DS
	実験デザイン			2						2					
	時系列解析			2						2					
	英語論文読解		○	2						2					
	特別講義 (IS-1)			2											
	特別講義 (IS-2)			2											
特別講義 (IS-3)			2												
専 門 科 目	シ 知的 テ 経営 メ 管理			2			2								
	経営情報システム			2			2								
	グローバル企業マネジメント			2					2						
	ビジネスモデル			2			2								
	ビジネスデータ分析演習			1						2					
デ 大 規 模 タ 模 解 析	大規模データ解析応用事例	○	○	2			2								※DS
	マーケティング・サイエンス			2			2								
	製品企画			2					2						
	クラウドコンピューティング			2			2								
	ビッグデータ・クラウド演習	○	○	1						2					※DS
人 工 知 能	知的情報処理	○	○	2			2								
	機械学習			2			2								※DS
	コンピュータビジョン			2				2							
	神経数理モデリング			2				2							
	生体信号処理			2					2						
シ 人 間 テ 情 報	人間工学	○	○	2			2								
	認知工学			2			2								
	ヒューマン・コンピュータ・インタラクション			2					2						
	人間情報システム演習	○	○	1					2						
IoT	コンピュータネットワーク	○	○	2			2								
	ネットワークアルゴリズム			2			2								
	ネットワークセキュリティと管理			2					2						
卒 業 研 究 関 連 科 目	事例研究	○	○	2					(2)	2					
	卒業研究(1)	○	○	3						(6)	6				
	卒業研究(2)	○	○	3							(6)	6			

卒業要件	情報工学基盤科目 30単位		専門科目 60単位				数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS) 4単位
	①:一般コース 以下を含むこと	②:国際コース 以下を含むこと	①:一般コース 以下を含むこと	②:国際コース 以下を含むこと	③:一般コース 以下を含むこと	④:国際コース 以下を含むこと	
○ 必修科目	15単位	○ 必修科目	17単位	○ 必修科目	26単位	○ 必修科目	32単位
△1 選択必修科目	4単位	△1 選択必修科目	2単位				
△2 選択必修科目	2単位	△2 選択必修科目	2単位				

1-4④ 環境学部 学部共通科目 基礎科目・PBL科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週 時 間 数								備 考	
				1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
基礎科目 外国語科目	Communication Skills(1)	○	1	2									
	Communication Skills(2)	○	1		2								
	Reading and Writing(1a)	○	0.5	1									
	Reading and Writing(1b)	○	0.5	1									
	Reading and Writing(2a)	○	0.5		1								
	Reading and Writing(2b)	○	0.5		1								
	Basic English Training(a)		1			1	(1)						
	Basic English Training(b)		1			1	(1)						
	Grammar(1a)		1			1	(1)						
	Grammar(1b)		1			1	(1)						
	Grammar(2a)		1			1	(1)						
	Grammar(2b)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(1a)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(1b)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(2a)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(2b)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(3a)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(3b)		1			1	(1)						
	Critical Reading(1a)		1			1	(1)						
	Critical Reading(1b)		1			1	(1)						
	Critical Reading(2a)		1			1	(1)						
	Critical Reading(2b)		1			1	(1)						
	Critical Reading(3a)		1			1	(1)						
	Critical Reading(3b)		1			1	(1)						
	Critical Listening(1a)		1			1	(1)						
	Critical Listening(1b)		1			1	(1)						
	Critical Listening(2a)		1			1	(1)						
	Critical Listening(2b)		1			1	(1)						
	Critical Listening(3a)		1			1	(1)						
	Critical Listening(3b)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(1a)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(1b)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(2a)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(2b)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(3a)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(3b)		1			1	(1)						
	Academic English(1a)		1			1	(1)						
	Academic English(1b)		1			1	(1)						
	Academic English(2a)		1			1	(1)						
	Academic English(2b)		1			1	(1)						
	Academic English(3a)		1			1	(1)						
	Academic English(3b)		1			1	(1)						
	Literature in English(1a)		1			1	(1)						
	Literature in English(1b)		1			1	(1)						
	Literature in English(2a)		1			1	(1)						
	Literature in English(2b)		1			1	(1)						
	Global Culture(1a)		1			1	(1)						
	Global Culture(1b)		1			1	(1)						
	Global Culture(2a)		1			1	(1)						
	Global Culture(2b)		1			1	(1)						
	Language Sciences(1a)		1			1	(1)						
	Language Sciences(1b)		1			1	(1)						
	Language Sciences(2a)		1			1	(1)						
	Language Sciences(2b)		1			1	(1)						
	Global Society(1a)		1			1	(1)						
	Global Society(1b)		1			1	(1)						
	Global Society(2a)		1			1	(1)						
	Global Society(2b)		1			1	(1)						
	共通	海外・特別選抜セミナー		2	2	(2)							
		外国語特別講義(a)		1			1	(1)					
		外国語特別講義(b)		1			1	(1)					
	英語以外の外国語科目	ドイツ語(1a)		1			1	(1)					
	ドイツ語(1b)		1			1	(1)						
	ドイツ語(2a)		1			1	(1)						
	ドイツ語(2b)		1			1	(1)						
	フランス語(1a)		1			1	(1)						
	フランス語(1b)		1			1	(1)						
	フランス語(2a)		1			1	(1)						
	フランス語(2b)		1			1	(1)						

区分	授業科目	必選の別	単位数	週 時 間 数								備考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
外国語科目	スペイン語(1a)		1			1	(1)							
	スペイン語(1b)		1			1	(1)							
	スペイン語(2a)		1			1	(1)							
	スペイン語(2b)		1			1	(1)							
	イタリア語(1a)		1			1	(1)							
	イタリア語(1b)		1			1	(1)							
	イタリア語(2a)		1			1	(1)							
	イタリア語(2b)		1			1	(1)							
	中国語(1a)		1			1	(1)							
	中国語(1b)		1			1	(1)							
	中国語(2a)		1			1	(1)							
	中国語(2b)		1			1	(1)							
	アラビア語(1a)		1			1	(1)							
	アラビア語(1b)		1			1	(1)							
	アラビア語(2a)		1			1	(1)							
	アラビア語(2b)		1			1	(1)							
	韓国語(1a)		1			1	(1)							
	韓国語(1b)		1			1	(1)							
	韓国語(2a)		1			1	(1)							
	韓国語(2b)		1			1	(1)							
日本語表現(a)		1			1	(1)								
日本語表現(b)		1			1	(1)								
体育科目	基礎体育(1a)	△	0.5	1										
	基礎体育(1b)	△	0.5	1										
	基礎体育(2a)	△	0.5		1									
	基礎体育(2b)	△	0.5		1									
	応用体育(1)		1			2	(2)						集中講義あり	
	応用体育(2)		1			2	(2)						集中講義あり	
基礎科目	人文学系	哲学(1)		2	2									
		哲学(2)		2		2								
		倫理学(1)		2	2									
		倫理学(2)		2		2								
		倫理学(a)		1		1								
		倫理学(b)		1		1								
		文化人類学		2		2								
		視覚芸術史(1)		2	2									
		視覚芸術史(2)		2		2								
		デザイン概論(1)		2			2							
		デザイン概論(2)		2				2						
		日本文学		2			2							
		日本史(1)		2	2									
		日本史(2)		2		2								
		西洋史(1)		2	2									
		西洋史(2)		2		2								
		民俗学(a)		1		1								
		民俗学(b)		1		1								
	宗教学		2	2										
	社会科学系	社会学(1a)		1	1									
		社会学(1b)		1	1									
		社会学(2a)		1		1								
		社会学(2b)		1		1								
		社会学入門(a)		1	1									
		社会学入門(b)		1	1									
		経済学(1a)		1	1									
		経済学(1b)		1	1									
		経済学(2a)		1		1								
		経済学(2b)		1		1								
		日本経済論(a)		1				1						
		日本経済論(b)		1				1						
		西洋経済史		2	(2)	2								
		政治学(1a)		1	1									
		政治学(1b)		1	1									
政治学(2a)			1		1									
政治学(2b)		1		1										
日本の政治(a)		1			1									
日本の政治(b)		1			1									
国際関係論(1a)		1	1											
国際関係論(1b)		1	1											
国際関係論(2a)		1		1										
国際関係論(2b)		1		1										

区分	授業科目	必修の別	単位数	週 時 間 数								備考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
基礎科目	社会科学系	日本国憲法		2	(2)	2								
		法学		2	2									
		民法		2		2								
		人文地理学(a)		1	1									
		人文地理学(b)		1	1									
			現代中国論		2		2							
	人間科学系	教育学(1a)		1	1									
		教育学(1b)		1	1									
		教育学(2a)		1		1								
		教育学(2b)		1		1								
		心理学(1a)		1	1									
		心理学(1b)		1	1									
		心理学(2a)		1		1								
		心理学(2b)		1		1								
		心理学入門		2	2									
		社会とジェンダー(a)		1		1								
		社会とジェンダー(b)		1		1								
		国際化と異文化理解(a)		1						1				
		国際化と異文化理解(b)		1						1				
		日本文化の伝承(a)		1		1								
		日本文化の伝承(b)		1		1								
	スポーツ・健康論		2	2	(2)									
	自然・情報科学系	データサイエンスリテラシー(1)		1	2	(2)								※DS
		データサイエンスリテラシー(2)		1	(2)	2								※DS
		論理学(1a)		1	1									
		論理学(1b)		1	1									
		論理学(2a)		1		1								
		論理学(2b)		1		1								
		現代の物理(a)		1	1									
		現代の物理(b)		1	1									
		現代の化学		2	2									
		現代の地学		2	2									
		情報社会入門		2	2									
		情報演習基礎(a)		1	1									
		情報演習基礎(b)		1	1									
		情報通信入門		2	2									
		科学技術と社会		2			2							
	生活とメディア		2			2								
	その他	ボランティア(1)		1	2									
		ボランティア(2)		1		2								
		教養ゼミナール(1)		2	2	(2)								
		教養ゼミナール(2)		2	2	(2)								
教養特別講義(1)			2	2	(2)									
教養特別講義(2)			2	2	(2)									
キャリアデザイン基礎			2		2									
海外フィールド演習			2		2									
特別講義(1)			2		2									
特別講義(2)			2			2								
インターンシップ(1)			1		2									
インターンシップ(2)			1			2								
PBL科目	SD PBL(1)	○	1	1										
	SD PBL(2)	○	2			2								
	SD PBL(3)	○	1					2						

卒業要件	基礎科目・外国語科目	8単位	右記を含むこと	○必修科目	4単位
	基礎科目・体育科目	1単位	右記を含むこと	△選択必修科目	1単位
	基礎科目・教養科目	10単位			
	PBL科目	4単位	右記を含むこと	○必修科目	4単位

1-4② 環境学部 環境創生学科 専門基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目

区分	授業科目	必 進 の 別	単 位 数	週 時 間 数								備 考	
				1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門基礎科目	環境マネジメントシステム		2	2									
	温暖化の科学		2	2									
	統計学基礎	○	2	2									※MS
	数学入門		2	2									※MS
	環境基礎		2	2									
	基礎生物学		2	2									
	ミクロ経済学		2		2								
	マネジメント入門		2		2								
	基礎プログラミング演習(a)		1		1								
	基礎プログラミング演習(b)		1		1								
	環境倫理		2		2								
	持続可能な消費		2		2								
	環境統計学		2		2								※MS
	グローバルC L I Lプログラム		3			4							
	公共経済学		2		2								
	情報セキュリティ		2		2								
	社会調査		2		2								
	画像処理技法		2		2								
	環境教育		2		2								
	エネルギーと社会		2		2								
	地理情報システム	○	2			2							
	食料問題と環境		2			2							
	環境アセスメント概論		2			2							
キャリアデザイン		2			2								
環境計量学		2			2								
NPOとソーシャルビジネス		2				2							
都市気候論		2				2							
環境情報可視化技法		2				2							
専門科目	都市環境学概論	○	2	2									
	環境地理		2	2									
	生物分類学		2	2									
	環境数理学入門	○	2		2								※MS
	生態学概論	○	2		2								
	図化表現技法		2		2								
	建築環境学	○	2	<2>		2							<TAP履修制限科目>
	ランドスケープ論	○	2			2							
	環境化学		2			2							
	測量学		2			2							
	環境法概論		2			2							
	測量学実習		2			2							
	図面・模型作成演習		2			2							
	環境都市計画学		2				2						
	生態環境実習		2				*2						2年集中実習
	CAD基礎演習		2				2						
	都市環境データ分析演習		2				2						※MS
	環境都市関連法(1)		2				2						
	環境都市関連法(2)		2					2					
	環境緑地学		2			2							
	環境分析演習		2			2							
	自然環境調査演習		2				2						
	自然復元論		2				2						
保全生物学		2				2							
物質循環学		2					2						
エコロジカル・プランニング		2						2					
建築気候学		2			2								
都市・居住環境論		2			2								
都市インフラストラクチャー		2				2							
適応的快適論		2				2							
環境モニタリング技術		2					2						
都市プランニング論		2					2						
地域環境再生論		2					2						
事例研究(1)	○	2						3	(3)				
事例研究(2)	○	2							3	(3)			
卒業研究(1)	○	3								6	(6)		
卒業研究(2)	○	3								(6)	6		

<TAP履修制限科目>=TAP参加者履修登録許可

卒業要件	専門基礎科目	30単位	右記を含むこと	○必修科目	4単位
	専門科目	60単位	右記を含むこと	○必修科目	20単位
	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位	右記を含むこと	※DS	1単位

1-4③ 環境学部 環境経営システム学科 専門基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目

区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週 時 間 数								備 考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
専門基礎科目	環境マネジメントシステム		2	2										
	環境基礎		2	2										
	マクロ経済学		2	2										
	数学入門		2	2									※MS	
	統計学基礎	○	2	2									※MS	
	環境倫理	○	2		2									
	ミクロ経済学		2		2									
	マネジメント入門	○	2		2									
	社会調査		2			2								
	公共経済学		2			2								
	グローバルC L I Lプログラム		3			4								
	NPOとソーシャルビジネス		2					2						
	基礎生物学		2	2										
	都市環境学概論		2	2										
	環境数理学入門		2		2								※MS	
	生態学概論		2		2									
	環境化学		2			2								
	画像処理技法		2			2								
	環境計量学		2				2							
	環境アセスメント概論		2				2							
	環境都市関連法 (1)		2				2							
	地理情報システム		2				2							
	環境都市関連法(2)		2					2						
	都市気候論		2					2						
	基礎プログラミング演習(a)		1		1									
基礎プログラミング演習(b)		1		1										
情報セキュリティ		2			2									
キャリアデザイン(a)		1				1								
キャリアデザイン(b)		1				1								
専門科目 (環境経営システム学入門)	環境経営システム学入門	○	2	2										
	温暖化の科学		2	2										
	持続可能な消費		2		2									
	アカウントシステム		2		2									
	環境統計学		2		2								※MS	
	エコマテリアル		2		2									
	財務会計		2			2								
	マネジメント数学		2			2							※MS	
	環境教育		2			2								
	エネルギーと社会		2			2								
	環境法概論		2			2								
	アルゴリズムとデータ構造		2			2							※DS	
	経営管理基礎		2			2								
	食料問題と環境		2				2							
	プロジェクトマネジメント		2				2							
	オペレーションズリサーチ		2				2							
	専門科目 (環境経営専門分野)	ライフサイクルアセスメント		2			2							
		持続可能なサプライチェーンマネジメント		2				2						
		エコデザイン		2				2						
		グリーン物流		2				2						
		環境マーケティング		2					2					
		CSRの理論と実践		2					2					
		企業経営とサステナビリティ		2					2					
		環境監査		2					2					
		ビジネスモデル		2					2					
専門科目 (環境政策専門分野)		環境社会学		2			2							
	開発協力と環境		2				2							
	環境経済学		2				2							
	環境ガバナンス論		2				2							
	国際経済と環境		2					2						
	合意形成論		2					2						
	国際環境法		2					2						
	土地利用と法		2					2						
卒業要件	事例研究(1)	○	2					3	(3)					
	事例研究(2)	○	2						3	(3)				
	卒業研究(1)	○	3							6	(6)			
	卒業研究(2)	○	3								6			

卒業要件	専門基礎科目	30単位	右記を含むこと	○必修科目	6単位
	専門科目	60単位	右記を含むこと	○必修科目	12単位
	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位	右記を含むこと	※DS	1単位

1-5① メディア情報学部 学部共通科目 基礎科目・PBL科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週 時 間 数								備 考	
				1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
基礎科目 外国語科目	Communication Skills(1)	○	1	2									
	Communication Skills(2)	○	1		2								
	Reading and Writing(1a)	○	0.5	1									
	Reading and Writing(1b)	○	0.5	1									
	Reading and Writing(2a)	○	0.5		1								
	Reading and Writing(2b)	○	0.5		1								
	Basic English Training(a)		1			1	(1)						
	Basic English Training(b)		1			1	(1)						
	Grammar(1a)		1			1	(1)						
	Grammar(1b)		1			1	(1)						
	Grammar(2a)		1			1	(1)						
	Grammar(2b)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(1a)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(1b)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(2a)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(2b)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(3a)		1			1	(1)						
	Test Taking Skills(3b)		1			1	(1)						
	Critical Reading(1a)		1			1	(1)						
	Critical Reading(1b)		1			1	(1)						
	Critical Reading(2a)		1			1	(1)						
	Critical Reading(2b)		1			1	(1)						
	Critical Reading(3a)		1			1	(1)						
	Critical Reading(3b)		1			1	(1)						
	Critical Listening(1a)		1			1	(1)						
	Critical Listening(1b)		1			1	(1)						
	Critical Listening(2a)		1			1	(1)						
	Critical Listening(2b)		1			1	(1)						
	Critical Listening(3a)		1			1	(1)						
	Critical Listening(3b)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(1a)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(1b)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(2a)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(2b)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(3a)		1			1	(1)						
	Communication Strategies(3b)		1			1	(1)						
	Academic English(1a)		1			1	(1)						
	Academic English(1b)		1			1	(1)						
	Academic English(2a)		1			1	(1)						
	Academic English(2b)		1			1	(1)						
	Academic English(3a)		1			1	(1)						
	Academic English(3b)		1			1	(1)						
	Literature in English(1a)		1			1	(1)						
	Literature in English(1b)		1			1	(1)						
	Literature in English(2a)		1			1	(1)						
	Literature in English(2b)		1			1	(1)						
	Global Culture(1a)		1			1	(1)						
	Global Culture(1b)		1			1	(1)						
	Global Culture(2a)		1			1	(1)						
	Global Culture(2b)		1			1	(1)						
	Language Sciences(1a)		1			1	(1)						
	Language Sciences(1b)		1			1	(1)						
	Language Sciences(2a)		1			1	(1)						
	Language Sciences(2b)		1			1	(1)						
	Global Society(1a)		1			1	(1)						
Global Society(1b)		1			1	(1)							
Global Society(2a)		1			1	(1)							
Global Society(2b)		1			1	(1)							
共通	海外・特別選抜セミナー		2	2	(2)								
	外国語特別講義(a)		1			1	(1)						
	外国語特別講義(b)		1			1	(1)						

区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週 時 間 数								備 考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
基礎科目	外国語科目 英語以外の外国語科目	ドイツ語(1a)	1			1	(1)							
		ドイツ語(1b)	1			1	(1)							
		ドイツ語(2a)	1			1	(1)							
		ドイツ語(2b)	1			1	(1)							
		フランス語(1a)	1			1	(1)							
		フランス語(1b)	1			1	(1)							
		フランス語(2a)	1			1	(1)							
		フランス語(2b)	1			1	(1)							
		スペイン語(1a)	1			1	(1)							
		スペイン語(1b)	1			1	(1)							
		スペイン語(2a)	1			1	(1)							
		スペイン語(2b)	1			1	(1)							
		イタリア語(1a)	1			1	(1)							
		イタリア語(1b)	1			1	(1)							
		イタリア語(2a)	1			1	(1)							
		イタリア語(2b)	1			1	(1)							
		中国語(1a)	1			1	(1)							
		中国語(1b)	1			1	(1)							
		中国語(2a)	1			1	(1)							
		中国語(2b)	1			1	(1)							
		アラビア語(1a)	1			1	(1)							
		アラビア語(1b)	1			1	(1)							
		アラビア語(2a)	1			1	(1)							
		アラビア語(2b)	1			1	(1)							
		韓国語(1a)	1			1	(1)							
		韓国語(1b)	1			1	(1)							
	韓国語(2a)	1			1	(1)								
	韓国語(2b)	1			1	(1)								
	日本語表現(a)	1			1	(1)								
	日本語表現(b)	1			1	(1)								
	基礎科目	体育科目	基礎体育(1a)	△	0.5	1								
			基礎体育(1b)	△	0.5	1								
			基礎体育(2a)	△	0.5	1								
			基礎体育(2b)	△	0.5	1								
			応用体育(1)		1		2	(2)					集中講義あり	
			応用体育(2)		1		2	(2)					集中講義あり	
	基礎科目	教養科目 人文学系	哲学(1)		2	2								
			哲学(2)		2	2								
			倫理学(1)		2	2								
			倫理学(2)		2	2								
			倫理学(a)		1	1								
			倫理学(b)		1	1								
			文化人類学		2	2								
視覚芸術史(1)				2	2									
視覚芸術史(2)				2	2									
デザイン概論(1)				2		2								
デザイン概論(2)				2		2								
日本文学				2		2								
日本史(1)				2	2									
日本史(2)				2	2									
西洋史(1)				2	2									
西洋史(2)				2	2									
民俗学(a)				1	1									
民俗学(b)		1	1											
宗教学		2	2											

区分	授業科目	必選の別	単位数	週 時 間 数								備考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
基礎科目 教養科目 人間科学系	社会学(1a)		1	1											
	社会学(1b)		1	1											
	社会学(2a)		1		1										
	社会学(2b)		1		1										
	社会学入門(a)		1	1											
	社会学入門(b)		1	1											
	経済学(1a)		1	1											
	経済学(1b)		1	1											
	経済学(2a)		1		1										
	経済学(2b)		1		1										
	日本経済論(a)		1				1								
	日本経済論(b)		1				1								
	西洋経済史		2	(2)	2										
	政治学(1a)		1	1											
	政治学(1b)		1	1											
	政治学(2a)		1		1										
	政治学(2b)		1		1										
	日本の政治(a)		1			1									
	日本の政治(b)		1			1									
	国際関係論(1a)		1	1											
	国際関係論(1b)		1	1											
	国際関係論(2a)		1		1										
	国際関係論(2b)		1		1										
	日本国憲法		2	(2)	2										
	法学		2	2											
	民法		2	2	2										
	人文地理学(a)		1	1											
	人文地理学(b)		1	1											
	現代中国論		2	2	2										
	教育学(1a)		1	1											
	教育学(1b)		1	1											
	教育学(2a)		1		1										
	教育学(2b)		1		1										
	心理学(1a)		1	1											
	心理学(1b)		1	1											
	心理学(2a)		1		1										
	心理学(2b)		1		1										
	心理学入門		2	2											
	社会とジェンダー(a)		1		1										
	社会とジェンダー(b)		1		1										
	国際化と異文化理解(a)		1						1						
	国際化と異文化理解(b)		1						1						
	日本文化の伝承(a)		1		1										
	日本文化の伝承(b)		1		1										
	スポーツ・健康論		2	2	(2)										
	自然・情報科学系	データサイエンスリテラシー(1)		1	2	(2)									※DS
		データサイエンスリテラシー(2)		1	(2)	2									※DS
		論理学(1a)		1	1										
		論理学(1b)		1	1										
		論理学(2a)		1		1									
	論理学(2b)		1		1										
	環境問題と社会		2	2											
	現代の物理(a)		1	1											
	現代の物理(b)		1	1											
	現代の化学		2	2											
	現代の地学		2	2											
	情報編集入門		2		2										
	生活とメディア		2		2										
その他	ボランティア(1)		1	2											
	ボランティア(2)		1	2											
	教養ゼミナール(1)		2	2	(2)										
	教養ゼミナール(2)		2	2	(2)										
	教養特別講義(1)		2	2	(2)										
	教養特別講義(2)		2	2	(2)										
	キャリアデザイン基礎		2	2	2										
	海外フィールド演習		2	2											
	特別講義(1)		2	2	(2)										
	特別講義(2)		2	2	(2)										
	インターンシップ(1)		1	2											
	インターンシップ(2)		1		2										
P B L科目	SD PBL(1)	○	1	1											
	SD PBL(2)	○	1			1									
	SD PBL(3)	○	1						2						

卒業要件	基礎科目・外国語科目	8単位	右記を含むこと	○必修科目	4単位
	基礎科目・体育科目	1単位	右記を含むこと	△選択必修科目	1単位
	基礎科目・教養科目	10単位			
	P B L科目	3単位	右記を含むこと	○必修科目	3単位

1-5② メディア情報学部 社会メディア学科 専門基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週 時 間 数								備 考	
				1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門基礎科目	情報と社会	○	2	2									
	情報リテラシー演習	○	2	2									
	統計学基礎	○	2	2									※MS
	現代国内情勢		2	2									
	現代社会とメディア	○	2	2									
	社会調査	○	2		2								
	社会学概論		2		2								
	社会心理学概論		2		2								
	デザインシンキング	○	2		2								
	認知科学		2		2								
	情報と法		2			2							
	情報セキュリティ		2			2							
	情報と職業		2			2							
	世界のメディア		2				2						
	サイエンス・スタディーズ		2				2						
	データベース		2				2						
	キャリアデザイン(a)		1				1						
	キャリアデザイン(b)		1				1						
	情報の倫理		2						2				
	情報政策論		2							2			
専門科目	プロジェクト学習		2			2							
	応用統計	△1	2		2								※MS
	社会メディア実験・測定演習	△1	2			2							
	社会文化フィールドワーク	△1	1				1						
	社会調査設計	△1	2				2						
	質的調査演習	△1	2				2						
	データ分析法	△1	2					2					
	社会調査実習	△1	2					2	2				
	情報通信技術入門	△2	2	2									
	基礎プログラミング演習(1a)	△2	1	1									
	基礎プログラミング演習(1b)	△2	1	1									
	基礎プログラミング演習(2a)	△2	1		1								
	基礎プログラミング演習(2b)	△2	1		1								
	コンピュータシステム	△2	2		2								
	コンピュータグラフィックス	△2	2		2								
	インフォグラフィックスデザイン演習	△2	2			2							
	インタフェースデザイン演習	△2	2				2						
	電子商取引論	△2	2				2						
	LAN環境演習	△2	2					2					
	サーバシステム構築	△2	2				2						
ヒューマンコンピュータインタラクション	△2	2							2				
(ソーシャルデザイン分野)	情報環境論		2		2								
	メディア文化論		2			2							
	メディアと表現		2			2							
	社会情報デザイン		2				2						
	参加型デザイン論		2				2						
	社会ネットワーク論		2				2						
	メディア・プロデュース論		2					2					
	NPOとソーシャルビジネス		2					2					
	街づくり論		2							2			
	自己理解とカウンセリング		2		2								
(メディア・コミュニケーション)	ジャーナリズム論		2			2							
	マスコミュニケーション論		2				2						
	現代国際情勢		2				2						
	メディアと政治		2				2						
	異文化間コミュニケーション		2				2						
	リスクコミュニケーション		2					2					
	産業組織心理学		2					2					
	行動的意思決定論		2						2				
	事例研究(1)	○	2						3	(3)			
	事例研究(2)	○	2							3	(3)		
卒業研究(1)	○	3								6	(6)		
卒業研究(2)	○	3									6	(6)	

卒業要件	専門基礎科目	30単位	右記を含むこと ○必修科目	12単位
	専門科目	60単位	右記を含むこと ○必修科目	10単位、△1 選択必修科目4単位、△2 選択必修科目4単位
	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位	右記を含むこと ※DS	1単位

1-5③ メディア情報学部 情報システム学科 専門基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週 時 間 数								備 考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
専門基礎科目	情報リテラシー演習		2	2										
	ICTアセスメント概論	○	2	2										
	情報と社会		2	2										
	教養数学(a)	○	1	1										
	教養数学(b)	○	1	1										
	統計学基礎		2	2									※MS	
	情報環境論		2		2									
	線形代数学(1a)	○	1		1								※MS	
	線形代数学(1b)	○	1		1								※MS	
	微分積分学(1a)	○	1		1								※MS	
	微分積分学(1b)	○	1		1								※MS	
	情報と法		2			2								
	情報と職業		2			2								
	メディアと表現		2			2								
	線形代数学(2a)	○	1		1								※MS	
	線形代数学(2b)	○	1		1								※MS	
	微分積分学(2a)		1		1								※MS	
	微分積分学(2b)		1		1								※MS	
	確率統計(a)		1		1								※MS	
	確率統計(b)		1		1								※MS	
	情報セキュリティ		2			2								
データベース		2				2								
サイエンス・スタディーズ		2				2								
キャリアデザイン		2				2								
情報の倫理		2					2							
アカウントティングシステム		2						2						
専門科目	プログラミング基礎演習A	○	2	2										
	アルゴリズムとプログラミング	○	2	2										
	プログラミング基礎演習B	○	2		2									
	ソフトウェア開発技法	○	2		2									
	プログラミング演習A	△	2			2								
	プログラミング演習B	△	2			2								
	システム開発演習A		2				2							
	システム開発演習B		2				2							
	オブジェクト指向方法論		2				2							
	情報数学	○	2	2										
	コンピュータシステム	○	2		2									
	コンピュータネットワーク		2		2									
	オペレーティングシステム		2		2									
	コンピュータグラフィックス		2		2									
	情報理論		2			2								
	デジタル信号処理		2			2								
	ヒューマンコンピュータインタラクション		2				2							
	人工知能とデータマイニング	○	2				2						※DS	
	LAN環境演習	○	2						2					
	データ分析法		2						2					
	(システムデザイン分野) 学科専門科目	サーバシステム構築	○	2				2						
サーバ運用技術		○	1				1							
マルチメディア情報処理			2					2						
マルチメディア記述法			2					2						
ビジュアルライゼーション			2					2						
コンピュータシミュレーション			2					2						
Webプログラミング			2						2					
(システム運用分野) 学科専門科目		電子商取引論		2				2						
		企業統治と情報管理		2					2					
		組織とマネジメント		2					2					
	システムソリューション		2						2					
	ネットワークセキュリティ		2							2				
	事例研究	○	2							3				
	卒業研究(1)	○	3								6	(6)		
卒業研究(2)	○	3								(6)	6			
卒業要件	専門基礎科目		30単位	右記を含むこと ○必修科目 10単位										
	専門科目		60単位	右記を含むこと ○必修科目 27単位、△選択必修科目2単位										
	教理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)		4単位											

1-6 デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科
 教養科目・外国語科目・専門基礎科目・専門応用科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考	
				1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
教養科目	人文学系	倫理学(1)	2	2									
		倫理学(2)	2		2								
		倫理学(a)	1		1								
		倫理学(b)	1		1								
		視覚芸術史(1)	2	2									
		視覚芸術史(2)	2		2								
		デザイン概論(1)	2			2							
		デザイン概論(2)	2				2						
		日本史(1)	2	2									
		日本史(2)	2		2								
西洋史(1)	2	2											
西洋史(2)	2		2										
社会科学系	社会学入門(a)		1	1									
	社会学入門(b)		1	1									
	日本経済論(a)		1				1						
	日本経済論(b)		1				1						
	西洋経済史		2	(2)	2								
	日本の政治(a)		1			1							
	日本の政治(b)		1			1							
	日本国憲法		2	(2)	2								
	法学		2	2									
民法		2		2									
人間科学系	心理学入門		2	2									
	社会とジェンダー(a)		1		1								
	社会とジェンダー(b)		1		1								
	日本文化の伝承(a)		1		1								
	日本文化の伝承(b)		1		1								
	スポーツ・健康論		2	2	(2)								
情報・自然科学系	データサイエンスリテラシー(1)		1	2	(2)							※DS	
	データサイエンスリテラシー(2)		1	(2)	2							※DS	
	環境問題と社会		2	2									
	情報編集入門		2		2								
グローバル教養系	Japan Studies	△	2			(2)	(2)	2					
	Global Studies(1)	△	2			(2)	(2)	2					
	Global Studies(2)	△	2			(2)	(2)	2					
	Global Studies(3)	△	2			(2)	(2)	2					
	Global Studies(4)	△	2			(2)	(2)	2					
	Intercultural Understanding(1)	△	2			(2)	(2)	2					
	Intercultural Understanding(2)	△	2			(2)	(2)	2					
その他	教養特別講義		2	2	(2)								
	ボランティア(1)		1										
	ボランティア(2)		1										
	インターンシップ(1)		1										
	インターンシップ(2)		1										
外国語科目	英語科目	English I-A	○	1	2								
		English I-B	○	1	2								
		English II-A	○	1	(2)	2							
		English II-B	○	1	(2)	2							
		English III-A	○	1	(2)	(2)	2						
		English III-B	○	1	(2)	(2)	2						
		Reading Comprehension		2		(2)	(2)	2					
		Debate & Discussion		2		(2)	(2)	2					
		Presentation Strategies		2		(2)	(2)	2					
		English Test Preparation		2		(2)	(2)	2					
		Writing Strategies		2		(2)	(2)	2					
		Academic Reading	△	2	(2)	(2)	(2)	2					
		Academic Discussion	△	2	(2)	(2)	(2)	2					
		Academic Presentation	△	2	(2)	(2)	(2)	2					
		English Test Preparation for Academic Purposes	△	2	(2)	(2)	(2)	2					
		Academic Research & Writing	△	2	(2)	(2)	(2)	2					

区分科目群	授業科目	必修の別	単位数	週時間数								備考									
				1年		2年		3年		4年											
				前	後	前	後	前	後	前	後										
専門基礎科目	データ科学	データサイエンス概論	○	2	2															※DS	
		コンピュータ基礎演習	○	2	2																
		プログラミング基礎演習	△	2	2																
		データサイエンス数学	△	2	2																※MS
		統計学基礎	△	2			2														※MS
		統計データ解析演習	△	2			2														※MS
		情報学理論	△	2	2																
		アルゴリズムとデータ構造	△	2		2															
		機械学習論	△	2			2														
		データマイニング	△	2			2														
		データベース	△	2			2														
		データ社会論	△	2		2															
		量的ユーザー調査	△	2		2															
		質的ユーザー調査	△	2		2															
経営分析論		2			2																
業務プロセス分析		2			2																
リユーザースタディーズ	ユーザエクスペリエンスデザイン入門	ユーザエクスペリエンスデザイン入門	○	2	2																
		デザインプレゼンテーション		2			2														
		デザインプロトタイピング(1)		2			2														
		ウェブプログラミング		2			2														
		情報デザイン		2			2														
		デザインリサーチ		2					2												
デザインシステム	ソーシャルシステムデザイン入門	ソーシャルシステムデザイン入門	○	2		2															
		金融・市場システム論		2				2													
		サービスイノベーション		2				2													
		経営戦略概論		2				2													
		総合的品質管理		2				2													
		オペレーションマネジメント		2				2													
その他	SD PBL(1)	SD PBL(1)	○	1	1																
		SD PBL(2)	○	1				1													
		SD PBL(3)	○	1							2										
専門応用科目	データ科学	プログラミング応用演習		2			2														
		機械学習演習		2			2														
		ビッグデータ解析演習		2					2												
		ベイズ統計学		2					2												
		ニューラルネットワーク		2					2												
		画像・音声処理		2							2										
		自然言語処理		2							2										
		ウェブデータ処理		2							2										
	企業経営分析ケーススタディ		2						2												
	リユーザースタディーズ	デザインプロトタイピング(2)	デザインプロトタイピング(2)		2					2											
			ブランドコンセプトデザイン		2						2										
			インタフェースデザイン		2						2										
			感性デザイン演習	△	2						2										
			デザインプロダクション演習	△	2							2									
インタラクションデザイン演習			△	2								2									
ムソデザインシステム	ビヘイビアル・ファイナンス	ビヘイビアル・ファイナンス		2					2												
		リスク&クライシスマネジメント		2							2										
		未来創造デザインプロジェクト		2								2									
		サービスシステムデザイン演習	△	2							2										
		サブライチェーンデザイン演習	△	2								2									
		ビジネスシステムデザイン演習	△	2									2								
その他	特別講義	特別講義		2	(2)	2															
		海外インターンシップ		2																	
		COOPプログラム		4										4							
		キャップストーンプロジェクト	○	4										(4)	4						

卒業要件	教養科目	12単位	右記を含むこと	△選択必修科目	6単位
	外国語科目	14単位	右記を含むこと	○必修科目	6単位、△選択必修科目
	専門基礎科目	50単位	右記を含むこと	○必修科目	11単位、△選択必修科目
	専門応用科目	40単位	右記を含むこと	○必修科目	4単位、△選択必修科目
	数理解・データサイエンスプログラム	4単位			
	(※DS及び※MS)				

1-7 都市生活学部 都市生活学科

教養科目・外国語科目・体育科目・PBL科目・専門基礎科目・専門科目 教育課程表

○印必修 △印選択必修

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
人文学系	哲学(1)		2	2										
	哲学(2)		2		2									
	倫理学(1)		2	2										
	倫理学(2)		2		2									
	倫理学(a)		1		1									
	倫理学(b)		1		1									
	文化人類学		2		2									
	視覚芸術史(1)		2	2										
	視覚芸術史(2)		2		2									
	デザイン概論(1)		2			2								
	デザイン概論(2)		2				2							
	日本文学		2			2								
	日本史(1)		2	2										
	日本史(2)		2		2									
	西洋史(1)		2	2										
	西洋史(2)		2		2									
	民俗学(a)		1		1									
	民俗学(b)		1		1									
	宗教学		2	2										
	教養科目 社会科学系	社会学(1a)		1	1									
社会学(1b)			1	1										
社会学(2a)			1		1									
社会学(2b)			1		1									
社会学入門(a)			1	1										
社会学入門(b)			1	1										
経済学(1a)			1	1										
経済学(1b)			1	1										
経済学(2a)			1		1									
経済学(2b)			1		1									
日本経済論(a)			1				1							
日本経済論(b)			1				1							
政治学(1a)			1	1										
政治学(1b)			1	1										
政治学(2a)			1		1									
政治学(2b)			1		1									
日本の政治(a)			1			1								
日本の政治(b)			1			1								
国際関係論(1a)			1	1										
国際関係論(1b)			1	1										
国際関係論(2a)			1		1									
国際関係論(2b)			1		1									
日本国憲法			2	2	(2)									
法学			2	2										
民法			2		2									
西洋経済史			2	(2)	2									
人文地理学(a)			1	1										
人文地理学(b)		1	1											
現代中国論		2		2										
人間科学系	教育学(1a)		1	1										
	教育学(1b)		1	1										
	教育学(2a)		1		1									
	教育学(2b)		1		1									
	スポーツ・健康論		2	2	(2)									
	心理学(1a)		1	1										
	心理学(1b)		1	1										
	心理学(2a)		1		1									
	心理学(2b)		1		1									
	心理学入門		2	2										
	社会とジェンダー(a)		1		1									
	社会とジェンダー(b)		1		1									
	国際化と異文化理解(a)		1					1						
	国際化と異文化理解(b)		1					1						
	日本文化の伝承(a)		1		1									
日本文化の伝承(b)		1		1										

区分 科目群	授業科目	必修 の別	単 位 数	週時間数								備考												
				1年		2年		3年		4年														
				前	後	前	後	前	後	前	後													
教養科目 自然・情報科学系	データサイエンスリテラシー(1)		1	2	(2)																	※DS		
	データサイエンスリテラシー(2)		1	(2)	2																		※DS	
	文系のための教理基礎		2	2	(2)																		※MS	
	論理学(1a)		1	1																				
	論理学(1b)		1	1																				
	論理学(2a)		1		1																			
	論理学(2b)		1		1																			
	生活とメディア		2			2																		
	現代の物理(a)		1	1																				
	現代の物理(b)		1	1																				
	現代の化学		2	2																				
	現代の地学		2	2																				
	科学技術と社会		2			2																		
	その他	ボランティア(1)		1																				
		ボランティア(2)		1																				
		教養ゼミナール(1)		2	2	(2)																		
		教養ゼミナール(2)		2	2	(2)																		
		教養特別講義(1)		2	2	(2)																		
	教養特別講義(2)		2	2	(2)																			
外国語科目 英語科目(スキル)	Communication Skills(1)	○	1	2																				
	Communication Skills(2)	○	1		2																			
	Reading and Writing(1a)	○	0.5	1																				
	Reading and Writing(1b)	○	0.5	1																				
	Reading and Writing(2a)	○	0.5		1																			
	Reading and Writing(2b)	○	0.5		1																			
	Basic English Training(a)		1			1	(1)																	
	Basic English Training(b)		1			1	(1)																	
	Grammar(1a)		1			1	(1)																	
	Grammar(1b)		1			1	(1)																	
	Grammar(2a)		1			1	(1)																	
	Grammar(2b)		1			1	(1)																	
	Test Taking Skills(1a)		1			1	(1)																	
	Test Taking Skills(1b)		1			1	(1)																	
	Test Taking Skills(2a)		1			1	(1)																	
	Test Taking Skills(2b)		1			1	(1)																	
	Test Taking Skills(3a)		1			1	(1)																	
	Test Taking Skills(3b)		1			1	(1)																	
	Critical Reading(1a)		1			1	(1)																	
	Critical Reading(1b)		1			1	(1)																	
	Critical Reading(2a)		1			1	(1)																	
	Critical Reading(2b)		1			1	(1)																	
	Critical Reading(3a)		1			1	(1)																	
	Critical Reading(3b)		1			1	(1)																	
	Critical Listening(1a)		1			1	(1)																	
	Critical Listening(1b)		1			1	(1)																	
	Critical Listening(2a)		1			1	(1)																	
	Critical Listening(2b)		1			1	(1)																	
	Critical Listening(3a)		1			1	(1)																	
	Critical Listening(3b)		1			1	(1)																	
	Communication Strategies(1a)		1			1	(1)																	
	Communication Strategies(1b)		1			1	(1)																	
	Communication Strategies(2a)		1			1	(1)																	
	Communication Strategies(2b)		1			1	(1)																	
	Communication Strategies(3a)		1			1	(1)																	
	Communication Strategies(3b)		1			1	(1)																	
	Academic English(1a)		1			1	(1)																	
	Academic English(1b)		1			1	(1)																	
Academic English(2a)		1			1	(1)																		
Academic English(2b)		1			1	(1)																		
Academic English(3a)		1			1	(1)																		
Academic English(3b)		1			1	(1)																		

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
英語科目 (教養)	Literature in English(1a)		1			1	(1)								
	Literature in English(1b)		1			1	(1)								
	Literature in English(2a)		1			1	(1)								
	Literature in English(2b)		1			1	(1)								
	Global Culture(1a)		1			1	(1)								
	Global Culture(1b)		1			1	(1)								
	Global Culture(2a)		1			1	(1)								
	Global Culture(2b)		1			1	(1)								
	Language Sciences(1a)		1			1	(1)								
	Language Sciences(1b)		1			1	(1)								
	Language Sciences(2a)		1			1	(1)								
	Language Sciences(2b)		1			1	(1)								
	Global Society(1a)		1			1	(1)								
	Global Society(1b)		1			1	(1)								
	Global Society(2a)		1			1	(1)								
	Global Society(2b)		1			1	(1)								
	共通	海外・特別選抜セミナー		2	2	(2)									
		外国語特別講義(a)		1			1	(1)							
		外国語特別講義(b)		1			1	(1)							
	外国語科目	英語以外の 外国語科目	ドイツ語(1a)		1		1	(1)							
			ドイツ語(1b)		1		1	(1)							
			ドイツ語(2a)		1		1	(1)							
			ドイツ語(2b)		1		1	(1)							
			フランス語(1a)		1		1	(1)							
			フランス語(1b)		1		1	(1)							
			フランス語(2a)		1		1	(1)							
			フランス語(2b)		1		1	(1)							
			スペイン語(1a)		1		1	(1)							
			スペイン語(1b)		1		1	(1)							
			スペイン語(2a)		1		1	(1)							
スペイン語(2b)				1		1	(1)								
イタリア語(1a)				1		1	(1)								
イタリア語(1b)				1		1	(1)								
イタリア語(2a)				1		1	(1)								
イタリア語(2b)				1		1	(1)								
中国語(1a)				1		1	(1)								
中国語(1b)				1		1	(1)								
中国語(2a)				1		1	(1)								
中国語(2b)				1		1	(1)								
アラビア語(1a)				1		1	(1)								
アラビア語(1b)				1		1	(1)								
アラビア語(2a)				1		1	(1)								
アラビア語(2b)				1		1	(1)								
韓国語(1a)				1		1	(1)								
韓国語(1b)				1		1	(1)								
韓国語(2a)				1		1	(1)								
韓国語(2b)				1		1	(1)								
日本語表現(a)		1		1	(1)										
日本語表現(b)		1		1	(1)										
体育科目	基礎体育(1a)	△	0.5	1											
	基礎体育(1b)	△	0.5	1											
	基礎体育(2a)	△	0.5		1										
	基礎体育(2b)	△	0.5		1										
	応用体育(1)		1			2	(2)								
	応用体育(2)		1			2	(2)								
PBL科目	SD PBL(1)	○	1	1	1										
	SD PBL(2)	○	1			2									
	SD PBL(3)	○	1					2							

区 分 科 目 群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備 考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 基 礎 科 目	マーケティング概論	○	○	2	2										
	経営学概論	○	○	2	2										
	都市の経済学	○	○	2		2									
	世界の都市	○	○	2		2									
	基 礎 共 通 科 目	都市計画(1)	△	△	2	2									
		世界の住まい	△	△	2	2									
		都市の文化・芸術	△	△	2			2							
		民法と商法	△	△	2				2						
		会計学概論	△	△	2				2						
		統計と分析	△	△	2					2					※MS
		国際都市経営概論(1)	△	△	2		2								
	国際都市経営概論(2)		△	2			2								
	演 習 領 域	コンピュータ演習	○	○	2	2									
		グラフィックデザイン演習	○	○	2	2									
		まちの観察	○	○	2			2							
		Facilitation & Communication	△	△	2				2						
		空間デザイン演習(1)	○	○	3	4									
		空間デザイン演習(2)	△	△	2		2								
		空間デザイン演習(3)	△		2		2								
		空間デザイン演習(4)	△		2			2							
		都市デジタルシミュレーション(1)	○	○	2		2								
		都市デジタルシミュレーション(2)	△	△	2				2						
		都市デジタルシミュレーション(3)	△		2				2						
マーケティングリサーチ演習(1)		○	○	2		2									
マーケティングリサーチ演習(2)	△	△	2				2								
マーケティングリサーチ演習(3)	△		2				2								
専 門 科 目	都市の社会学	△	△	2		2									
	経営戦略論	△	△	2					2						
	経営財務			2					2						
	Urban Area Marketing		☆	2				2							
	Urban Tourism		☆	2						2					
	広告コミュニケーション			2						2					
	ブランド戦略			2						2					
	集客学			2				2							
	都市のプロジェクトマネジメント	△	△	2					2						
	住宅と不動産			2			2								
	都市空間の演出			2				2							
	Urban Development & Management		☆	2				2							
	都市ビジネス			2				2							
	エリアマネジメント	△	△	2				2							
	コミュニティマネジメント			2			2								
	都市デザイン	△	△	2		2									
	建築空間論	△	△	2					2						
	Urban Landscape		☆	2					2						
	Urban Environment Design		☆	2					2						
	インテリアデザインと実務			2			2								
	建築史			2			2								
	住宅計画			2						2					
	リノベーションとコンバージョン			2					2						
	都市政策	△	△	2		2									
	Urban Mobility		☆	2						2					
	ユニバーサルデザイン	△	△	2					2						
	住まいの構法・生産・流通			2				2							
	まちの防災			2				2							
	住まいと環境			2					2						
都市計画(2)			2					2							
建 築 士 対 応 科 目	建築法規			2		2									
	建築材料			2		2									
	建築構造			2					2						
	構造力学(1)及び演習			3				4							
	構造力学(2)及び演習			3					4						
	鉄筋コンクリート構造			2					2						
	環境と設備			2					2						

①：都市生活創造コース ②：国際都市経営コース

○印必修 △印選択必修 ☆印国際都市経営コース指定科目

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 科 目	総合 領域 1	キャリアデザイン(1)	○	○	1					2	(2)				
		キャリアデザイン(2)	○	○	1					2	(2)				
		プロジェクト演習(1)	○	○	2					4					
		プロジェクト演習(2)	○	○	2						4				
	総合 領域 2	海外研修(1)			2										
		海外研修(2)			1										
		インターンシップ(1)			1										
		インターンシップ(2)			1										
		卒業研究(1)	○	○	3							6	(6)		
		卒業研究(2)	○	○	3							(6)	6		
		まちづくり演習(1)			2										
		まちづくり演習(2)			1										
		まちづくり演習(3)			1										
		国際ワークショップ(1)		☆	2										
		国際ワークショップ(2)		☆	1										
		国際ワークショップ(3)		☆	1										
		特別講義(1)			2										
		特別講義(2)			2										
		特別講義(3)			2										
		Special Lecture(4)		☆	2										
Special Lecture(5)		☆	2												

①：都市生活創造コース

卒業要件	124単位 以下を含むこと			
	教養科目	10単位		
	外国語科目	8単位	右記を含むこと	○必修 4単位
	体育科目	1単位	右記を含むこと	△選択必修 1単位
	PBL科目	3単位	右記を含むこと	○必修 3単位
	専門基礎科目	37単位	右記を含むこと	○必修 21単位 △選択必修 16単位 (演習領域8単位を含む)
	専門科目	53単位	右記を含むこと	○必修 12単位 △選択必修 10単位
	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位	右記を含むこと	※DS 1単位

②：国際都市経営コース

卒業要件	124単位 以下を含むこと			
	教養科目	10単位		
	外国語科目	8単位	右記を含むこと	○必修 4単位
	体育科目	1単位	右記を含むこと	△選択必修 1単位
	PBL科目	3単位	右記を含むこと	○必修 3単位
	専門基礎科目	37単位	右記を含むこと	○必修 21単位 △選択必修 16単位 (演習領域4単位を含む)
	専門科目	53単位	右記を含むこと	○必修 12単位 △選択必修 10単位 ☆国際都市経営コース指定 6単位
	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位	右記を含むこと	※DS 1単位

1-8 人間科学部 人間科学科 教育課程表

①：児童学コース ②：人間総合科学コース

○印必修 △印選択必修

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考				
		①	②		1年		2年		3年		4年						
					前	後	前	後	前	後	前	後					
人文学系	哲学(1)			2	2												
	哲学(2)			2		2											
	倫理学(1)			2	2												
	倫理学(2)			2		2											
	倫理学(a)			1		1											
	倫理学(b)			1		1											
	文化人類学			2		2											
	視覚芸術史(1)			2	2												
	視覚芸術史(2)			2		2											
	デザイン概論(1)			2				2									
	デザイン概論(2)			2					2								
	日本文学			2				2									
	日本史(1)			2	2												
	日本史(2)			2		2											
	西洋史(1)			2	2												
	西洋史(2)			2		2											
	民俗学(a)			1		1											
	民俗学(b)			1		1											
	宗教学			2	2												
	社会科学系	社会学(1a)			1	1											
		社会学(1b)			1	1											
		社会学(2a)			1		1										
		社会学(2b)			1		1										
		社会学入門(a)			1	1											
社会学入門(b)				1	1												
経済学(1a)				1	1												
経済学(1b)				1	1												
経済学(2a)				1		1											
経済学(2b)				1		1											
日本経済論(a)				1					1								
日本経済論(b)				1					1								
政治学(1a)				1	1												
政治学(1b)				1	1												
政治学(2a)				1		1											
政治学(2b)				1		1											
日本の政治(a)				1				1									
日本の政治(b)				1				1									
国際関係論(1a)				1	1												
国際関係論(1b)				1	1												
国際関係論(2a)				1		1											
国際関係論(2b)				1		1											
日本国憲法				2		2											
法学				2	2												
民法				2		2											
西洋経済史				2	(2)	2											
人文地理学(a)				1	1												
人文地理学(b)				1	1												
現代中国論				2		2											
人間科学系	教育学(1a)			1	1												
	教育学(1b)			1	1												
	教育学(2a)			1		1											
	教育学(2b)			1		1											
	スポーツ・健康論			2	2	(2)											
	心理学(1a)			1	1												
	心理学(1b)			1	1												
	心理学(2a)			1		1											
	心理学(2b)			1		1											
	心理学入門			2	2												
	社会とジェンダー(a)			1		1											
	社会とジェンダー(b)			1		1											
	国際化と異文化理解(a)			1							1						
	国際化と異文化理解(b)			1							1						
	日本文化の伝承(a)			1		1											
	日本文化の伝承(b)			1		1											

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考					
		①	②		1年		2年		3年		4年							
					前	後	前	後	前	後	前	後						
教養科目 自然・情報科学系	データサイエンスリテラシー(1)			1	2	(2)											※DS	
	データサイエンスリテラシー(2)			1	(2)	2											※DS	
	文系のための統計基礎			2	2	(2)											※MS	
	文系のための数理基礎			2	2	(2)											※MS	
	論理学(1a)			1	1													
	論理学(1b)			1	1													
	論理学(2a)			1		1												
	論理学(2b)			1		1												
	生活とメディア			2			2											
	現代の物理(a)			1	1													
	現代の物理(b)			1	1													
	現代の化学			2	2													
	現代の地学			2	2													
	科学技術と社会			2			2											
	情報処理演習(1)	○	○	1	2													
	情報処理演習(2)	○	○	1		2												
	情報処理演習(3)	○	○	1			2											
	情報処理演習(4)	○	○	1				2										
	その他	ボランティア(1)			1													
		ボランティア(2)			1													
教養ゼミナール(1)				2	2	(2)												
教養ゼミナール(2)				2	2	(2)												
教養特別講義(1)				2	2	(2)												
教養特別講義(2)			2	2	(2)													
外国語科目 (スキル)	Communication Skills(1)	○	○	1	2													
	Communication Skills(2)	○	○	1		2												
	Reading and Writing(1)	○	○	1	2													
	Reading and Writing(2)	○	○	1		2												
	Basic English Training(a)			1			1	(1)										
	Basic English Training(b)			1			1	(1)										
	Grammar(1a)			1			1	(1)										
	Grammar(1b)			1			1	(1)										
	Grammar(2a)			1			1	(1)										
	Grammar(2b)			1			1	(1)										
	Test Taking Skills(1a)			1			1	(1)										
	Test Taking Skills(1b)			1			1	(1)										
	Test Taking Skills(2a)			1			1	(1)										
	Test Taking Skills(2b)			1			1	(1)										
	Test Taking Skills(3a)			1			1	(1)										
	Test Taking Skills(3b)			1			1	(1)										
	Critical Reading(1a)			1			1	(1)										
	Critical Reading(1b)			1			1	(1)										
	Critical Reading(2a)			1			1	(1)										
	Critical Reading(2b)			1			1	(1)										
	Critical Reading(3a)			1			1	(1)										
	Critical Reading(3b)			1			1	(1)										
	Critical Listening(1a)			1			1	(1)										
	Critical Listening(1b)			1			1	(1)										
	Critical Listening(2a)			1			1	(1)										
	Critical Listening(2b)			1			1	(1)										
	Critical Listening(3a)			1			1	(1)										
	Critical Listening(3b)			1			1	(1)										
	Communication Strategies(1a)			1			1	(1)										
	Communication Strategies(1b)			1			1	(1)										
	Communication Strategies(2a)			1			1	(1)										
	Communication Strategies(2b)			1			1	(1)										
Communication Strategies(3a)			1			1	(1)											
Communication Strategies(3b)			1			1	(1)											
Academic English(1a)			1			1	(1)											
Academic English(1b)			1			1	(1)											
Academic English(2a)			1			1	(1)											
Academic English(2b)			1			1	(1)											
Academic English(3a)			1			1	(1)											
Academic English(3b)			1			1	(1)											

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
英語科目 (教養)	Literature in English(1a)			1			1	(1)							
	Literature in English(1b)			1			1	(1)							
	Literature in English(2a)			1			1	(1)							
	Literature in English(2b)			1			1	(1)							
	Global Culture(1a)			1			1	(1)							
	Global Culture(1b)			1			1	(1)							
	Global Culture(2a)			1			1	(1)							
	Global Culture(2b)			1			1	(1)							
	Language Sciences(1a)			1			1	(1)							
	Language Sciences(1b)			1			1	(1)							
	Language Sciences(2a)			1			1	(1)							
	Language Sciences(2b)			1			1	(1)							
	Global Society(1a)			1			1	(1)							
	Global Society(1b)			1			1	(1)							
	Global Society(2a)			1			1	(1)							
	Global Society(2b)			1			1	(1)							
共通	海外・特別選抜セミナー			2	2	(2)									
	外国語特別講義(a)			1			1	(1)							
	外国語特別講義(b)			1			1	(1)							
外国語科目	ドイツ語(1a)			1			1	(1)							
	ドイツ語(1b)			1			1	(1)							
	ドイツ語(2a)			1			1	(1)							
	ドイツ語(2b)			1			1	(1)							
	フランス語(1a)			1			1	(1)							
	フランス語(1b)			1			1	(1)							
	フランス語(2a)			1			1	(1)							
	フランス語(2b)			1			1	(1)							
	スペイン語(1a)			1			1	(1)							
	スペイン語(1b)			1			1	(1)							
	スペイン語(2a)			1			1	(1)							
	スペイン語(2b)			1			1	(1)							
	イタリア語(1a)			1			1	(1)							
	イタリア語(1b)			1			1	(1)							
	イタリア語(2a)			1			1	(1)							
	イタリア語(2b)			1			1	(1)							
	中国語(1a)			1			1	(1)							
	中国語(1b)			1			1	(1)							
	中国語(2a)			1			1	(1)							
	中国語(2b)			1			1	(1)							
	アラビア語(1a)			1			1	(1)							
	アラビア語(1b)			1			1	(1)							
	アラビア語(2a)			1			1	(1)							
	アラビア語(2b)			1			1	(1)							
	韓国語(1a)			1			1	(1)							
	韓国語(1b)			1			1	(1)							
韓国語(2a)			1			1	(1)								
韓国語(2b)			1			1	(1)								
日本語表現(a)			1			1	(1)								
日本語表現(b)			1			1	(1)								
体育科目	人間と健康	○	○	2	2										
	基礎体育(1a)	○	△	0.5	1										
	基礎体育(1b)	○	△	0.5	1										
	基礎体育(2a)	○	△	0.5		1									
	基礎体育(2b)	○	△	0.5		1									

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 科 目	保育原理	○	○	2	2										
	教育原理	○		2				2							
	教育社会学	○		2			2								
	子ども家庭福祉	○	○	2	2										
	社会福祉		○	2				2							
	社会的養護(1)			2			2								
	保育者論	○		2						2					
	発達心理学	○	○	2		2									
	教育心理学	○		2				2							
	子ども家庭支援の心理学	○		2			2								
	子どもの保健と健康		○	2			2								
	子どもの安全と健康			1				2							
	子どもの食と栄養		○	2			2								
	公衆衛生学		○	2							2				
	子ども家庭支援論			2			2								
	保育の計画と評価			2				2							
	カリキュラム論			2							2				
	保育内容総論		○	2			2								
	保育内容健康指導法			2							2				
	保育内容人間関係指導法			2			2								
	保育内容環境指導法			2						2					
	保育内容言葉指導法			2				2							
	保育内容表現指導法			2				2							
	乳児保育(1)			2		2									
	特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援		○	2				2							
	社会的養護(2)			1							1				
	子育て支援		○	2							2				
	保育内容の理解と方法(音楽表現)			1			2								
	音楽実技入門			2	2										
	音楽実技(1)			2	2										
	保育内容の理解と方法(造形表現)			1	2										
	造形			2			2								
	保育内容の理解と方法(身体表現)			1			2								
	保育内容の理解と方法(言語表現)			1	2										
	保育実習(1)(保育所・施設)			4						4					
	保育実習指導(1)(保育所)			1						2					
	保育実習指導(1)(施設)			1						2					
	保育実習(2)(保育所)			2								2			
	保育実習指導(2)(保育所)			1								2			
	保育実習(3)(施設)			2								2			
	保育実習指導(3)(施設)			1								2			
	保育・教職実践演習(幼稚園)			2										2	
	心理研究法		○	2						2					
	臨床心理学			2								2			
	乳児保育(2)			2						2					
	音楽実技(2)			2				2							
	児童文化			2	2										
	子どもと昔話			2							2				
	手話			2	2										
	子どもと人間関係			2	2										
子どもと言葉			2			2									
教育学概論		○	2		2										
子どもの造形表現指導法			2						2						
子どもの身体表現指導法			2						2						
子どもの音楽表現指導法			2						2						
幼児教育方法論			2						2						
子ども理解の理論と方法		○	2							2					
教育相談			2						2						
幼稚園教育実習(1)			2				2								
幼稚園教育実習(2)			2							2					
幼稚園教育実習指導(1)			1				2								
幼稚園教育実習指導(2)			1							1					

区分科目群	授業科目	必修の別		単位数	週時間数								備考	
		①	②		1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
専門科目	インターンシップ(1)			1										
	インターンシップ(2)			1										
	子どもと環境			2	2									
	海外研修(1)			2										
	海外研修(2)			2										
	海外研修(3)			1										
	子育て支援演習			2			1	1	1	1	1	1	1	
	食農文化と子育て(1)			2			2							
	食農文化と子育て(2)			2			2							
	教育工学		○	2						2				
	学習科学概論		○	2					2					
	生涯発達心理学(1)		○	1					2					
	生涯発達心理学(2)		○	1					2					
	理工学と生活			2		2								
	生理学(1)			2			2							
	生理学(2)			2			2							
	解剖・外科学			2				2						
	臨床医学総論			2						2				
	基礎医学総論			2						2				
	医用工学リテラシー			2	2									
	医用機器			2						2				
	医用安全工学			2						2				
	音響工学			2							2			
	人間科学入門		○	○	2	2								
	SD PBL(1)		○	○	1	2								
	SD PBL(2)		○	○	1			2	(2)					
	SD PBL(3)		○	○	1						2			
	特別研究(1)		○	○	2					2	(2)			
	特別研究(2)		○	○	2					2	2	(2)		
	卒業研究(1)		○	○	3							6	(6)	
卒業研究(2)		○	○	3							(6)	6		

①：児童学コース

卒業要件	124単位 以下を含むこと		
	教養科目		右記を含むこと ○必修 2単位
	外国語科目	20単位	右記を含むこと ○必修 4単位及び選択 4単位
	体育科目		右記を含むこと ○必修 4単位
	専門科目	90単位	右記を含むこと ○必修 39単位
	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位	右記を含むこと ※DS 1単位

②：人間総合科学コース

卒業要件	124単位 以下を含むこと		
	教養科目		右記を含むこと ○必修 4単位
	外国語科目	20単位	右記を含むこと ○必修 4単位及び選択 4単位
	体育科目		右記を含むこと ○必修 2単位 △選択必修 1単位
	専門科目	90単位	右記を含むこと ○必修 39単位
	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位	右記を含むこと ※DS 1単位

別表2 教育職員免許状を取得するための教科及び教職に関する科目（学則第20条）

2-1 理工学部・情報工学部 教育課程表〔教職〕

2-1① 理工学部・情報工学部・メディア情報学部

教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科の指導法（各学科共通） 教育課程表

2-1② 理工学部・情報工学部 教科に関する専門的事項（各学科共通） 教育課程表

2-1③ 理工学部・情報工学部 大学が独自に設定する科目（各学科共通） 教育課程表

2-1④ 理工学部・情報工学部 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（各学科共通） 教育課程表

2-2 メディア情報学部 教育課程表〔教職〕

2-2① メディア情報学部 社会メディア学科 教科に関する専門的事項 教育課程表

2-2② メディア情報学部 情報システム学科 教科に関する専門的事項 教育課程表

2-2③ メディア情報学部 大学が独自に設定する科目（各学科共通） 教育課程表

2-2④ メディア情報学部 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（各学科共通） 教育課程表

2-3 人間科学部 教育課程表〔教職〕

2-3① 人間科学部 教育の基礎的理解に関する科目等及び保育内容の指導法（人間科学科） 教育課程表

2-3② 人間科学部 領域に関する専門的事項（人間科学科） 教育課程表

2-3③ 人間科学部 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（人間科学科） 教育課程表

2-1① 理工学部・情報工学部・メディア情報学部

教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科の指導法（各学科共通） 教育課程表

○印必修 △印選択必修

学期第4条の学科で取得し得る教育職員免許状の種類と免許教科	科目区分	授業科目	必修の別	単位数	週時間数								備考	
					1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
高等学校教諭 一種免許状 数学、理科、情報、工業 中学校教諭 一種免許状 数学、理科、技術	教育の基礎的理解に関する科目等	①-1 教育原論	○	2	2									
		①-2 教職論	○	2		2								
		①-3 教育社会学	△	2			2							1科目必修
		①-4 教育制度論	△	2		2								
		①-4 教育心理学	△	2	2									1科目必修
		①-4 発達心理学	△	2	2									
		①-5 特別支援教育	○	2		2								
		①-6 教育課程論	○	2			2							
		②-1 道徳教育の理論と方法	○	2		2								中学校のみ
		②-2 総合的な学習の時間の理論と方法	○	2			2							
		②-3 特別活動の理論と方法	○	2		2								
		②-4 教育方法学（ICT活用を含む）	○	2			2							
		②-5 生徒指導・進路指導の理論と方法	○	2	2									
		②-6 教育相談とカウンセリング(1)	△	2	2									1科目必修
		②-6 教育相談とカウンセリング(2)	△	2		2								
		③-1 教育実習(1)	○*	2					2					*中学校は必修
		③-1 教育実習事前事後指導(1)	○*	1					1					
		③-1 教育実習(2)	○	2							2			
		③-1 教育実習事前事後指導(2)	○	1						1				
		③-2 教職実践演習（中・高）	○	2									2	
高等学校教諭 一種免許状 数学 中学校教諭 一種免許状 数学	（各教科 通の指 導法 の活 用を 含む。）	数学教育法(1)	○	2			2						*中学校は必修	
数学教育法(2)		○	2				2							
数学教育法(3)		○*	2			2								
数学教育法(4)		○*	2			2								
高等学校教諭 一種免許状 理科 中学校教諭 一種免許状 理科		理科教育法(1)	○	2			2						*中学校は必修	
理科教育法(2)		○	2			2								
理科教育法(3)		○*	2			2								
理科教育法(4)		○*	2			2								
中学校教諭 一種免許状 技術		技術教育法(1)	○	2			2							
技術教育法(2)		○	2			2								
技術教育法(3)		○	2			2								
技術教育法(4)		○	2			2								
高等学校教諭 一種免許状 情報		情報教育法(1)	○	2					2					
情報教育法(2)		○	2						2					
高等学校教諭 一種免許状 工業		工業教育法(1)	○	2					2					
工業教育法(2)		○	2						2					

<科目区分の詳細>

①教育の基礎的理解に関する科目

- ①-1 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
- ①-2 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）
- ①-3 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）
- ①-4 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程
- ①-5 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解
- ①-6 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）

②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

- ②-1 道徳の理論及び指導法
- ②-2 総合的な学習の時間の指導法
- ②-3 特別活動の指導法
- ②-4 教育の方法及び技術
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法
- ②-5 生徒指導の理論及び方法
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法
- ②-6 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

③教育実践に関する科目

- ③-1 教育実習
- ③-2 教職実践演習

2-1② 理工学部・情報工学部 教科に関する専門的事項（各学科共通） 教育課程表

○印：必修科目 △印：選択必修科目

学期第4案の 学科で取得し 得る教育職員 免許状の種類 と免許教科	科目区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考	
					1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
高等学校教諭 一種免許状 数学 中学校教諭 一種免許状 数学	数1) 代数学	※3												※1)必修科目(○)及び選択必修科目(△)を含み合計20単位以上修得する。 ※2)科目区分数1～5から各1単位以上修得する。 ※3)科目区分数1は、各学科の指定科目を修得することにより充 当可能。 ※4)科目区分数2(△)から1科目を選択し修得する。 ※5)科目区分数3は、各学科の指定科目を修得することにより充 当可能。 ※6)科目区分数5は、各学科の指定科目を修得することにより充 当可能。 ※7)不足する単位は、各学科の指定科目を修得することにより充 当可能。
	数2) 幾何学	幾何学(1)	△	2			2							
		幾何学(2)	△	2			2							
		幾何学(3)	△	2			2							
	数3) 解析学	※5												
	数4) 「確率論、統計学」	確率論	○	2	2									
数5) コンピュータ	※6													
高等学校教諭 一種免許状 理科 中学校教諭 一種免許状 理科	理1) 物理学	物理学概論	○	2		2							※1)必修科目(○)を含み合計20単位以上修得。 ※2)科目区分理2～4は、各学科の指定科目を修得することにより充 当可能。 ※3)科目区分理1～4から1単位以上修得する。 ※4)※3に加えて、中学校の場合は科目区分理5～8の実験全てを 修得する。 ※5)※3に加えて、高等学校の場合は科目区分理5～8の中から1つ を選択し修得する。 ※6)不足する単位は、各学科の指定科目を修得することにより充 当可能。	
	理2) 化学	※2												
	理3) 生物学	※2												
	理4) 地学	※2												
	理5) 物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	※2												
	理6) 化学実験(コンピュータ活用を含む。)	※2												
	理7) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	※2												
	理8) 地学実験(コンピュータ活用を含む。)	※2												
中学校教諭 一種免許状 技術	技1) 木材加工 (製図及び実習を含む。)	木材加工(製図・実習含)	○	2			2						※1)必修科目(○)を含み合計20単位以上修得する。 ※2)科目区分技1～技6から各1単位以上修得する。 ※3)科目区分技2、技4、技6は、各学科の指定科目を修得する ことにより充当可能。 ※4)科目区分技3の必修科目(○)は、※1)に関わらず、各学科 の指定科目の修得により充当可能な場合がある。 ※5)不足する単位は、各学科の指定科目を修得することにより 充当可能。	
	技2) 金属加工 (製図及び実習を含む。)	※3												
	技3) 機械(実習を含む。)	機械工作実習(a) ※4	○	1			1							
		機械工作実習(b) ※4	○	1			1							
	技4) 電気(実習を含む。)	※3												
	技5) 栽培(実習を含む。)	栽培(実習含)	○	2			2							
技6) 情報とコンピュータ(実習を含む。)	※3													
高等学校教諭 一種免許状 情報	情1) 情報社会・情報倫理	※2											※1)合計20単位以上修得。 ※2)科目区分情1～6は、各学科の指定科目を修得することによ り充当可能。 ※3)科目区分情1～6から各1単位以上修得する。 ※4)不足する単位は、各学科の指定科目を修得することによ り充当可能。	
	情2) コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	※2												
	情3) 情報システム(実習を含む。)	※2												
	情4) 情報通信ネットワーク(実習を含む。)	※2												
	情5) マルチメディア表現・マルチメディア技術 (実習を含む。)	※2												
	情6) 情報と職業	※2												
高等学校教諭 一種免許状 工業	工1) 工業の関係科目	※4											※1)選択必修科目(△)を含み合計20単位以上修得する。 ※2)科目区分工1～2から各1単位以上修得する。 ※3)科目区分工2(△)から1科目以上を選択し修得する。 ※4)科目区分工1は、各学科の指定科目を修得することにより 充当可能。 ※5)不足する単位は、各学科の指定科目を修得することによ り充当可能。	
	工2) 職業指導	職業指導(1)	△	2			2							
		職業指導(2)	△	2			2							

2-1③ 理工学部・情報工学部

大学が独自に設定する科目（各学科共通） 教育課程表

○印必修

学則第4条の学科で取得し得る教育職員免許状の種類と免許教科	授業科目	必修の別	単位数	週時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
高等学校教諭一種免許状 数学, 理科, 情報, 工業,	介護等体験	○*	1			1								*中学校は必修
	道徳教育の理論と方法		2		2									高等学校のみ
中学校教諭一種免許状 数学, 理科, 技術	教職総合ゼミナール		2					2						
	「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、最低修得単位数を超えて修得する科目													

2-1④ 理工学部・情報工学部

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（各学科共通） 教育課程表

○印必修 △印選択必修

学則第4条の学科で取得し得る教育職員免許状の種類と免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	必修の別	単位数	週時間数								備考	
					1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
高等学校教諭 一種免許状 数学, 理科, 情報, 工業	日本国憲法	日本国憲法	○	2	2	(2)								
		基礎体育(1a)	△1	0.5	1									
中学校教諭 一種免許状 数学, 理科, 技術	体育	基礎体育(1b)	△1	0.5	1									
		基礎体育(2a)	△1	0.5		1								
		基礎体育(2b)	△1	0.5		1								△1より 1単位修得
		応用体育(1)	△1	1			2	(2)						
		応用体育(2)	△1	1			2	(2)						
		スポーツ・健康論	○	2	2	(2)								
		外国語コミュニケーション	Communication Skills(1)	○	1	2								
	Communication Skills(2)	○	1		2									
情報機器の操作	情報リテラシー	△2	2	2										
	情報リテラシー演習(a)	△2	0.5	1										
	情報リテラシー演習(b)	△2	0.5	1										
	プログラミング基礎(a)	△2	1		1								△2より 2単位修得 または、 △3より 2単位修得	
	プログラミング基礎(b)	△2	1		1									
数理、データ活用及び人工知能に関する科目	データサイエンスリテラシー(1)	△3	1	2	(2)									
	データサイエンスリテラシー(2)	△3	1	(2)	2									

2-2① メディア情報学部 社会メディア学科 教科に関する専門的事項 教育課程表

○印必修

学則第4条の学科 で取得し得る教育 職員免許状の種類 と免許教科	科目区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考	
					1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
高等学校教諭 一種免許状 情報	情報社会・情報倫理	情報と社会	○	2	2									
		情報と法	○	2			2							
		参加型デザイン論		2			2							
		情報の倫理		2				2						
		情報政策論		2					2					
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	基礎プログラミング演習(1a)	○	1	1									
		基礎プログラミング演習(1b)	○	1	1									
		コンピュータシステム	○	2		2								
		基礎プログラミング演習(2a)		1		1								
		基礎プログラミング演習(2b)		1		1								
	情報システム (実習を含む。)	サーバシステム構築	○	2				2						
		データベース		2				2						
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	情報通信技術入門	○	2	2									
		LAN環境演習	○	2				2						
		情報セキュリティ		2				2						
	マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)	情報編集入門	○	2		2								
		コンピュータグラフィックス	○	2		2								
		インフォグラフィックス設計演習		2			2							
		インタフェースデザイン演習		2				2						
		ヒューマンコンピュータインタラクション		2					2					
	情報と職業	情報と職業	○	2				2						

2-2② メディア情報学部 情報システム学科 教科に関する専門的事項 教育課程表

○印必修

学則第4条の学科で取得し得る教育職員免許状の種類と免許教科	科目区分	授業科目	必修の別	単位数	週時間数								備考		
					1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
高等学校教諭一種免許状 情報	情報社会・情報倫理	情報と社会	○	2	2										
		情報と法	○	2			2								
		情報の倫理		2					2						
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	情報数学	○	2	2										
		コンピュータシステム	○	2		2									
		プログラミング基礎演習A		2	2										
		アルゴリズムとプログラミング		2	2										
		プログラミング基礎演習B		2		2									
	情報システム (実習を含む。)	サーバシステム構築	○	2				2							
		オペレーティングシステム		2		2									
		ソフトウェア開発技法	○	2		2									
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	LAN環境演習	○	2					2						
		コンピュータネットワーク		2		2									
		デジタル信号処理		2			2								
		情報セキュリティ		2			2								
	マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)	情報編集入門	○	2		2									
		コンピュータグラフィックス	○	2		2									
		ヒューマンコンピュータインタラクション		2				2							
	情報と職業	情報と職業	○	2				2							

2-2③ メディア情報学部 大学が独自に設定する科目（各学科共通） 教育課程表

○印必修 △印選択必修

学則第4条の学科 で取得し得る教育 職員免許状の種類 と免許教科	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
高等学校教諭 一種免許状 情報	道徳教育の理論と方法		2		2									
	「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、最低修得単位数を超えて修得する科目													

2-2④ メディア情報学部 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(各学科共通)教育課程表

○印必修 △印選択必修

学則第4条の学科 で取得し得る教育 職員免許状の種類 と免許教科	科目区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間教								備考					
					1年		2年		3年		4年							
					前	後	前	後	前	後	前	後						
高等学校教諭 一種免許状 情報	日本国憲法	日本国憲法	○	2	(2)	2												
	体育	基礎体育(1a)	△1	0.5	1											1科目必修		
		基礎体育(1b)	△1	0.5	1													
		基礎体育(2a)	△1	0.5		1												
		基礎体育(2b)	△1	0.5		1												
		応用体育(1)	△1	1			2	(2)										
		応用体育(2)	△1	1			2	(2)										
		スポーツ・健康論	○	2	2	(2)												
	外国語 コミュニケーション	Communication Skills(1)	○	1	2													
		Communication Skills(2)	○	1		2												
	情報機器の操作	情報リテラシー演習	△2	2	2													
	数理、データ活用 及び人工知能に関 する科目	データサイエンスリテラシー(1)	△3	1	2	(2)										△2より2単位修得 または、 △3より2単位修得		
データサイエンスリテラシー(2)		△3	1	(2)	2													

2-3① 人間科学部

教育の基礎的理解に関する科目等及び保育内容の指導法（人間科学科） 教育課程表

○印必修 △印選択必修

学期第4条の学科で取得し得る教育職員免許状の種類	科目区分	授業科目	必選の別	単位数	週時間数								備考									
					1年		2年		3年		4年											
					前	後	前	後	前	後	前	後										
幼稚園教諭 一種免許状	教育の基礎的理解に関する科目等	①-1 教育原理	○	2			2															
		①-2 保育者論	○	2						2												
		①-3 教育社会学	○	2			2															
		①-4 発達心理学	○	2		2																
			○	2				2														
		①-5 特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援	○	2				2														
		①-6 カリキュラム論	○	2							2											
		②-1 幼児教育方法論	○	2						2												
			○	2								2										
			○	2							2											
			③-1 幼稚園教育実習(1)	○	2					2												
		○		2								2										
		○		1					2													
	○	1										1										
	③-2 保育・教職実践演習(幼稚園)	○	2												2							
		○	2										2									
		○	2				2															
		○	2					2														
		○	2						2													
		△	2							2												
△		2								2												
○	2						2															
（情報機器の指導教材の活用を含む。）	○	2												2								
	○	2					2															
	○	2						2														
	○	2							2													
	○	2								2												
	△	2									2											
	△	2										2										
	○	2																				
	○	2																				

<科目区分の詳細>

①教育の基礎的理解に関する科目

- ①-1 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
- ①-2 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）
- ①-3 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）
- ①-4 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程
- ①-5 特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解
- ①-6 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）

②道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

- ②-1 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）
- ②-2 幼児理解の理論及び方法
- ②-3 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

③教育実践に関する科目

- ③-1 教育実習
- ③-2 教職実践演習

2-3② 人間科学部 領域に関する専門的事項（人間科学科） 教育課程表

○印必修 △印選択必修

学則第4条の学科で 取得し得る教育職員 免許状の種類	科目区分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考		
					1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
幼稚園教諭 一種免許状	健康	子どもの保健と健康	○	2			2								
	人間関係	子どもと人間関係	○	2	2										
	環境	子どもと環境	○	2	2										
	言葉	子どもと言葉	○	2			2								
	表現		保育内容の理解と方法（音楽表現）	○	1			2							
			保育内容の理解と方法（造形表現）	○	1		2								
			保育内容の理解と方法（身体表現）	○	1			2							
			保育内容の理解と方法（言語表現）	○	1	2									

2-3③ 人間科学部 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（人間科学科） 教育課程表

○印必修 △印選択必修

学則第4条の学科で 取得し得る教育職員 免許状の種類	免許法施行規則 に定める科目区 分	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考			
					1年		2年		3年		4年					
					前	後	前	後	前	後	前	後				
幼稚園教諭 一種免許状	日本国憲法	日本国憲法	○	2		2										
	体育	基礎体育(1a)	○	0.5	1											
		基礎体育(1b)	○	0.5	1											
		基礎体育(2a)	○	0.5		1										
		基礎体育(2b)	○	0.5		1										
	外国語コミュニ ケーション	Communication Skills(1)	○	1	2											
		Communication Skills(2)	○	1		2										
	情報機器の操作	情報処理演習(1)	○	1	2											
		情報処理演習(2)	○	1		2										

別表3 入学検定料, 入学金及び授業料 (学則第46条)

科 目	学 部	金 額	備 考
入学検定料	全 学 部	35,000円	大学入学共通テストの成績のみを利用する場合は, 18,000円
入 学 金	全 学 部	200,000円	
授 業 料	理 工 学 部 建築都市デザイン学部 情報工 学 部	1,476,000円	
	環 境 学 部 メディア情報学部 デザイン・データ科学部	1,290,000円	
	都 市 生 活 学 部	1,194,000円	
	人 間 科 学 部	1,176,000円	

別表4 研究生の入学検定料, 入学金及び授業料 (学則第50条)

科 目	金 額
入学検定料	6,000円
入 学 金	6,000円
授 業 料	半期分 270,000円

別表5 科目等履修生の入学検定料, 入学金及び履修料 (学則第55条)

科 目	金 額
入学検定料	12,000円
入 学 金	10,000円
履 修 料	1単位につき 12,000円

別表6 人材の養成及び教育研究上の目的（学則第4条の2）

学部	学科	人材の養成及び教育研究上の目的
理工学部		教育理念である「理論と実践」のもと、理工学に関する深い専門性、幅広い教養、豊かな国際性、多様なコミュニケーション能力及び高い倫理観を涵養し、これらの学びを統合させることによって、社会に変革をもたらすための問いを生み出し、社会課題の解決に果敢に挑戦していく研鑽を積むことで、未来を切り拓く探究心、判断力及び実行力を持つ人材の養成を目的とする。
	機械工学科	機械工学の専門知識の修得と実践的学習を通して、工業が自然や人間社会に及ぼす影響に興味と関心を持ち、問題の発見から解決に至る一連の流れを創造して、もの作りができる能力と、社会の多様な問題を解決するためのコミュニケーション能力を向上させることで、社会変革を担える人材の養成を目的とする。
	機械システム工学科	機械工学、電気工学、制御工学の基礎を幅広く学修し、機械システムを設計する実践的な経験を積むことにより、理論的裏付けを持った実践と協働によって次代の多様な社会的要請に応じた機械システムを構築できると同時に、教養、語学力、国際的思考を有し、社会を担う気概と倫理観を持った技術者の養成を目的とする。
	電気電子通信工学科	電気電子通信工学の基礎となる知識を十分に修得した上で、幅広く専門知識を身に付け、さらに学生実験や卒業研究を通して実践的な経験を積むことにより、進化する社会の中で技術者として生き抜く力を養い、現実に即した発想のもと身に付けた知識に基づく理論的裏付けを持った実践によって多彩かつ柔軟に応用できる人材の養成を目的とする。
	医用工学科	工学分野と医学分野の知識及びその活用に必要な基本知識と技能をバランスよく修得し、それらの知識と技能を有機的に融合させて医療及び福祉に貢献する機器や技術の研究開発を実践できる人材、さらには多様な知識を適切に活用して問題の発見と解決ができ、社会の変化に柔軟に対応できる人材の養成を目的とする。
	応用化学科	応用化学に関する系統的な学修、すなわち物質の構造や性質に関連する化学の様々な基礎知識を修得し、化学をベースに新しい物質を創成・利用するための基礎から応用までの専門知識について理解を深め、先進的な研究活動の経験を積むことにより、機能性材料開発、クリーンエネルギー、環境浄化、省資源などの分野で広く活躍できる能力をそなえた人材の養成を目的とする。
	原子力安全工学科	カーボンフリー電源である原子力エネルギー利用のさらなる安全性向上と発電以外の応用技術創造のために、原子核や原子力安全に関する正しい理論の学修と、放射線の取扱いに関する実務を交えた学修によって、原子力・放射線分野の理論及び技術を修得し、高度で専門的な能力を有する技術者の養成を目的とする。
	自然科学科	物理学・化学・生物学・地球科学・天文学及び数学といった自然科学に関する幅広い知識の涵養により、総合的な見識と健全な判断力を醸成し、自然科学における様々な現象を理学的視点により探究できる人材や広範な理学分野の学術的発展に寄与する調査分析能力を身に付けた人材を育成することで、複雑化及び多様化する社会に柔軟に対応できる人材や科学と社会の架け橋となって人類の持続可能な進歩や福祉に貢献する人材の養成を目的とする。
建築都市デザイン学部		建築、社会基盤施設から都市デザインまでをフィールドとし、持続的な建築・都市の創造・再生を実現するため、社会の要請に対応できる高い能力をそなえた人材の養成を目的とする。
	建築学科	科学技術が高度に発展した現代において、歴史・文化を踏まえた上で都市・地域を再生し、人間生活や社会機能の高度化・複雑化に対応でき、自然環境と調和できる建築・都市を実現するために、人間としての幅広い教養、建築学に係わる総合的な基礎能力及び応用能力を培い、広く社会の発展に貢献できる建築設計者・建築技術者の養成を目的とする。
	都市工学科	工学の基礎力及びシビルエンジニアリングに関する実務の理解・デザイン能力を含む総合的問題解決能力をそなえた、社会の中核となる人材を育成すること、並びに人間－自然環境－社会システムの健全かつ持続的な共生関係を理解し、安全で快適な都市環境の実現に向けて、都市の構築・維持管理、都市環境の改善・創造、及び災害に強い都市づくりに貢献できるエンジニアの養成を目的とする。

学部	学科	人材の養成及び教育研究上の目的
情報工学部		高度に発達した情報技術を基盤とした豊かで持続可能な社会の実現に向けて、情報工学に関する基礎から応用までの知識や技術を体系的に身に付けるとともに、それらを現実の問題に適用して解決できる能力を有し、社会が要請する情報システムやサービスを実現して国際社会で活躍できる人材の養成を目的とする。
	情報科学科	情報工学に関する専門知識と応用能力を兼ね備え、技術を総合的に活用したシステムとしてのコンピュータの開発能力を持ち、社会の要請に応えるべく、問題の本質を積極的に解決する能力を身に付けているだけでなく、コンピュータが豊かな社会に貢献するための倫理観をも身に付けている人材の養成を目的とする。
	知能情報工学科	人工知能や人間の知能など様々な知能を統合・活用しながら、IoT技術でビッグデータを収集でき、データサイエンスを駆使して分析し、その結果から解決案や新しい製品、仕組みをデザインし、それを社会に送り出すマネジメント能力を通じて、超スマート社会にイノベーションを起こすことのできる総合的技術者の養成を目的とする。
環境学部		グローバルな視野のもと、地域から地球規模に及ぶ環境問題を科学的に捉え、自然環境と都市環境を調和させることで持続可能な未来社会を創造し、政策科学に立脚した経済システムを環境調和型に転換することによって、カーボンニュートラルの実現、ひいては循環型で持続可能な社会の構築に貢献できる人材の養成を目的とする。
	環境創生学科	持続可能な社会の基盤である生態環境、都市環境及びそれらの相互関係性を理解させるとともに、劣化した自然環境の保全・復元・創造や人間社会にとって安全で快適な都市空間の創造についての理念と方法論を修得させることによって、実社会において持続的な環境を創生できる専門家の養成を目的とする。
	環境経営システム学科	気候変動、廃棄物問題、大気と水の汚染、生物多様性の消失などの現在直面する地球環境問題は、人間の日常生活と事業活動が原因で発生している。このような問題に対処するために、環境経営と環境政策を基軸とする教育と研究を推進し、循環型で持続可能な社会の実現に向けた提案や実践を行うことができる人材の養成を目的とする。
メディア情報学部		人間と情報通信技術の調和による、より良い社会の実現に向けて、人間社会や、情報通信技術が生み出す新しい情報環境を深く理解した上で、社会的仕組みや情報システムを調査・分析する能力を身に付けるとともに、新しい仕組みやシステムを実現・評価・改善することができる人材の養成を目的とする。
	社会メディア学科	グローバルな諸問題から身近なコミュニケーション問題までを、社会科学的視点から調査分析し、情報メディアを駆使した解決法を編み出し、社会に向けて説得的に提言できる人材、そのために必要な実践力・リサーチ力、デザイン力、コミュニケーション力等をそなえた人材の養成を目的とする。
	情報システム学科	人々が幸福に暮らせる自然環境・社会環境を維持発展していく基盤として、多様なニーズに応える安全で安心な情報システムの実現に向けた諸課題に取り組むことで、優れたシステムを作り上げるとともに、その必要性を戦略的に提言・説明し実現に向けマネジメントできるアセスメント力を持った人材の養成を目的とする。
デザイン・データ科学部	デザイン・データ科学科	定量・定性の両方のデータ科学に関する知識と技術に裏付けられた批判的思考力と論理的思考力、そしてグローバルリテラシーの涵養により、世界のあらゆる「もの」と「こと」を読み解く能力を修得させる。その上で、実社会における多種多様な課題を解決するために、新たな「もの」と「こと」を具体的に、構想・設計・構築、すなわち、デザインできる実践的な専門力を持つ人材の養成を目的とする。
都市生活学部	都市生活学科	都市の経営とデザインに関する企画力を有し、事業の推進及び管理運営を担う構想力・実践力を兼ね備え、都市に関する豊富な知見と国際人として活躍できるコミュニケーションスキルを活用して、魅力的で持続可能な都市生活の創造に資する人材の養成を目的とする。
人間科学部	人間科学科	いのちを大切に、平和と環境を保持し、人類の持続可能な発展をもたらすため、「保育・教育」「発達・心理」「文化」「保健・福祉」「環境」について総合的に理解し、その向上に貢献できる豊かな感性としなやかな知性をそなえた高い専門性を持つ、自立した人材の養成を目的とする。

学則の変更事項を記載した書類

1. 変更の事由

- ・デザイン・データ科学部の設置及びこれに伴う大学全体の収容定員の変更
- ・学科の名称変更（人間科学部児童学科から人間科学科へ）

2. 変更点

- ・学則条文の変更
- ・付則の追加
- ・別表の変更
 - 別表 1 デザイン・データ科学部設置に伴う教育課程の変更
人間科学部の教育課程の変更（学科の名称変更に伴う変更を含む）
 - 別表 2 人間科学部の教育課程の変更（学科の名称変更に伴う変更を含む）
 - 別表 3 デザイン・データ科学部の授業料を追加
 - 別表 6 デザイン・データ科学部の人材の養成及び教育研究上の目的を追加
学科の名称変更に伴う変更

令和5年度 東京都市大学学則 変更部分の新旧比較対照表（案）

変更案				現行					
(学部、学科及び収容定員)				(学部、学科及び収容定員)					
第4条 本大学に、理工学部、建築都市デザイン学部、情報工学部、環境学部、メディア情報学部、 <u>デザイン・データ科学部</u> 、都市生活学部及び人間科学部を置く。				第4条 本大学に、理工学部、建築都市デザイン学部、情報工学部、環境学部、メディア情報学部、都市生活学部及び人間科学部を置く。					
2 各学部に掲げる学科及び収容定員は、次のとおりとする。				2 各学部に掲げる学科及び収容定員は、次のとおりとする。					
	学部	学科	入学定員	収容定員		学部	学科	入学定員	収容定員
理工学部	理工学部	機械工学科	120	480	理工学部	理工学部	機械工学科	120	480
		機械システム工学科	110	440			機械システム工学科	110	440
		電気電子通信工学科	150	600			電気電子通信工学科	150	600
		医用工学科	60	240			医用工学科	60	240
		応用化学科	75	300			応用化学科	75	300
		原子力安全工学科	45	180			原子力安全工学科	45	180
		自然科学科	60	240			自然科学科	60	240
	計	620	2,480	計	620	2,480			
建築都市デザイン学部	建築都市デザイン学部	建築学科	120	480	建築都市デザイン学部	建築都市デザイン学部	建築学科	120	480
		都市工学科	100	400			都市工学科	100	400
	計	220	880	計	220	880			
情報工学部	情報工学部	情報科学科	100	400	情報工学部	情報工学部	情報科学科	100	400
		知能情報工学科	80	320			知能情報工学科	80	320
	計	180	720	計	180	720			
環境学部	環境学部	環境創生学科	90	360	環境学部	環境学部	環境創生学科	90	360
		環境経営システム学科	90	360			環境経営システム学科	90	360
	計	180	720	計	180	720			
メディア情報学部	メディア情報学部	社会メディア学科	90	360	メディア情報学部	メディア情報学部	社会メディア学科	90	360
		情報システム学科	100	400			情報システム学科	100	400
	計	190	760	計	190	760			
デザイン・データ科学部	デザイン・データ科学部	100	400						
都市生活学部	都市生活学部	160	640	都市生活学部	都市生活学部	160	640		
人間科学部	人間科学部	100	400	人間科学部	児童学科	100	400		
合計	合計	1,750	7,000	合計	合計	1,650	6,600		

変更案	現行
<p>(授業科目の区分)</p> <p>第14条 理工学部にあつては、授業科目を教養科目、体育科目、外国語科目、PBL科目、理工学基礎科目、専門科目並びに教科及び教職に関する科目に区分する。</p> <p>2 建築都市デザイン学部にあつては、授業科目を教養科目、体育科目、外国語科目、PBL科目、学部基盤科目、専門科目に区分する。</p> <p>3 情報工学部にあつては、授業科目を教養科目、体育科目、外国語科目、PBL科目、情報工学基盤科目、専門科目並びに教科及び教職に関する科目に区分する。</p> <p>4 環境学部にあつては、授業科目を基礎科目（体育科目・外国語科目・教養科目）、PBL科目、専門基礎科目、専門科目（学科基盤科目・学科専門科目）に区分する。</p> <p>5 メディア情報学部にあつては、授業科目を基礎科目（体育科目・外国語科目・教養科目）、PBL科目、専門基礎科目、専門科目（学科基盤科目・学科専門科目）、並びに教科及び教職に関する科目に区分する。</p> <p>6 <u>デザイン・データ科学部にあつては、授業科目を教養科目、外国語科目、専門基礎科目、専門応用科目に区分する。</u></p> <p>7 都市生活学部にあつては、授業科目を教養科目、外国語科目、体育科目、PBL科目、専門基礎科目、専門科目に区分する。</p> <p>8 人間科学部にあつては、授業科目を教養科目、外国語科目、体育科目、専門科目並びに教科及び教職に関する科目に区分する。</p> <p>(履修単位及び年限)</p>	<p>(授業科目の区分)</p> <p>第14条 理工学部にあつては、授業科目を教養科目、体育科目、外国語科目、PBL科目、理工学基礎科目、専門科目並びに教科及び教職に関する科目に区分する。</p> <p>2 建築都市デザイン学部にあつては、授業科目を教養科目、体育科目、外国語科目、PBL科目、学部基盤科目、専門科目に区分する。</p> <p>3 情報工学部にあつては、授業科目を教養科目、体育科目、外国語科目、PBL科目、情報工学基盤科目、専門科目並びに教科及び教職に関する科目に区分する。</p> <p>4 環境学部にあつては、授業科目を基礎科目（体育科目・外国語科目・教養科目）、PBL科目、専門基礎科目、専門科目（学科基盤科目・学科専門科目）に区分する。</p> <p>5 メディア情報学部にあつては、授業科目を基礎科目（体育科目・外国語科目・教養科目）、PBL科目、専門基礎科目、専門科目（学科基盤科目・学科専門科目）、並びに教科及び教職に関する科目に区分する。</p> <p>6 都市生活学部にあつては、授業科目を教養科目、外国語科目、体育科目、PBL科目、専門基礎科目、専門科目に区分する。</p> <p>7 人間科学部にあつては、授業科目を教養科目、外国語科目、体育科目、<u>PBL科目</u>、専門科目並びに教科及び教職に関する科目に区分する。</p> <p>(履修単位及び年限)</p>
<p>第15条 学生は、4年以上在学し、次の区分に従って所定の単位数以上を修得しなければならない。</p>	<p>第15条 学生は、4年以上在学し、次の区分に従って所定の単位数以上を修得しなければならない。</p>

変更案	現行																														
<p>理工学部（表略）</p> <p>建築都市デザイン学部 建築学科（表略）</p> <p>建築都市デザイン学部 都市工学科（表略）</p> <p>情報工学部 一般コース（表略）</p> <p>情報工学部 国際コース（表略）</p> <p>環境学部（表略）</p> <p>メディア情報学部（表略）</p> <p>デザイン・データ科学部</p> <table border="1" data-bbox="353 635 920 916"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>卒業要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教養科目</td> <td>12単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> <td>14単位</td> </tr> <tr> <td>専門基礎科目</td> <td>50単位</td> </tr> <tr> <td>専門応用科目</td> <td>40単位</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>116単位</td> </tr> <tr> <td>自由選択 ※</td> <td>8単位</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>124単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して8単位以上修得しなければならない。</p>	区分	卒業要件	教養科目	12単位	外国語科目	14単位	専門基礎科目	50単位	専門応用科目	40単位	小計	116単位	自由選択 ※	8単位	合計	124単位	<p>理工学部（表略）</p> <p>建築都市デザイン学部 建築学科（表略）</p> <p>建築都市デザイン学部 都市工学科（表略）</p> <p>情報工学部 一般コース（表略）</p> <p>情報工学部 国際コース（表略）</p> <p>環境学部（表略）</p> <p>メディア情報学部（表略）</p>														
区分	卒業要件																														
教養科目	12単位																														
外国語科目	14単位																														
専門基礎科目	50単位																														
専門応用科目	40単位																														
小計	116単位																														
自由選択 ※	8単位																														
合計	124単位																														
<p>都市生活学部（表略）</p> <p>人間科学部</p> <table border="1" data-bbox="353 1114 920 1430"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>卒業要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教養科目</td> <td rowspan="3">20単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> </tr> <tr> <td>体育科目</td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>90単位</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>110単位</td> </tr> <tr> <td>自由選択 ※</td> <td>14単位</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>124単位</td> </tr> </tbody> </table>	区分	卒業要件	教養科目	20単位	外国語科目	体育科目	専門科目	90単位	小計	110単位	自由選択 ※	14単位	合計	124単位	<p>都市生活学部（表略）</p> <p>人間科学部</p> <table border="1" data-bbox="1323 1114 1890 1430"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>卒業要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教養科目</td> <td rowspan="3">20単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> </tr> <tr> <td>体育科目</td> </tr> <tr> <td>PBL科目</td> <td>2単位</td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>90単位</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>112単位</td> </tr> <tr> <td>自由選択 ※</td> <td>12単位</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>124単位</td> </tr> </tbody> </table>	区分	卒業要件	教養科目	20単位	外国語科目	体育科目	PBL科目	2単位	専門科目	90単位	小計	112単位	自由選択 ※	12単位	合計	124単位
区分	卒業要件																														
教養科目	20単位																														
外国語科目																															
体育科目																															
専門科目	90単位																														
小計	110単位																														
自由選択 ※	14単位																														
合計	124単位																														
区分	卒業要件																														
教養科目	20単位																														
外国語科目																															
体育科目																															
PBL科目	2単位																														
専門科目	90単位																														
小計	112単位																														
自由選択 ※	12単位																														
合計	124単位																														

変更案	現行
<p>※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して<u>14単位以上</u>修得しなければならない。</p> <p>2 学部の定めるところにより、他学部、他学科で開設する指定授業科目を履修したときは、当該授業科目の単位を卒業に必要な単位として認めることができる。</p> <p>3 理工学部、建築都市デザイン学部及び情報工学部の学生は、<u>60単位以上</u>を修得しなければ3年次に進級することができない。</p> <p>4 環境学部の学生は、2年以上在学し、<u>66単位以上</u>を修得しなければ事例研究(1)に着手することができない。</p> <p>5 メディア情報学部の学生は、2年以上在学し、<u>66単位以上</u>を修得しなければ3年次に進級することができない。</p> <p><u>6 デザイン・データ科学部の学生は、2年以上在学し、50単位以上を修得しなければ3年次に進級することができない。</u></p> <p><u>7</u> 理工学部、建築都市デザイン学部及び情報工学部の学生は、3年以上在学し、<u>100単位以上</u>を修得しなければ4年次に進級することができない。</p> <p><u>8</u> 都市生活学部及び人間科学部の学生は、3年以上在学し、<u>100単位以上</u>を修得しなければ卒業研究に着手することができない。</p> <p><u>9</u> 環境学部の学生は、3年以上在学し、事例研究(1)及び事例研究(2)を含む<u>100単位以上</u>を修得しなければ卒業研究に着手することができない。</p> <p><u>10</u> メディア情報学部の学生は、3年以上在学し、事例研究を含む<u>100単位以上</u>を修得しなければ卒業研究に着手することができない。</p> <p><u>11</u> <u>デザイン・データ科学部の学生は、3年半以上在学し、110単位以上を修得しなければキャップストーンプロジェクトに着手することができない。</u></p>	<p>※自由選択として、各区分の卒業要件を越える分を合算して<u>12単位以上</u>修得しなければならない。</p> <p>2 学部の定めるところにより、他学部、他学科で開設する指定授業科目を履修したときは、当該授業科目の単位を卒業に必要な単位として認めることができる。</p> <p>3 理工学部、建築都市デザイン学部及び情報工学部の学生は、<u>60単位以上</u>を修得しなければ3年次に進級することができない。</p> <p>4 環境学部の学生は、2年以上在学し、<u>66単位以上</u>を修得しなければ事例研究(1)に着手することができない。</p> <p>5 メディア情報学部の学生は、2年以上在学し、<u>66単位以上</u>を修得しなければ3年次に進級することができない。</p> <p><u>6</u> 理工学部、建築都市デザイン学部及び情報工学部の学生は、3年以上在学し、<u>100単位以上</u>を修得しなければ4年次に進級することができない。</p> <p><u>7</u> 都市生活学部及び人間科学部の学生は、3年以上在学し、<u>100単位以上</u>を修得しなければ卒業研究に着手することができない。</p> <p><u>8</u> 環境学部の学生は、3年以上在学し、事例研究(1)及び事例研究(2)を含む<u>100単位以上</u>を修得しなければ卒業研究に着手することができない。</p> <p><u>9</u> メディア情報学部の学生は、3年以上在学し、事例研究を含む<u>100単位以上</u>を修得しなければ卒業研究に着手することができない。</p>

変更案	現行
<p>(在学年数及び在学年限)</p> <p>第16条 本大学及び前条における在学年数とは、本大学入学後の年数とする。</p> <p>2 編入学又は転入学した者の在学年数は、前項の在学年数に以下の年数を加えたものとする。</p> <p>(1) 2年次入学の場合は1年</p> <p>(2) 3年次入学の場合は2年</p> <p>3 転学部又は転学科した者の在学年数は、学年次にかかわらず、第1項による。</p> <p>4 再入学した者の在学年数は、第1項の在学年数に再入学する前の在学年数を加えたものとする。</p> <p>5 休学期間は、在学年数に含めない。</p> <p>6 在学年数は、8年を超えることができない。</p> <p>7 理工学部、建築都市デザイン学部、情報工学部、<u>メディア情報学部及びデザイン・データ科学部</u>については、2年次までの在学年数は、4年を超えることができない。</p> <p>(教育職員の免許状)</p> <p>第20条 教育職員免許状の資格を得ようとする者は、卒業に必要な単位を修得するほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定められている所定の単位を修得しなければならない。</p>	<p>(在学年数及び在学年限)</p> <p>第16条 本大学及び前条における在学年数とは、本大学入学後の年数とする。</p> <p>2 編入学又は転入学した者の在学年数は、前項の在学年数に以下の年数を加えたものとする。</p> <p>(1) 2年次入学の場合は1年</p> <p>(2) 3年次入学の場合は2年</p> <p>3 転学部又は転学科した者の在学年数は、学年次にかかわらず、第1項による。</p> <p>4 再入学した者の在学年数は、第1項の在学年数に再入学する前の在学年数を加えたものとする。</p> <p>5 休学期間は、在学年数に含めない。</p> <p>6 在学年数は、8年を超えることができない。</p> <p>7 理工学部、建築都市デザイン学部、情報工学部<u>及び</u>メディア情報学部については、2年次までの在学年数は、4年を超えることができない。</p> <p>(教育職員の免許状)</p> <p>第20条 教育職員免許状の資格を得ようとする者は、卒業に必要な単位を修得するほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定められている所定の単位を修得しなければならない。</p>

変更案

2 前項に定める免許状の種類及び免許教科は次のとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類 (教科)
理工学部	機械工学科	(略)
	機械システム工学科	(略)
	電気電子通信工学科	(略)
	医用工学科	(略)
	応用化学科	(略)
	原子力安全工学科	(略)
	自然科学科	(略)
情報工学部	情報科学科	(略)
	知能情報工学科	(略)
メディア情報学部	社会メディア学科	(略)
	情報システム学科	(略)
人間科学部	人間科学科	(略)

3 教科及び教職に関する科目の単位数及び授業時間数は、別表2のとおりとし、履修の順序、その他履修方法は、別に定める。

(保育士の資格)

第20条の3 人間科学部人間科学科の学生で保育士の資格を得ようとする者は、卒業に必要な単位を修得するほか、児童福祉法及び同法施行規則に定められている所定の単位を修得しなければならない。

2 保育士養成課程の単位数、授業時間数、履修の順序、その他履修方法は、別に定める。

(卒業及び学位)

第45条 本大学に4年以上在学し、第15条に定める単位を修得し、かつ、卒業試験に合格した者には、当該学部教授会の議を経て、卒業証書を授与する。

2 本大学を卒業した者には、本大学学位規程の定めるところにより以下の学位を授与する。

現行

2 前項に定める免許状の種類及び免許教科は次のとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類 (教科)
理工学部	機械工学科	(略)
	機械システム工学科	(略)
	電気電子通信工学科	(略)
	医用工学科	(略)
	応用化学科	(略)
	原子力安全工学科	(略)
	自然科学科	(略)
情報工学部	情報科学科	(略)
	知能情報工学科	(略)
メディア情報学部	社会メディア学科	(略)
	情報システム学科	(略)
人間科学部	児童学科	(略)

3 教科及び教職に関する科目の単位数及び授業時間数は、別表2のとおりとし、履修の順序、その他履修方法は、別に定める。

(保育士の資格)

第20条の3 人間科学部児童学科の学生で保育士の資格を得ようとする者は、卒業に必要な単位を修得するほか、児童福祉法及び同法施行規則に定められている所定の単位を修得しなければならない。

2 保育士養成課程の単位数、授業時間数、履修の順序、その他履修方法は、別に定める。

(卒業及び学位)

第45条 本大学に4年以上在学し、第15条に定める単位を修得し、かつ、卒業試験に合格した者には、当該学部教授会の議を経て、卒業証書を授与する。

2 本大学を卒業した者には、本大学学位規程の定めるところにより以下の学位を授与する。

変更案

学部 (学科)	学位
理工学部 (機械工学科, 機械システム工学科, 電気電子通信工学科, 医用工学科, 応用化学科, 原子力安全工学科)	学士 (工学)
理工学部 (自然科学科)	学士 (理学)
建築都市デザイン学部	学士 (工学)
情報工学部	学士 (工学)
環境学部	学士 (環境学)
メディア情報学部 (社会メディア学科)	学士 (社会情報学)
メディア情報学部 (情報システム学科)	学士 (情報学)
デザイン・データ科学部	学士 (学術)
都市生活学部	学士 (都市生活学)
人間科学部	学士 (人間科学)

3 第1項の在学年数については、第16条を準用する。

付 則 (令和4年3月23日)

1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、令和4年度以前に入学した者については、従前どおりとする（一部変更（第4条、第14条、第15条、第16条、第20条、第20条の3、第45条、第18条別表1、第20条別表2、第46条別表3、第4条の2別表6））。

2 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科の収容定員は、第4条の規定にかかわらず、令和5年度は100名、令和6年度は200名、令和7年度は300名とする。

現行

学部 (学科)	学位
理工学部 (機械工学科, 機械システム工学科, 電気電子通信工学科, 医用工学科, 応用化学科, 原子力安全工学科)	学士 (工学)
理工学部 (自然科学科)	学士 (理学)
建築都市デザイン学部	学士 (工学)
情報工学部	学士 (工学)
環境学部	学士 (環境学)
メディア情報学部 (社会メディア学科)	学士 (社会情報学)
メディア情報学部 (情報システム学科)	学士 (情報学)
都市生活学部	学士 (都市生活学)
人間科学部	学士 (児童学)

3 第1項の在学年数については、第16条を準用する。

変更案

現行

別表1 教育課程、授業科目の単位数及び授業時間数（学則第18条）

別表1 教育課程、授業科目の単位数及び授業時間数（学則第18条）

1-6 デザイン・データ科学部 教育課程表

(新設)

デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科

教養科目・外国語科目・専門基礎科目・専門応用科目 教育課程表

○印必修科目 △印選択必修科目

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
教養 科目	人文学系	倫理学(1)	2	2											
		倫理学(2)	2		2										
		倫理学(a)	1		1										
		倫理学(b)	1		1										
		視覚芸術史(1)	2	2											
		視覚芸術史(2)	2		2										
		デザイン概論(1)	2			2									
		デザイン概論(2)	2				2								
		日本史(1)	2	2											
		日本史(2)	2		2										
		西洋史(1)	2	2											
		西洋史(2)	2		2										
		社会科学系	社会学入門(a)	1	1										
			社会学入門(b)	1	1										
日本経済論(a)	1					1									
日本経済論(b)	1					1									
西洋経済史	2		(2)	2											
日本の政治(a)	1				1										
日本の政治(b)	1				1										
日本国憲法	2		(2)	2											
法学	2		2												
民法	2			2											
人間科学系	心理学入門	2	2												
	社会とジェンダー(a)	1		1											
	社会とジェンダー(b)	1		1											
	日本文化の伝承(a)	1		1											
	日本文化の伝承(b)	1		1											
	スポーツ・健康論	2	2	(2)											

変更案

現行

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
情報科学系 自然・ グローバル 教養系 その他	データサイエンスリテラシー(1)		1	2	(2)								※DS	
	データサイエンスリテラシー(2)		1	(2)	2								※DS	
	環境問題と社会		2	2										
	情報編集入門		2		2									
	Japan Studies	△	2			(2)	(2)	2						
	Global Studies(1)	△	2			(2)	(2)	2						
	Global Studies(2)	△	2			(2)	(2)	2						
	Global Studies(3)	△	2			(2)	(2)	2						
	Global Studies(4)	△	2			(2)	(2)	2						
	Intercultural Understanding(1)	△	2			(2)	(2)	2						
	Intercultural Understanding(2)	△	2			(2)	(2)	2						
	教養特別講義		2	2	(2)									
	ボランティア(1)		1											
	ボランティア(2)		1											
	インターンシップ(1)		1											
	インターンシップ(2)		1											
	外国語科目 英語科目	English I-A	○	1	2									
		English I-B	○	1	2									
		English II-A	○	1	(2)	2								
English II-B		○	1	(2)	2									
English III-A		○	1	(2)	(2)	2								
English III-B		○	1	(2)	(2)	2								
Reading Comprehension			2		(2)	(2)	2							
Debate & Discussion			2		(2)	(2)	2							
Presentation Strategies			2		(2)	(2)	2							
English Test Preparation			2		(2)	(2)	2							
Writing Strategies			2		(2)	(2)	2							
Academic Reading		△	2	(2)	(2)	(2)	2							
Academic Discussion		△	2	(2)	(2)	(2)	2							
Academic Presentation		△	2	(2)	(2)	(2)	2							
English Test Preparation for Academic Purposes	△	2	(2)	(2)	(2)	2								
Academic Research & Writing	△	2	(2)	(2)	(2)	2								

変更案

現行

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考	
				1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門基礎科目	データサイエンス概論	○	2	2									※DS
	コンピュータ基礎演習	○	2	2									
	プログラミング基礎演習	△	2	2									
	データサイエンス数学	△	2	2									※MS
	統計学基礎	△	2		2								※MS
	統計データ解析演習	△	2			2							※MS
	情報学理論	△	2	2									
	アルゴリズムとデータ構造	△	2		2								
	機械学習論	△	2		2								
	データマイニング	△	2			2							
	データベース	△	2			2							
	データ社会論	△	2		2								
	量的ユーザー調査	△	2		2								
	質的ユーザー調査	△	2		2								
	経営分析論		2		2								
業務プロセス分析		2		2									
イン ペリ エン ス エ ク ス デ ザ イ ン	ユーザーエクスペリエンスデザイン入門	○	2	2									
	デザインプレゼンテーション		2		2								
	デザインプロトタイピング(1)		2		2								
	ウェブプログラミング		2			2							
	情報デザイン		2			2							
ム デ ザ イ ン	デザインリサーチ		2				2						
	ソーシャルシステムデザイン入門	○	2		2								
	金融・市場システム論		2			2							
	サービスイノベーション		2		2								
	経営戦略概論		2		2								
	総合的品質管理		2			2							
そ の 他	オペレーションマネジメント		2			2							
	プロジェクトマネジメント		2				2						
	SD PBL(1)	○	1	1									
	SD PBL(2)	○	1		1								
	SD PBL(3)	○	1					2					

変更案

現行

区分 科目群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考	
				1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門 応用 科目	データ 科学	プログラミング応用演習	2			2							
		機械学習演習	2			2							
		ビッグデータ解析演習	2				2						
		ベイズ統計学	2				2						
		ニューラルネットワーク	2				2						
		画像・音声処理	2					2					
		自然言語処理	2					2					
		ウェブデータ処理	2					2					
	企業経営分析ケーススタディ	2				2							
イン バー エン ス デザ イ ン	ユー ザ エ ク ス デザ イ ン	デザインプロトタイピング(2)	2			2							
		ブランドコンセプトデザイン	2				2						
		インタフェースデザイン	2				2						
		感性デザイン演習	△	2			2						
		デザインプロダクション演習	△	2				2					
	インタラクションデザイン演習	△	2				2						
テ ム デザ イ ン シ ス	ソ シ ヤ ル シ ス	ビヘイビアル・ファイナンス	2				2						
		リスク&クライシスマネジメント	2				2						
		未来創造デザインプロジェクト	2				2						
		サービスシステムデザイン演習	△	2			2						
		サプライチェーンデザイン演習	△	2				2					
		ビジネスシステムデザイン演習	△	2				2					
そ の 他	そ の 他	特別講義	2	(2)	2								
		海外インターンシップ	2										
		COOPプログラム	4						4				
		キャップストーンプロジェクト	○	4						(4)	4		

卒 業 要 件	教養科目	12単位	右記を含むこと	△選択必修科目 6単位
	外国語科目	14単位	右記を含むこと	○必修科目 6単位、△選択必修科目 4単位
	専門基礎科目	50単位	右記を含むこと	○必修科目 11単位、△選択必修科目 20単位
	専門応用科目	40単位	右記を含むこと	○必修科目 4単位、△選択必修科目 2単位
	数理・データサイエンスプログラム	4単位		

(※DS及び※MS)

変更案

1-7 都市生活学部 教育課程表

都市生活学部 都市生活学科

教養科目・外国語科目・体育科目・PBL科目・専門基礎科目・専門科目

教育課程表（表略）

1-8 人間科学部 教育課程表

人間科学部 人間科学科 教育課程表

①:児童学コース ②:人間総合科学コース

○印必修 △印選択必修

区 分 科 目 群	授業科目	必選 の別		単 位 数	週時間数								備考								
		①	②		1年		2年		3年		4年										
					前	後	前	後	前	後	前	後									
教 養 科 目	人 文 学 系	哲学(1)			2	2															
		哲学(2)			2		2														
		倫理学(1)			2	2															
		倫理学(2)			2		2														
		倫理学(a)			1		1														
		倫理学(b)			1		1														
		文化人類学			2		2														
		視覚芸術史(1)			2	2															
		視覚芸術史(2)			2		2														
		デザイン概論(1)			2			2													
		デザイン概論(2)			2				2												
		日本文学			2			2													
		日本史(1)			2	2															
		日本史(2)			2		2														
		西洋史(1)			2	2															
		西洋史(2)			2		2														
		民俗学(a)			1		1														
		民俗学(b)			1		1														
		宗教学			2	2															

現行

1-6 都市生活学部 教育課程表

都市生活学部 都市生活学科

教養科目・外国語科目・体育科目・PBL科目・専門基礎科目・専門科目

教育課程表（表略）

1-7 人間科学部 教育課程表

人間科学部 児童学科 教育課程表

○印必修

区 分 科 目 群	授業科目	必選 の別		単 位 数	週時間数								備考								
		○	△		1年		2年		3年		4年										
					前	後	前	後	前	後	前	後									
教 養 科 目	人 文 学 系	哲学(1)			2	2															
		哲学(2)			2		2														
		倫理学(1)			2	2															
		倫理学(2)			2		2														
		倫理学(a)			1		1														
		倫理学(b)			1		1														
		文化人類学			2		2														
		視覚芸術史(1)			2	2															
		視覚芸術史(2)			2		2														
		デザイン概論(1)			2			2													
		デザイン概論(2)			2				2												
		日本文学			2			2													
		日本史(1)			2	2															
		日本史(2)			2		2														
		西洋史(1)			2	2															
		西洋史(2)			2		2														
		民俗学(a)			1		1														
		民俗学(b)			1		1														
		宗教学			2	2															

変更案

現行

①: 児童学コース ②: 人間総合科学コース ○印必修 △印選択必修

○印必修

区 分 科 目 群	授業科目	必選 の別		単 位 数	週時間数								備考																	
					1年		2年		3年		4年																			
		①	②	前	後	前	後	前	後	前	後																			
教養科目	社会科学系			1	1																									
				1	1																									
				1		1																								
				1		1																								
				1	1																									
				1	1																									
				1	1																									
				1	1																									
				1																										
				1								1																		
				1								1																		
				1	1																									
				1	1																									
				1									1																	
				1									1																	
				1	1																									
				1																										
				1	1																									
				2		2																								
				2	2																									
				2																										
				2	(2)	2																								
				1	1																									
				1	1																									
				2		2																								

区 分 科 目 群	授業科目	必選 の別		単 位 数	週時間数								備考																	
					1年		2年		3年		4年																			
		前	後	前	後	前	後	前	後																					
教養科目	社会科学系			1	1																									
				1	1																									
				1		1																								
				1		1																								
				1	1																									
				1	1																									
				1	1																									
				1	1																									
				1																										
				1																										
				1																										
				1	1																									
				1	1																									
				1																										
				1																										
				1	1																									
				1																										
				1	1																									
				2		2																								
				2	2																									
				2	(2)	2																								
				1	1																									
				1	1																									
				2		2																								

変更案

現行

①:児童学コース ②:人間総合科学コース ○印必修 △印選択必修

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別 ① ②	単 位 数	週時間数								備 考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
人間科学系	教育学(1a)		1	1											
	教育学(1b)		1	1											
	教育学(2a)		1		1										
	教育学(2b)		1		1										
	スポーツ・健康論		2	2	(2)										
	心理学(1a)		1	1											
	心理学(1b)		1	1											
	心理学(2a)		1		1										
	心理学(2b)		1		1										
	心理学入門		2	2											
	社会とジェンダー(a)		1		1										
	社会とジェンダー(b)		1		1										
	国際化と異文化理解(a)		1						1						
	国際化と異文化理解(b)		1						1						
	日本文化の伝承(a)		1		1										
	日本文化の伝承(b)		1		1										
自然・情報科学系	データサイエンスリテラシー(1)		1	2	(2)										※DS
	データサイエンスリテラシー(2)		1	(2)	2										※DS
	文系のための統計基礎		2	2	(2)										※MS
	文系のための数理基礎		2	2	(2)										※MS
	論理学(1a)		1	1											
	論理学(1b)		1	1											
	論理学(2a)		1		1										
	論理学(2b)		1		1										
	生活とメディア		2			2									
	現代の物理(a)		1	1											
	現代の物理(b)		1	1											
	現代の化学		2	2											
現代の地学		2	2												

○印必修

区 分 科 目 群	授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備 考			
				1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
人間科学系	教育学(1a)		1	1											
	教育学(1b)		1	1											
	教育学(2a)		1		1										
	教育学(2b)		1		1										
	スポーツ・健康論		2	2	(2)										
	心理学(1a)		1	1											
	心理学(1b)		1	1											
	心理学(2a)		1		1										
	心理学(2b)		1		1										
	心理学入門		2	2											
	社会とジェンダー(a)		1		1										
	社会とジェンダー(b)		1		1										
	国際化と異文化理解(a)		1						1						
	国際化と異文化理解(b)		1						1						
	日本文化の伝承(a)		1		1										
	日本文化の伝承(b)		1		1										
自然・情報科学系	データサイエンスリテラシー(1)		1	2	(2)										※DS
	データサイエンスリテラシー(2)		1	(2)	2										※DS
	文系のための統計基礎		2	2	(2)										※MS
	文系のための数理基礎		2	2	(2)										※MS
	論理学(1a)		1	1											
	論理学(1b)		1	1											
	論理学(2a)		1		1										
	論理学(2b)		1		1										
	生活とメディア		2			2									
	現代の物理(a)		1	1											
	現代の物理(b)		1	1											
	現代の化学		2	2											
現代の地学		2	2												

変更案

現行

①:児童学コース ②:人間総合科学コース

○印必修 △印選択必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修 の別		単 位 数	週時間数								備 考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
教 養 科 目	自然・ 情報 科学系	科学技術と社会			2				2						
		情報処理演習(1)	○	○	1	2									
		情報処理演習(2)	○	○	1		2								
		情報処理演習(3)		○	1		2								必修変更
		情報処理演習(4)		○	1		2								必修変更
	そ の 他	ボランティア(1)			1										
		ボランティア(2)			1										
		教養ゼミナール(1)			2	2	(2)								
		教養ゼミナール(2)			2	2	(2)								
		教養特別講義(1)			2	2	(2)								
外 国 語 科 目	英 語 科 目 (ス キ ル)	Communication Skills(1)	○	○	1	2									
		Communication Skills(2)	○	○	1		2								
		Reading and Writing(1)	○	○	1	2									
		Reading and Writing(2)	○	○	1		2								
		Basic English Training(a)			1			1	(1)						
		Basic English Training(b)			1			1	(1)						
		Grammar(1a)			1			1	(1)						
		Grammar(1b)			1			1	(1)						
		Grammar(2a)			1			1	(1)						
		Grammar(2b)			1			1	(1)						
		Test Taking Skills(1a)			1			1	(1)						
		Test Taking Skills(1b)			1			1	(1)						
		Test Taking Skills(2a)			1			1	(1)						
		Test Taking Skills(2b)			1			1	(1)						
		Test Taking Skills(3a)			1			1	(1)						
		Test Taking Skills(3b)			1			1	(1)						
		Critical Reading(1a)			1			1	(1)						
Critical Reading(1b)			1			1	(1)								

○印必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修 の別		単 位 数	週時間数								備 考	
		①	②		1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
教 養 科 目	自然・ 情報 科学系	科学技術と社会			2				2					
		情報処理演習(1)	○		1	2								
		情報処理演習(2)	○		1		2							
		情報処理演習(3)			1		2							必修変更
		情報処理演習(4)			1		2							必修変更
	そ の 他	ボランティア(1)			1									
		ボランティア(2)			1									
		教養ゼミナール(1)			2	2	(2)							
		教養ゼミナール(2)			2	2	(2)							
		教養特別講義(1)			2	2	(2)							
外 国 語 科 目	英 語 科 目 (ス キ ル)	Communication Skills(1)	○		1	2								
		Communication Skills(2)	○		1		2							
		Reading and Writing(1)	○		1	2								
		Reading and Writing(2)	○		1		2							
		Basic English Training(a)			1			1	(1)					
		Basic English Training(b)			1			1	(1)					
		Grammar(1a)			1			1	(1)					
		Grammar(1b)			1			1	(1)					
		Grammar(2a)			1			1	(1)					
		Grammar(2b)			1			1	(1)					
		Test Taking Skills(1a)			1			1	(1)					
		Test Taking Skills(1b)			1			1	(1)					
		Test Taking Skills(2a)			1			1	(1)					
		Test Taking Skills(2b)			1			1	(1)					
		Test Taking Skills(3a)			1			1	(1)					
		Test Taking Skills(3b)			1			1	(1)					
		Critical Reading(1a)			1			1	(1)					
Critical Reading(1b)			1			1	(1)							

変更案

現行

①:児童学コース ②:人間総合科学コース ○印必修 △印選択必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修 の別		単 位 数	週時間数								備 考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
外国語科目	Critical Reading(2a)			1			1	(1)							
	Critical Reading(2b)			1			1	(1)							
	Critical Reading(3a)			1			1	(1)							
	Critical Reading(3b)			1			1	(1)							
	Critical Listening(1a)			1			1	(1)							
	Critical Listening(1b)			1			1	(1)							
	Critical Listening(2a)			1			1	(1)							
	Critical Listening(2b)			1			1	(1)							
	Critical Listening(3a)			1			1	(1)							
	Critical Listening(3b)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(1a)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(1b)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(2a)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(2b)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(3a)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(3b)			1			1	(1)							
	Academic English(1a)			1			1	(1)							
	Academic English(1b)			1			1	(1)							
	Academic English(2a)			1			1	(1)							
	Academic English(2b)			1			1	(1)							
	Academic English(3a)			1			1	(1)							
	Academic English(3b)			1			1	(1)							
	英語科目 (教養)	Literature in English(1a)			1			1	(1)						
Literature in English(1b)				1			1	(1)							
Literature in English(2a)				1			1	(1)							
Literature in English(2b)				1			1	(1)							
Global Culture(1a)				1			1	(1)							
Global Culture(1b)			1			1	(1)								

○印必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修 の別		単 位 数	週時間数								備 考		
		○	△		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
外国語科目	Critical Reading(2a)			1			1	(1)							
	Critical Reading(2b)			1			1	(1)							
	Critical Reading(3a)			1			1	(1)							
	Critical Reading(3b)			1			1	(1)							
	Critical Listening(1a)			1			1	(1)							
	Critical Listening(1b)			1			1	(1)							
	Critical Listening(2a)			1			1	(1)							
	Critical Listening(2b)			1			1	(1)							
	Critical Listening(3a)			1			1	(1)							
	Critical Listening(3b)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(1a)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(1b)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(2a)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(2b)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(3a)			1			1	(1)							
	Communication Strategies(3b)			1			1	(1)							
	Academic English(1a)			1			1	(1)							
	Academic English(1b)			1			1	(1)							
	Academic English(2a)			1			1	(1)							
	Academic English(2b)			1			1	(1)							
	Academic English(3a)			1			1	(1)							
	Academic English(3b)			1			1	(1)							
	英語科目 (教養)	Literature in English(1a)			1			1	(1)						
Literature in English(1b)				1			1	(1)							
Literature in English(2a)				1			1	(1)							
Literature in English(2b)				1			1	(1)							
Global Culture(1a)				1			1	(1)							
Global Culture(1b)			1			1	(1)								

変更案

①:児童学コース ②:人間総合科学コース

○印必修 △印選択必修

区 分 科 目 群	授業科目	必選 の別		単 位 数	週時間数								備 考		
					1年		2年		3年		4年				
		①	②		前	後	前	後	前	後	前	後			
外国語科目	英語科目 (教養)	Global Culture(2a)			1			1	(1)						
		Global Culture(2b)			1			1	(1)						
		Language Sciences(1a)			1			1	(1)						
		Language Sciences(1b)			1			1	(1)						
		Language Sciences(2a)			1			1	(1)						
		Language Sciences(2b)			1			1	(1)						
		Global Society(1a)			1			1	(1)						
		Global Society(1b)			1			1	(1)						
		Global Society(2a)			1			1	(1)						
		Global Society(2b)			1			1	(1)						
	共通	海外・特別選抜セミナー			2	2	(2)								
		外国語特別講義(a)			1			1	(1)						
		外国語特別講義(b)			1			1	(1)						
	英語以外の 外国語科目	ドイツ語(1a)			1			1	(1)						
		ドイツ語(1b)			1			1	(1)						
		ドイツ語(2a)			1			1	(1)						
		ドイツ語(2b)			1			1	(1)						
		フランス語(1a)			1			1	(1)						
		フランス語(1b)			1			1	(1)						
フランス語(2a)				1			1	(1)							
フランス語(2b)				1			1	(1)							
スペイン語(1a)				1			1	(1)							
スペイン語(1b)				1			1	(1)							
スペイン語(2a)				1			1	(1)							
スペイン語(2b)				1			1	(1)							
イタリア語(1a)				1			1	(1)							
イタリア語(1b)				1			1	(1)							

現行

○印必修

区 分 科 目 群	授業科目	必選 の別		単 位 数	週時間数								備 考		
					1年		2年		3年		4年				
		前	後		前	後	前	後	前	後					
外国語科目	英語科目 (教養)	Global Culture(2a)			1			1	(1)						
		Global Culture(2b)			1			1	(1)						
		Language Sciences(1a)			1			1	(1)						
		Language Sciences(1b)			1			1	(1)						
		Language Sciences(2a)			1			1	(1)						
		Language Sciences(2b)			1			1	(1)						
		Global Society(1a)			1			1	(1)						
		Global Society(1b)			1			1	(1)						
		Global Society(2a)			1			1	(1)						
		Global Society(2b)			1			1	(1)						
	共通	海外・特別選抜セミナー			2	2	(2)								
		外国語特別講義(a)			1			1	(1)						
		外国語特別講義(b)			1			1	(1)						
	英語以外の 外国語科目	ドイツ語(1a)			1			1	(1)						
		ドイツ語(1b)			1			1	(1)						
		ドイツ語(2a)			1			1	(1)						
		ドイツ語(2b)			1			1	(1)						
		フランス語(1a)			1			1	(1)						
		フランス語(1b)			1			1	(1)						
フランス語(2a)				1			1	(1)							
フランス語(2b)				1			1	(1)							
スペイン語(1a)				1			1	(1)							
スペイン語(1b)				1			1	(1)							
スペイン語(2a)				1			1	(1)							
スペイン語(2b)				1			1	(1)							
イタリア語(1a)				1			1	(1)							
イタリア語(1b)				1			1	(1)							

変更案

現行

①:児童学コース ②:人間総合科学コース

○印必修 △印選択必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修 の別		単 位 数	週時間数								備 考						
		①	②		1年		2年		3年		4年								
					前	後	前	後	前	後	前	後							
外国語科目	イタリア語(2a)			1			1	(1)											
	イタリア語(2b)			1			1	(1)											
	中国語(1a)			1			1	(1)											
	中国語(1b)			1			1	(1)											
	中国語(2a)			1			1	(1)											
	中国語(2b)			1			1	(1)											
	アラビア語(1a)			1			1	(1)											
	アラビア語(1b)			1			1	(1)											
	アラビア語(2a)			1			1	(1)											
	アラビア語(2b)			1			1	(1)											
	韓国語(1a)			1			1	(1)											
	韓国語(1b)			1			1	(1)											
	韓国語(2a)			1			1	(1)											
	韓国語(2b)			1			1	(1)											
	日本語表現(a)			1			1	(1)											
	日本語表現(b)			1			1	(1)											
体育科目	人間と健康	○	○	2	2														
	基礎体育(1a)	○	△	0.5	1														必選変更
	基礎体育(1b)	○	△	0.5	1														必選変更
	基礎体育(2a)	○	△	0.5	1														必選変更
	基礎体育(2b)	○	△	0.5	1														必選変更
専門科目	保育原理	○	○	2	2														
	教育原理	○		2		2													必選変更
	教育社会学	○		2		2													必選変更
	子ども家庭福祉	○	○	2	2														
	社会福祉		○	2			2												必選変更
	社会的養護(1)			2		2													

○印必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修 の別		単 位 数	週時間数								備 考						
		①	②		1年		2年		3年		4年								
					前	後	前	後	前	後	前	後							
外国語科目	イタリア語(2a)			1			1	(1)											
	イタリア語(2b)			1			1	(1)											
	中国語(1a)			1			1	(1)											
	中国語(1b)			1			1	(1)											
	中国語(2a)			1			1	(1)											
	中国語(2b)			1			1	(1)											
	アラビア語(1a)			1			1	(1)											
	アラビア語(1b)			1			1	(1)											
	アラビア語(2a)			1			1	(1)											
	アラビア語(2b)			1			1	(1)											
	韓国語(1a)			1			1	(1)											
	韓国語(1b)			1			1	(1)											
	韓国語(2a)			1			1	(1)											
	韓国語(2b)			1			1	(1)											
	日本語表現(a)			1			1	(1)											
	日本語表現(b)			1			1	(1)											
体育科目	人間と健康	○		2	2														
	基礎体育(1a)	○		0.5	1														必選変更
	基礎体育(1b)	○		0.5	1														必選変更
	基礎体育(2a)	○		0.5	1														必選変更
	基礎体育(2b)	○		0.5	1														必選変更
PBL科目	SD PBL(2)	○		1			2	(2)											区分変更
	SD PBL(3)	○		1						2									区分変更
専門科目	保育原理	○		2	2														
	教育原理	○		2		2													必選変更
	教育社会学			2		2													必選変更
	子ども家庭福祉	○		2	2														
	社会福祉			2			2												必選変更
	社会的養護(1)			2		2													

変更案

現行

①:児童学コース ②:人間総合科学コース

○印必修 △印選択必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備 考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 科 目	保育者論	○		2						2				必修変更	
	発達心理学	○	○	2		2								名称変更	
	教育心理学	○		2				2						必修変更	
	子ども家庭支援の心理学	○		2		2								必修変更	
	子どもの保健と健康		○	2		2								必修変更	
	子どもの安全と健康			1				2							
	子どもの食と栄養		○	2		2									必修変更
	公衆衛生学		○	2							2				必修変更
	子ども家庭支援論			2		2									
	保育の計画と評価			2				2							
	カリキュラム論			2							2				
	保育内容総論		○	2		2									必修変更
	保育内容健康指導法			2							2				
	保育内容人間関係指導法			2			2								
	保育内容環境指導法			2							2				
	保育内容言葉指導法			2				2							
	保育内容表現指導法			2				2							
	乳児保育(1)			2		2									
	特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援		○	2			2								必修変更
	社会的養護(2)			1							1				
	子育て支援		○	2							2				必修変更
	保育内容の理解と方法(音楽表現)			1			2								
	音楽実技入門			2		2									
	音楽実技(1)			2		2									
保育内容の理解と方法(造形表現)			1		2										
造形			2			2									
保育内容の理解と方法(身体表現)			1			2									
保育内容の理解と方法(言語表現)			1		2										

○印必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備 考		
		①	②		1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 科 目	保育者論			2							2			必修変更	
	発達心理学(1)	○		2		2								名称変更	
	教育心理学			2				2						必修変更	
	子ども家庭支援の心理学			2		2								必修変更	
	子どもの保健と健康			2		2								必修変更	
	子どもの安全と健康			1				2							
	子どもの食と栄養			2		2									必修変更
	公衆衛生学			2							2				必修変更
	子ども家庭支援論			2		2									
	保育の計画と評価			2				2							
	カリキュラム論			2							2				
	保育内容総論			2		2									必修変更
	保育内容健康指導法			2							2				
	保育内容人間関係指導法			2			2								
	保育内容環境指導法			2							2				
	保育内容言葉指導法			2				2							
	保育内容表現指導法			2				2							
	乳児保育(1)			2		2									
	特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援			2			2								必修変更
	社会的養護(2)			1							1				
	子育て支援			2							2				必修変更
	保育内容の理解と方法(音楽表現)			1			2								
	音楽実技入門			2		2									
	音楽実技(1)			2		2									
保育内容の理解と方法(造形表現)			1		2										
造形			2			2									
保育内容の理解と方法(身体表現)			1			2									
保育内容の理解と方法(言語表現)			1		2										

変更案

現行

①:児童学コース ②:人間総合科学コース ○印必修 △印選択必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備 考	
		①	②		1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 科 目	保育実習(1)(保育所・施設)			4					4					
	保育実習指導(1)(保育所)			1					2					
	保育実習指導(1)(施設)			1					2					
	保育実習(2)(保育所)			2							2			
	保育実習指導(2)(保育所)			1							2			
	保育実習(3)(施設)			2							2			
	保育実習指導(3)(施設)			1							2			
	保育・教職実践演習(幼稚園)			2								2		
	心理研究法		○	2					2					名称・必修・学年変更
	臨床心理学			2							2			
	乳児保育(2)			2					2					
	音楽実技(2)			2				2						
	児童文化			2	2									
	子どもと昔話			2							2			
	手話			2	2									
	子どもと人間関係			2	2									
	子どもと言葉			2				2						
	教育学概論		○	2		2								必修変更
	子どもの造形表現指導法			2							2			
	子どもの身体表現指導法			2							2			
	子どもの音楽表現指導法			2							2			
	幼児教育方法論			2							2			
	子ども理解の理論と方法		○	2							2			必修変更
	教育相談			2							2			
	幼稚園教育実習(1)			2						2				
	幼稚園教育実習(2)			2							2			
幼稚園教育実習指導(1)			1							2				
幼稚園教育実習指導(2)			1							1				

○印必修

区 分 科 目 群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備 考	
		①	②		1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 科 目	保育実習(1)(保育所・施設)			4					4					
	保育実習指導(1)(保育所)			1					2					
	保育実習指導(1)(施設)			1					2					
	保育実習(2)(保育所)			2							2			
	保育実習指導(2)(保育所)			1							2			
	保育実習(3)(施設)			2							2			
	保育実習指導(3)(施設)			1							2			
	保育・教職実践演習(幼稚園)			2								2		
	発達心理学(2)			2				2						名称・必修・学年変更
	臨床心理学			2							2			
	乳児保育(2)			2							2			
	音楽実技(2)			2						2				
	児童文化			2	2									
	子どもと昔話			2								2		
	手話			2	2									
	子どもと人間関係			2	2									
	子どもと言葉			2						2				
	教育学概論			2		2								必修変更
	子どもの造形表現指導法			2							2			
	子どもの身体表現指導法			2							2			
子どもの音楽表現指導法			2							2				
幼児教育方法論			2							2				
子ども理解の理論と方法			2								2		必修変更	
教育相談			2							2				
幼稚園教育実習(1)			2							2				
幼稚園教育実習(2)			2								2			
幼稚園教育実習指導(1)			1							2				
幼稚園教育実習指導(2)			1								1			

変更案

現行

①:児童学コース ②:人間総合科学コース

○印必修 △印選択必修

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考															
		①	②		1年		2年		3年		4年																	
					前	後	前	後	前	後	前	後																
専 門 科 目	インターンシップ(1)			1																								
	インターンシップ(2)			1																								
	子どもと環境			2	2																							
	海外研修(1)			2																								
	海外研修(2)			2																								
	海外研修(3)			1																								
	子育て支援演習			2			1	1	1	1	1	1	1	1														
	食農文化と子育て(1)			2			2																					
	食農文化と子育て(2)			2			2																					
	教育学			○	2								2															必修変更
	学習科学概論			○	2								2															必修変更
	生涯発達心理学(1)			○	1								2															必修変更
	生涯発達心理学(2)			○	1								2															必修変更
	理工学与生活				2		2																					
	生理学(1)				2			2																				
	生理学(2)				2			2																				
	解剖・外科学				2				2																			
	臨床医学総論				2									2														
	基礎医学総論				2									2														
	医用工学リテラシー				2	2																						
	医用機器				2								2															
	医用安全工学				2								2															
	音響工学				2								2															
	人間科学入門			○	○	2	2																					名称変更
	SD PBL(1)			○	○	1	2																					名称・単位数変更
	SD PBL(2)			○	○	1		2	(2)																			区分変更
SD PBL(3)			○	○	1							2															区分変更	

○印必修

区分 科目群	授業科目	必修の別		単 位 数	週時間数								備考															
		①	②		1年		2年		3年		4年																	
					前	後	前	後	前	後	前	後																
専 門 科 目	インターンシップ(1)			1																								
	インターンシップ(2)			1																								
	子どもと環境			2	2																							
	海外研修(1)			2																								
	海外研修(2)			2																								
	海外研修(3)			1																								
	子育て支援演習			2			1	1	1	1	1	1	1	1														
	食農文化と子育て(1)			2			2																					
	食農文化と子育て(2)			2				2																				
	教育学				2													2										必修変更
	学習科学概論				2													2										必修変更
	生涯発達心理学(1)				1									2														必修変更
	生涯発達心理学(2)				1									2														必修変更
	理工学与生活				2		2																					
	生理学(1)				2			2																				
	生理学(2)				2			2																				
解剖・外科学				2				2									2											
臨床医学総論				2														2										
基礎医学総論				2														2										
医用工学リテラシー				2	2																							
医用機器				2														2										
医用安全工学				2														2										
音響工学				2															2									
児童学入門			○	2	2																						名称変更	
基礎ゼミ			○	2	2																						名称・単位数変更	

変更案

現行

①: 児童学コース ②: 人間総合科学コース

○印必修 △印選択必修

区分 科目群	授業科目	必修 の別		単 位 数	週時間数								備考	
		①	②		1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 科 目	特別研究(1)	○	○	2							2	(2)		新設
	特別研究(2)	○	○	2							2	(2)		名称・単位数・開講期変更
	卒業研究(1)	○	○	3								6	(6)	新設
	卒業研究(2)	○	○	3								(6)	6	名称・単位数・開講期変更

○印必修

区分 科目群	授業科目	必修 の別		単 位 数	週時間数								備考	
					1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 科 目														
	特別研究	○		4							2	2		名称・単位数・開講期変更
	卒業研究	○		6									6	名称・単位数・開講期変更

①: 児童学コース

卒業要件	124単位 以下を含むこと	
	教養科目	右記を含むこと ○必修 2単位
	外国語科目	20単位 右記を含むこと ○必修 4単位及び選択 4単位
	体育科目	右記を含むこと ○必修 4単位
	専門科目	90単位 右記を含むこと ○必修39単位
	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位 右記を含むこと ※DS 1単位

卒業要件	124単位 以下を含むこと	
	教養科目	右記を含むこと ○必修 2単位
	外国語科目	20単位 右記を含むこと ○必修 4単位及び選択 4単位
	体育科目	右記を含むこと ○必修 4単位
	PBL科目	2単位 右記を含むこと ○必修 2単位
	専門科目	90単位 右記を含むこと ○必修22単位
数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位 右記を含むこと ※DS 1単位	

②: 人間総合科学コース

卒業要件	124単位 以下を含むこと	
	教養科目	右記を含むこと ○必修 4単位
	外国語科目	20単位 右記を含むこと ○必修 4単位及び選択 4単位
	体育科目	右記を含むこと ○必修 2単位及び△選択必修 1単位
	専門科目	90単位 右記を含むこと ○必修39単位
	数理・データサイエンスプログラム (※DS及び※MS)	4単位 右記を含むこと ※DS 1単位

変更案

別表2 教育職員免許状を取得するための教科及び教職に関する科目

2-3 人間科学部 教育課程表 [教職]

2-3① 人間科学部 教育の基礎的理解に関する科目等及び保育内容の指導法

(人間科学科) 教育課程表

○印必修 △印選択必修

学則第4条の学科 で取得し得る教育 職員免許状の種類	科目区分		授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考	
						1年		2年		3年		4年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
幼稚園教諭 一種免許状	に 教 育 の 基 礎 的 理 解	①-4	発達心理学	○	2		2								名称変更

2-3② 人間科学部 領域に関する専門的事項 (人間科学科) 教育課程表 (表略)

2-3③ 人間科学部 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (人間科学科)

教育課程表 (表略)

別表3 入学検定料, 入学金及び授業料 (学則第46条)

科目	学部	金額	備考
入学検定料	全学部	35,000円	大学入学共通テストの成績のみを利用する場合は, 18,000円
入学金	全学部	200,000円	
授業料	理工学部 建築都市デザイン学部 情報工学部	1,476,000円	
	環境学部 メディア情報学部 デザイン・データ科学部	1,290,000円	
	都市生活学部	1,194,000円	
	人間科学部	1,176,000円	

現行

別表2 教育職員免許状を取得するための教科及び教職に関する科目

2-3 人間科学部 教育課程表 [教職]

2-3① 人間科学部 教育の基礎的理解に関する科目等及び保育内容の指導法

(児童学科) 教育課程表

○印必修 △印選択必修

学則第4条の学科 で取得し得る教育 職員免許状の種類	科目区分		授業科目	必 選 の 別	単 位 数	週時間数								備考	
						1年		2年		3年		4年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
幼稚園教諭 一種免許状	に 教 育 の 基 礎 的 理 解	①-4	発達心理学(1)	○	2		2								名称変更

2-3② 人間科学部 領域に関する専門的事項 (児童学科) 教育課程表 (表略)

2-3③ 人間科学部 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (児童学科)

教育課程表 (表略)

別表3 入学検定料, 入学金及び授業料 (学則第46条)

科目	学部	金額	備考
入学検定料	全学部	35,000円	大学入学共通テストの成績のみを利用する場合は, 18,000円
入学金	全学部	200,000円	
授業料	理工学部 建築都市デザイン学部 情報工学部	1,476,000円	
	環境学部 メディア情報学部	1,290,000円	
	都市生活学部	1,194,000円	
	人間科学部	1,176,000円	

変更案

現行

別表6 人材の養成及び教育研究上の目的（学則第4条の2）

別表6 人材の養成及び教育研究上の目的（学則第4条の2）

学部	学科	人材の養成及び教育研究上の目的
理工学部		(略)
	機械工学科	(略)
	機械システム工学科	(略)
	電気電子通信工学科	(略)
	医用工学科	(略)
	応用化学科	(略)
	原子力安全工学科	(略)
	自然科学科	(略)
建築都市デザイン学部		(略)
	建築学科	(略)
	都市工学科	(略)
情報工学部		(略)
	情報科学科	(略)
	知能情報工学科	(略)
環境学部		(略)
	環境創生学科	(略)
	環境経営システム学科	(略)
メディア情報学部		(略)
	社会メディア学科	(略)
	情報システム学科	(略)
デザイン・データ科学部	デザイン・データ科学科	定量・定性の両方のデータ科学に関する知識と技術に裏付けられた批判的思考力と論理的思考力、そしてグローバルリテラシーの涵養により、世界のあらゆる「もの」と「こと」を読み解く能力を修得させる。その上で、実社会における多種多様な課題を解決するために、新たな「もの」と「こと」を具体的に、構想・設計・構築、すなわち、デザインできる実践的な専門力を持つ人材の養成を目的とする。
都市生活学部	都市生活学科	(略)
人間科学部	人間科学科	(略)

学部	学科	人材の養成及び教育研究上の目的
理工学部		(略)
	機械工学科	(略)
	機械システム工学科	(略)
	電気電子通信工学科	(略)
	医用工学科	(略)
	応用化学科	(略)
	原子力安全工学科	(略)
	自然科学科	(略)
建築都市デザイン学部		(略)
	建築学科	(略)
	都市工学科	(略)
情報工学部		(略)
	情報科学科	(略)
	知能情報工学科	(略)
環境学部		(略)
	環境創生学科	(略)
	環境経営システム学科	(略)
メディア情報学部		(略)
	社会メディア学科	(略)
	情報システム学科	(略)
都市生活学部	都市生活学科	(略)
人間科学部	児童学科	(略)

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容	・・・ p. 2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・ p. 3
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	
(ア) 教育課程の変更内容	・・・ p. 5
(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	・・・ p. 5
(ウ) 教員組織の変更内容	・・・ p. 7
(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容	・・・ p. 7

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和5年度から、神奈川県横浜市に位置する横浜キャンパスにデザイン・データ科学部を設置することに伴い、入学定員100名、収容定員400名の増員を行う（令和4年4月設置届出予定）。

これにより、大学全体の入学定員を1,650名から100名増員し1,750名に、収容定員を6,600名から400名増員し7,000名とする。

表1

学 部	学 科	入学定員			収容定員		
		現行	定員増	変更後	現行	定員増	変更後
デザイン・データ科学部	デザイン・データ科学部	0	<u>100</u>	<u>100</u>	0	<u>400</u>	<u>400</u>
	小計	0	<u>100</u>	<u>100</u>	0	<u>400</u>	<u>400</u>
	その他の学科等	1,650	0	1,650	6,600	0	6,600
	大学総計	1,650	<u>100</u>	<u>1,750</u>	6,600	<u>400</u>	<u>7,000</u>

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学の創立に至るまでの経緯は、極めて独特であった。前身校である武蔵高等工科学校は昭和4年に創立されたが、その創設計画に奔走したのは多くの学生達であり、彼らの思いや行動に感銘を受けた創立者らによって、本学は誕生した。それ以来、本学は「公正・自由・自治」を建学の精神とし、時代の要請に応じた実務型人材の養成を第一の目標に掲げ、一貫して堅実な高等教育を継続してきた。

昭和24年、学校教育法が制定されたのを機に、本学は新制の4年制大学となった。当時からしばらくは機械工学科、電気工学科、建設工学科の3学科を主体とした工学教育に専念していたが、その後、時代の流れとともに平成8年まで70年近くにわたり工業系単科大学として産業界に多くの人材を輩出し歴史を重ねてきた。

その後、平成9年には、教育の多様化、情報の高度化など社会からの要請を受け、第二学部として社会科学系文理融合型の環境情報学部（平成25年に環境学部とメディア情報学部に変更）を神奈川県横浜市に開設し、複数の学部を有する大学となった。また、平成19年には高度情報化社会のなかで情報関連の総合的な問題解決を意図した教育を行うため、第三学部として知識工学部（令和2年度より情報工学部に名称変更）を設置するに至っている。更に平成21年には昨今の社会情勢を踏まえ、同一法人内の東横学園女子短期大学を発展的に統合し、新たな学部（都市生活学部、人間科学部）を設置するとともに、大学名称を武蔵工業大学から東京都市大学に変更した。本学は、新しい時代と社会の要請に応えるために、これまでの工業系単科大学から複数の学部を有する大学へと大きく進化してきた結果、現在では7学部17学科、大学院2研究科8専攻を擁する専門性の高い総合大学となった。

社会は急速にグローバル化が進展している。また、世界が抱える課題は、今後ますます高度化、複雑化し続けるであろう。世界が大きく変化する一方で、AI、ビッグデータ、IoTといった社会の在り方に影響を及ぼす技術革新が加速度的に進んでいる。本学は、たとえ社会がどのように変わろうとも、時代の変化に即応しながら進化を続け、優れた実践力、専門力、そして国際性という揺るぎない価値を備えた学生を養成して社会へ送り出すこと、また、デジタル人材の不足という日本の将来に向けた大きな不安の解消に向けた貢献の1つとして、令和5年4月にデザイン・データ科学部を新設することにした。これに伴い、大学全体の収容定員を増員する。以下に、その必要性を詳述する。

本学では、建学の精神「公正・自由・自治」を活かしながら新たな発展を目指し、「持続可能な社会発展をもたらすための人材育成と学術研究」を大学の理念として定めている。地球を多角的、総合的に見ながら、持続的な発展へと導くことが、本学の役割・使命と受け止め、そのための人材育成と学術研究を推進してきた。これらを受けて、新設するデザイン・データ科学部では人材の養成及び教育研究上の目的を、「定量・定性の両方のデータ科学に関する知識と技術に裏付けられた批判的思考力と論理的思考力、そしてグローバルリテラシーの涵養により、世界のあらゆる「もの」と「こと」を読み

解く能力を修得させる。その上で、実社会における多種多様な課題を解決するために、新たな「もの」と「こと」を具体的に、構想・設計・構築、すなわち、デザインできる実践的な専門力を持つ人材の養成を目的とする。」と定めた。

中央教育審議会の答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」（平成30年11月）に記載されているように、AI、ビッグデータ、IoT等の先端技術の高度化に伴い、あらゆる産業や社会生活に取り入れることで、誰もが活躍でき、様々な社会課題を解決できる、日本ならではの持続可能でインクルーシブな経済社会システムである Society 5.0（超スマート社会）の実現に向けた取組が加速している中で、その実現に寄与できる高度デジタル人材の必要性が高まっている。Society 5.0、第4次産業革命が目指す社会に必要とされる人材は、予測不可能な時代を生きぬくことができる人材であり、その人材像は、普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身に付けていくことができ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材であると考えられる。

このような人材を養成するためには、従来の工学的要素技術の教育・研究だけでは不十分であり、社会科学やグローバルなリテラシーと教養も含めた多面的で多様な知識を必要に応じて取捨選択しながら活用できる能力が必要である。デザイン・データ科学部では、数学と情報工学を基盤とし、数値データや言語データなどのデータ情報処理などを学ぶ科目群「データ科学」（専門基礎科目及び専門応用科目）に加え、デザイン工学や感性工学を基盤として、製品のデザインを進めるためのデザイン思考などを学ぶ科目群「ユーザーエクスペリエンスデザイン」（専門基礎科目及び専門応用科目）、経営科学や社会工学を基盤として、Society 5.0などのデジタル社会の設計を目指したサービス工学などを学ぶ科目群「ソーシャルシステムデザイン」（専門基礎科目及び専門応用科目）と、各科目区分の共通知識となる科目群「グローバル教養系」（教養科目）を学び、データ科学に関する確かなスキルと「もの」と「こと」に関する構想・設計・構築、すなわち、デザインできる力を活かしつつ、新しい体験や社会を創出するために活躍できる人材を養成することで、社会が求める人材需要に応えることができるものと考えた。

以上のような社会からの要請に応えるために、デザイン・データ科学部を新設し、大学全体の収容定員を増員させることとした。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容

デザイン・データ科学部では、数学や情報学を重視した理工学におけるデータサイエンス教育だけでなく、その背景知識である人文学や社会科学で構成されている教養科目も重視する。特に、グローバルに活躍できる知識や能力を身に付けることができる「グローバル教養系」の科目群を設け、さらには、本学部の基盤となる「データ科学」の科目群においては、定量的データだけでなく定性的データも扱い、データサイエンスにおける専門的な分析能力を習得できる教育課程を編成している。また、社会や人間に役立つ「もの」や「こと」を作り出せる実践的な能力を身に付けるために、「ユーザーエクスペリエンスデザイン」及び「ソーシャルシステムデザイン」の科目群においては、演習を重視した教育課程を編成している。

教育課程は、教養科目（「人文学系」「社会科学系」「人間科学系」「自然・情報科学系」「グローバル教養系」「その他」）、外国語科目（「英語科目」）、専門基礎科目（「データ科学」「ユーザーエクスペリエンスデザイン」「ソーシャルシステムデザイン」「その他」）、専門応用科目（「データ科学」「ユーザーエクスペリエンスデザイン」「ソーシャルシステムデザイン」「その他」）から構成され、特に、専門基礎科目及び専門応用科目の科目区分は、本学部での教育における3つの柱である「データ科学」「ユーザーエクスペリエンスデザイン」「ソーシャルシステムデザイン」の科目群によって主に構成されている。学部教育の集大成として、必修科目「キャップストーンプロジェクト」を配置している。

本学部の設置により、教養科目のうち科目群「人文学系」「社会科学系」「人間科学系」「自然・情報科学系」の各科目は、他学部との共通科目であることから、他学部に影響を及ぼす可能性がある。しかし、デザイン・データ科学部の学生がこれらの科目を履修する可能性がある単位数は0～14単位であるところ、33科目52単位と十分な科目を準備していること、また、想定履修者数に応じた教室配当を適切に行うことで、他学部の教育課程に影響を与えないように配慮し、従来と同等の内容を担保することとしている。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

①教育方法

デザイン・データ科学部の授業方法は、教養科目のうち科目群「人文学系」「社会科学系」等の各科目は、対象とする専門領域の意味や内容を理解することを目的とするため、主として講義形式の授業形態を採用する一方、メディア教材の活用や、グループ・ディスカッションやグループ・ワーク、プレゼンテーションに基づくディベート等のアクティブラーニングも積極的に取り入れ、能動的な学修を促進する。外国語科目や専門基礎科目、専門応用科目においては、より実践的に活用できる能力の習得が重要であることから、授業形態として講義形式に加え、演習形式も採用する。授業

内容に応じた学生数の設定は、設備や演習における指導体制を考慮した人数設定とする。授業の実施方法においては、能動的な学修を促進するために、グループ・ディスカッションやグループ・ワーク、プレゼンテーションに基づくディベートを積極的に取り入れ、また、企業や外部講師との連携も重視することで、実践的な問題発見能力・解決能力を高める学習方式を導入する。

各授業科目の配当年次は、基礎から応用へと体系的な学修が可能となるように配置し、特定の学年や学期に偏ることのない履修ができるよう配当している。さらに、学生の学びたい意欲や得意な分野をさらに伸ばすことを重視し、必修科目の配置は14科目21単位（1年次11科目15単位、2年次1科目1単位、3年次1科目1単位、4年次1科目4単位）とすることにより、学生個人の前向きな学びを実現できる教育課程を編成している。また、単位の実質化の観点から、教室における学習と教室外学習を効果的に組み合わせた授業を実施し、教育効果をさらに高めるために1年間の履修上限単位数を40単位（半期で20単位）と定めている。さらに、卒業時における学生の質の担保の観点から、シラバスにおいて各授業科目における学習目標や達成目標、授業の方法や計画を明示し、成績評価基準や卒業認定基準に基づいた評価を厳格に行う。

このように、本学部では、教育方法を整備し充実させるとともに、今後の状況に応じて、授業方法を継続的に改善していくことに努める。

なお、本学部の設置により、他学部の教育方法に影響を及ぼすことはなく、他学部の教育方法も従来と同等の内容が担保されている。

②履修指導方法

東京都市大学クラス担任規程（資料2）に基づき、各学年にクラス担任教員を配置することで、各学年の学生に対して履修相談が可能な教員を明確に示し、個別で、かつきめ細やかな履修指導体制を整えることにしている。各学期初には履修関係のガイダンスやクラス担任教員との面談を実施することで、各学年・学期における履修モデルの説明、学生の適性や能力、卒業後の進路等に応じた履修科目の選択に関する助言・アドバイスを行う。また、学生が適切な授業科目を履修するために、科目区分間の関連性、さらには、専門基礎科目及び専門応用科目における3つの科目群（「データ科学」「ユーザーエクスペリエンスデザイン」「ソーシャルシステムデザイン」）の構成に応じて、学生それぞれが持つべき学習目標や学生が目指す人材像に対応した履修モデルも提示する。

このように、デザイン・データ科学部では、卒業時における学生の質保証を確立するため、個別の学生に対する履修指導体制を整えることにしている。

なお、本学部の設置により、他学部の履修指導方法に影響を及ぼすことはなく、他学部の履修指導方法も従来と同等の内容が担保されている。

(ウ) 教員組織の変更内容

デザイン・データ科学部の専任教員数は16名（うち、教授10名）である。これは、大学設置基準別表第一イ（1）に定める必要専任教員数〔学部の種類：工学関係、収容定員：400名〕14名（うち、教授7名）を上回っている。

本学部の設置により、他学部等から教員の移籍が生じる。これに応じて、他学部では新たに教員を採用することで、他学部の教育の質は従来と同等のものを担保する。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

デザイン・データ科学部を設置する横浜キャンパスは、専任教員の研究室を除き、環境学部及びメディア情報学部並びに大学院環境情報学研究科環境情報学専攻が共用している。同キャンパスは、講義・研究棟、図書館・情報基盤センター棟、食堂棟、体育館・部室棟及び本館棟から構成されており、主に学生が授業を履修する講義・研究棟及び図書館・情報基盤センター棟には、収容人数200名～300名教室が4室（約192㎡～320㎡）、100名～150名教室が8室（約134㎡～217㎡）、60名～90名教室が8室（約70㎡～163㎡）、20名～50名教室が15室（約30㎡～108㎡）ある。

また、各種イベント等の開催も可能な大教室（収容人数（教室を接続して最大）500名）を設置している。体育施設については、体育館アリーナ（約1,008㎡）、フットサルコート（約1,144㎡：1面）、テニスコート（2,272㎡：3面）、プレーコート（1,348㎡：バスケットコート2面）を設置している。前述の通り、講義・研究棟、図書館・情報基盤センター棟は、本学部以外に環境学部及びメディア情報学部並びに大学院環境情報学研究科環境情報学専攻の学生も一緒に学ぶ。完成年度（令和8年度）を想定した使用教室数のシミュレーションを行った結果、教室稼働率の平均は40.4%（資料3）であった。この結果から、十分な教室数を確保できており、現状のまま使用しても何ら支障はないことを確認した。また、講義・研究棟、図書館・情報基盤センター棟及び体育館・部室棟には、専任教員全員の研究室が確保されている他、共通教育部の専任教員の研究室4室も確保されている。研究室以外の施設・設備としては、環境実験・演習室1室（約163㎡）、フィールド演習室1室（約98㎡）、会議室2室（約96㎡～233㎡）、就職資料室1室（32㎡）、就職面談室1室（約40㎡）、学生相談室1室（約21㎡）がある。

以上から、デザイン・データ科学部の新設に伴う収容定員の増員後においても、現在の横浜キャンパスの施設・設備のキャパシティ内で教育・研究を行えるため、他学部の教育研究環境に何ら支障はない。すなわち、定員変更前の施設・設備と比較して、他学部では同等の内容が担保されている。

資料目次

資料1 教育課程等の概要（デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科）

資料2 東京都市大学クラス担任規程

資料3 完成年度（令和8年度）を想定した使用教室数のシミュレーション結果

教育課程等の概要														
(デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	人文学系	倫理学(1)	1前	2		○								兼1
	倫理学(2)	1後	2		○									兼1
	倫理学(a)	1後	1		○									兼1
	倫理学(b)	1後	1		○									兼1
	視覚芸術史(1)	1前	2		○									兼1
	視覚芸術史(2)	1後	2		○									兼1
	デザイン概論(1)	2前	2		○									兼1 ※演習
	デザイン概論(2)	2後	2		○									兼1 ※演習
	日本史(1)	1前	2		○									兼1
	日本史(2)	1後	2		○									兼1
西洋史(1)	1前	2		○									兼1	
西洋史(2)	1後	2		○									兼1	
社会科学系	社会学入門(a)	1前	1		○									兼1
	社会学入門(b)	1前	1		○									兼1
	日本経済論(a)	3前	1		○									兼1
	日本経済論(b)	3前	1		○									兼1
	西洋経済史	1前・後	2		○									兼1
	日本の政治(a)	2前	1		○									兼1
	日本の政治(b)	2前	1		○									兼1
	日本国憲法	1前・後	2		○									兼1
	法学	1前	2		○									兼1
	民法	1後	2		○									兼1
人間科学系	心理学入門	1前	2		○									兼1
	社会とジェンダー(a)	1後	1		○									兼1
	社会とジェンダー(b)	1後	1		○									兼1
	日本文化の伝承(a)	1後	1		○									兼1
	日本文化の伝承(b)	1後	1		○									兼1
	スポーツ・健康論	1前・後	2		○									兼1
情報科学系	データサイエンスリテラシー(1)	1前・後	1			○			1					
	データサイエンスリテラシー(2)	1前・後	1			○			1					
	環境問題と社会	1前	2		○									兼1
	情報編集入門	1後	2			○				1				
グローバル教養系	Japan Studies	2前・後	2		○									兼1
	Global Studies(1)	2前・後	2		○					1				
	Global Studies(2)	2前・後	2		○					1				
	Global Studies(3)	2前・後	2		○									兼1
	Global Studies(4)	2前・後	2		○									兼1
	Intercultural Understanding(1)	2前・後	2		○					1				
	Intercultural Understanding(2)	2前・後	2		○					1				
その他	教養特別講義	1前・後	2		○				1					
	ボランティア(1)	1・2・3・4	1					○		1				
	ボランティア(2)	1・2・3・4	1					○		1				
	インターンシップ(1)	1・2・3・4	1					○		1				
	インターンシップ(2)	1・2・3・4	1					○		1				

教 育 課 程 等 の 概 要

(デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	English I-A	1前	1					○							兼4
	English I-B	1前	1					○							兼4
	English II-A	1前・後	1					○		1					兼3
	English II-B	1前・後	1					○		1					兼3
	English III-A	1前・後	1					○		1					兼3
	English III-B	1前・後	1					○		1					兼3
	Reading Comprehension	1後・2前		2			○								兼1
	Debate & Discussion	1後・2前		2			○								兼1
	Presentation Strategies	1後・2前		2			○								兼1
	English Test Preparation	1後・2前		2			○			1					
	Writing Strategies	1後・2前		2			○								兼1
	Academic Reading	1後・2前		2			○			1					
	Academic Discussion	1後・2前		2			○			1					
	Academic Presentation	1後・2前		2			○			1					
English Test Preparation for Academic Purposes	1後・2前		2			○			1						
Academic Research & Writing	1後・2前		2			○			1						
専門基礎科目	データサイエンス概論	1前	2					○		1					
	コンピュータ基礎演習	1前	2					○			1				
	プログラミング基礎演習	1後		2				○		1					
	データサイエンス数学	1前		2				○		1					
	統計学基礎	2前		2				○		1					
	統計データ解析演習	2後		2				○		1					
	情報学理論	1前		2				○			1				
	アルゴリズムとデータ構造	1後		2				○			1				
	機械学習論	2前		2				○				1			
	データマイニング	2後		2				○			1				
	データベース	2後		2				○		1					
	データ社会論	1後		2				○		1					
	量的ユーザー調査	1後		2				○		1					
	質的ユーザー調査	1後		2				○		1					
経営分析論	2前		2				○		1						
業務プロセス分析	2前		2				○			1					
デザイン	ユーザーエクスペリエンスデザイン入門	1前	2					○		2	1				オムニバス
	デザインプレゼンテーション	2前		2				○			1				
	デザインプロトタイピング(1)	2前		2				○		1					
	ウェブプログラミング	2後		2				○		1					
	情報デザイン	2後		2				○			1				
デザインリサーチ	3前		2				○		1	1				共同	
デザイン	ソーシャルシステムデザイン入門	1後	2					○		3	1				オムニバス, 共同
	金融・市場システム論	2後		2				○		1					
	サービスイノベーション	2前		2				○		1					
	経営戦略概論	2前		2				○		1					
	総合的品質管理	2後		2				○			1				
	オペレーションマネジメント	2後		2				○			1				
プロジェクトマネジメント	3前		2				○			1					

教 育 課 程 等 の 概 要

(デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
その他	SD PBL(1)	1前	1					○		4	2					共同
	SD PBL(2)	2前	1					○			1					
	SD PBL(3)	3後	1					○			1					
	小計 (32科目)	—	11	50	0			—		10	3	1	0	0	0	
専門 応用 科目	データ科学 プログラミング応用演習	2前		2				○		1						
	機械学習演習	2後		2				○		1						
	ビッグデータ解析演習	3前		2				○		1						
	ベイズ統計学	3前		2			○		1							
	ニューラルネットワーク	3前		2			○		1							
	画像・音声処理	3後		2			○				1					
	自然言語処理	3後		2			○			1						
	ウェブデータ処理	3後		2			○		1							
	企業経営分析ケーススタディ	3前		2			○		1							
	デザイン デザイナー エクス ペリエン ス	デザインプロトタイピング(2)	3前		2			○		1						
	ブランドコンセプトデザイン	3後		2			○		1							
	インタフェースデザイン	3前		2			○		1							
	感性デザイン演習	3前		2				○			1					
	デザインプロダクション演習	3後		2				○		1						
	インタラクティブデザイン演習	3後		2				○		1						
デザ イン シ ス テ ム	ビヘイビアル・ファイナンス	3前		2			○		1							
	リスク&クライシスマネジメント	3後		2			○		1							
	未来創造デザインプロジェクト	3後		2				○	1							
	サービスシステムデザイン演習	3前		2				○	1							
	サプライチェーンデザイン演習	3後		2				○		1						
	ビジネスシステムデザイン演習	3後		2				○	1							
その他	特別講義	1前・後		2			○			1						
	海外インターンシップ	2・3・4		2						1						
	COOPプログラム	4前		4						1						
	キャップストーンプロジェクト	4後・前	4					○	10	3	1					共同
小計 (25科目)		—	4	50	0			—	10	4	1	0	0	0	0	
合計 (117科目)			—	21	190	0		—	10	5	1	0	0	0	兼19	
学位又は称号		学士 (学術)			学位又は学科の分野				工学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
教養科目12単位以上 (うち選択必修 (Japan Studies, Global Studies (1)-(4), Intercultural Understanding (1) (2)) から6単位以上を含む), 外国語科目14単位以上 (うち必修6単位, 選択必修 (Academic Reading, Academic Discussion, Academic Presentation, English Test Preparation for Academic Purposes, Academic Research & Writing) から4単位以上を含む), 専門基礎科目50単位以上 (うち必修11単位, 選択必修 (プログラミング基礎演習, データサイエンス数学, 統計学基礎, 統計データ解析演習, 情報学理論, アルゴリズムとデータ構造, 機械学習論, データマイニング, データベース, データ社会論, 量的ユーザー調査, 質的ユーザー調査) から20単位以上を含む), 専門応用科目40単位以上 (うち必修4単位, 選択必修 (感性デザイン演習, デザインプロダクション演習, インタラクティブデザイン演習, サービスシステムデザイン演習, サプライチェーンデザイン演習, ビジネスシステムデザイン演習) から2単位以上を含む) を修得し, 合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限: 20単位 (半期))								1 学年の学期区分			2 学期					
								1 学期の授業期間			1 4 週					
								1 時限の授業時間			1 0 0 分					

○東京都市大学クラス担任規程

(目的)

第1条 東京都市大学は、学生の健全な修学及び学生生活を補助・促進し、その向上を図るために、各学科の全ての学年にクラス担任教員を置く。

(職務)

第2条 クラス担任教員は、前条の目的を達成するため、その担任するクラスの学生に必要な助言指導を行う。

(選任)

第3条 各学科は、年度ごとにクラス担任別のクラスを適切に編成するとともに、クラス担任教員を各学科の専任教員のうちから学部長に推薦する。

2 事例研究及び卒業研究配属学生については、研究指導教員をクラス担任職務者として学部長に推薦することができる。

(任命)

第4条 学部長は、前条の推薦に基づきクラス担任を任命する。

2 任期途中において、任務遂行を全うできないと認められた場合には、学部長はクラス担任の職を解くことができる。

(任期)

第5条 クラス担任教員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(欠員の補充)

第6条 クラス担任の任期中欠員が生じた場合は、直ちに第3条及び第4条の規定により前任者の残任期間の任命手続きを行う。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、大学協議会の議を経て、学長が行う。

完成年度（令和 8 年度）を想定した使用教室数のシミュレーション結果

曜日	学期	教室数	使用教室数	使用率(%)
月	前期	175	107	61.1
	後期	175	91	52.0
火	前期	175	92	52.6
	後期	175	82	46.9
水	前期	175	45	25.7
	後期	175	42	24.0
木	前期	175	110	62.9
	後期	175	91	52.0
金	前期	175	98	56.0
	後期	175	87	49.7
土	前期	175	1	0.6
	後期	175	2	1.1
全体		2,100	848	40.4

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
①学生の確保の見通し	・・・ p. 2
ア. 定員充足の見込み	・・・ p. 2
イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	・・・ p. 5
②学生確保に向けた具体的な取組状況	・・・ p. 8
(2) 人材需要の動向等社会の要請	
①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	・・・ p. 9
②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	・・・ p. 9

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

本学は、「学則の変更の趣旨等を記載した書類」で前述のとおり、建学の精神である「公正、自由、自治」の下、実践的な専門性を重視した教育理念を掲げ、社会からの要請に応えるべく教育・研究の改革を継続的に実行してきた。その結果、本学の教育・研究が、高校生やその保護者、高校の進路指導担当教員等の様々なステークホルダーから十分に認知、評価され、本学の過去5年間の入試動向を見てみると、平均志願者数は27,153.8名、平均志願倍率（志願者数÷入学定員）は16.70倍と高倍率であった（資料1）。また、東洋経済ONLINE（2021年5月29日）『「最新！志願者数が多い大学」ランキングトップ50』によると、2021年志願者数ランキングは全国で28位と上位に位置付けられた（資料2）。より一層、社会からの要請に応えるべく、この度、デザイン・データ科学部を新設するため、収容定員の増員を行う。以下、デザイン・データ科学部における定員充足の見込みを述べる。

入学定員充足の見込みを説明するにあたり、i)本学における類似学部の過去の入試実績、ii)同分野を有する近隣大学の入学志願動向、iii)Society 5.0、第4次産業革命が目指す社会と必要とされる人材については、中央教育審議会の答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」（平成30年11月）に基づいて述べる。i)、ii)より短期的に定員充足に問題がないこと、そして、iii)より中長期的にも志願者数の確保が安定的に見込まれること、これらを合わせて、入学定員の設定の妥当性を説明する。

i)本学における類似学部の過去の入試実績

この度新設するデザイン・データ科学部の本学における類似学部として、情報工学部及びメディア情報学部があげられる。両学部における平成29年度から令和3年度までの過去5年間の入試動向を見てみると、情報工学部の志願者数は、平成29年度の2,425名に対し、令和3年度は4,782名と約2倍となっていることが分かる。メディア情報学部の志願者数は、平成29年度の1,779名に対し、令和3年度は3,113名と約1.7倍となっており、両学部共に大幅な増加傾向にあることがわかる（資料3）。

これらは、本学におけるグローバル教育の中核を担うオーストラリア・留学プログラムの展開、全学における数理・データサイエンス教育の推進・充実と、これに基づく文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の認定、さらには、近年のデジタル人材の必要性に関する興味・関心の高さによるものであると考えられる。

このように、過去5年間の入試動向から、本学における類似学部の志願者数は増加傾向にあり、平均志願倍率では情報工学部が23.62倍、メディア情報学部が15.76倍、また、直近の令和3年度の志願倍率についても情報工学部が26.57倍、メディア情報学部が16.38倍と高倍率である。当然に入学者についても安定して確保できているため、今後の学生確保の見通しに全く問題はないものとする。

ii) 同分野を有する近隣大学の入学志願動向

本学では、志願者のうち、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県（以下、「首都圏1都3県」とする。）の在住者が、8割前後を占めている（資料4）。首都圏1都3県に所在し、学科名からデータサイエンスを学ぶことが分かる、中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科（東京都文京区）、武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科（東京都江東区）を競合校として想定した。

両校の令和3年度入試の一般選抜における入試結果は、中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科の志願倍率が16.90倍、武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科の志願倍率25.21倍といずれも高倍率であった。また、令和3年度の入学定員超過率は、中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科が0.91倍、武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科が1.04倍と入学者数の観点でも、申し分ない状況であった（資料5）。これらより、安定的に入学者数を確保することができるものと考えている。

iii) Society 5.0、第4次産業革命が目指す社会と必要とされる人材

高度デジタル人材の養成に向けた数理・データサイエンス教育への関心の高まりは、政府が進めているSociety 5.0、第4次産業革命が目指す社会が影響していると考えられる。中央教育審議会の答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」（平成30年11月）には2040年頃の社会変化の方向として「Society 5.0、第4次産業革命が目指す社会」が次のように示されている。

第4次産業革命とも言われる、AI、ビッグデータ、Internet of Things (IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられることで、日本の強みとリソースを最大限活用して、誰もが活躍でき、様々な社会課題を解決できる、日本ならではの持続可能でインクルーシブな経済社会システムであるSociety 5.0（超スマート社会）の実現に向けた取組が加速している。また、同時に、資源や物ではなく、知識を共有、集約することで、様々な社会課題を解決し、新たな価値が生み出される社会である知識集約型社会の到来が予想されている。また、AIが人間の能力をはるかに超えていく（シンギュラリティ（技術特異点））のではないかという意見もある。他方、一部の企業や国がデータの囲い込みや独占を図る「データ覇権主義」、寡占化により、経済社会システムの健全な発展が阻害される懸念も指摘されている。既に様々な分野で、AIやIoT、ロボットといった共通基盤技術と、産業コア技術、関連データの多様な組合せにより、革新的な製品・サービスが生まれてきており、今後も急速に技術開発が進んでいくと考えられる。これらの技術革新は、AIやロボットによる職業代替可能性を格段に高め、仕事の仕方や身に付けておくべきスキルや能力を現在想定されているものから大きく変化させていくことが予想される。資本集約型・労働集約型経済から、知識集約型経済へと移行する中で、現時点では想像もつかない仕事に従事していくことも予想され、幅広い知識を基に、新しいアイデアや構想を生み出せる力が強みとなる。

Society 5.0、第4次産業革命が目指す社会に必要なとされる人材は、予測不可能な時代を生

きぬくことができる人材である。その人材像は、普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身に付けていくことができ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材である。デザイン・データ科学部では、人材の養成及び教育研究上の目的を「定量・定性の両方のデータ科学に関する知識と技術に裏付けられた批判的思考力と論理的思考力、そしてグローバルリテラシーの涵養により、世界のあらゆる「もの」と「こと」を読み解く能力を修得させる。その上で、実社会における多種多様な課題を解決するために、新たな「もの」と「こと」を具体的に、構想・設計・構築、すなわち、デザインできる実践的な専門力を持つ人材の養成を目的とする。」と規定している。Society 5.0、第4次産業革命が目指す社会に必要なとされる人材には、数理・データサイエンスに関する能力だけでなく、実社会における社会課題を対象に、新しい「もの」と「こと」をデザインする知識と技術や、グローバルに活躍できる高度な教養も身に付ける必要があり、プロジェクトワーク等を通じて実践的な能力を修得させる必要があると考える。

以上、i)、ii)及びiii)の考察から、デザイン・データ科学部は、短期的に定員充足に問題がないだけでなく、中長期的にも志願者数の確保が安定的に見込まれ、定員を充足し続ける見込みである。

また、「学則の変更の趣旨等を記載した書類」で前述のとおり、実験・実習や演習の授業形態を取り入れ、学生の主体性を引き出すアクティブ・ラーニングを積極的に進める。現在、本学が一丸となって取り組んでいる教育改革では、講義に演習を取り入れて、学生の主体性を引き出すアクティブ・ラーニングを進めること、さらに、持続可能な社会の発展に資する人材育成という本学の教育目標のためのオリジナルな授業科目であるSD PBL (Sustainable Development Project organized Problem Based Learning)を1年次から3年次までの必修科目として導入しており、学生の積極的な学びの姿勢を引き出すことを目指している。

具体的には、全学で実施する3年次のSD PBL(3)に至る学科毎の1～2年次のSD PBL(1)(2)について、本学部ではまず、シナリオなどによって提示される問題状況の中から解決すべき課題を見出し、その解決に取り組む。解決においては、発想法のひとつであるデザインシンキングの手法を、具体的なテーマを元に、製品マッピング、ユーザー調査、KJ法分析を使い、解決の過程で知識を獲得し対話により思考を深化させる体験を通して、専門分野に対する興味・関心を喚起させ(1年次)、現実に存在するような問題状況の中から解決すべき課題を見出し、データサイエンスやデザイン技術やデザイン思考の専門的な立場から課題解決に挑む基本的なツールやスキルを学ぶ。特に、クリティカルシンキング(批判的思考)を対象とし、情報の内容を的確に読み取り、それについて批判的に吟味することで、何を信じるべきか、すべきかについて決定することに集中する合理的、反省的思考を学ぶ(2年次)。演習形式を取り入れた講義は、100名以下の中規模教室での実施が望ましい。SD PBL(1)(2)(3)については、少人数のグループに分け、チームで取り組むことで他者と学び合う姿勢やスキル修得の機会を作りながらグループワークを行うことが必要である。

以上の教育手法に加えて、教員数と教室数を考慮すると、33～34名×3クラス=100名程度が適正な定員数と考えられる。

イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

この度、新設するデザイン・データ科学部は、本学横浜キャンパス（神奈川県横浜市）に設置する。リクルート進学総研による首都圏1都3県の18歳人口の予測を見ると、2020年を100とした時に微減し続け、2032年には94.5であるものの、日本全体では2032年に87.7とさらに減少していることから、相対的に良好な環境にあるといえる（資料6）。

また、令和3年度学校基本調査によれば大学等進学率は、東京都が全国2位で69.0%、神奈川県が5位で63.1%、埼玉県が8位で60.7%、千葉県が12位で58.2%と、いずれの都県も全国平均の57.4%よりも高く、これらも入学定員充足の観点で地域的に良好な環境であることを示している（資料7）。

日本私立学校振興・共済事業団『令和3（2021）年度 私立大学・短期大学等入学志願動向』によると、本学部を設置する神奈川県に所在する学部の志願倍率（志願者数÷入学定員）は、過去5年間で7倍以上と高倍率であるとともに、入学定員充足率も100%程度であった。同様に東京都に所在する学部の志願倍率は9倍以上、入学定員充足率は100%程度、埼玉県に所在する学部の志願倍率は6倍以上、入学定員充足率は100%前後、千葉県に所在する学部の志願倍率は7倍以上、入学定員充足率は100%程度であった（資料8）。また、学部系統別の入学志願動向では、「データサイエンス」が学部名に含まれている学部を包含する理・工学系学部の志願倍率は11倍以上であり、入学定員充足率も100%程度であった（資料9）。これらの観点からも志願者数を安定的に確保して、定員を充足することが可能であると考えている。

以下、定員充足の根拠となる客観的なデータについて、詳述する。

i) 本学における類似学部の過去の入試実績等（留学生入試を含む）

本学全体における平成29年度から令和3年度までの過去5年間の入試動向から、志願者数が増加傾向にあることがわかる（資料1）。特にデザイン・データ科学部の本学における類似学部・学科の1つであり、かつ、本学横浜キャンパスに位置するメディア情報学部情報システム学科の志願者数は、平成29年度の1,011名から増加傾向にあり、令和3年度には1,816名にまで増えている。平成29年度から令和3年度までの5年間の平均志願倍率は17.51倍、令和3年度の志願倍率は18.16倍であった（資料10）。このように類似学部・学科における高い志願倍率から、デザイン・データ科学部は志願者を多く集めることができると考えている。

本学部においても、本学の他学部と同様に外国人留学生を入学者として、受け入れる計画である。本学の他学部では、外国人留学生特別選抜の募集人員を、近年は概ね若干名としており、過去5年間の入試動向を見ると、志願者数が倍増している。具体的には、平成29年度に志願者数が55名であったのが、令和3年度においては113名までに増えている。入学者数についても、平成29年度の29名から令和3年度は41名と増加しており、外国人留学生を安定的に受け入れてきた（資料11）。

本学では、高校生や保護者向けに、「オープンキャンパス」を開催している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、オンラインでの開催を主軸としつつも、対面でも実施した。特に対面でのオープンキャンパスについては、短時間で予約が満員となるほ

どの人気であったため、別日に追加して開催した。保護者等を除く参加者数は、のべ4,926名であった（資料12）。

これらの本学の好調な入試実績等から、デザイン・データ科学部の入学定員100名を安定的に充足することが可能であると判断した。

ii) 同分野を有する近隣大学の入学志願動向等

中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科（東京都文京区、入学定員115名）、武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科（東京都江東区、入学定員90名）を競合校として想定した。

両校の令和3年度入試の一般選抜における入試結果は、中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科が、募集人員93名に対して、志願者数1,572名、志願倍率16.90倍、武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科が、募集人員61名に対して、志願者数1,538名、志願倍率25.21倍といずれも高倍率であった。また、令和3年度の入学者数と入学定員超過率は、中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科が105名で、0.91倍、武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科が94名で、1.04倍と申し分のない状況であった（資料5）。

東進ハイスクールや東進衛星予備校を運営する株式会社ナガセが2021年5月26日に報道発表した『4月「共通テスト本番レベル模試」受験者の志望動向を分析—続く理高文低、理系人気は工学系が牽引 医歯薬系：医学部人気高も看護系は減少傾向』によると、2021年4月に実施した模試の受験者の志望動向について過去3カ年のデータと比較したところ、全体として理系人気の高まりと文系の低下という近年の傾向は変わらず、工学系は、2018年度と比べて1.8ポイント増加しており好調に推移していることを示した。要因として、「特にデータサイエンス分野の人气が影響しています。」と分析している（資料13）。

また、AERA dot.（2021年11月19日）『卒業後は有名企業から引く手あまた？—全国の大学で「データサイエンス学部」が増加している理由』において、株式会社大学通信の常務取締役・安田賢治氏は、「データサイエンスなどの情報系の学部は、就職に強く、受験生からの人気は高い」、「国の政策で小学校からプログラミングの授業が始まるなど、社会的に関心が高い分野であることに加え、今回コロナ禍で、文系に人気の就職先だった旅行会社や航空関係、百貨店業界では新卒採用を見送る企業が多くありました。その点、情報系は就職に強いと言われているので今後も人気は続くのではないのでしょうか」と指摘している。同記事の著者は、「2018年の「情報・メディア系」の志願者数を100とすると、21年は112。全学部系統の中でみてもその指数はトップだった。」と言及している（資料14）。

これらより、受験生の旺盛な進学需要に適合した本学部は、短期的にも中長期的にも、安定的に定員を充足する見込みが十分にあるものと考えている。

iii) 地域別の入学志願動向

デザイン・データ科学部の本学における類似学部・学科の1つであり、かつ、本学横浜キャンパスに位置するメディア情報学部情報システム学科の過去5年間の志願者数は、東京都及び神奈川県在住者が約70%前後で推移し、さらに首都圏1都3県の在住者では約75%前後

で推移している（資料 15）。前述のとおり、首都圏 1 都 3 県の 18 歳人口は大幅な減少傾向にはないとともに大学進学率が全国平均よりも高く、地域的に良好な環境であることから、デザイン・データ科学部の志願者数も、中長期的に堅調に推移するものと考えられる。

iv) 入学意向に関するアンケート調査の結果

デザイン・データ科学部の新設にあたり、学生確保の見通しを把握するため、令和 3 年 11 月から 12 月にかけて、第三者機関（株式会社日本ドリコム）に依頼し、高等学校向けにアンケート調査「東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称・設置構想中）に関するアンケート」を実施した（資料 16）。

本調査では、首都圏 1 都 3 県及び静岡県に所在する高等学校及び本学付属高等学校（東京都 2 校、長野県 1 校）の 2 年生を対象に入学意向に関するアンケートを実施し、101 校 15,602 名より回答を得ることができた。調査方法は、定量調査（留め置き調査）とした。調査票は全 9 問で構成されており、全て選択肢式とした。

高校卒業後の希望進路を問う設問（Q3、複数回答可）においては、13,278 名が大学・専門職大学を希望した。この 13,278 名のうち、本学部のオープンキャンパス・入試説明会への参加希望者数は 2,931 名であった（Q7）。また、この 2,931 名のうち、デザイン・データ科学部を受験し、合格した場合に入学したいと回答したのは 308 名であり、入学定員 100 名を大きく上回る結果となった（Q8）。そして、この 308 名のうち、学部の特色について肯定的な回答、すなわち「魅力的」または「どちらかといえば魅力を感じる」と回答したのは 287 名であり、これについても入学定員 100 名を大きく上回る結果となった（Q6）。

関心のある学びの分野を問う設問（Q4、複数回答可）においては、「経済・経営・商業系統」が 17.8%と最も高く、「工学系統」が 13.2%、「文学・人文系統」が 12.8%、「理学系統」が 12.6%、「情報・メディア系統」が 11.4%と続く。「経済・経営・商業系統」、「工学系統」、「情報・メディア系統」への関心が高いことから、デザイン・データ科学部の設置構想は、受験生が関心のある学びの分野、すなわち受験生のニーズに合致していることもわかった。なお、学部の特色について肯定的な回答した入学希望者 287 名について、関心のある学びの分野を問う設問（Q4、複数回答可）とのクロス集計を本学では行った。その結果、本学部の学びの分野である「工学系統」、「経済・経営・商業系統」、「情報・メディア系統」のいずれかを回答した者は 153 名であり、入学定員 100 名を上回る結果となった（資料 17）。

これらの調査結果から、入学定員 100 名の学生確保の見通しを明確に得ることができた。

以上により、デザイン・データ科学部の定員充足については、本学における類似学部・学科の過去の入試実績、同分野を有する近隣大学の入学志願動向等、地域別の入学志願動向及び入学意向アンケート調査の結果から長期的かつ安定的に学生の確保を図ることができる見通しを得た。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では、以下の通り学生確保に向けた取り組みを行っている。

■入試データの分析

本学と他大学の比較、入試制度の検証、入学後の成績状況、関係法令との整合性など、入試周辺情報をデータとして収集して分析し、志願者確保のための施策の展開に役立っている。

■アドミッションオフィスとアドミッションオフィサーの設置

入試実務を行う事務局の「入試センター」とは別に、入学制度やデータを分析する全学的な教学組織として教員・職員で構成する「入学センター」を設置している。また、最新情報を活用した入試施策の検討や、高校との連携を研究するアドミッションオフィサーを配置している。

■オープンキャンパス

高校生や保護者向けに、「オープンキャンパス」を開催している。コロナ感染予防のため近年はオンライン主導で実施しているが、2021年度の参加者数（保護者等は除く）は、延べ4,926名であった（資料12）。

■見学フリーパス制度

前述のオープンキャンパスの他、毎日いつでも見学希望者の都合に合わせて、大学内を見学できる制度で、興味のある施設や、研究室、クラブの部室などを気軽に探訪できる。近年はコロナ感染予防に沿った対策を講じている。

■進学相談会

全国各地で開催する「進学相談会」に参加し、受験生や保護者からの、大学概要・学科概要・入試・学生生活・就職のことなどの相談に対応している。コロナ禍以前は、例年約100件の進学相談会に参加していた。

■高校での進学説明会・出張授業

高等学校に出向いて、大学の説明や、学部系統別のガイダンスなどを行うもので、コロナ禍以前は例年約200件、実施していた。また、教員の出張授業もコロナ禍以前は年間100件を超えていた。

■高校訪問

定期的に高校を訪問し、相互の最新情報を共有している。コロナ禍以前は、例年約500校に訪問していた。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

デザイン・データ科学部の人材の養成及び教育研究上の目的は、「定量・定性の両方のデータ科学に関する知識と技術に裏付けられた批判的思考力と論理的思考力、そしてグローバルリテラシーの涵養により、世界のあらゆる「もの」と「こと」を読み解く能力を修得させる。その上で、実社会における多種多様な課題を解決するために、新たな「もの」と「こと」を具体的に、構想・設計・構築、すなわち、デザインできる実践的な専門力を持つ人材の養成を目的とする。」と規定している。

特に、2018年に中央教育審議会が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」に記載されているように、AI、ビッグデータ、Internet of Things (IoT)等の先端技術の高度化に伴い、あらゆる産業や社会生活に取り入れることで、誰もが活躍でき、様々な社会課題を解決できる Society 5.0（超スマート社会）の実現に向けた取組が加速している中で、その実現に寄与できるデジタル人材の養成を重視している。

このような人材を養成するためには、従来の工学的要素技術の教育・研究だけでは不十分であり、社会科学、グローバルなリテラシーや教養も含めた多面的で多様な知識を必要に応じて取捨選択しながら活用できる能力が必要になってきている。そこで、デザイン・データ科学部の人材養成の目的を達成するため、数学と情報工学を基盤とし、数値データや言語データなどのデータ情報処理などを学ぶ科目群「データ科学」（専門基礎科目及び専門応用科目）、デザイン工学や感性工学を基盤として、製品のデザインを進めるためのデザイン思考などを学ぶ科目群「ユーザーエクスペリエンスデザイン」（専門基礎科目及び専門応用科目）、経営科学や社会工学を基盤として、Society 5.0などのデジタル社会の設計を目指したサービス工学などを学ぶ科目群「ソーシャルシステムデザイン」（専門基礎科目及び専門応用科目）と、各科目区分の共通知識となる科目群「グローバル教養系」（教養科目）を基軸として、カリキュラムを編成した。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本学は、建学の精神である「公正、自由、自治」の下、実践的な専門性を重視した教育理念を掲げ、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえ、その要請に応えるべく教育・研究の改革を継続的に実行してきた。

その結果、サンデー毎日（2021年8月15日・22日合併号）『全国250大学 実就職率ランキング』に掲載された卒業生数1000人以上の大学を対象とした実就職率ランキングにおいて全国で29位、全国の私立大学で16位と就職に強い大学として上位に位置づけられた（資料18）。東洋経済ONLINE（2021年10月2日）『最新!「有名企業への就職に強い大学」トップ200校』の有名企業400社への実就職率が高い大学ランキングでは、全国で38位、全国の私立大学で15位と上位に位置づけられた（資料19）。また、ITmedia ビジネスオンライン3分Biz.（2020年12月3日）『社長の出身大学、日本大学が10連覇 増収増益率1位は?』によれば、医科歯科系を除く社長出身大学の上位100校における増益達成ランキングで、本学は2位、私立大学で1位にランクインした。同様に、増収増益達成ランキングでは、5位、私立大学で3位にランクインした（資料20）。これらは、本学が社会的、地域的な人材

需要の動向を踏まえた人材を養成してきたことの証左であろう。

デザイン・データ科学部の類似学部である情報工学部情報科学科・知能情報工学科とメディア情報学部社会メディア学科・情報システム学科を合わせた過去5年間の就職率の平均は、98.1%であった。また、各学科の過去5年間の求人件数の平均は、14,000件前後、求人倍率の平均は150倍以上であった（資料21）。これらの数値から、類似学部においては、就職希望者に対して十分な求人件数を確保できているとともに、高い就職率を維持し続けている。デザイン・データ科学部においても、卒業後の進路を十分に確保できるものと考えている。

外国人留学生の人材需要の動向としては、デザイン・データ科学部の類似学部である情報工学部情報科学科・知能情報工学科とメディア情報学部社会メディア学科・情報システム学科卒業生の進路状況を見ると、令和元年度は就職希望者3名中3名が就職、令和2年度は就職希望者4名中4名が就職し、他に1名は大学院に進学していることから、良好な就職実績で推移しているものと考えられる。すなわち、外国人留学生の卒業生についても、社会的な人材需要にに応じているものと考えている。

以下では、情報通信白書（総務省）、大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会の資料（文部科学省）及び一般社団法人データサイエンティスト協会の調査結果に基づいて、「i）社会的な人材需要の動向」を説明する。また、横浜市官民データ活用推進計画（横浜市）に基づいて、「ii）地域的な人材需要の動向」を説明する。加えて、それらを裏付ける事実として、「iii）採用意向アンケート調査の結果」を用いて説明する。

i）社会的な人材需要の動向

令和3年版情報通信白書（総務省）によると、「我が国のICT人材はICT企業に偏在しており、企業がDXを進める上で人材不足が大きな課題。」と指摘している。具体的には、ICT人材は、2018年に約22万人不足しており、中位シナリオで、2030年には約45万人が不足する見込みである。また、DXに取り組む日本企業が、米国企業並みに増加した場合の変化は、製造業で約23兆円、非製造業で約45兆円の売上高の押し上げ効果があると推計している（資料22）。

本学部では、データ科学に関する知識と技術を身に付けるにあたり、当然にICTに関する素養を身に付けていくこととなる。また、データ科学に関する知識と技術を学んだ上で、人々の便利で豊かな暮らしに必要な「もの」を作り出すための「ユーザーエクスペリエンスデザイン」と、付加価値と生産性の高い企業や社会の仕組みを作り出すための「ソーシャルシステムデザイン」を学ぶ本学部の学生は、企業がDXを進める上で必要な人材となり得るものと考えている。

令和3年度大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会の資料（文部科学省）において掲載された『デザイン思考教育の推進について』によると、デザイン思考とは、「社会の課題やニーズを生活者や利用者の視点で見極めイノベーションを生み出す手法とされ、デザイン思考を取り入れた教育は、前例のない問題や未知の課題を解決するための人材育成において有益な側面があると考えられます。」とある（資料23）。これは、まさに前述の「ユーザーエ

クスペリエンスデザイン」と「ソーシャルシステムデザイン」の両分野を学ぶことで社会における様々な課題解決に資する人材を養成する本学部の教育そのものであり、本学部が養成する人材像は、社会的な動向を十分に踏まえているものと考えられる。

一般社団法人データサイエンティスト協会 調査・研究委員会が公表した『データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果』（2019年11月）によると、データサイエンティストを採用しようとした企業のうち、この1年間で「目標としていた人数を確保できなかった」企業が58%であった（資料24）。これは、データ科学に関する知識と技術を身に付けた人材が不足していることを示しており、本学部が養成する人材は、この旺盛な人材需要に応えることができるものと考えている。

また、同調査において、今後3年間で増員したいデータサイエンティストの人材像も問うており、「ビジネス課題解決」「戦略検討」スキルを持つ人材が求められていると指摘している（資料25）。これらは、前述の「ソーシャルシステムデザイン」を通じて養成する人材そのものである。具体的に見てみると、最もあてはまるもの1つとしての回答で、データによるビジネス課題解決を得意とする人材が41%、複数の分野を俯瞰的にみてデータ分析の活用を戦略的に考えられる人材が18%、データ分析のプロフェッショナルな人材が10%等であった。あてはまるもの全てでの回答では、複数の分野を俯瞰的にみてデータ分析の活用を戦略的に考えられる人材が89%、データによるビジネス課題解決を得意とする人材が88%等であった。データ科学のみを学ぶのではなく、データ科学に関する確かなスキルを基盤として課題解決と新しい価値をデザインできる人材を養成する本学部は、社会的な人材需要の動向を十分に踏まえたものと言える。

ii) 地域的な人材需要の動向

横浜市が策定した『横浜市官民データ活用推進計画』（平成30年5月）によると、「急速に進んでいく情報流通社会において、データを適切に活用し、地域課題の解決や市内経済の発展につなげていくためには、データ活用に係る知識や能力を持つ人材の育成が重要」とある。また、「データの活用を通じて、社会的課題の解決、市民生活の利便性や質の向上を図っていくためには、これまで以上に公民連携を促進するとともに、具体的なテーマや課題に応じたデータ活用の方法や、どのような技術や手法を社会システムに導入することが有効であるかなど、調査研究を進めることが重要」と指摘している。本学は横浜市都筑区と連携協定を締結しており、横浜キャンパスに既設の環境学部とメディア情報学部は、毎年開催している地域連携調査研究発表会において同学部の学生が研究発表を行うなど、地域の課題解決に貢献してきた。こうした実績を活かし、横浜市において、数理・データサイエンスに関する能力だけでなく、実社会における社会課題を対象に、新しい「もの」と「こと」をデザインする知識と技術や、グローバルに活躍できる高度な教養を身に付けさせるデザイン・データ科学部を新設することで、人材養成を通じて当該計画の推進に貢献し、地域社会の発展に寄与できるものと考えている。

iii) 採用意向アンケート調査の結果

デザイン・データ科学部の新設にあたり、社会的・地域的な人材需要の動向の把握を目的

として令和3年11月から12月にかけて、第三者機関（株式会社日本ドリコム）に依頼し、アンケート調査「東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称・設置構想中）設置構想についての企業・団体様向けアンケート調査」を実施した（資料26）。

本調査は、デザイン・データ科学部の卒業生の就職先として想定される企業・団体1,247件を対象に、インターネット調査とFAX調査を併用して実施した。アンケート調査票は全12問で構成されており、1問を記入式、11問を選択肢式とした。その結果、290件の企業・団体より回答を得ることができた。回収率は23.3%であった。

デザイン・データ科学部が養成する人材の採用意向を問う設問（Q10）において、「採用したい」と回答した企業・団体が91件であった。これらの企業・団体91件を対象として、採用想定人数（Q11）を集計したところ290名であった。入学定員100名に対して2.9倍となり、入学定員を大幅に上回る調査結果となった。これより、本学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的な人材需要の動向等を十分に踏まえたものであることが裏付けられた。

また、デザイン・データ科学部の魅力、社会的ニーズに関する設問（Q8及びQ9）の双方において、肯定的な回答を行った企業・団体249件を対象として、採用意向を問う設問（Q10）で「採用したい」と回答した企業・団体は89件、採用想定人数の合計は288名であった。なお、当該企業・団体89件には、今後の新卒採用の計画について問う設問（Q7）において、「採用は減らしたい」「採用しない」と否定的な回答をした企業・団体は含まれていなかった。さらに、当該企業・団体89件のうち、本社や主たる事業所が首都圏1都3県に所在する企業・団体は76件、採用想定人数の合計は253名であった。入学定員100名に対して2.5倍以上となり、入学定員を大幅に上回る調査結果であった。これより、本学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的のみならず、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることが裏付けられた。

これらの調査結果から、デザイン・データ科学部の採用想定人数が入学定員に比しても十分であり、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえているものと考えられ、デザイン・データ科学部が輩出する人材には十分な需要があるものと考えている。

資料目次

- 資料1 東京都市大学 平成29年度～令和3年度入試動向（本学調べ）
- 資料2 東洋経済 ONLINE（2021年5月29日）「最新！志願者数が多い大学」ランキングトップ50
- 資料3 東京都市大学情報工学部・メディア情報学部 平成29年度～令和3年度入試動向（本学調べ）
- 資料4 東京都市大学 平成29年度～令和3年度1都3県別志願者数（本学調べ）
- 資料5 同分野を有する近隣大学の令和3年度入学志願動向等
- 資料6 リクルート進学総研マーケットリポート vol.86 2021年4月号 18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率、地元残留率の動向 南関東版一埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
- 資料7 都道府県別大学・短期大学等への進学者数と大学等への進学率
- 資料8 日本私立学校振興・共済事業団 令和3（2021）年度 私立大学・短期大学等入学志願動向『地域別の動向 過去5カ年の推移（大学・学部別）』
- 資料9 日本私立学校振興・共済事業団 令和3（2021）年度 私立大学・短期大学等入学志願動向『学部系統別の動向 過去5カ年の推移（大学）』
- 資料10 東京都市大学メディア情報学部情報システム学科 平成29年度～令和3年度入試動向（本学調べ）
- 資料11 東京都市大学 平成29年度～令和3年度外国人留学生特別選抜動向（本学調べ）
- 資料12 令和3年度東京都市大学オープンキャンパス参加者数（本学調べ）
- 資料13 株式会社ナガセ 4月「共通テスト本番レベル模試」受験者の志望動向を分析—続く理高文低、理系人気は工学系が牽引 医歯薬系：医学部人気高も看護系は減少傾向（2021年5月26日）
- 資料14 AERA dot.（2021年11月19日）卒業後は有名企業から引く手あまた？全国の大学で「データサイエンス学部」が増加している理由
- 資料15 東京都市大学メディア情報学部情報システム学科 平成29年度～令和3年度1都3県別志願者数（本学調べ）
- 資料16 東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）設置に関する受容性調査 結果報告書【高校生】（株式会社日本ドリコム）
- 資料17 特色に魅力を感じると回答した入学希望者287名と関心がある学びの分野（複数回答可）に関するクロス集計結果（本学集計）
- 資料18 サンデー毎日（2021年8月15日・22日合併号）全国250大学 実就職率ランキング
- 資料19 東洋経済 ONLINE（2021年10月2日）『最新！「有名企業への就職に強い大学」トップ200校』有名企業400社への実就職率が高い大学ランキング
- 資料20 ITmedia ビジネスオンライン3分Biz.（2020年12月3日）『社長の出身大学、日本大学が10連覇 増収増益率1位は？』社長出身大学上位100校（医科歯科系を除く）
- 資料21 東京都市大学情報工学部・メディア情報学部 平成28年度～令和2年度就職状況（本学調べ）
- 資料22 総務省 情報通信白書 令和3年版 概要
第1章(2)企業活動におけるデジタル・トランスフォーメーションの現状と課題
- 資料23 文部科学省 令和3年度大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会
デザイン思考教育の推進について
- 資料24 一般社団法人 データサイエンティスト協会 調査・研究委員会（2019年11月）『データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果』データサイエンティスト採用の充足度
- 資料25 一般社団法人 データサイエンティスト協会 調査・研究委員会（2019年11月）『データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果』今後3年間で増員したいデータサイエンティストの人材像
- 資料26 東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）設置に関する受容性調査 結果報告書【企業】（株式会社日本ドリコム）

東京都市大学 平成 29 年度～令和 3 年度入試動向（本学調べ）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	過去 5 年間 の平均	平均志願倍率 (志願者/入学定員)
志願者	17,548	26,553	31,378	31,819	28,471	27,153.8	16.70
受験者	17,092	25,910	30,483	31,002	27,437	26,384.8	
合格者	6,264	7,551	6,913	7,406	7,381	7,103.0	
入学者(A)	1,779	1,732	1,700	1,623	1,707	1,708.2	
入学定員(B)	1,620	1,620	1,620	1,620	1,650	1,626	
入学定員 超過率(A/B)	1.09	1.06	1.04	1.00	1.03	1.05	

1. 書類等の題名

資料 2

東洋経済 ONLINE (2021 年 5 月 29 日)

最新! 「志願者数が多い大学」ランキングトップ 50

コロナや新入試の影響で軒並み志願者数減らす

2. 出典

株式会社東洋経済新報社

3. 引用範囲

東洋経済 ONLINE

最新! 「志願者数が多い大学」ランキングトップ 50

コロナや新入試の影響で軒並み志願者数減らす

表『2021 年志願者数ランキング (26~50 位)』を引用

<https://toyokeizai.net/articles/-/430806?page=6>

4. その他の説明

タイトル・資料番号・URL を記載

東京都市大学情報工学部・メディア情報学部 平成 29 年度～令和 3 年度入試動向（本学調べ）

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	過去 5 年間 の平均	平均志願倍率 (志願者/入学定員)
情報工学部	志願者	2,425	3,745	4,913	5,153	4,782	4,203.6	23.62
	受験者	2,354	3,647	4,771	5,013	4,626	4,082.2	
	合格者	811	863	660	759	767	772.0	
	入学者(A)	207	218	182	180	192	195.8	
	入学定員(B)	175	175	180	180	180	178.0	
	入学定員 超過率(A/B)	1.18	1.24	1.01	1.00	1.06	1.10	
メディア情報学部	志願者	1,779	2,660	3,537	3,254	3,113	2,868.6	15.76
	受験者	1,725	2,614	3,434	3,176	3,002	2,790.2	
	合格者	513	577	542	505	479	523.2	
	入学者(A)	200	191	213	176	215	199.0	
	入学定員(B)	180	180	180	180	190	182.0	
	入学定員 超過率(A/B)	1.11	1.06	1.06	0.97	1.13	1.09	

東京都市大学 平成 29 年度～令和 3 年度 1 都 3 県別志願者数（本学調べ）

都道府県	志願者数									
	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
神奈川県	6,784	40.0	9,709	37.6	10,575	35.0	10,774	35.3	10,131	37.3
東京都	5,000	29.6	8,471	32.9	10,255	33.9	10,119	33.2	9,020	33.3
埼玉県	966	5.7	1,601	6.2	1,876	6.2	2,070	6.8	1,837	6.8
千葉県	673	4.0	900	3.5	1,218	4.0	1,293	4.2	1,379	5.1
その他	3,497	20.7	5,103	19.8	6,313	20.9	6,267	20.5	4,729	17.5
合計	16,920	100	25,784	100	30,237	100	30,523	100	27,096	100

同分野を有する近隣大学の令和3年度入学志願動向等

中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科

入試種別	募集人員	志願者数	志願倍率
一般入試	65	766	16.90
大学入学共通テスト 単独方式	13	508	
大学入学共通テスト 併用方式	15	298	
合計	93	1,572	

中央大学 2021 年度入試データより

https://www.chuo-u.ac.jp/uploads/2021/05/9114_nyushi_data.pdf

武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科

入試種別	募集人員	志願者数	志願倍率
全学部統一選抜	13	196	25.21
一般選抜 A 日程	35	402	
一般選抜 B 日程		109	
一般選抜 C 日程		105	
共通テスト併用型		80	
共通テスト利用前期選抜	13	582	
共通テスト利用中期選抜		43	
共通テスト利用後期選抜		21	
合計	61	1,538	

武蔵野大学 2021 (令和3) 年度入試結果より

<https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/result.html>

令和3年度 入学定員超過率

大学・学部・学科	入学定員	入学者数	入学定員 超過率
中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科	115	105	0.91
武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科	90	94	1.04

中央大学 学部在籍学生数 (令和3年5月1日現在) より

https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/overview/head_count/head_count01.html

武蔵野大学 入学者数及び在学者数 (令和3年5月1日現在) より

<https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/students.html>

1. 書類等の題名

資料 6

リクルート進学総研マーケットレポート vol.86 2021年4月号
18歳人口予測、大学・短期大学・専門学校進学率、地元残留率の動向
南関東版—埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県—

2. 出典

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研

3. 引用範囲

リクルート進学総研マーケットレポート vol.86 2021年4月号
18歳人口予測、大学・短期大学・専門学校進学率、地元残留率の動向
南関東版—埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県— P.2
グラフ『18歳人口予測（全体：南関東：2020～2032年）』を引用
http://souken.shingakunet.com/research/202104_minamikantou_souken_report.pdf

4. その他の説明

タイトル・資料番号・URL を記載

都道府県別大学・短期大学等への進学者数と大学等への進学率

No.	都道府県名	大学等進学者 (男女計)	大学等進学率 (男女計) %
1	京都府	15,399	69.8
2	東京都	68,292	69.0
3	兵庫県	28,285	64.3
4	大阪府	45,229	64.3
5	神奈川県	41,218	63.1
6	広島県	13,887	61.8
7	奈良県	6,909	61.8
8	埼玉県	33,440	60.7
9	愛知県	37,186	59.8
10	福井県	4,220	59.5
11	山梨県	4,536	58.7
12	千葉県	28,086	58.2
13	石川県	5,711	57.9
14	滋賀県	7,190	57.4
	全国	580,550	57.4

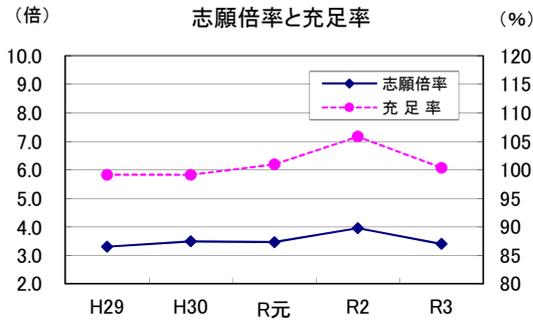
文部科学省 令和3年度 学校基本調査＞初等中等教育機関・専修学校・各種学校＞卒業後の状況調査＞高等学校＞全日制・定時制＞281 状況別卒業生数より抜粋

地域別の動向 過去5カ年の推移（大学・学部別）

過去5カ年における地域別の学部数、志願倍率、入学定員充足率を下表に示した。

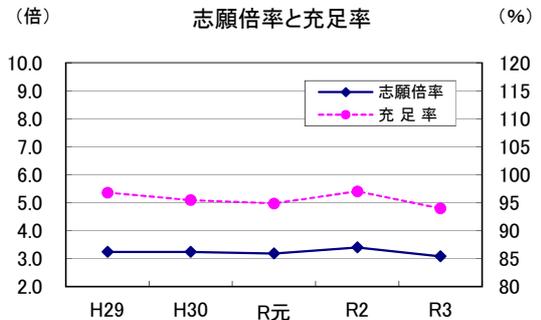
北海道

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	60	61	61	61	60
志願倍率	3.31	3.49	3.47	3.96	3.40
充 足 率	99.13	99.13	100.96	105.82	100.37



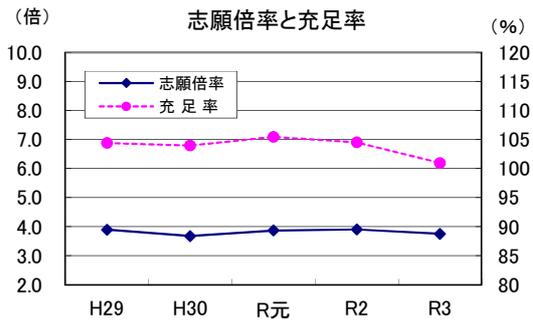
東北(宮城を除く)

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	42	42	42	43	43
志願倍率	3.24	3.24	3.19	3.40	3.08
充 足 率	96.81	95.47	94.88	97.05	93.98



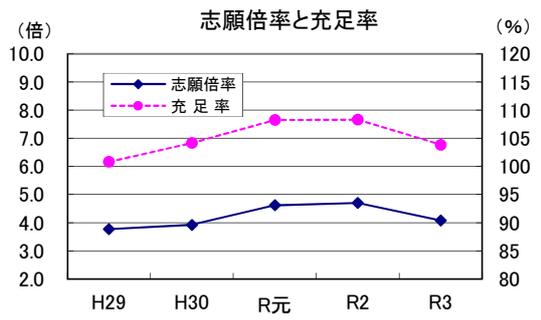
宮城

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	28	28	31	32	33
志願倍率	3.90	3.68	3.87	3.91	3.76
充 足 率	104.43	103.98	105.46	104.51	100.98



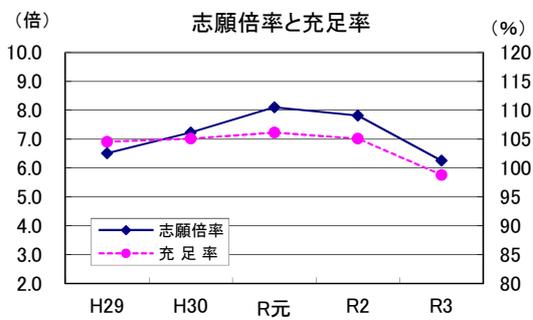
関東(埼玉、千葉、東京、神奈川を除く)

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	50	54	55	55	57
志願倍率	3.77	3.92	4.62	4.70	4.08
充 足 率	100.80	104.17	108.25	108.30	103.85



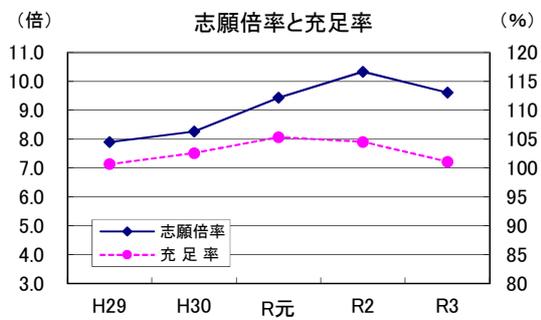
埼玉

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	76	79	79	83	84
志願倍率	6.51	7.23	8.11	7.82	6.26
充 足 率	104.57	105.12	106.14	105.11	98.83



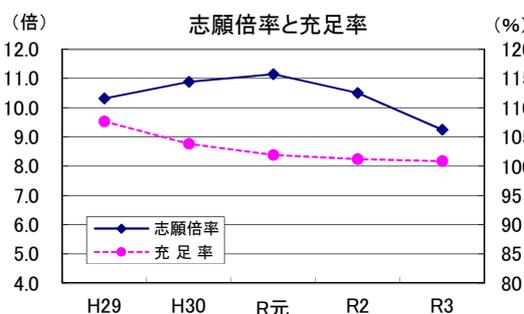
千葉

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	84	87	86	87	90
志願倍率	7.90	8.26	9.44	10.34	9.61
充 足 率	100.67	102.59	105.35	104.53	101.09



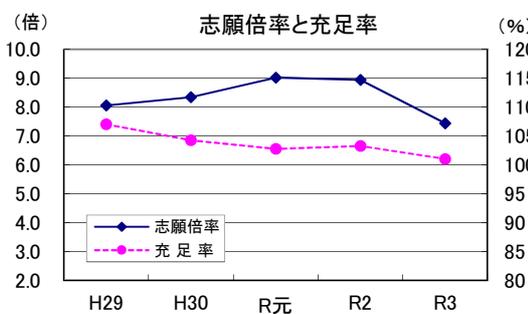
東京

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	382	387	394	405	409
志願倍率	10.32	10.88	11.14	10.50	9.25
充 足 率	107.65	103.81	101.90	101.21	100.85



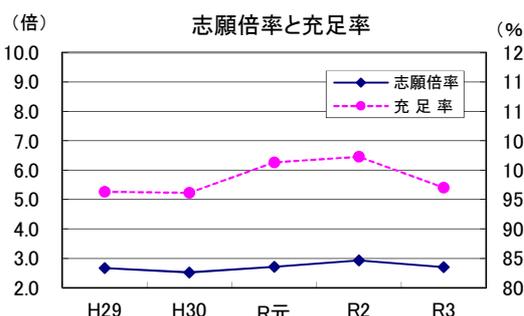
神奈川

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	106	108	110	111	109
志願倍率	8.06	8.34	9.02	8.94	7.44
充 足 率	107.01	104.22	102.77	103.23	101.01



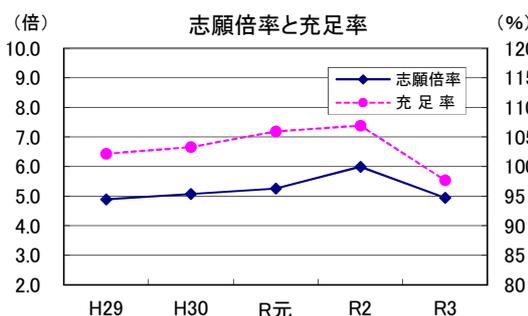
甲信越

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	36	37	40	42	44
志願倍率	2.67	2.52	2.71	2.93	2.70
充 足 率	96.34	96.14	101.30	102.27	97.03



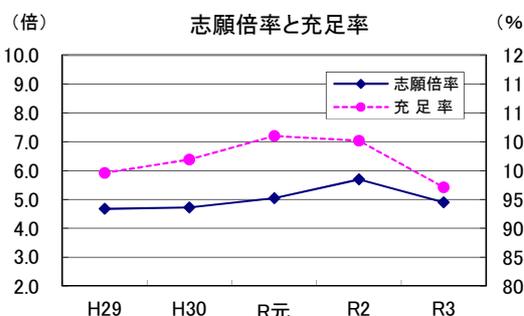
北陸

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	30	30	30	31	33
志願倍率	4.89	5.07	5.25	5.99	4.94
充 足 率	102.16	103.28	105.94	106.93	97.65



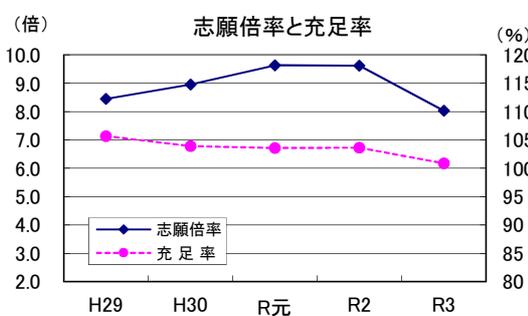
東海(愛知を除く)

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	57	58	59	60	63
志願倍率	4.67	4.72	5.04	5.69	4.90
充 足 率	99.60	101.88	105.98	105.18	97.10



愛知

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
学 部 数	151	153	155	156	157
志願倍率	8.44	8.96	9.63	9.62	8.03
充 足 率	105.67	103.92	103.56	103.60	100.86



日本私立学校振興・共済事業団

令和3(2021)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向 (P.26及びP.27より抜粋)

地域別の動向過去5カ年の推移 (大学・学部別)

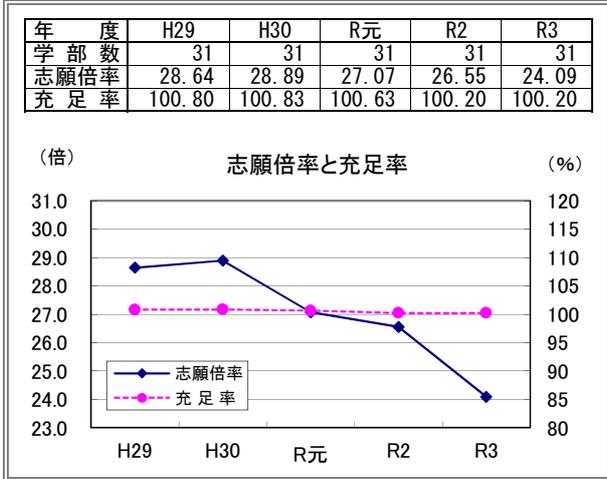
<https://www.shigaku.go.jp/files/nyuugakusiganndoukoukaitan0928.pdf>

学部系統別の動向 過去5カ年の推移（大学）

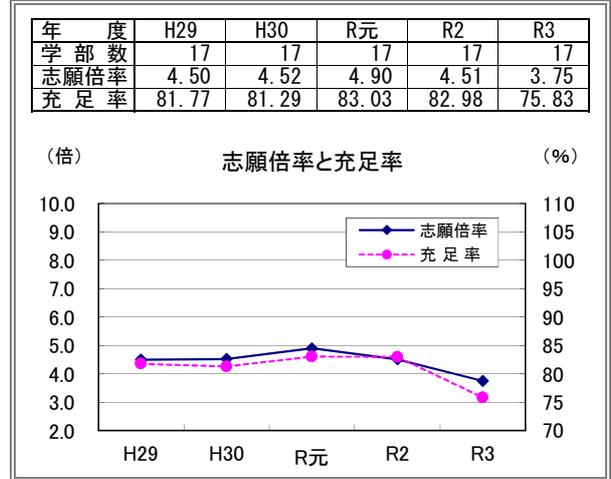
資料9

過去5カ年における学部系統別の学部数、志願倍率、入学定員充足率を下表に示した。

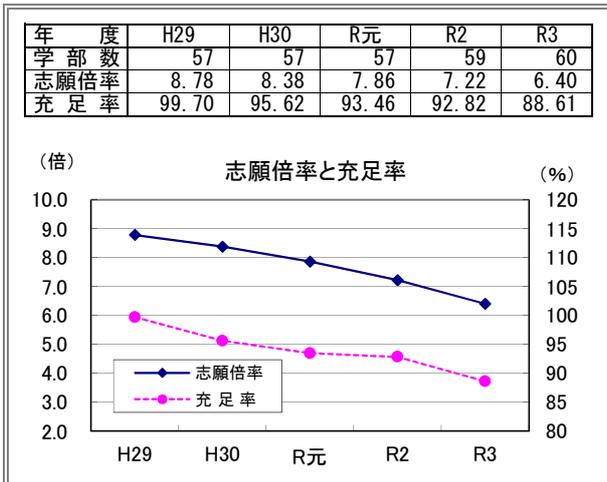
医学



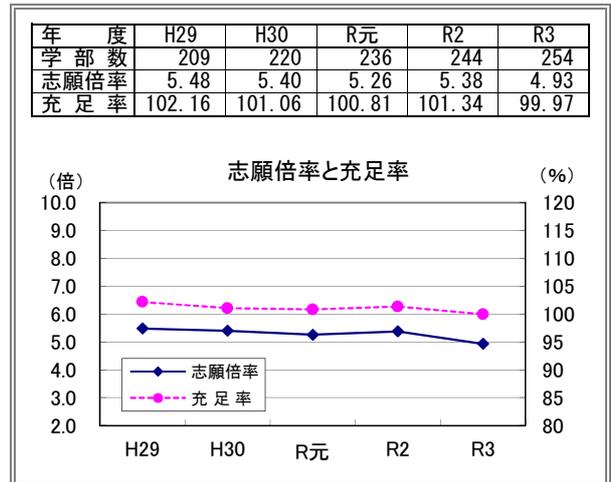
歯学



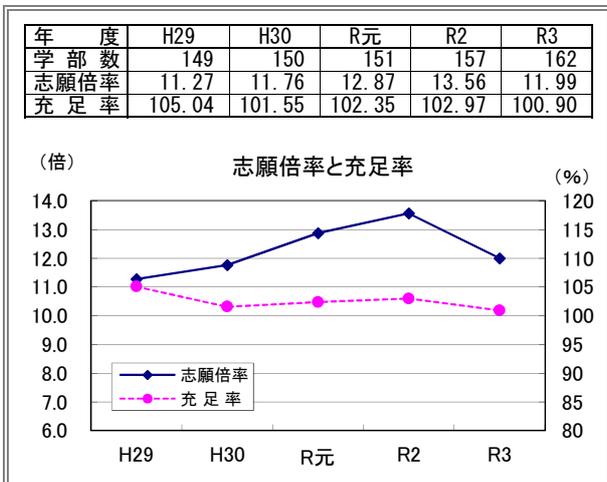
薬学



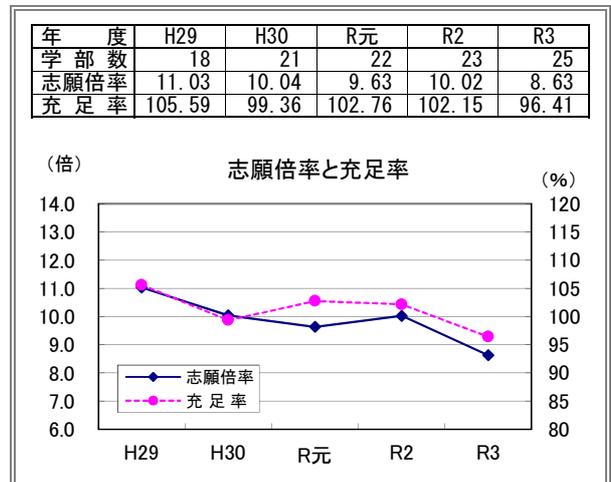
保健系



理・工学系



農学系



東京都市大学メディア情報学部情報システム学科 平成 29 年度～令和 3 年度入試動向（本学調べ）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	過去 5 年間 の平均	平均志願倍率 (志願者/入学定員)
志願者	1,011	1,315	2,088	1,826	1,816	1,611.2	17.51
受験者	976	1,283	2,025	1,768	1,746	1,559.6	
合格者	226	215	274	216	227	231.6	
入学者(A)	100	96	113	90	123	104.4	
入学定員(B)	90	90	90	90	100	92.0	
入学定員 超過率(A/B)	1.11	1.07	1.26	1.00	1.23	1.13	

東京都市大学 平成 29 年度～令和 3 年度外国人留学生特別選抜動向（本学調べ）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	過去 5 年間 の平均
志願者	55	51	101	167	113	97.4
合格者	42	36	45	72	51	49.2
入学者	29	22	30	56	41	35.6
募集人員	※1	※1	※2	※3	※3	—

- ※1 環境学部環境創生学科 3 名、環境学部環境マネジメント学科 3 名、
メディア情報学部社会メディア学科 5 名、メディア情報学部情報システム学科 5 名、
その他の学科 若干名
- ※2 人間科学部を除く全学科 若干名
- ※3 人間科学部を除く全学科 若干名（人間科学部は他の入試制度と併せて 16 名）

令和3年度東京都市大学オープンキャンパス参加者数（本学調べ）

イベント	開催日	参加者数(保護者等除く)
オンラインオープンキャンパス	6月20日(日)	1,495名
	8月22日(日)	2,975名
一般選抜対策オープンキャンパス	11月13日(土)	171名
	11月14日(日)	285名

1. 書類等の題名

資料 13

株式会社ナガセ NEWS RELEASE (2021年5月26日)

4月「共通テスト本番レベル模試」受験者の志望動向を分析

続く理高文低、理系人気は工学系が牽引

医歯薬系：医学部人気高も看護系は減少傾向」

2. 出典

株式会社ナガセ

3. 引用範囲

株式会社ナガセ NEWS RELEASE (2021年5月26日)

4月「共通テスト本番レベル模試」受験者の志望動向を分析

続く理高文低、理系人気は工学系が牽引

医歯薬系：医学部人気高も看護系は減少傾向 P.1及びP.2を引用

[https://www.toshin.com/news_release/uploadFiles/NewsReleases/8267c4ed9b4be746](https://www.toshin.com/news_release/uploadFiles/NewsReleases/8267c4ed9b4be7464d9a0dcb3b46175777070b4a80c110032e2373a5609092cf20210526212049.pdf)

[4d9a0dcb3b46175777070b4a80c110032e2373a5609092cf20210526212049.pdf](https://www.toshin.com/news_release/uploadFiles/NewsReleases/8267c4ed9b4be7464d9a0dcb3b46175777070b4a80c110032e2373a5609092cf20210526212049.pdf)

4. その他の説明

タイトル・資料番号・URLを記載

1. 書類等の題名

資料 14

AERA dot. (2021 年 11 月 19 日)

卒業後は有名企業から引く手あまた？

全国の大学で「データサイエンス学部」が増加している理由

2. 出典

株式会社朝日新聞出版

3. 引用範囲

AERA dot. (2021 年 11 月 19 日)

卒業後は有名企業から引く手あまた？

全国の大学で「データサイエンス学部」が増加している理由 P. 4 を引用

<https://dot.asahi.com/dot/2021111700024.html?page=4>

4. その他の説明

タイトル・資料番号・URL を記載

東京都市大学メディア情報学部情報システム学科 平成 29 年度～令和 3 年度 1 都 3 県別志願者数

(本学調べ)

都道府県	志願者数									
	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
神奈川県	447	44.2	545	41.4	740	35.5	643	35.2	687	37.8
東京都	266	26.3	381	29.0	650	31.1	573	31.4	595	32.8
埼玉県	32	3.2	58	4.4	94	4.5	104	5.7	108	5.9
千葉県	31	3.1	30	2.3	54	2.6	52	2.8	65	3.6
その他	235	23.2	301	22.9	550	26.3	454	24.9	361	19.9

東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）

設置に関する受容性調査 結果報告書

【高校生】

株式会社日本ドリコム

令和4年1月

目次

1. 学生確保に関する調査概要	4
(1) 調査目的	
(2) 調査期間	
(3) 調査対象・地域・方法	
(4) 有効回答数	
(5) 調査実施機関	
(6) 調査項目	
(7) 調査結果の見方	
2. 調査結果まとめ	6
3. 回答者情報	7
(1) 居住エリア	
(2) 奨学金制度の認知度	
4. 高校卒業後の進路選択	8
(1) 卒業後の希望進路	
(2) 関心がある学びの分野	
5. 東京都市大学およびデザイン・データ科学部	
デザイン・データ科学科（仮称）について	13
(1) 大学の認知度	
(2) 学部の特色について	
(3) 学部の入試説明会・オープンキャンパスへの参加希望	
(4) 学部への入学希望	
(5) 入試説明会・オープンキャンパスへの参加や入学を希望しない理由	
資料1 調査票	
資料2 説明資料	

1. 学生確保に関する調査概要

(1) 調査目的

本調査は、東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の新規設置に伴い、具体的な受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行うことで入学志望者の分析を行い、新設構想の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査期間

令和3年11月17日～令和3年12月28日

(3) 調査対象・地域・方法

神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県、静岡県の高等学校および付属校に在籍する高校2年生を対象に定量調査（留め置きアンケート調査）を実施。

(4) 有効回答数

101校 15,602名

<回答協力校（順不同）>

城北埼玉高等学校/品川女子学院高等部/春日部共栄中学高等学校/忍岡高等学校/浦和実業学園高等学校/関東第一高等学校/日本学園高等学校/我孫子二階堂高等学校/修徳高等学校/大磯高等学校/関東国際高等学校/埼玉栄高等学校/正則学園高等学校/成立学園高等学校/山脇学園高等学校/星美学園高等学校/東洋高等学校/立正大学附属立正高等学校/桐朋女子高等学校/敬愛学園高等学校/松戸南高等学校/七里ガ浜高等学校/捜真女学校高等学部/横浜隼人高等学校/小岩高等学校/藤沢翔陵高等学校/川越工業高等学校/相洋高等学校/平塚学園高等学校/杉並高等学校/旭丘高等学校/保善高等学校/山村学園高等学校/加藤学園高等学校/京華高等学校/横浜緑園高等学校/豊島学院高等学校/新城高等学校/帝京中学校・高等学校/千歳丘高等学校/新栄高等学校/城北高等学校/大泉桜高等学校/叡明高等学校/横浜高等学校/自由ヶ丘学園高等学校/元石川高等学校/東亜学園高等学校/富士東高等学校/実践女子学園高等学校/共栄学園高等学校/横浜市立金沢高等学校/藤嶺学園藤沢高等学校/神奈川総合産業高等学校/中央学院高等学校/東洋女子高等学校/横浜清風高等学校/光明学園相模原高等学校/本所高等学校/麻布大学附属高等学校/市ヶ尾高等学校/大和西高等学校/橘学苑高等学校/横須賀市立横須賀総合高等学校/松戸市立松戸高等学校/聖園女学院高等学校/鶴見大学附属高等学校/東高等学校/岩倉高等学校/城西大学附属城西高等学校/静岡サレジオ高等学校/横浜富士見丘学園高等学校/湘南学院高等学校/植草学園大学附属高等学校/三浦学苑高等学校/日本体育大学柏高等学校/井草高等学

校/川崎市立川崎総合科学高等学校/和洋国府台女子高等学校/相原高等学校/横浜南陵高等学校/伊東高等学校/飛龍高等学校/田園調布学園高等部/潤徳女子高等学校/海老名高等学校/上溝南高等学校/厚木東高等学校/国士舘高等学校/さいたま市立浦和南高等学校/京華商業高等学校/国分高等学校/関東学院高等学校/第五商業高等学校/草加高等学校/横浜氷取沢高等学校/下北沢成徳高等学校/東京都市大学附属高等学校/湘南学園高等学校/東京都市大学等々力高等学校/東京都市大学塩尻高等学校

(5) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

(6) 調査項目

- Q1 居住エリア
- Q2 奨学金制度の認知度
- Q3 卒業後の希望進路
- Q4 関心がある学びの分野
- Q5 東京都市大学の認知度
- Q6 東京都市大学およびデザイン・データ科学部
デザイン・データ科学科（仮称）の特色
- Q7 入試説明会・オープンキャンパスへの参加希望
- Q8 入学意向
- Q9 入試説明会・オープンキャンパスへの参加や入学を希望しない理由

(7) 調査結果の見方

- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・ 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- ・ 一部の表（表側）及びグラフについて、集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。
- ・ 1人の回答者が複数回答する設問では「MA」と表示しています。

2. 調査結果まとめ

I. 調査概要

本調査は、東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の新規設置に伴い、入学志望者の分析を行うことを目的として実施した。神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県、静岡県および付属校合わせて101校の高校2年生（15,602名）より回答を得て、集計・分析を行った。

II. 希望する進学先

Q3 卒業後の希望進路（複数回答可）については、回答者15,602名の内、13,278名が大学・専門職大学への進学を希望していた。

大学・専門職大学希望者	13278名
-------------	--------

III. オープンキャンパス・入試説明会参加希望者

大学・専門職大学進学希望者の内、オープンキャンパス・入試説明会に参加したいと回答された方は2,931名であった。

オープンキャンパス・入試説明会参加希望者	2931名
----------------------	-------

IV. 入学希望者

- (1) IIIで示した2,931名の内、東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）を受験して合格した場合入学したいと回答した方は、308名であった。

入学希望者	308名
-------	------

※Q7 入試説明会・オープンキャンパスへの参加希望において、「3. どちらかといえば思わない」または「4. 思わない」と回答した生徒はQ8 入学意向を回答させていない。

- (2) Q6 東京都市大学およびデザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の特色が必ずしも入学要因のすべてになるとは限らないが、入学希望者の推定に際して、論理矛盾となる可能性もあるため、IV（1）で示した308名の内、学部の特徴について肯定的な回答（「魅力的」または「どちらかといえば魅力を感じる」）を行ったものだけに絞った集計も行った。その結果、入学希望者は287名となった。入学定員100名に対して、2.9倍の人数となった。

特色に魅力を感じると回答した 入学希望者	287名
-------------------------	------

※特色すべてに否定的な回答をした方もしくは未回答であった方21名分を差し引いた人数

3. 回答者情報

(1) 居住エリア

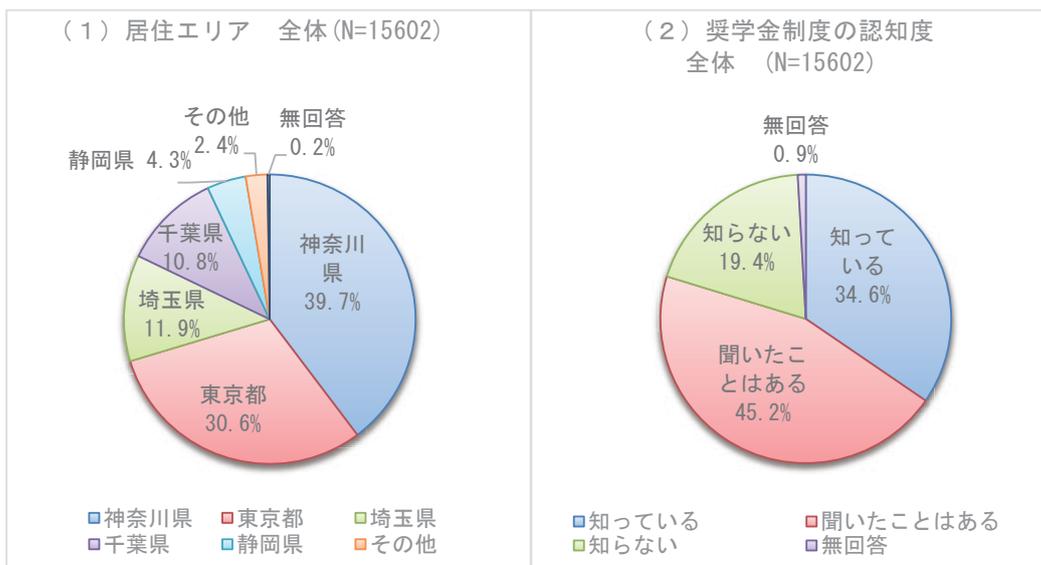
あなたの居住エリアをお答えください。

	件数 (N)	%
全体	(15602)	
神奈川県	6201	39.7
東京都	4770	30.6
埼玉県	1852	11.9
千葉県	1691	10.8
静岡県	675	4.3
その他	374	2.4
無回答	39	0.2

(2) 奨学金制度の認知度

進学の際、学費の全額または一部をまかなうことができる国の奨学金制度（日本学生支援機構奨学金）を知っていますか。

	件数 (N)	%
全体	(15602)	
知っている	5397	34.6
聞いたことはある	7047	45.2
知らない	3019	19.4
無回答	139	0.9



4. 高校卒業後の進路選択

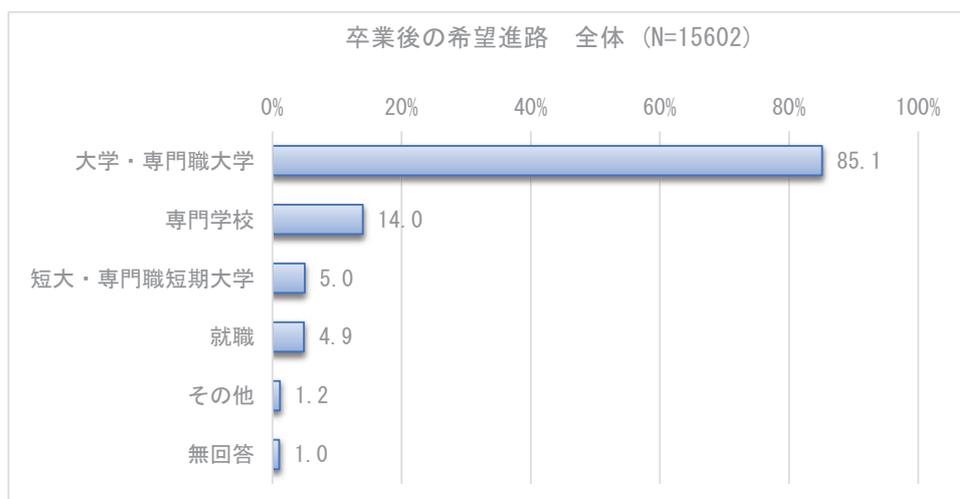
(1) 卒業後の希望進路

卒業後の希望進路としては、「大学・専門職大学」が85.1%で最も高い。

卒業後の進路として検討している選択肢をお答えください。

【MA】	件数(N)	%
全体	(15602)	
大学・専門職大学	13278	85.1
専門学校	2183	14.0
短大・専門職短期大学	781	5.0
就職	760	4.9
その他	181	1.2
無回答	162	1.0

※その他の回答として、「未定」、「留学」などがあつた。



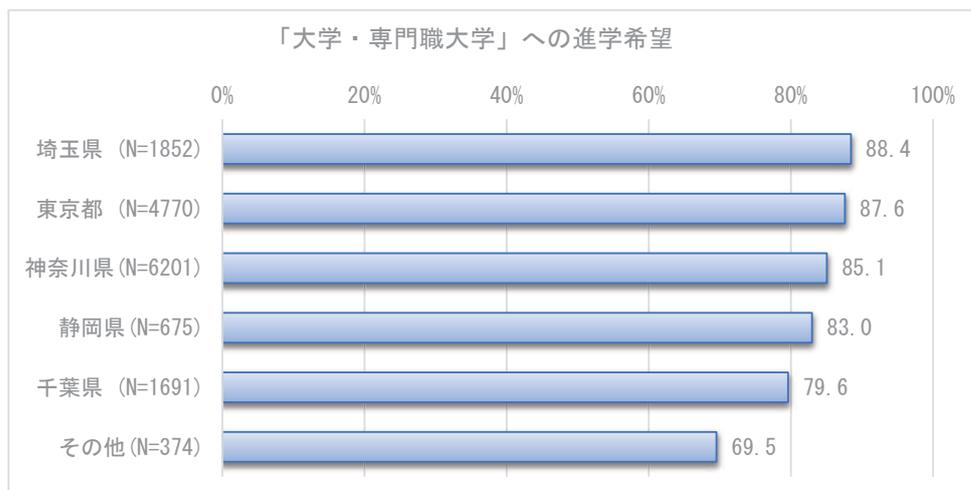
※割合が大きい順に並び替え。

●クロス集計（居住エリア別）

今回の調査では、「大学・専門職大学」への進学希望者の割合が高いエリアは、上から順に埼玉県、東京都、神奈川県、静岡県、千葉県となった。

単位：％

	全体 (N)	大学・ 専門職 大学	短大・ 専門職 短期大 学	専門学 校	就職	その他	無回答
神奈川県	(6201)	85.1	5.5	15.1	4.4	0.9	1.3
東京都	(4770)	87.6	3.5	10.9	4.9	1.2	0.6
埼玉県	(1852)	88.4	3.6	11.3	3.9	0.6	0.9
千葉県	(1691)	79.6	7.5	20.6	5.9	1.3	0.8
静岡県	(675)	83.0	5.3	13.2	7.1	1.0	0.9
その他	(374)	69.5	11.2	18.4	8.0	6.1	0.8



※割合が大きい順に並び替え。

(2) 関心がある学びの分野

関心がある学びの分野としては、「経済・経営・商業系統」が17.8%で最も高い。他に10%超のものは、「工学系統」「文学・人文系統」「理学系統」「情報・メディア系統」「美術・デザイン・芸術系統」「教育系統」「看護・医療技術系統」の7つ。「経済・経営・商業系統」・「工学系統」への関心が高く、新学部を設置構想は、受験生のニーズ、関心がある学びの分野に合致していることがわかる。

もし大学等に進学するとしたらどのような学びに関心がありますか。【MA】	件数(N)	%
全体	(15602)	
経済・経営・商業系統	2780	17.8
工学系統	2060	13.2
文学・人文系統	2000	12.8
理学系統	1966	12.6
情報・メディア系統	1777	11.4
美術・デザイン・芸術系統	1676	10.7
教育系統	1604	10.3
看護・医療技術系統	1567	10.0
スポーツ・健康系統	1480	9.5
語学系統	1269	8.1
わからない	1228	7.9
法律・政治系統	1216	7.8
国際関係学系統	1094	7.0
社会学系統	885	5.7
農・獣医・畜産関係	880	5.6
薬学系統	747	4.8
保健・福祉系統	738	4.7
音楽系統	665	4.3
医学系統	637	4.1
環境学系統	523	3.4
家政・生活系統	498	3.2
歯学系統	211	1.4
無回答	154	1.0

※件数が多い順に並び替え。

●クロス集計（居住エリア別）

単位：％

	全体 (N)	経済・ 経営・ 商業系 統	工学系 統	文学・ 人文系 統	理学系 統	情報・ メディ ア系統	美術・ デザイ ン・芸 術系統	教育系 統	看護・ 医療技 術系統
神奈川県	(6201)	17.9	14.1	14.0	13.6	11.9	9.6	10.7	10.0
東京都	(4770)	20.4	12.2	12.8	12.7	11.8	11.6	9.3	8.1
埼玉県	(1852)	13.5	16.4	12.0	13.9	11.8	13.2	9.5	11.3
千葉県	(1691)	16.7	9.9	10.4	9.5	9.3	10.9	11.8	12.4
静岡県	(675)	15.6	13.2	13.5	10.8	11.9	8.7	12.4	14.8
その他	(374)	14.7	11.5	7.0	5.9	6.1	9.1	10.2	11.2

	全体 (N)	スポー ツ・健 康系統	語学系 統	わから ない	法律・ 政治系 統	国際関 係学系 統	社会学 系統	農・獣 医・畜 産関係	薬学系 統
神奈川県	(6201)	8.9	8.8	6.7	8.1	7.5	5.6	6.0	4.6
東京都	(4770)	9.4	7.9	9.3	8.9	6.8	6.4	5.1	5.1
埼玉県	(1852)	7.5	6.1	5.7	6.5	5.4	5.3	5.9	5.4
千葉県	(1691)	10.7	8.8	9.2	6.9	6.5	4.3	6.0	3.7
静岡県	(675)	14.2	8.4	8.3	4.7	9.9	7.1	6.1	5.5
その他	(374)	16.6	6.1	13.4	4.5	6.7	2.9	2.4	4.5

	全体 (N)	保健・ 福祉系 統	音楽系 統	医学系 統	環境学 系統	家政・ 生活系 統	歯学系 統	無回答
神奈川県	(6201)	4.3	4.2	3.6	3.6	3.1	1.3	0.8
東京都	(4770)	4.5	4.4	4.6	3.4	2.9	1.5	0.8
埼玉県	(1852)	4.2	3.5	4.3	3.3	3.3	1.0	0.8
千葉県	(1691)	6.9	4.8	3.1	2.7	3.8	1.1	1.2
静岡県	(675)	5.8	4.7	4.6	3.6	4.1	1.8	1.5
その他	(374)	7.0	4.5	7.0	1.6	2.7	2.9	2.4

●クロス集計（卒業後の希望進路別）

単位：％

	全体 (N)	経済・ 経営・ 商業系 統	工学系 統	文学・ 人文系 統	理学系 統	情報・ メディ ア系統	美術・ デザイ ン・芸 術系統	教育系 統	看護・ 医療技 術系統
大学・専門職大学	(13278)	19.2	14.4	14.0	14.2	11.9	9.2	10.6	10.0
専門学校	(2183)	10.2	7.7	6.5	4.5	11.2	23.5	7.8	15.8
短大・専門職短期大学	(781)	12.7	7.4	10.4	6.4	11.1	17.8	23.4	11.8
就職	(760)	18.3	15.1	9.1	7.9	12.1	19.1	6.4	5.1
その他	(181)	13.3	3.3	9.9	5.0	8.3	18.8	7.7	6.1

	全体 (N)	スポー ツ・健 康系統	語学系 統	わから ない	法律・ 政治系 統	国際関 係学系 統	社会学 系統	農・獣 医・畜 産関係	薬学系 統
大学・専門職大学	(13278)	9.6	8.5	6.1	8.5	7.6	6.3	5.6	5.3
専門学校	(2183)	10.5	7.0	13.6	3.2	4.1	2.3	6.0	2.2
短大・専門職短期大学	(781)	10.4	9.9	10.8	3.8	6.3	4.0	7.2	4.6
就職	(760)	16.1	4.9	23.0	8.6	4.3	4.6	5.3	3.7
その他	(181)	11.6	16.0	40.3	7.2	11.0	4.4	7.2	3.3

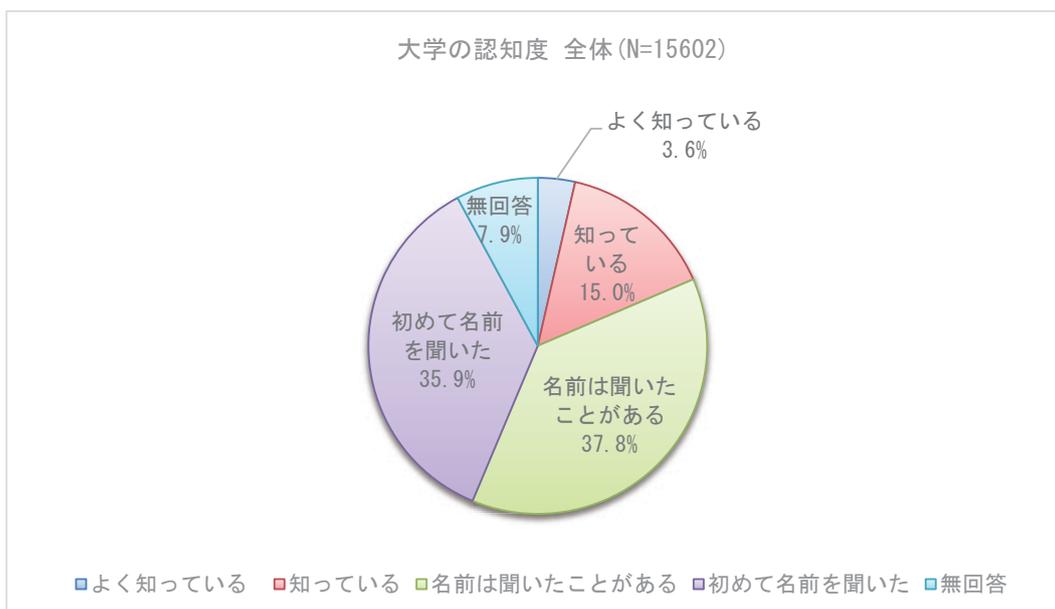
	全体 (N)	保健・ 福祉系 統	音楽系 統	医学系 統	環境学 系統	家政・ 生活系 統	歯学系 統	無回答
大学・専門職大学	(13278)	4.6	3.5	4.2	3.6	3.0	1.1	0.5
専門学校	(2183)	7.1	11.0	4.3	1.6	4.5	2.8	1.8
短大・専門職短期大学	(781)	10.0	10.0	4.1	3.5	6.9	4.9	1.3
就職	(760)	6.4	8.9	3.4	3.8	2.9	2.1	3.3
その他	(181)	3.3	11.6	5.5	2.8	3.9	2.8	6.1

5. 東京都市大学および東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）について

（1）大学の認知度

「名前は聞いたことがある」が37.8%で最も高く、「よく知っている」(3.6%)「知っている」(15.0%)を含め、回答者の半数以上(56.3%)が東京都市大学の存在を認知していることがわかる。

東京都市大学を知っていますか。	件数(N)	%
全体	(15602)	
よく知っている	554	3.6
知っている	2336	15.0
名前は聞いたことがある	5893	37.8
初めて名前を聞いた	5594	35.9
無回答	1225	7.9



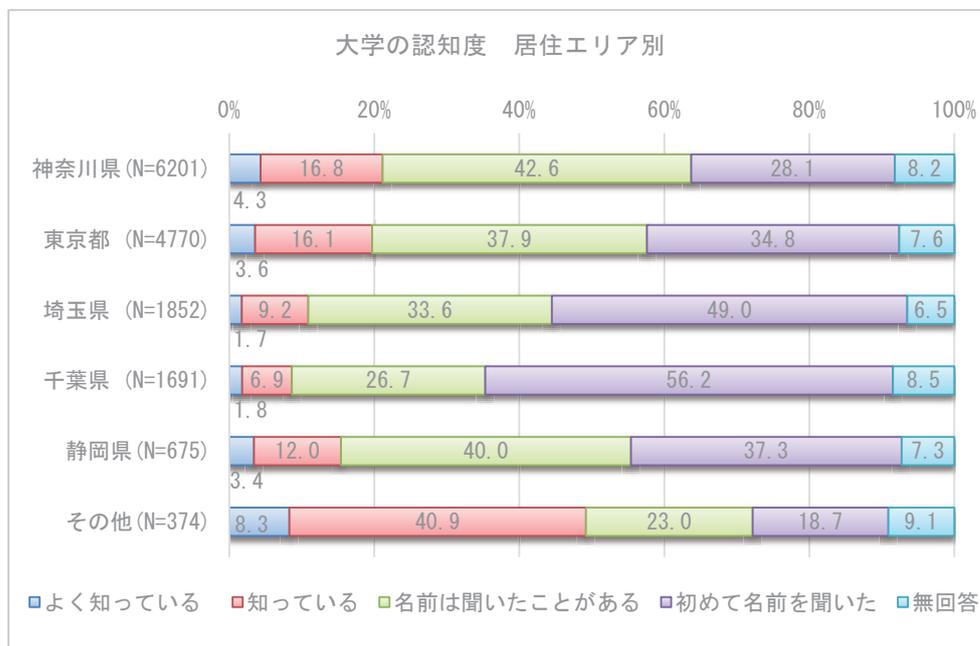
●クロス集計（居住エリア別）

居住エリア別にみると、認知度（「よく知っている」「知っている」「名前は聞いたことがある」の割合）が最も高いのは神奈川県で63.7%、次いで東京都の57.6%、静岡県の55.4%、埼玉県の44.5%、千葉県の35.4%となっている。

なお、「その他」のエリアにおいて、「よく知っている」「知っている」の割合が高くなっているが、長野県に所在する付属校の生徒が占める割合が高いためである。

単位：%

	全体 (N)	よく知っている	知っている	名前は聞いたことがある	初めて名前を聞いた	無回答
神奈川県	(6201)	4.3	16.8	42.6	28.1	8.2
東京都	(4770)	3.6	16.1	37.9	34.8	7.6
埼玉県	(1852)	1.7	9.2	33.6	49.0	6.5
千葉県	(1691)	1.8	6.9	26.7	56.2	8.5
静岡県	(675)	3.4	12.0	40.0	37.3	7.3
その他	(374)	8.3	40.9	23.0	18.7	9.1

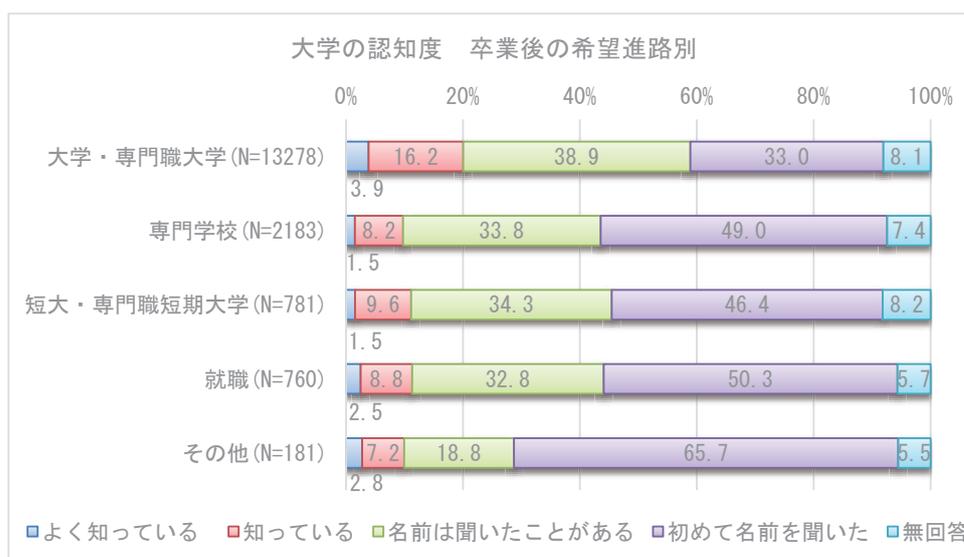


●クロス集計（卒業後の希望進路別）

卒業後の希望進路別にみると、「大学・専門職大学」への進学希望者における認知度（「よく知っている」「知っている」「名前は聞いたことがある」の割合）は58.9%となった。

単位 上段：人/下段：%

	全体 (N)	よく知 ってい る	知って いる	名前は 聞いた ことが ある	初めて 名前を 聞いた	無回答
全体	(15602)	554	2336	5893	5594	1225
		3.6	15.0	37.8	35.9	7.9
大学・専門職大学	(13278)	512	2151	5159	4385	1071
		3.9	16.2	38.9	33.0	8.1
専門学校	(2183)	33	180	738	1070	162
		1.5	8.2	33.8	49.0	7.4
短大・専門職短期大学	(781)	12	75	268	362	64
		1.5	9.6	34.3	46.4	8.2
就職	(760)	19	67	249	382	43
		2.5	8.8	32.8	50.3	5.7
その他	(181)	5	13	34	119	10
		2.8	7.2	18.8	65.7	5.5

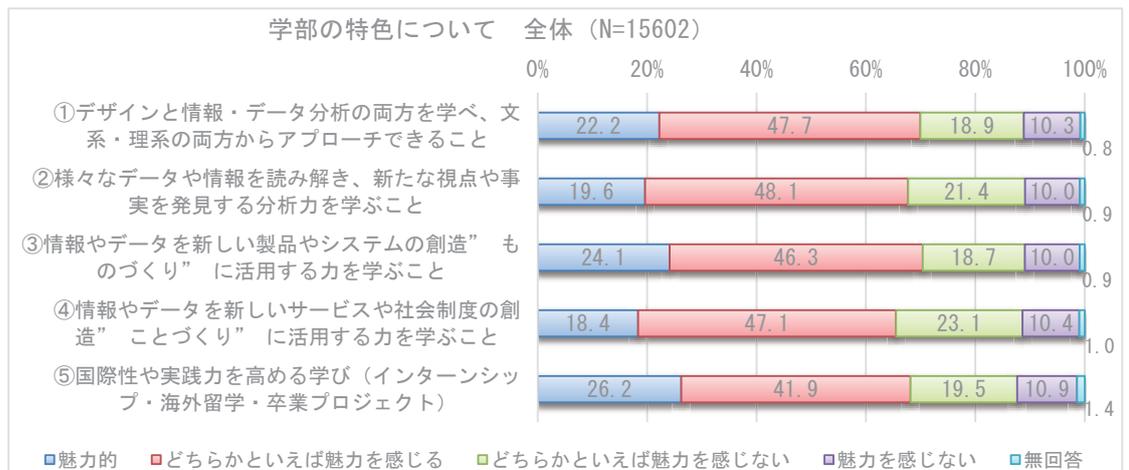


(2) 学部の特色について

①～⑤の全ての特色事項について肯定的な回答（「魅力的」または「どちらかといえば魅力を感じる」）の割合が65%を超えた。肯定的な回答の割合が最も高いのは「③情報やデータを新しい製品やシステムの創造”ものづくり”に活用する力を学ぶこと」。次いで、「①デザインと情報・データ分析の両方を学べ、文系・理系の両方からアプローチできること」。「魅力的」の回答に絞ると「⑤国際性や実践力を高める学び（インターンシップ・海外留学・卒業プロジェクト）」が最も多い結果となった。

上段単位：件/下段単位：%

東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の特色についてどの程度魅力を感じますか。	全体 (N)	魅力的	どちらかといえば魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じない	魅力を感じない	無回答
①デザインと情報・データ分析の両方を学べ、文系・理系の両方からアプローチできること	(15602)	3469 22.2	7445 47.7	2950 18.9	1613 10.3	125 0.8
②様々なデータや情報を読み解き、新たな視点や事実を発見する分析力を学ぶこと	(15602)	3062 19.6	7503 48.1	3335 21.4	1566 10.0	136 0.9
③情報やデータを新しい製品やシステムの創造”ものづくり”に活用する力を学ぶこと	(15602)	3763 24.1	7218 46.3	2914 18.7	1565 10.0	142 0.9
④情報やデータを新しいサービスや社会制度の創造”ことづくり”に活用する力を学ぶこと	(15602)	2863 18.4	7356 47.1	3608 23.1	1621 10.4	154 1.0
⑤国際性や実践力を高める学び（インターンシップ・海外留学・卒業プロジェクト）	(15602)	4094 26.2	6540 41.9	3041 19.5	1707 10.9	220 1.4



●クロス集計（居住エリア別）

[①デザインと情報・データ分析の両方を学べ、文系・理系の両方からアプローチできること]

単位：%

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えば魅 力を感 じる	どちら かとい えば魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
神奈川県	(6201)	22.7	48.8	18.7	8.8	1.0
東京都	(4770)	21.5	46.5	19.9	11.5	0.6
埼玉県	(1852)	21.7	48.8	17.4	11.4	0.6
千葉県	(1691)	21.6	45.8	20.9	11.1	0.6
静岡県	(675)	22.2	51.3	15.9	9.9	0.7
その他	(374)	30.7	40.6	14.4	13.4	0.8

[②様々なデータや情報を読み解き、新たな視点や事実を発見する分析力を学ぶこと]

単位：%

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えば魅 力を感 じる	どちら かとい えば魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
神奈川県	(6201)	19.3	49.3	21.6	8.7	1.1
東京都	(4770)	19.6	46.6	21.9	11.2	0.7
埼玉県	(1852)	21.4	48.4	19.1	10.5	0.6
千葉県	(1691)	17.0	47.8	23.5	10.8	0.8
静岡県	(675)	20.3	50.8	18.8	9.3	0.7
その他	(374)	27.0	42.0	17.1	13.1	0.8

[③情報やデータを新しい製品やシステムの創造”ものづくり” に活用する力を学ぶこと]

単位：%

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えば魅 力を感 じる	どちら かとい えば魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
神奈川県	(6201)	24.4	47.2	18.6	8.6	1.1
東京都	(4770)	23.2	45.6	19.4	11.0	0.8
埼玉県	(1852)	26.3	45.6	16.6	10.9	0.6
千葉県	(1691)	21.9	45.5	21.0	10.9	0.7
静岡県	(675)	25.5	48.6	15.0	10.2	0.7
その他	(374)	29.9	40.1	16.6	12.3	1.1

[④情報やデータを新しいサービスや社会制度の創造”ことづくり” に活用する力を学ぶこと]

単位：%

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えば魅 力を感 じる	どちら かとい えば魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
神奈川県	(6201)	18.5	47.8	23.4	9.0	1.3
東京都	(4770)	17.6	46.1	24.3	11.2	0.8
埼玉県	(1852)	19.2	48.4	20.5	11.3	0.6
千葉県	(1691)	16.9	46.4	24.2	11.7	0.8
静岡県	(675)	19.0	50.8	19.7	9.8	0.7
その他	(374)	27.5	41.2	17.6	12.8	0.8

[⑤国際性や実践力を高める学び（インターンシップ・海外留学・卒業プロジェクト）]

単位：％

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えは魅 力を感 じる	どちら かとい えは魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
神奈川県	(6201)	26.1	42.8	19.4	9.9	1.8
東京都	(4770)	25.6	40.5	20.7	12.0	1.3
埼玉県	(1852)	26.6	42.8	18.6	11.3	0.7
千葉県	(1691)	24.8	42.2	20.6	11.2	1.2
静岡県	(675)	30.7	43.1	15.3	10.1	0.9
その他	(374)	33.7	37.7	13.6	13.9	1.1

●クロス集計（卒業後の希望進路別）

[①デザインと情報・データ分析の両方を学べ、文系・理系の両方からアプローチできること]

単位：％

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えは魅 力を感 じる	どちら かとい えは魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
大学・専門職大学	(13278)	22.7	48.2	18.6	9.7	0.7
専門学校	(2183)	20.1	48.1	20.5	10.4	0.9
短大・専門職短期大学	(781)	21.3	49.7	20.0	8.6	0.5
就職	(760)	21.7	43.7	18.9	14.9	0.8
その他	(181)	19.3	32.0	21.5	26.0	1.1

[②様々なデータや情報を読み解き、新たな視点や事実を発見する分析力を学ぶこと]

単位：%

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えば魅 力を感 じる	どちら かとい えば魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
大学・専門職大学	(13278)	19.8	48.9	21.1	9.5	0.8
専門学校	(2183)	18.5	46.7	23.7	10.0	1.1
短大・専門職短期大学	(781)	19.1	48.8	22.5	8.8	0.8
就職	(760)	21.8	43.9	19.5	13.8	0.9
その他	(181)	16.6	33.1	23.2	26.0	1.1

[③情報やデータを新しい製品やシステムの創造”ものづくり” に活用する力を学ぶこと]

単位：%

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えば魅 力を感 じる	どちら かとい えば魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
大学・専門職大学	(13278)	24.5	46.6	18.6	9.6	0.8
専門学校	(2183)	24.0	46.7	18.9	9.4	1.1
短大・専門職短期大学	(781)	25.6	46.1	18.8	8.5	1.0
就職	(760)	25.9	44.3	15.8	13.2	0.8
その他	(181)	15.5	38.7	18.2	26.5	1.1

[④情報やデータを新しいサービスや社会制度の創造”ことづくり” に活用する力を学ぶこと]

単位：%

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えば魅 力を感 じる	どちら かとい えば魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
大学・専門職大学	(13278)	18.4	47.7	23.1	9.9	0.9
専門学校	(2183)	18.3	47.0	23.3	10.3	1.1
短大・専門職短期大学	(781)	19.6	47.1	23.4	9.2	0.6
就職	(760)	19.5	45.3	20.8	13.7	0.8
その他	(181)	16.6	34.3	22.1	26.0	1.1

[⑤国際性や実践力を高める学び（インターンシップ・海外留学・卒業プロジェクト）]

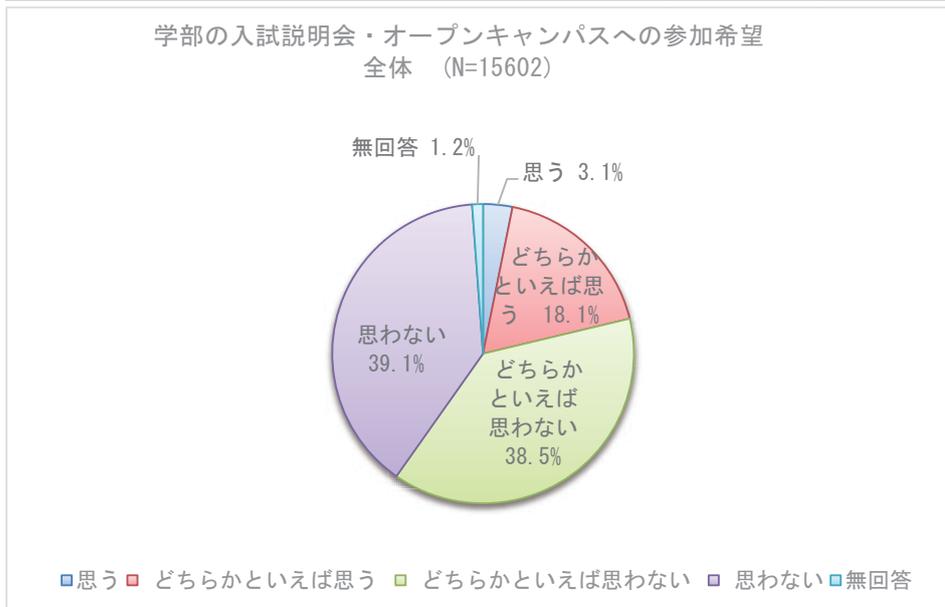
単位：%

	全体 (N)	魅力的	どちら かとい えば魅 力を感 じる	どちら かとい えば魅 力を感 じない	魅力を 感じな い	無回答
大学・専門職大学	(13278)	26.6	42.4	19.2	10.4	1.3
専門学校	(2183)	25.6	40.5	21.1	11.0	1.8
短大・専門職短期大学	(781)	25.7	44.3	18.3	10.4	1.3
就職	(760)	22.9	38.6	21.2	15.9	1.4
その他	(181)	22.7	33.7	15.5	26.0	2.2

(3) 学部の入試説明会・オープンキャンパスへの参加希望

入試説明会・オープンキャンパスへの参加について肯定的な回答（参加したいと「思う」または「どちらかといえば思う」）をした割合は21.2%（3,314名）となった。

東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の入試説明会やオープンキャンパスに参加したいと思いませんか。	件数 (N)	%
全体	(15602)	
思う	490	3.1
どちらかといえば思う	2824	18.1
どちらかといえば思わない	6006	38.5
思わない	6101	39.1
無回答	181	1.2

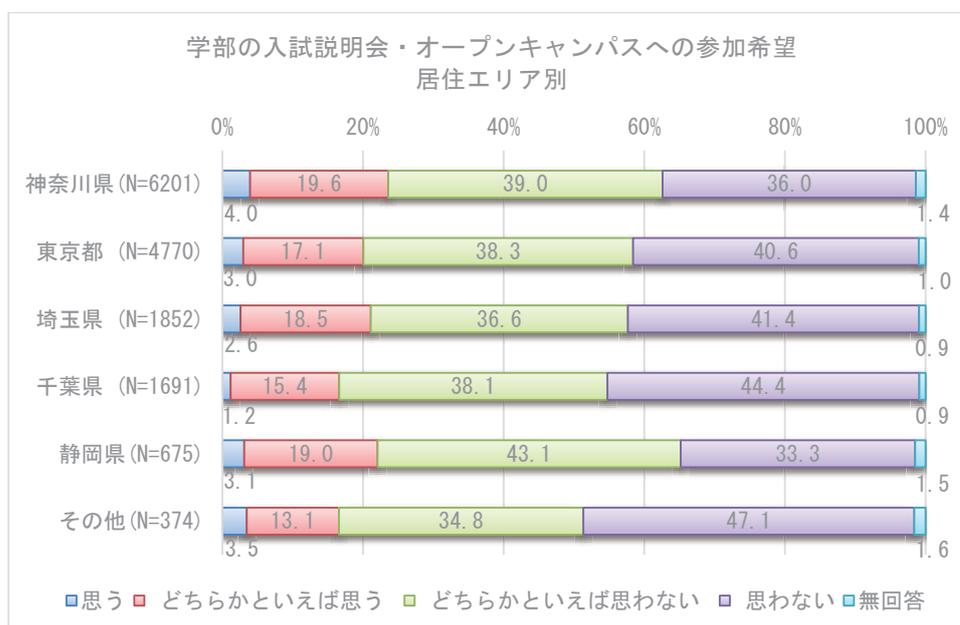


●クロス集計（居住エリア別）

居住エリア別にみると、入試説明会・オープンキャンパスへの参加について肯定的な回答（参加したいと「思う」または「どちらかといえば思う」）をした割合が最も多いのは、神奈川県（23.6%）。次いで、静岡県（22.1%）となった。

単位：%

	全体 (N)	思う	どちら かとい えば思 う	どちら かとい えば思 わない	思わな い	無回答
神奈川県	(6201)	4.0	19.6	39.0	36.0	1.4
東京都	(4770)	3.0	17.1	38.3	40.6	1.0
埼玉県	(1852)	2.6	18.5	36.6	41.4	0.9
千葉県	(1691)	1.2	15.4	38.1	44.4	0.9
静岡県	(675)	3.1	19.0	43.1	33.3	1.5
その他	(374)	3.5	13.1	34.8	47.1	1.6

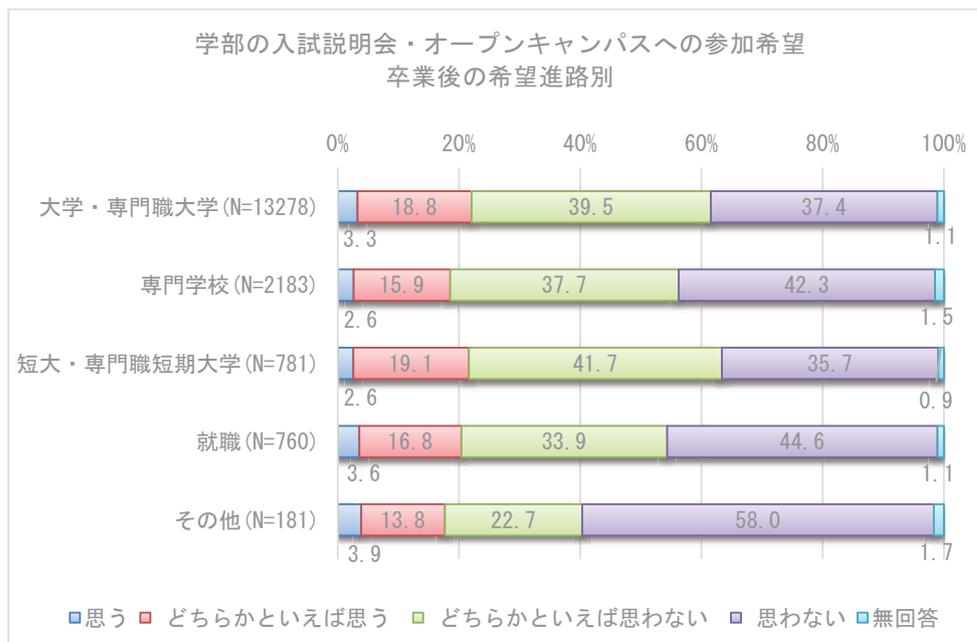


●クロス集計（卒業後の希望進路別）

卒業後の希望進路別にみると、「大学・専門職大学」進学希望者において、入試説明会・オープンキャンパスへの参加に肯定的な回答（「思う」または「どちらかといえば思う」）をしたものは、2,931名であった。

単位 上段：人/下段：%

	全体 (N)	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	無回答
大学・専門職大学	(13278)	432	2499	5241	4965	141
		3.3	18.8	39.5	37.4	1.1
専門学校	(2183)	57	348	823	923	32
		2.6	15.9	37.7	42.3	1.5
短大・専門職短期大学	(781)	20	149	326	279	7
		2.6	19.1	41.7	35.7	0.9
就職	(760)	27	128	258	339	8
		3.6	16.8	33.9	44.6	1.1
その他	(181)	7	25	41	105	3
		3.9	13.8	22.7	58.0	1.7



(4) 学部への入学希望

- ・大学・専門職大学への進学を希望し、且つ入試説明会・オープンキャンパスへの参加について肯定的な回答（参加したいと「思う」または「どちらかといえば思う」）をした2,931名の内、東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）を受験して合格した場合に入学したいと回答した方は、308名であった。

入学希望者（※1）	308名
-----------	------

※1：入学希望者の回答・集計について

Q7 入試説明会・オープンキャンパスへの参加希望について、「どちらかといえば思わない」または「思わない」と回答した場合、調査票上、Q8 入学意向は回答をしない形になっている。また、誤って回答したものは無効回答として扱われており、入学希望者の集計には含まれていない。

- ・「5（2）学部の特色について」にて集計した特色が必ずしも入学要因のすべてになるとは限らないが、入学希望者の推定に際して、論理矛盾となる可能性もあるため、先に示した308名の内、学部の特色について肯定的な回答（「魅力的」または「どちらかといえば魅力を感じる」）を行ったものだけに絞った集計も行った。その結果、入学希望者は287名となった。入学定員100名に対して、2.9倍の人数となった。

特色に魅力を感じると回答した 入学希望者（※2）	287名
-----------------------------	------

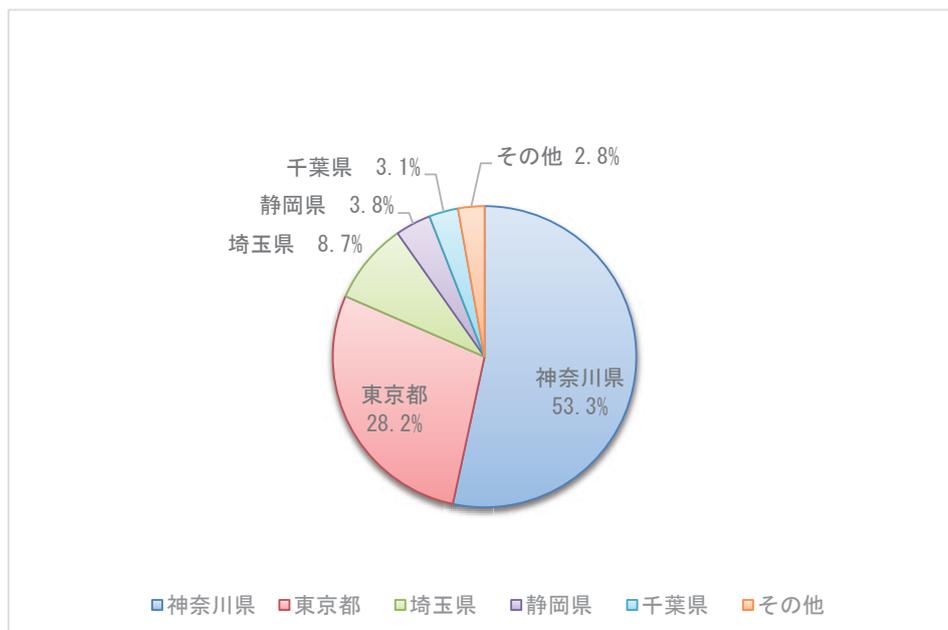
※2：特色に魅力を感じると回答した入学希望者

入学希望者308名から、特色すべてに否定的な回答をした方もしくは未回答であった方21名分を差し引いた人数

●クロス集計（居住エリア別）

特色に魅力を感じると回答した入学希望者 287 名の居住エリア別の内訳は、神奈川県が 53.3%、東京都が 28.2%、埼玉県が 8.7%、静岡県が 3.8%、千葉県が 3.1%となった。

	件数 (N)	%
全体	(287)	
神奈川県	(153)	53.3
東京都	(81)	28.2
埼玉県	(25)	8.7
静岡県	(11)	3.8
千葉県	(9)	3.1
その他	(8)	2.8



(5) 入試説明会・オープンキャンパスへの参加や入学を希望しない理由

理由として最も多いのは「興味関心のない分野だから」で50.1%、次いで多いのは「既に第一希望の進学先があるため」で32.8%となった。また、大学や学部自体に関する理由については、学部学科の情報や学びの内容についてわからないという回答よりも、「東京都市大学についてよく知らないから」という回答が多い結果となった。

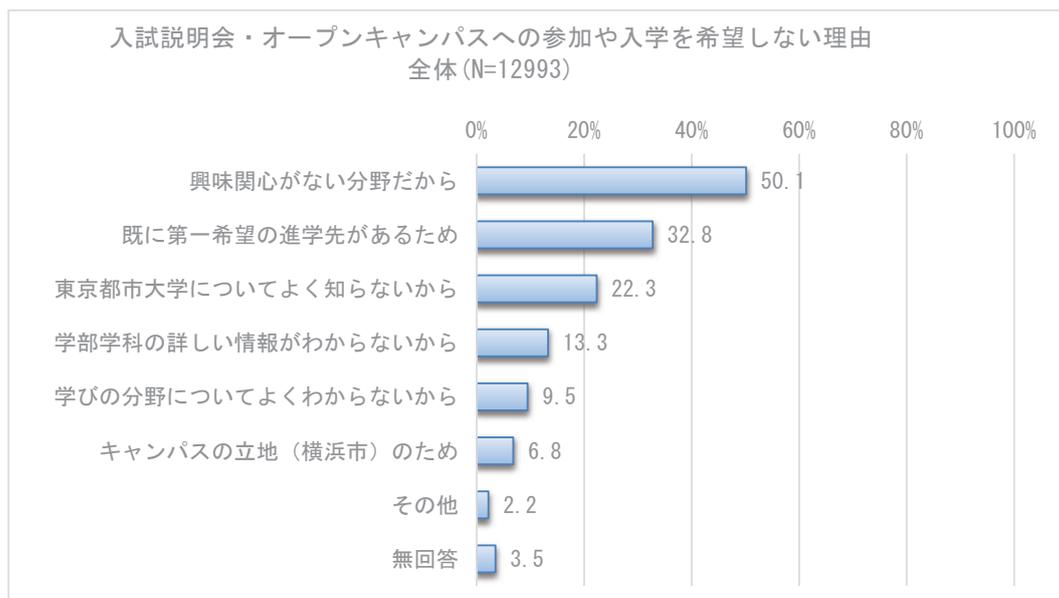
「その他」の記載内容としては、学費面の負担が大きいこと、英語に関する苦手意識があることなどが挙げられた。

その理由をご回答ください。【MA】	件数 (N)	%
全体	(12993)	
興味関心がない分野だから	6515	50.1
既に第一希望の進学先があるため	4256	32.8
東京都市大学についてよく知らないから	2903	22.3
学部学科の詳しい情報がわからないから	1727	13.3
学びの分野についてよくわからないから	1231	9.5
キャンパスの立地（横浜市）のため	885	6.8
その他	285	2.2
無回答	455	3.5

※（3）[学部学科の入試説明会・オープンキャンパスへの参加希望]で「どちらかといえば思わない」

「思わない」と回答した方、もしくは、（4）[学部学科への入学希望]で「入学したいと思わない」と回答した方に質問。

※件数が多い順に並び替え。



●クロス集計（居住エリア別）

単位：％

	全体 (N)	興味関 心がな い分野 だから	既に第 一希望 の進学 先があ るため	東京都 市大学 につい てよく 知らな いから	学部学 科の詳 しい情 報がわ からな いから	学びの 分野に ついて よくわ からな いから	キャン パスの 立地 (横浜 市)の ため	その他	無回答
神奈川県	(5026)	51.2	33.8	21.2	13.7	9.9	1.5	2.5	3.6
東京都	(4029)	49.2	32.5	23.4	14.5	9.6	10.1	2.0	3.3
埼玉県	(1538)	45.9	33.9	25.2	11.1	8.5	12.9	2.5	4.2
千葉県	(1493)	51.8	29.5	23.2	10.9	7.4	10.1	1.1	3.7
静岡県	(552)	52.4	31.0	20.5	13.8	11.6	5.4	1.3	2.7
その他	(325)	53.5	32.0	13.8	12.9	10.8	7.4	5.2	3.1

●クロス集計（卒業後の希望進路別）

単位：％

	全体 (N)	興味関 心がな い分野 だから	既に第 一希望 の進学 先があ るため	東京都 市大学 につい てよく 知らな いから	学部学 科の詳 しい情 報がわ からな いから	学びの 分野に ついて よくわ からな いから	キャン パスの 立地 (横浜 市)の ため	その他	無回 答
大学・専門職 大学	(10975)	49.6	33.3	23.1	13.9	9.9	7.0	1.6	3.4
専門学校	(1877)	55.7	29.2	22.3	12.7	10.1	6.3	2.4	3.6
短大・専門職 短期大学	(656)	53.4	24.5	26.7	16.6	12.2	7.2	2.1	3.5
就職	(636)	52.2	16.7	22.8	13.5	10.2	8.2	10.4	3.6
その他	(159)	52.8	12.6	18.2	11.9	9.4	5.0	18.9	8.2

東京都市大学 デザイン・データ科学部（仮称・設置構想中）に関するアンケート

東京都市大学では、2023年4月、神奈川県横浜市にデザイン・データ科学部の開設を計画しています。

このアンケート調査は、高校生の皆さんの希望進路などをお聞きし、東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の設置について検討する資料とするものです。ご回答は当該学部学科に係る統計資料にのみ使用いたします。また、この調査の実施及び集計は受託先である株式会社日本ドリコムにて行われます。

■質問の答えとなる番号に○をつけてください。

Q1 あなたの居住エリアをお答えください。

1 神奈川県 2 東京都 3 千葉県 4 埼玉県 5 静岡県 6 その他 ()

Q2 進学の際、学費の全額または一部をまかなうことができる国の奨学金制度（日本学生支援機構奨学金）を知っていますか。

1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない

Q3 卒業後の進路として検討している選択肢をお答えください。（複数回答可）

1 大学・専門職大学 2 短大・専門職短期大学 3 専門学校 4 就職 5 その他 ()

Q4 もし大学等に進学するとしたらどのような学びに関心がありますか。（複数回答可）

1. 文学・人文系統 2. 語学系統 3. 教育系統 4. 美術・デザイン・芸術系統 5. 音楽系統 6. 法律・政治系統 7. 経済・経営・商業系統
8. 社会学系統 9. 国際関係学系統 10. 情報・メディア系統 11. 環境学系統 12. 理学系統 13. 工学系統
14. 農・獣医・畜産関係 15. 医学系統 16. 歯学系統 17. 薬学系統 18. 看護・医療技術系統 19. 保健・福祉系統
20. 家政・生活系統 21. スポーツ・健康系統 22. わからない

Q5 東京都市大学を知っていますか

1 よく知っている 2 知っている 3 名前は聞いたことがある 4 初めて名前を聞いた

Q7以降の質問は、一緒に配布した学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。

Q6 東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の特色についてどの程度魅力を感じますか。

①デザインと情報・データ分析の両方を学べ、文系・理系の両方からアプローチできること 1 2 3 4
②様々なデータや情報を読み解き、新たな視点や事実を発見する分析力を学ぶこと 1 2 3 4
③情報やデータを新しい製品やシステムの創造“ものづくり”に活用する力を学ぶこと 1 2 3 4
④情報やデータを新しいサービスや社会制度の創造“ことづくり”に活用する力を学ぶこと 1 2 3 4
⑤国際性や実践力を高める学び（インターンシップ・海外留学・卒業プロジェクト） 1 2 3 4

1 魅力的 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

Q7 東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の入試説明会やオープンキャンパスに参加したいと思いませんか。

1 思う 2 どちらかといえば思う 3 どちらかといえば思わない 4 思わない

Q8 東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）を受験して合格した場合入学したいと思いませんか。

1 入学したいと思う 2 入学を検討したい 3 入学したいと思わない

Q7で「3どちらかといえば思わない」「4思わない」、Q8で「3入学したいと思わない」を選択した方はその理由をご回答ください。（複数回答可）

1 学部学科の詳しい情報がわからないから 2 東京都市大学についてよく知らないから 3 キャンパスの立地（横浜市）のため
4 学びの分野についてよくわからないから 5 既に第一希望の進学先があるため 6 興味関心がない分野だから
7 その他 ()

参考資料：東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）および同分野学部学科の初年度納入金

大学・学部・学科	所在地	初年度納入金
私立大学		
中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科	東京都文京区	1,838,000円
日本工業大学先進工学部データサイエンス学科	埼玉県南埼玉郡	1,617,730円
東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）	神奈川県横浜市	1,550,000円
立正大学データサイエンス学部データサイエンス学科	埼玉県熊谷市	1,515,000円
武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科	東京都江東区	1,496,600円

※上記の費用の他、別途教科書代や実習費などが必要な場合があります。

※他大学の納入金は各大学のホームページ調べ。（2022年度入学生）

※東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の納入金は予定額であり、変更となる場合があります。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。尚、当該学部学科の名称、教育内容等は予定であり変更される場合があります。

東京都市大学 2023年、新学部設置 (構想中)

デザイン・データ科学部

2023年 4月
設置構想中

[横浜キャンパス]

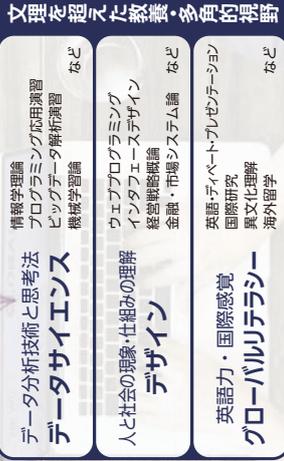
入学定員
100名

イノベーションを創出できるグローバルな人材の育成を目的としたカリキュラム

人材養成と

教育研究における目的

定量・定性の両方のデータ科学に関する知識と技術に裏付けられた批判的思考力と論理的思考力、そしてグローバルリーダーの滋養により、世界のあらゆる「もの」と「こと」を読み解く能力を修得させる。その上で、実社会における多種多様な課題を解決するために、新たな「もの」と「こと」を具体的に、構想・設計・構築、すなわち、デザインでできる実践的な専門力を持つ人材を養成する。



データ科学に
関する知識と技術に
裏付けられた
批判的思考力と
論理的思考力

社会課題を
解決するための新たな
体験やサービス等を
構想・設計・構築できる
実践的な専門力

データ科学に関する知識や技術と、「もの」「こと」を構想・設計・構築し、デザインでできる力を活かして新たな体験やサービスを創出でき、社会の発展に貢献できる人材を輩出

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

世田谷キャンパス
〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1
等々力キャンパス
〒158-8586 東京都世田谷区等々力 8-9-18 (2022年4月 世田谷キャンパスに移転予定)

横浜キャンパス
〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1

TEL 045-910-0104 (代表)
https://www.tcu.ac.jp

データ分析力に基づく実践的な能力

既成パラダイムから脱し、新たな体験をプロダクトやメディア、空間といった「もの」のデザイン、あるいは新たなサービスや、社会経済システム、ビジネスモデルといった「こと」のデザインによって、イノベーションを起こしていくことが現在求められています。これを実現するには、最適解にたどりつくデータ科学に関する知識と技術を修得する必要があります。その上で、実社会における社会課題を対象に、新しい「もの」と「こと」をデザインする知識と技術について、理論的な背景や思考の枠組みを体系的に学修した上で、プロジェクトワーク等を通じて実践的な能力を修得します。

本学部が求める人材像

- あらゆるデータの利活用と、人と社会に役立つ「もの」「こと」のデザインを志向する人。
- 修得した知識と技術を活用し、国籍、文化、専門等が異なる人々とのコミュニケーションによる主体的協働作業を志向する人。
- 数学・社会科学に対して興味と探究心をもち、これを基にした思考力を合わせ持つ人。
- 修学に必要な英語力を有し、海外留学で幅広い教養を修得するコミュニケーション力向上に努力を惜しまない人。

デザイン・データ科学部のカリキュラム

グローバルで幅広い教養と総合的な学び

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
English I/A English I/B English II/A English II/B Debate & Discussion	English III/A English III/B Reading Comprehension Debate & Discussion	Presentation Strategies Academic Discussion English Test Preparation Academic Presentation Writing Strategies Academic Reading	Global Studies (4) Global Studies (1) Global Studies (2) Global Studies (3)	海外留学 (前期または後期)	海外インターンシップ	海外インターンシップ	海外インターンシップ
外国語科目 データサイエンス概論 コンピュータ基礎演習 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	データサイエンス概論 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	グローバル職業科目 統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	海外留学 (前期または後期)	海外インターンシップ	海外インターンシップ	海外インターンシップ
データサイエンス概論 コンピュータ基礎演習 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	データサイエンス概論 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	グローバル職業科目 統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	海外留学 (前期または後期)	海外インターンシップ	海外インターンシップ	海外インターンシップ
データサイエンス概論 コンピュータ基礎演習 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	データサイエンス概論 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	グローバル職業科目 統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	海外留学 (前期または後期)	海外インターンシップ	海外インターンシップ	海外インターンシップ

語学・データ科学基礎力を身につける		国際力の実践 データ科学に基づくデザインの実践		世界・実社会で デザイン実践		学びの総括	
データサイエンス概論 コンピュータ基礎演習 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	データサイエンス概論 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	グローバル職業科目 統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	海外留学 (前期または後期)	海外インターンシップ	海外インターンシップ	海外インターンシップ
データサイエンス概論 コンピュータ基礎演習 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	データサイエンス概論 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	グローバル職業科目 統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	海外留学 (前期または後期)	海外インターンシップ	海外インターンシップ	海外インターンシップ
データサイエンス概論 コンピュータ基礎演習 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	データサイエンス概論 データ社会論 アルゴリズムとデータ構造 データサイエンス数学 情報学理論	統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	グローバル職業科目 統計学基礎 機械学習論 線形代数 業務プロセス分析	海外留学 (前期または後期)	海外インターンシップ	海外インターンシップ	海外インターンシップ

想定される就職先

大学院への進学をはじめ、情報通信、情報サービス、デザイン、コンサルティンクなどを中心とした一般企業、官公庁・自治体、NPO・NGO 団体など多種多様な場への就職だけでなく、自ら事業を起こす起業家・社会起業家も含め輩出することを想定しています。

情報通信	情報サービス
デザイン	コンサルティンク
官公庁・自治体	NPO・NGO
起業家	

東京都市大学「デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学」設置構想の概要

設置年月	2023年4月	入学定員	100名
設置場所	東京都市大学横浜キャンパス / 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1 (横浜市営地下鉄ブルーライン「中川駅」徒歩5分)		
学費	入学時納入金：1,550,000円 (入学金：200,000円 授業料：1,290,000円 後援会費等：60,000円)		

【新設学部に関するお問い合わせ先】 東京都市大学 デザイン・データ科学部設置準備室 TEL: 045-910-0104 (代)

※構想内容については予定であり、今後変更することがあります。

特色に魅力を感じると回答した入学希望者と

関心がある学びの分野（複数回答可）に関するクロス集計結果（本学集計）

『東京都市大学 デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科（仮称）設置に関する受容性調査結果報告書【高校生】』（株式会社日本ドリコム、令和4年1月）におけるローデータを本学は同社より入手し、さらなるクロス集計を行った。

同報告書の「2. 調査結果まとめ」IV(2)で示された特色に魅力を感じると回答した入学希望者 287 名のうち、関心がある学びの分野（Q4）としてデザイン・データ科学部デザイン・データ科学科が適合する「工学系統」、「経済・経営・商業系統」、「情報・メディア系統」のいずれかと回答した者は、153 名であった。なお、特色に魅力を感じると回答した入学希望者と関心がある学びの分野（複数回答可）に関するクロス集計の結果は、下表のとおりであった。

特色に魅力を感じると回答した入学希望者と

関心がある学びの分野（複数回答可）に関するクロス集計

N=287

関心がある学びの分野	入学希望者数（名）	割合（％）
情報・メディア系統	77	26.8
経済・経営・商業系統	62	21.6
理学系統	61	21.3
文学・人文系統	58	20.2
工学系統	55	19.2
美術・デザイン・芸術系統	39	13.6

※10%以下の学びの分野は、省略

1. 書類等の題名

資料 18

サンデー毎日 (2021 年 8 月 15 日・22 日合併号)

『全国 250 大学 実就職率ランキング』 卒業者数 1000 人以上 より抜粋

2. 出典

毎日新聞出版株式会社

3. 引用範囲

サンデー毎日 (2021 年 8 月 15 日・22 日合併号)

『全国 250 大学 実就職率ランキング』 卒業者数 1000 人以上 P. 62 を引用

4. その他の説明

タイトル・資料番号を記載

1. 書類等の題名

資料 19

東洋経済 ONLINE (2021 年 10 月 2 日)

最新!「有名企業への就職に強い大学」トップ 200 校

4 年ぶりに一橋大学が首位、2 位東工大、3 位慶應

2. 出典

株式会社東洋経済新報社

3. 引用範囲

東洋経済 ONLINE (2021 年 10 月 2 日)

最新!「有名企業への就職に強い大学」トップ 200 校

4 年ぶりに一橋大学が首位、2 位東工大、3 位慶應

表『有名企業 400 社への実就職率が高い大学 (21 年卒、26~50 位)』を引用

<https://toyokeizai.net/articles/photo/459513?pn=3>

4. その他の説明

タイトル・資料番号・URL を記載

1. 書類等の題名

資料 20

ITmedia ビジネスオンライン 3分 Biz. (2020年12月3日)

社長の出身大学、日本大学が10連覇 増収増益率1位は？

2. 出典

アイティメディア株式会社

3. 引用範囲

ITmedia ビジネスオンライン 3分 Biz. (2020年12月3日)

社長の出身大学、日本大学が10連覇 増収増益率1位は？

表『社長出身大学上位100校（医科歯科系を除く）』を引用

https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2012/03/news129_2.html

4. その他の説明

タイトル・資料番号・URL を記載

東京都市大学情報工学部・メディア情報学部 平成 28 年度～令和 2 年度就職状況（本学調べ）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	平均
卒業生数	387	378	334	352	369	364
就職希望者	332	328	296	294	273	304.6
就職者	330	325	293	287	261	299.2
就職率	99.4%	99.1%	99.0%	97.6%	95.6%	98.1%

※学生募集停止中の学科を除いて集計した。すなわち、情報工学部情報科学部・知能情報工学科とメディア情報学部社会メディア学科・情報システム学科を集計対象とした。

求人数の推移

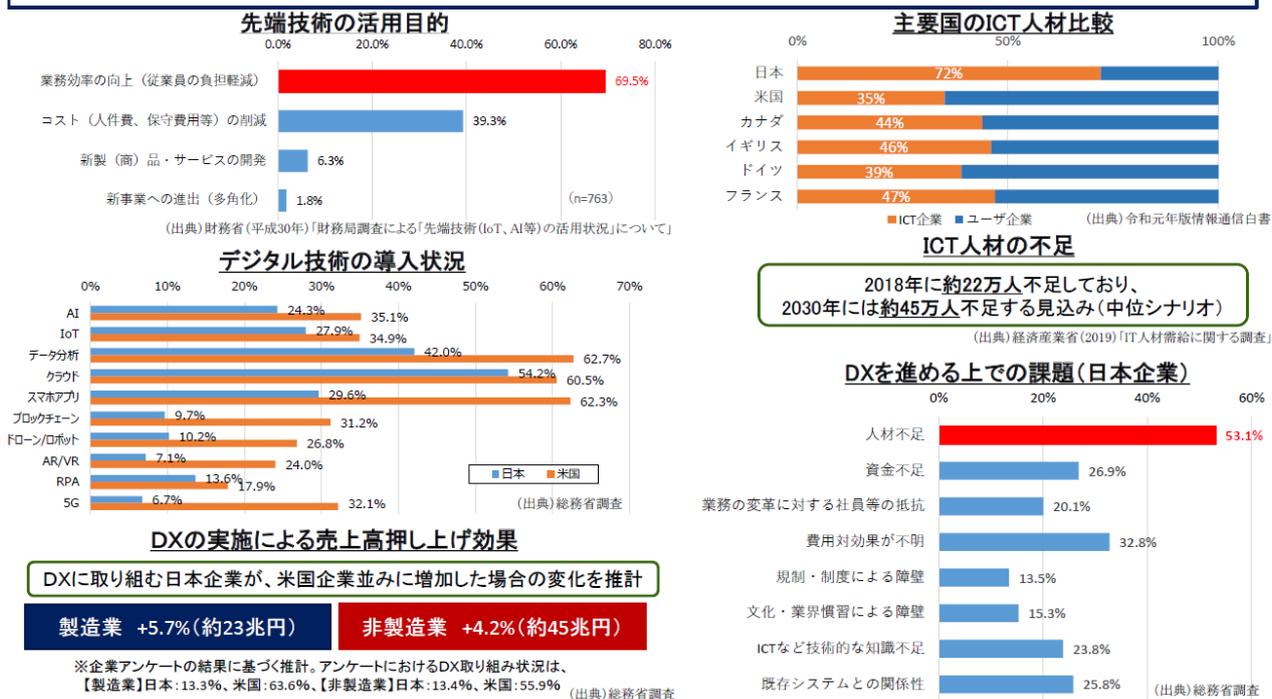
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	平均
情報科学科	13,441	14,152	14,668	14,375	13,285	13,984
知能情報工学科	13,307	14,010	14,516	14,230	13,158	13,844
社会メディア学科	13,209	13,890	14,697	16,136	15,163	14,619
情報システム学科	13,348	14,007	14,571	14,268	13,175	13,874

求人倍率の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	平均
情報科学科	186.7	191.2	225.7	231.9	237.2	214.5
知能情報工学科	198.6	191.9	198.8	290.4	219.3	219.8
社会メディア学科	155.4	151.0	198.6	175.4	199.5	176.0
情報システム学科	123.6	157.4	173.5	156.8	162.7	154.8

第1章 (2) 企業活動におけるデジタル・トランスフォーメーションの現状と課題 4

- 日本企業のICT投資は業務効率を目的としたものが中心であり、事業拡大や新事業進出といったビジネスモデルの変革を伴うようなデジタル化(デジタル・トランスフォーメーション:DX)は広がっていない。
- 我が国のICT人材はICT企業に偏在しており、企業がDXを進める上で人材不足が大きな課題。



総務省 情報通信白書 令和3年版 概要 (P.4を抜粋)

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/summary/summary01.pdf>

文部科学省 令和3年度大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会

デザイン思考教育の推進について

◆デザイン思考を取り入れた教育の推進について積極的な取組をお願いいたします。

デザイン思考とは：

社会の課題やニーズを生活者や利用者の視点で見極めイノベーションを生み出す手法とされ、デザイン思考を取り入れた教育は、前例のない問題や未知の課題を解決するための人材育成において有益な側面があると考えられます。

＜参考＞デザイン思考を取り入れた各大学の取組事例

大学名	組織等	取組の概要
東京工業大学	デザイン・エンジニアリングコース	既存の科学・工学体系を俯瞰的に理解しながらもその枠にとらわれずに、人類が抱える様々な課題の解決に寄与し、社会で求められる新たな技術・価値・概念の創出に貢献できる能力（エンジニアリングデザイン能力）の涵養を目標としたデザイン・エンジニアリングコースを修士課程及び博士後期課程に開設。
慶應義塾大学	システムデザイン・マネジメント研究科	環境共生、社会協生、安心・安全、健康・福祉などの多様な価値の関係性も考慮してシステム全体を創造的にデザインするための知恵とスキルを教授することを目指して設立された研究科。 環境共生、安心・安全、健康・福祉といった社会のニーズを徹底的に考慮しつつ、新たな技術システム・社会システムのデザインを行い、マネジメントしていくための方法論や手法を学ぶためのカリキュラムを構築。
九州大学	芸術工学研究院	学部・研究科にまたがる教員組織である芸術工学研究院において、デザイン思考のアプローチをエンジンとした「世界的デザイン教育・研究拠点構想」に基づき、国際、地域、学内の3つの分野で、部局内、部局外を結ぶ領域横断的研究教育活動を推進。

※各大学のR元年度シラバス等を参考に文科省にて作成

37

文部科学省 令和3年度大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会の資料

○教務関係 大学教育改革について（P.19を抜粋）

https://www.mext.go.jp/content/211020_mxt_daigakuc02_000018531-126.pdf

1. 書類等の題名

資料 24

一般社団法人 データサイエンティスト協会 調査・研究委員会 (2019年11月)
データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果

2. 出典

一般社団法人 データサイエンティスト協会 調査・研究委員会

3. 引用範囲

データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果 P.6 を引用
https://www.datascientist.or.jp/common/docs/c-research_2019.pdf

4. その他の説明

タイトル・資料番号・URL を記載

1. 書類等の題名

資料 25

一般社団法人 データサイエンティスト協会 調査・研究委員会 (2019年11月)

データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果

2. 出典

一般社団法人 データサイエンティスト協会 調査・研究委員会

3. 引用範囲

データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果 P. 12 を引用

https://www.datascientist.or.jp/common/docs/c-research_2019.pdf

4. その他の説明

タイトル・資料番号・URL を記載

東京都市大学 デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）

設置に関する受容性調査 結果報告書

【企業】

株式会社日本ドリコム

令和4年1月

目次

1. 調査概要	4
(1) 調査目的	
(2) 調査期間	
(3) 調査対象	
(4) 調査方法	
(5) 有効回答数	
(6) 調査実施機関	
(7) 調査項目	
(8) 調査結果の見方	
2. 調査結果まとめ	6
3. 回答者・団体属性	7
(1) 所在する都道府県	
(2) 業種	
(3) 従業員・職員数	
4. 新卒採用・人材充足状況	11
(1) 新卒者を採用する際に重視する能力	
(2) 人材の過不足状況	
(3) 直近の新卒採用状況	
(4) 直近の新卒採用人数（採用した企業・団体のみ）	
(5) 今後の新卒採用計画	
5. 東京都市大学デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科（仮称）について	19
(1) 養成する人材の社会的ニーズ	
(2) 養成する人材の魅力	
(3) 養成する人材の採用意向	
(4) 養成する人材の採用想定人数（採用希望・検討者）	
(5) 「デザイン・データ科学部（仮称）」の魅力・ニーズに肯定的な回答を行った 企業・団体に絞った場合の採用意向と採用想定人数	
(6) 意見・要望等	
資料1 調査票	
資料2 説明資料	

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の新規設置に伴う社会的ニーズの把握を目的とし、当該学部学科の卒業生の就職先として想定される企業・団体を対象に、その関心度や想定する採用人数等を尋ねたものである。

(2) 調査期間

令和3年11月5日～令和3年12月13日

(3) 調査対象

当該学部学科の卒業生の就職先として想定される企業・団体 1,247 件

(4) 調査方法

インターネットにより回答を得るインターネット調査と FAX にて回答を得る FAX 調査の併用。

(5) 有効回答数

290 件（回収率 23.3%）

(6) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

(7) 調査項目

Q1 所在地（都道府県）

Q2 業種

Q3 従業員数、職員数の規模

Q4 新卒採用の際に重視する能力

Q5 現在の人材の過不足状況

Q6 直近の新卒採用状況、採用人数

Q7 今後の新卒採用の計画

Q8 「デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ

Q9 「デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材の魅力

Q10 「デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材の採用意向

Q11 「デザイン・データ科学部（仮称）」における想定採用人数

Q12 意見等自由記述

(8) 調査結果の見方

- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・ 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- ・ 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。
- ・ 1人の回答者が複数回答する設問では「MA」と表示しています。

2. 調査結果まとめ

1. 概要

- ・本調査は、東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の新規設置に伴う社会的・地域的なニーズの把握を目的として実施した。
- ・当該学部学科の卒業生の就職先として想定される企業・団体 290 件より有効な回答を得て、集計・分析を行った。

2. 新卒採用・人材充足状況

- ・これらの企業・団体において 92.5%が新卒学生の採用活動を実施した。
現状 68.7%の企業・団体が人材不足の状況にあり、53.5%の企業・団体が今後の採用計画において新卒採用を増やす意向を示している。東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）の卒業生を受け入れる市場が、現在及び将来においても十分な規模を有していることが見込まれる。
- ・新卒者に求める能力として最も回答が多かったのは「コミュニケーション能力（83.4%）」であった。

3. 東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称）について （養成する人材の社会的ニーズ）

- ・Q8「デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズにおける肯定的な回答（「ニーズは高い」・「どちらかといえばニーズは高い」）に加え、Q9「デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材の魅力についても肯定的な回答（「魅力を感じる」・「どちらかといえば魅力を感じる」）をした企業・団体 249 件のうち、当該学部学科で養成する人材を「採用したい」と回答したのは 89 件の企業・団体であった。それらの企業・団体における採用想定人数の合計は 288 名であった。

	企業・団体数	採用想定人数の合計
Q8、Q9の双方において肯定的な回答を行い、且つQ10において「採用したい」と回答した企業・団体	89	288

- ・また、それらの企業・団体 89 件における 288 名の採用想定人数のうち、1都3県に所在する企業・団体数は 76 件、採用想定人数の合計は 253 名であった。1都3県の地域的な人材需要に絞った集計においても入学定員 100 名の 2.5 倍となり、社会的ニーズに加え、地域におけるニーズについても十分な需要があるものと見込まれる。

3. 回答者・団体属性

(1) 所在する都道府県

N=290

都道府県	回答数	%
東京都	186	64.1
神奈川県	29	10.0
大阪府	10	3.4
静岡県	8	2.8
埼玉県	7	2.4
新潟県	7	2.4
千葉県	6	2.1
長野県	5	1.7
群馬県	4	1.4
京都府	4	1.4
栃木県	3	1.0
愛知県	3	1.0
兵庫県	3	1.0
茨城県	2	0.7
その他	13	4.5

※その他は回答数1以下の都道府県

※回答数の多い順に並び替え

(2) 業種

N=290

業種	回答数	%
1. 農業, 林業	1	0.3
2. 漁業	0	0.0
3. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	0.3
4. 建設業	56	19.3
5. 製造業	82	28.3
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	4	1.4
7. 情報通信業	50	17.2
8. 運輸業, 郵便業	5	1.7
9. 卸売業・小売業	11	3.8
10. 金融業, 保険業	3	1.0
11. 不動産業, 物品賃貸業	12	4.1
12. 学術研究, 専門・技術サービス業	12	4.1
13. 宿泊業, 飲食店	2	0.7
14. 生活関連サービス業, 娯楽業	5	1.7
15. 教育学習支援業	8	2.8
16. 医療, 福祉	2	0.7
17. 複合サービス事業	4	1.4
18. サービス業 (他に分類されないもの)	26	9.0
19. 公務 (他に分類されるものを除く)	2	0.7
20. 分類不能の産業	4	1.4

(3) 従業員・職員数

N=290

従業員数	回答数	%
～ 50 人	28	9.7
51 ～ 100 人	33	11.4
101 ～ 499 人	99	34.1
500 ～ 999 人	51	17.6
1, 000 人以上	79	27.2

※支店や支社を含めた数

●業種別×従業員・職員数

上段単位：件/下段単位：% N=290

	全体	～ 50 人	51 ～ 100 人	101 ～ 499 人	500 ～ 999 人	1, 000 人以上
全体	(290)	28	33	99	51	79
		9.7	11.4	34.1	17.6	27.2
1. 農業, 林業	(1)	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 漁業	(0)	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	(1)	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
4. 建設業	(56)	3	11	20	12	10
		5.4	19.6	35.7	21.4	17.9
5. 製造業	(82)	3	7	27	18	27
		3.7	8.5	32.9	22.0	32.9
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	(4)	0	1	0	1	2
		0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
7. 情報通信業	(50)	4	6	21	9	10
		8.0	12.0	42.0	18.0	20.0
8. 運輸業, 郵便業	(5)	2	1	0	0	2
		40.0	20.0	0.0	0.0	40.0
9. 卸売業・小売業	(11)	2	1	4	3	1
		18.2	9.1	36.4	27.3	9.1
10. 金融業, 保険業	(3)	0	0	1	1	1
		0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
11. 不動産業, 物品賃貸業	(12)	0	2	2	1	7
		0.0	16.7	16.7	8.3	58.3
12. 学術研究, 専門・技術サービス業	(12)	2	1	5	1	3
		16.7	8.3	41.7	8.3	25.0
13. 宿泊業, 飲食店	(2)	0	0	1	0	1
		0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
14. 生活関連サービス業, 娯楽業	(5)	0	0	2	1	2
		0.0	0.0	40.0	20.0	40.0

	全体	～ 50 人	51 ～ 100 人	101 ～ 499 人	500 ～ 999 人	1, 000 人以上
15. 教育学習支援業	(8)	4	1	1	1	1
		50.0	12.5	12.5	12.5	12.5
16. 医療, 福祉	(2)	0	0	1	0	1
		0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
17. 複合サービス事業	(4)	1	0	0	1	2
		25.0	0.0	0.0	25.0	50.0
18. サービス業 (他に分類されないもの)	(26)	5	2	11	2	6
		19.2	7.7	42.3	7.7	23.1
19. 公務 (他に分類されるものを除く)	(2)	0	0	0	0	2
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20. 分類不能の産業	(4)	1	0	2	0	1
		25.0	0.0	50.0	0.0	25.0

※上段が回答数、下段が業種における従業員・職員数の割合 (単位: %)

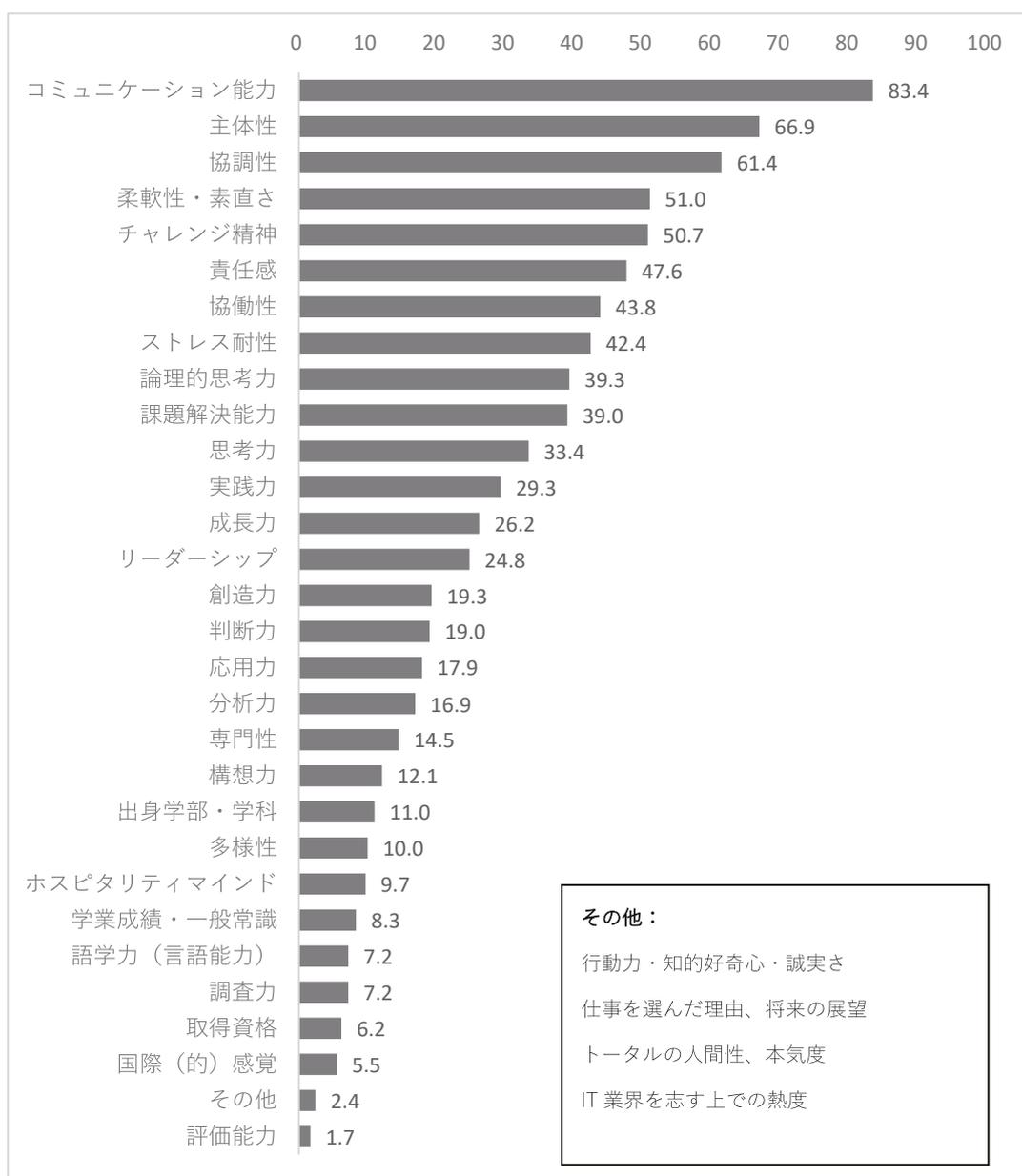
4. 新卒採用・人材充足状況

(1) 新卒者を採用する際に重視する能力

「コミュニケーション能力」、「主体性」、「協調性」等の基礎的・汎用的能力が上位を占め、「語学力(言語能力)」、「取得資格」、「調査力」等の具体的な知識・技術に関する能力は相対的に下位に位置している。

Q4 新卒者を採用する際、どのような能力を重視しますか。MA

単位：% N=290



※回答数の多い順に並び替え

(2) 人材の過不足状況

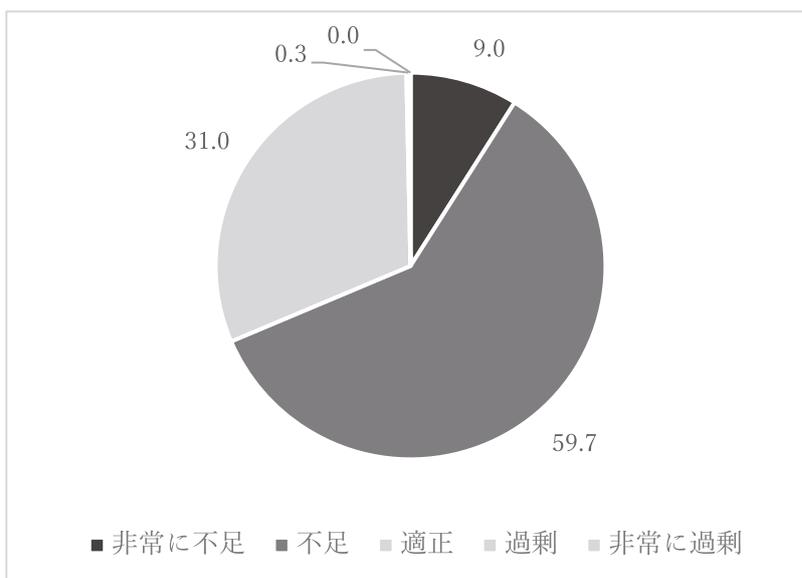
本調査の対象企業・団体においては、「非常に不足」または「不足」の回答が68.7%を占めており、人材不足の企業・団体が多い。

Q5 現在の人材の過不足状況をお答えください。

N=290

過不足の状況	%
非常に不足	9.0
不足	59.7
適正	31.0
過剰	0.3
非常に過剰	0.0

単位% N=290



(3) 直近の新卒採用状況

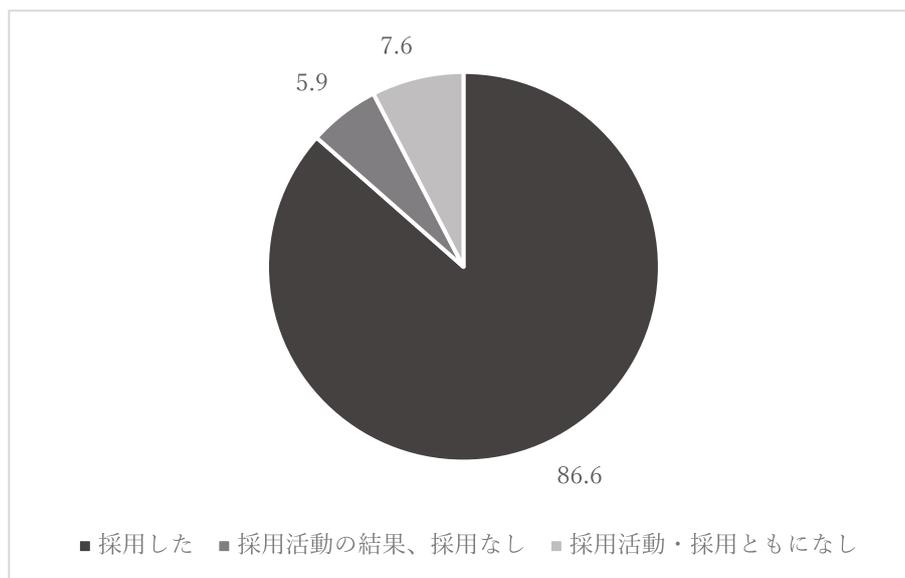
92.5%の企業・団体が採用活動を行い、86.6%の企業・団体が新卒を採用している。新卒採用を実施しなかった企業・団体はわずか7.6%であった。

Q6-1 直近(2021年4月)の新卒採用の状況についてお答えください。

N=290

採用状況	%
採用した	86.6
採用活動の結果、採用なし	5.9
採用活動・採用ともになし	7.6

単位% N=290

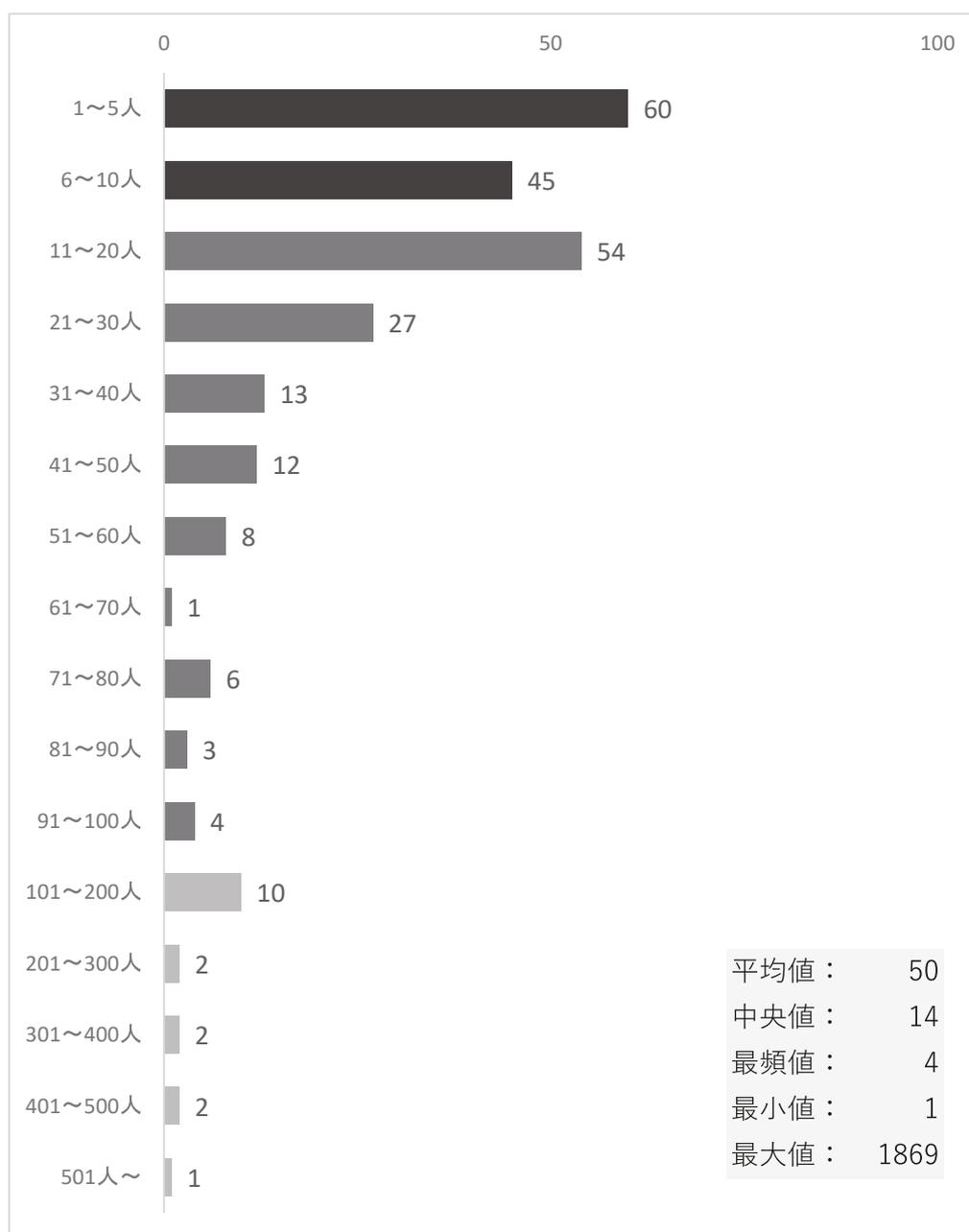


(4) 直近の新卒採用人数（採用した企業・団体のみ）

直近の新卒採用人数が10名以下の企業・団体は全体の42.0%に留まっており、58.0%の企業・団体が11名以上の採用を行っている。とりわけ、101名以上の採用を行った企業・団体も17件あり、直近の新卒採用状況については、当該学部学科の卒業生等を受け入れるに對して十分な市場規模があることが確認できる。

Q6-2 直近(2021年4月)の採用人数についてお答えください。

単位：件 N=250



※階級幅の違いによって色分け ■=5、■=10、■=100

(5) 今後の新卒採用計画

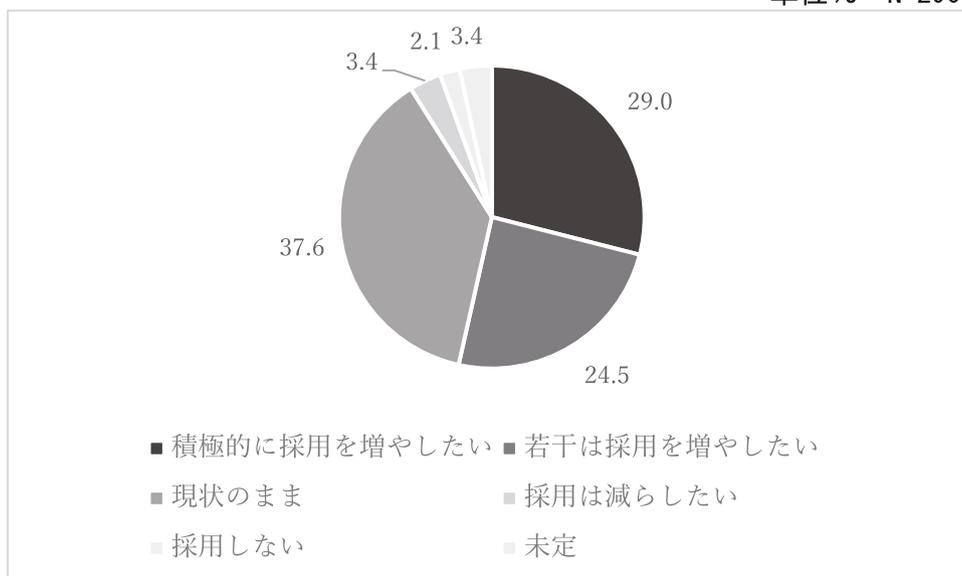
「採用は減らしたい」または「採用しない」と回答した企業・団体は5.5%に留まる一方で、「積極的に採用を増やしたい」または「若干は採用を増やしたい」と回答した企業・団体が53.5%となった。今後の新卒採用については更なる市場規模の拡大を見込むことができ、当該学部学科の卒業生を想定した将来的な市場規模においても十分な見通しを得ることができている。

Q7 今後の新卒採用の計画についてお答えください。

N=290

今後の新卒採用の計画	%
積極的に採用を増やしたい	29.0
若干は採用を増やしたい	24.5
現状のまま	37.6
採用は減らしたい	3.4
採用しない	2.1
未定	3.4

単位% N=290



補足：従業員・職員数、業種別にみた今後の採用計画

従業員・職員数別では、50人以下及び1,000人以上の業種以外はすべて「積極的に採用を増やしたい」または「若干は採用を増やしたい」の割合が50%を超えている。また、業種別にみた今後の採用計画については、「採用は減らしたい」または「採用しない」と回答した企業・団体が30%を超える業種はない。学生の多様な興味・関心に沿ったキャリア選択に対応する業種の多様性も、十分な市場規模に加えて確保されていることが確認できる。

●従業員・職員数×今後の採用計画

上段単位：件/下段単位：% N=290

	全体	積極的に採用を増やしたい	若干は採用を増やしたい	現状のまま	採用は減らしたい	採用しない	未定
	(290)	84	71	109	10	6	10
		29.0	24.5	37.6	3.4	2.1	3.4
～50人	(28)	6	6	10	0	5	1
		21.4	21.4	35.7	0.0	17.9	3.6
51～100人	(33)	11	10	9	1	1	1
		33.3	30.3	27.3	3.0	3.0	3.0
101～499人	(99)	30	28	37	4	0	0
		30.3	28.3	37.4	4.0	0.0	0.0
500～999人	(51)	16	12	20	1	0	2
		31.4	23.5	39.2	2.0	0.0	3.9
1,000人以上	(79)	21	15	33	4	0	6
		26.6	19.0	41.8	5.1	0.0	7.6

※上段が回答数、下段が従業員・職員数における採用計画の割合（単位：%）

●業種×今後の採用計画

上段単位：件/下段単位：% N=290

	全体	積極的に採用を増やしたい	若干は採用を増やしたい	現状のまま	採用は減らしたい	採用しない	未定
	(290)	84	71	109	10	6	10
		29.0	24.5	37.6	3.4	2.1	3.4
1. 農業, 林業	(1)	0	0	1	0	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
2. 漁業	(0)	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	(1)	1	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4. 建設業	(56)	23	13	18	1	0	1
		41.1	23.2	32.1	1.8	0.0	1.8
5. 製造業	(82)	22	23	29	3	0	5
		26.8	28.0	35.4	3.7	0.0	6.1
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	(4)	3	1	0	0	0	0
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 情報通信業	(50)	12	7	26	4	0	1
		24.0	14.0	52.0	8.0	0.0	2.0
8. 運輸業, 郵便業	(5)	0	3	2	0	0	0
		0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
9. 卸売業・小売業	(11)	2	2	7	0	0	0
		18.2	18.2	63.6	0.0	0.0	0.0
10. 金融業, 保険業	(3)	1	1	1	0	0	0
		33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
11. 不動産業, 物品賃貸業	(12)	1	5	4	1	0	1
		8.3	41.7	33.3	8.3	0.0	8.3
12. 学術研究, 専門・技術サービス業	(12)	3	3	5	1	0	0
		25.0	25.0	41.7	8.3	0.0	0.0
13. 宿泊業, 飲食店	(2)	1	0	1	0	0	0
		50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
14. 生活関連サービス業, 娯楽業	(5)	1	1	3	0	0	0
		20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0

	全体	積極的に採用を増やしたい	若干は採用を増やしたい	現状のまま	採用は減らしたい	採用しない	未定
15. 教育学習支援業	(8)	1	3	1	0	2	1
		12.5	37.5	12.5	0.0	25.0	12.5
16. 医療, 福祉	(2)	0	1	1	0	0	0
		0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
17. 複合サービス事業	(4)	2	0	0	0	1	1
		50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
18. サービス業（他に分類されないもの）	(26)	9	6	8	0	3	0
		34.6	23.1	30.8	0.0	11.5	0.0
19. 公務（他に分類されるものを除く）	(2)	0	1	1	0	0	0
		0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20. 分類不能の産業	(4)	2	1	1	0	0	0
		50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0

※上段が回答数、下段が業種における採用計画の割合（単位：％）

5. 東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科 (仮称) について

(1) 養成する人材の社会的ニーズ

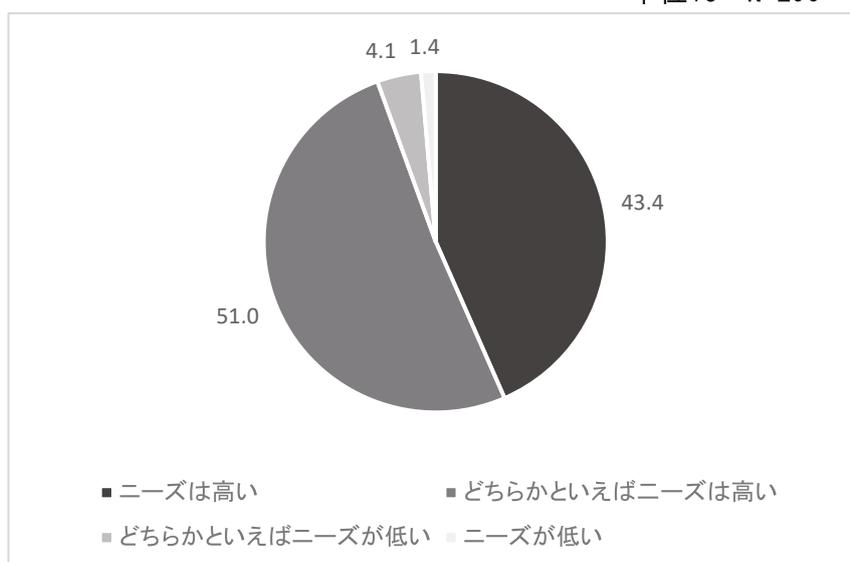
ニーズの高さに関する肯定的な回答（「ニーズは高い」または「どちらかといえばニーズは高い」）が94.4%を占めており、否定的な回答は5.5%であった。従業員数・職員数や業種別にみても、否定的な回答が50%以上だったものは業種別で見た2業種のみであり、多様な規模・業種において広く養成する人材の社会的ニーズを確認することができる。

Q8 「東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材は社会的ニーズが高いと思いますか。

N=290

ニーズの高さ	%
ニーズは高い	43.4
どちらかといえばニーズは高い	51.0
どちらかといえばニーズが低い	4.1
ニーズが低い	1.4

単位% N=290



●従業員・職員数×養成する人材の社会的ニーズ

上段単位：件/下段単位：％ N=290

	全体	ニーズ は高い	どちら かとい えばニ ーズは 高い	どちら かとい えばニ ーズが 低い	ニーズ が低い
	(290)	126	148	12	4
		43.4	51.0	4.1	1.4
～ 50 人	(28)	11	14	3	0
		39.3	50.0	10.7	0.0
51 ～ 100 人	(33)	10	21	2	0
		30.3	63.6	6.1	0.0
101 ～ 499 人	(99)	42	50	5	2
		42.4	50.5	5.1	2.0
500 ～ 999 人	(51)	26	24	1	0
		51.0	47.1	2.0	0.0
1, 000 人以上	(79)	37	39	1	2
		46.8	49.4	1.3	2.5

※上段が回答数、下段が従業員・職員数における養成する人材の社会的ニーズの割合（単位：％）

●業種×養成する人材の社会的ニーズ

上段単位：件/下段単位：％ N=290

	全体	ニーズ は高い	どちら かとい えばニ ーズは 高い	どちら かとい えばニ ーズが 低い	ニーズ が低い
	(290)	126	148	12	4
		43.4	51.0	4.1	1.4
1. 農業, 林業	(1)	0	1	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0
2. 漁業	(0)	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
3. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	(1)	0	1	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0
4. 建設業	(56)	11	39	5	1
		19.6	69.6	8.9	1.8
5. 製造業	(82)	35	41	3	3
		42.7	50.0	3.7	3.7
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	(4)	0	4	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0
7. 情報通信業	(50)	26	23	1	0
		52.0	46.0	2.0	0.0
8. 運輸業, 郵便業	(5)	4	1	0	0
		80.0	20.0	0.0	0.0
9. 卸売業・小売業	(11)	4	7	0	0
		36.4	63.6	0.0	0.0
10. 金融業, 保険業	(3)	3	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0
11. 不動産業, 物品賃貸業	(12)	8	4	0	0
		66.7	33.3	0.0	0.0
12. 学術研究, 専門・技術サービス業	(12)	8	4	0	0
		66.7	33.3	0.0	0.0
13. 宿泊業, 飲食店	(2)	1	0	1	0
		50.0	0.0	50.0	0.0

	全体	ニーズ は高い	どちら かとい えばニ ーズは 高い	どちら かとい えばニ ーズが 低い	ニーズ が低い
14. 生活関連サービス業、娯楽業	(5)	3	2	0	0
		60.0	40.0	0.0	0.0
15. 教育学習支援業	(8)	4	4	0	0
		50.0	50.0	0.0	0.0
16. 医療、福祉	(2)	1	1	0	0
		50.0	50.0	0.0	0.0
17. 複合サービス事業	(4)	1	3	0	0
		25.0	75.0	0.0	0.0
18. サービス業（他に分類されないもの）	(26)	13	12	1	0
		50.0	46.2	3.8	0.0
19. 公務（他に分類されるものを除く）	(2)	1	0	1	0
		50.0	0.0	50.0	0.0
20. 分類不能の産業	(4)	3	1	0	0
		75.0	25.0	0.0	0.0

※上段が回答数、下段が業種における養成する人材の社会的ニーズの割合（単位：％）

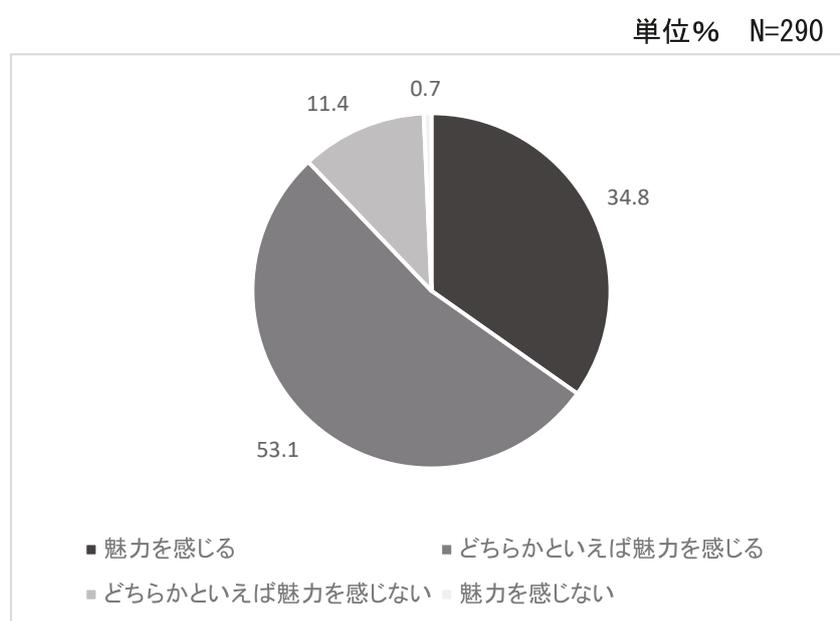
(2) 養成する人材の魅力

事業所における当該学部学科（の養成する人材）の魅力について、肯定的な回答（「魅力を感じる」または「どちらかといえば魅力を感じる」）が87.9%を占めており、否定的な回答は12.1%であった。多くの事業所が、当該学部学科で養成する人材に魅力を感じている事がわかる。

Q9 「東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材は貴事業所にとって魅力を感じますか。

N=290

事業所にとっての魅力	%
魅力を感じる	34.8
どちらかといえば魅力を感じる	53.1
どちらかといえば魅力を感じない	11.4
魅力を感じない	0.7



●従業員・職員数×養成する人材の魅力

上段単位：件/下段単位：％ N=290

	全体	魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じない	魅力を感じない
	(290)	101	154	33	2
		34.8	53.1	11.4	0.7
～ 50 人	(28)	8	15	5	0
		28.6	53.6	17.9	0.0
51 ～ 100 人	(33)	10	17	6	0
		30.3	51.5	18.2	0.0
101 ～ 499 人	(99)	31	55	13	0
		31.3	55.6	13.1	0.0
500 ～ 999 人	(51)	18	28	5	0
		35.3	54.9	9.8	0.0
1, 000 人以上	(79)	34	39	4	2
		43.0	49.4	5.1	2.5

※上段が回答数、下段が従業員・職員数における各魅力度の割合（単位：％）

●業種×養成する人材の魅力

上段単位：件/下段単位：％ N=290

	全体	魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じない	魅力を感じない
	(290)	101	154	33	2
		34.8	53.1	11.4	0.7
1. 農業，林業	(1)	0	0	1	0
		0.0	0.0	100.0	0.0
2. 漁業	(0)	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
3. 鉱業，採石業，砂利採取業	(1)	0	1	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0
4. 建設業	(56)	10	30	16	0
		17.9	53.6	28.6	0.0
5. 製造業	(82)	28	44	9	1
		34.1	53.7	11.0	1.2
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	(4)	1	3	0	0
		25.0	75.0	0.0	0.0
7. 情報通信業	(50)	25	25	0	0
		50.0	50.0	0.0	0.0
8. 運輸業，郵便業	(5)	3	2	0	0
		60.0	40.0	0.0	0.0
9. 卸売業・小売業	(11)	4	7	0	0
		36.4	63.6	0.0	0.0
10. 金融業，保険業	(3)	2	1	0	0
		66.7	33.3	0.0	0.0
11. 不動産業，物品賃貸業	(12)	7	4	1	0
		58.3	33.3	8.3	0.0
12. 学術研究，専門・技術サービス業	(12)	4	6	2	0
		33.3	50.0	16.7	0.0
13. 宿泊業，飲食店	(2)	2	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0

	全体	魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じない	魅力を感じない
14. 生活関連サービス業、娯楽業	(5)	2	3	0	0
		40.0	60.0	0.0	0.0
15. 教育学習支援業	(8)	2	6	0	0
		25.0	75.0	0.0	0.0
16. 医療、福祉	(2)	0	1	1	0
		0.0	50.0	50.0	0.0
17. 複合サービス事業	(4)	0	4	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0
18. サービス業（他に分類されないもの）	(26)	9	14	3	0
		34.6	53.8	11.5	0.0
19. 公務（他に分類されるものを除く）	(2)	1	1	0	0
		50.0	50.0	0.0	0.0
20. 分類不能の産業	(4)	1	2	0	1
		25.0	50.0	0.0	25.0

※上段が回答数、下段が業種における各魅力度の割合（単位：％）

(3) 養成する人材の採用意向

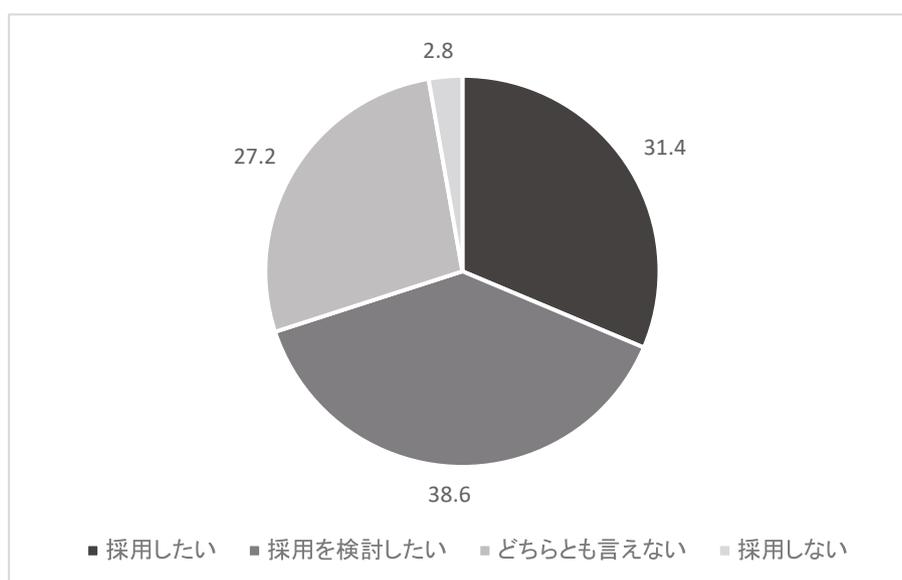
肯定的な回答（「採用したい」または「採用を検討したい」）が70.0%となった。最も肯定的な回答（「採用したい」）を選択した企業・団体は31.4%であり、3件に1件が採用意向を示している。

Q10 「東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材の、貴事業所での採用意向をお答えください。

N=290

採用意向	%
採用したい	31.4
採用を検討したい	38.6
どちらとも言えない	27.2
採用しない	2.8

単位% N=290



●従業員・職員数×採用意向

上段単位：件/下段単位：% N=290

	全体	採用し たい	採用を 検討し たい	どちら とも言 えない	採用し ない
	(290)	91	112	79	8
		31.4	38.6	27.2	2.8
～ 50 人	(28)	6	6	12	4
		21.4	21.4	42.9	14.3
51 ～ 100 人	(33)	8	14	10	1
		24.2	42.4	30.3	3.0
101 ～ 499 人	(99)	34	38	26	1
		34.3	38.4	26.3	1.0
500 ～ 999 人	(51)	19	26	6	0
		37.3	51.0	11.8	0.0
1, 000 人以上	(79)	24	28	25	2
		30.4	35.4	31.6	2.5

※上段が回答数、下段が従業員・職員数における採用意向の割合（単位：%）

●業種×採用意向

上段単位：件/下段単位：% N=290

	全体	採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない	採用しない
	(290)	91	112	79	8
		31.4	38.6	27.2	2.8
1. 農業，林業	(1)	0	0	1	0
		0.0	0.0	100.0	0.0
2. 漁業	(0)	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
3. 鉱業，採石業，砂利採取業	(1)	1	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0
4. 建設業	(56)	14	22	19	1
		25.0	39.3	33.9	1.8
5. 製造業	(82)	22	33	27	0
		26.8	40.2	32.9	0.0
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	(4)	1	1	2	0
		25.0	25.0	50.0	0.0
7. 情報通信業	(50)	20	27	3	0
		40.0	54.0	6.0	0.0
8. 運輸業，郵便業	(5)	2	3	0	0
		40.0	60.0	0.0	0.0
9. 卸売業・小売業	(11)	4	3	4	0
		36.4	27.3	36.4	0.0
10. 金融業，保険業	(3)	0	2	1	0
		0.0	66.7	33.3	0.0
11. 不動産業，物品賃貸業	(12)	5	4	3	0
		41.7	33.3	25.0	0.0
12. 学術研究，専門・技術サービス業	(12)	4	5	3	0
		33.3	41.7	25.0	0.0
13. 宿泊業，飲食店	(2)	2	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0
14. 生活関連サービス業，娯楽業	(5)	3	1	1	0
		60.0	20.0	20.0	0.0

	全体	採用したい	採用を検討したい	どちらとも言えない	採用しない
15. 教育学習支援業	(8)	2	2	3	1
		25.0	25.0	37.5	12.5
16. 医療, 福祉	(2)	0	0	1	1
		0.0	0.0	50.0	50.0
17. 複合サービス事業	(4)	0	1	2	1
		0.0	25.0	50.0	25.0
18. サービス業（他に分類されないもの）	(26)	11	6	6	3
		42.3	23.1	23.1	11.5
19. 公務（他に分類されるものを除く）	(2)	0	0	2	0
		0.0	0.0	100.0	0.0
20. 分類不能の産業	(4)	0	2	1	1
		0.0	50.0	25.0	25.0

※上段が回答数、下段が業種における採用意向の割合（単位：％）

(4) 養成する人材の採用想定人数

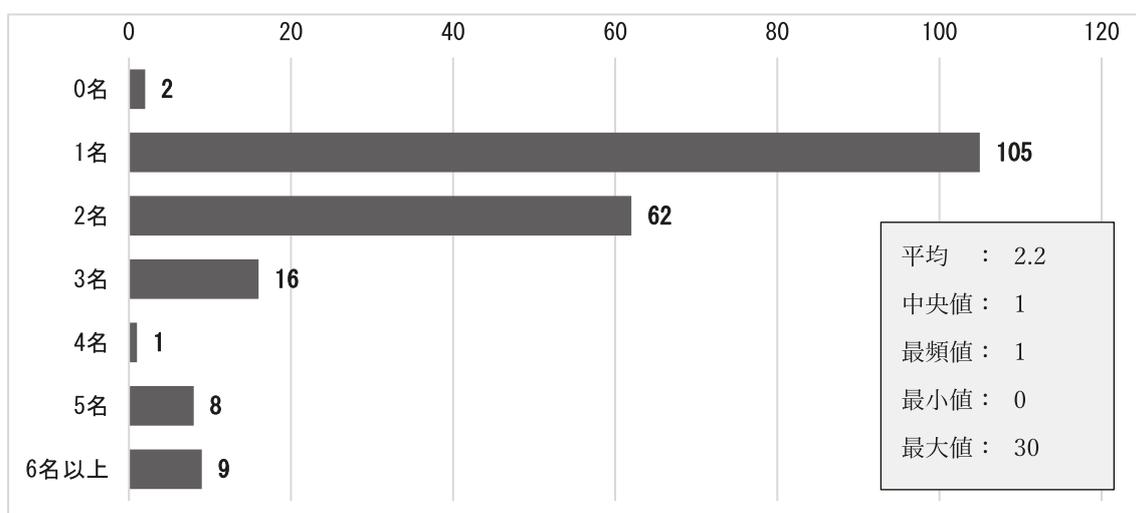
前問で「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した企業・団体 203 件に対し、採用する場合の想定人数を尋ねた結果、合計人数は 456 名であった。「採用したい」と回答した企業・団体だけでみた場合は 290 名であった。

Q11 Q10 で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」を選んだ方は、現時点で採用を想定いただける人数をご記入ください。

N=203

	企業・団体数	採用想定人数の合計
「採用したい」と回答した企業・団体	91	290
「採用を検討したい」と回答した企業・団体	112	166
合計（「採用したい」または「採用を検討したい」と回答）	203	456

単位：件 N=203



※0名は、Q10 で「採用したい」または「採用を検討したい」と回答したが具体的な採用人数の記載では0名と記載した企業・団体。

(5) 「デザイン・データ科学部（仮称）」の魅力・ニーズに肯定的な回答を行った企業・団体に絞った場合の採用意向と採用想定人数

「デザイン・データ科学部（仮称）」の魅力・ニーズに関する2つの質問項目（Q8、Q9）について、双方に肯定的な回答を行った企業・団体 249 件を母数として設定し、採用意向に関する質問項目（Q10）において「採用したい」と回答した企業・団体の集計を行った。その結果、当該学部学科で養成する人材を「採用したい」と回答した企業・団体は 89 件、採用想定人数の合計は 288 名であり、入学定員 100 名の 2.9 倍であった。

更に、所在する都道府県とのクロス集計を行ったところ、1都3県に所在する企業・団体は 76 件、採用想定人数の合計は 253 名であり、入学定員 100 名の 2.5 倍であった。

以上のことから、社会的ニーズに加え、地域におけるニーズについても十分な人材需要があるものと見込まれる。

	企業・団体数	採用想定人数の合計
Q8、Q9の双方において肯定的な回答を行い、且つQ10において「採用したい」と回答した企業・団体	89	288

※Q8、Q9 双方において肯定的な回答を行った企業・団体 249 件が母数となっている。

- ・Q8「デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズにおける肯定的な回答（「ニーズは高い」・「どちらかといえばニーズは高い」）
- ・Q9「デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材の魅力についての肯定的な回答（「魅力を感じる」・「どちらかといえば魅力を感じる」）

●所在する都道府県×採用想定人数

N=89

都道府県	企業・団体数	採用想定人数の合計
東京都	65	231
神奈川県	9	19
埼玉県	2	3
千葉県	0	0
その他	13	35

(6) 意見・要望等

様々な業種、職種において、当該学部学科の養成する人材に対する期待のコメントが多い。

Q12 東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）にご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

変化に合わせて最適解を導き出せる力の育成に期待しております。
弊社も現在国際事業の展開を図っており、外国人留学生をはじめとした国際感覚豊かなグローバルな人材の確保にも取り組んでいるところでございます。まだ始まったばかりではありますが、今後ともよろしく願いいたします。
弊社への採用試験へのエントリーされた場合には、情報システム系のセクションでの採用となる可能性が高いと考えます。
弊社は開発設計部門がありますので、まさにデザインはマッチすると思います。
弊社の募集職種について必ずしも該当するものはないが興味はあります。学習した内容が違っていても興味を持っていただければ採用したいと思っております。
弊社、事業内容（地中配電工事）に、興味を持っていただいた学生さんを採用したいと思っております。何卒宜しく願い申し上げます。
弊社は人材開発の会社ですが、理科系専門ではありますが、実験系の仕事が多くあります。貴学の新しく作られる学部は、これからの人材を養成される点でとても良いと思いますし、弊社でも〇〇に直接入社される正社員としてデータに詳しい方が欲しいと思っております。そして、これからはそんな人材を採用できる事業所を開発していくべきと考えてはおります。
武蔵工業大学の頃は理系大学として高い専門性をもち高い就職率、付属高校からも高い評価を得ていたが東京都市大学と名前を変え、総合大学化したことで専門性や個性など他の大学との差別化ができていない印象を受けています。大学で与える知識だけでなく、ヒューマンスキルを高められる大学、学部になってほしいと思います。
非常に将来性のある魅力的な学部であると感じました。入学する学生が就活においてどのような業種・職種に興味を持つのか知りたいです。
当社資格の学校では、大学様へ学内講座の支援・提供を行っております。ご入用の際には、何卒ご検討をいただけますと幸いです。
当社は中小企業の建設業者なので、学生が折角勉強した事を活かしてあげることが、出来ないと思えます。チラシには刺激的なワードが並び、グローバルな活動をしている企業、中央官庁等へ就職を目指す方には魅力があると思えます。
当社は創業104年を迎え、お客様から一定のご評価を頂いたことで今が御座います。但し、歴史は長いですが今迄接点を持たせて頂いた方々のデータを有効活用できていないのが実状です。御校でデー

<p>々の収集方法から活用までを網羅する学問を学んで頂いた学生様でしたら、当社としても是非入社頂きたいものです。</p>
<p>当社はデータサイエンティスト等の採用は行っていませんが、ITリテラシーを備えた営業マンを求めています。</p>
<p>当社としては、下記1、2又は3の人材として採用したい。1. 営業職（英語力・国際感覚とプログラミングやデータ分析のできる海外営業職に合致する）2. ソフト設計職（グローバルな感覚と視野を持つソフト設計者）3. その他の職種（グローバルな感覚と情報分析力を持った人材）</p>
<p>当社が必要とする人材を確保できそうな為、期待するところです</p>
<p>当社が今後DX化に向けた取り組みをする上で、貴学の上記学部はそのニーズに合ったものだと考えております。</p>
<p>当金庫では現在、DX分野での採用を検討しており、データ分析や構築をメインとした業務で活躍できる人材を求めています。もちろん金融機関業務にも従事してもらうことはありますが、興味のある学生がおりましたら是非インターンシップなどにも今後来ていただきたいと考えております。デザイン・データ学部の社会における必要性は高いものだと思いますので、これからの学生の育成に期待しております。</p>
<p>東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）は現在でも必要とされていますが今後よりビジネスで必要とされ活躍できる学部だと感じます。当社は製造業で2023卒採用は生産技術職のみ採用予定のためご縁がないかもしれませんが2024卒以降採用予定がございましたらぜひ説明会等に参加させていただければ幸いです。宜しくお願い致します。</p>
<p>土木・建築構造物の点検・計測に関し、VR、ARを活用した教育訓練教材の開発など、今後の課題に取り組む人材を採用したいが、恒常的な業務の継続は難しい面がある（現状、協力会社などを活用）。</p>
<p>中長期計画策定の際、分析力も重要なものとなってきます。この先、弊社も力を入れていく部門ですので、是非とも採用したいと思います。</p>
<p>単独での会社説明会を開催させてほしい</p>
<p>多様性を掲げる現代において、とても高い対応力を備えた人材の育成が期待できると感じました。物流業界というまだまだ偏見がある業界の中で、こういった人材を採用できれば、新しい業界像が作れるのではと期待しております。</p>
<p>想像力や可能性に制限を持たずに活動できる人材の育成を期待しております</p>
<p>創造性豊かな人材育成を増やしてほしい</p>
<p>専門領域を様々な業界・事業領域でもいかすことができるというキャリア教育の強化もお願いしたい。</p>
<p>専門分野が多岐に渡っているのではどのような人材が輩出されるのかとても興味深いです。</p>
<p>専門性に加えグローバルな内容についても身につけるため、期待出来る人材になりうると思われる。</p>
<p>製造業なので情報システムの募集するときは、採用対象になります。</p>
<p>新学部設置構想で新たな分野での人材構築との事なので、期待しております。</p>

<p>情報技術、分析力、及び、語学とこれからの社会に必要とされるスキルを有した人材の輩出ということに魅力を感じます。</p>
<p>社会的にもデジタル化が進む中で、このような学部は非常にニーズが高いと思います。弊社でも情報系学生を求めており、今後は非学生と接触していきたいと考えております。</p>
<p>社会的にニーズがあり、かつ先進的な専門性に対して当社のニーズ・社内の機運が追い付いていないと感じています。</p>
<p>社会の変化を先読みした魅力のある学部と思います。ぜひ弊社にも御校で学習された人材を積極採用したく考えます。</p>
<p>社会に出る前の学生ですと何が課題かという点で捉えにくいと思います。（実際それぞれの企業で起きていることも違いますし）インターンを長めに経験させることで実体験に基づいたデータ分析などしてもらえると採用する側にもとても魅力を感じると思います。</p>
<p>社員は雇用せず、経営者である私一人の会社です。仕事の内容から、案件に応じてプロジェクトと組んで仕事をします。このため、貴学部が養成する人材も、プロジェクトチームの一人としてお力添えいただく形で仕事をお願いすることになります。</p>
<p>実践的なデザイン思考を持った人材育成を期待しています。</p>
<p>私は、特許事務所に勤務しており、貴学にて「知的財産」という講義している貴学卒業生です。経営戦略や事業戦略において、知的財産の知識は必要不可欠なものとなりつつあります。「もの」から「こと」へ産業がシフトしていても、知的財産に関する知識は必要となります。社会人になってから知的財産について初めて触れるということがないよう、カリキュラムについて考慮頂くことを望みます。</p>
<p>産学連携により、社会全体の課題解決に直結する取り組みとなるよう、また礎を創出できるような人材育成をともに進めていくべきと思っています。</p>
<p>採用総定数が半角数字のみだったため、1名と記入しましたが、弊社にとって有望な学生であれば、もっとたくさん採用したいと考えています。</p>
<p>今後の時代に需要がある学部・学科であるとともに、弊社も不動産企業でありながらIT会社があったりなど多事業展開している企業体の為、期待をさせていただきたいと感じました。</p>
<p>今後のニーズはある学部だと思います。リーフレットのキャッチコピーをもっとわかりやすくインパクトのある文言にして、ビジュアルも追加した方がよいと思いました。</p>
<p>国際感覚を身につけた人材はとても貴重です。また、情報、工学、社会科学など幅広い教養がますます必要になると思いますので、期待しております。</p>
<p>工学に関する科目を修めた方が採用必須項目のため、採用の予定はございません。 よろしくお願いたします。</p>
<p>現在、生産技術や顧客サービス、営業活動の効率化などの面でデータサイエンティストを採用し育成していくことを重視しております。是非、当社の現状、取り組みや今後の展望など学生の皆様にお話しする機会がいただけましたら幸いです。</p>

企業の従来の枠組みで考えると文系の学部と考えるが、文理どちらにも該当するイメージでよいものか。基準が打ち出されると助かります。
学習内容をどれだけ実務に結び付けるイメージを学生の間から持てるか、実際の業務においては数値の結果だけでは事が進まず、 $+ \alpha$ での数値には表れない対人での調整が求められ、その点も是非学生のうちから意識をして頂きたい。
学習する内容は素晴らしいが、学部名がダサイのもっとしゃれた学部名にしたほうがいいと思います。
会社説明会開催の予定がある場合は、案内をメールにて送信してほしい。
一般紙的な社会性は勿論のこと、コンピュータ技術と併せてデータ分析力、思考力などに期待しています。
ものづくりを牽引するよりもものづくり自体に地道に取り組む学生を歓迎したいです。
プログラミングなどの技術的なことだけではなく、社会に必要とされるグローバルな思考能力を学べるのはとても素晴らしいことだと思います。
フィールドワークが出来る人材の育成を希望します。
どの分野でも活躍できる方の育成につながりそうだと思います
とても魅力的です。 コロナ禍になり対面で会えない場面が増えている中、モノの魅せ方、見え方も大切に、さまざまな角度からの伝え方が求められてになってきていると実感しています。 デザインとデータ分析に長けた人材としても、"自分の世界"に己惚れることなく、学びを糧に、他者の言葉を真摯に受け止め傾聴し、よりよいものを生み出そうと取り組む方々とぜひ出会いたいです。 この度は、貴重なアンケートの機会を、ありがとうございました。
テレビ番組を制作しております弊社は、様々な物事に興味を持たれている方を積極的に採用しております。学科は不問です。テレビ番組をこの手で作ってみたい方を募集しています。
デザイン・データ科学部を履修・終了された方が、どの様なスキルを身に付けられるのかが、はっきりとイメージできなかった為、採用を検討とはしませんでした。魅力のあるやる気のある方であれば積極的に採用活動を進めたいと考えております。
データ分析を生かし、その先の未来を創造する学生になってほしいです。
データ解析の必要性が年々増しており、中々学問で対応されている大学がない為、とても興味深く感じます。
データを分析しデザインして、それを活用する方法を学ぶことは、どの業界のどの職種でも必要なことです。今後に期待しています。 もちろん採用も是非お願いしたいです。
データに基づく学習を実施されると思うが、データばかりに頼って実際の出来事を軽視するような人材を造らないようにしてもらいたい。
データサイエンスは新しい分野であり、これから求められる人材だと考えます。基礎的な能力・資質を身につけた卒業生を輩出していただけることを期待しています。
データサイエンスとデザインに加え、国際感覚を養うことは今後の日本にとって大変重要と考えます。さらにビジネス力を加えることができれば、各企業としては大変重宝する人材となりそうです。

<p>社会課題と正確に捉え、データサイエンスを利用し、新しいデザイン力で未来を変えていく人材の育成につながるよう貴校に期待しております。</p>
<p>これから必要なデータサイエンティストを育成する学科ということで期待しております</p>
<p>これからの時代にマッチした高い専門性と社会を担う人材を育成する学部と感じました。</p>
<p>グローバルで活躍する人材という意味では現時点の当社事業（原則国内）では物足りなさを感じるかもしれない。ITで東急グループに幅広く寄与したいという気持ちがある方は当社にとっては欲しい人材となり得る。</p>
<p>オープンエントリーのためお約束はできませんが、非常に興味があります。業界研究会や企業説明会等、学生様とコミュニケーションを取らせていただけるような機会がございましたら是非お声掛けをいただきましたら幸いです。</p>
<p>Web、対面どちらでも良いので、学生と係わる時間を頂戴したい。</p>
<p>IT系企業や、海外展開をしている会社にとっては、ニーズに合った人材になると思う。弊社は旧来型の技術職が中心の職場になるので、逆に学生の希望には合わないのではないかと思います。</p>
<p>我が社は、施工管理いわゆる現場監督を生業としています。自分で考え工夫しながら建物を建てる仕事です。・現場見学、会社説明、1名から対応してます。是非、〇〇を1度検索してみてください。拠点は東京本店となります。どうぞよろしくお願い致します。</p>
<p>「本学部が求める人物像」の特に2、3について、在学中に、大いに伸ばしていただきたいと考えます。</p>

※文章は原文ママ。但し、個人名が記載されている部分は削除。

※挨拶のみのコメントは割愛。

FAX 送信先：03-6746-0065

株式会社日本ドリコム エデュケーショナル情報室

東京都市大学デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科（仮称・設置構想中） 設置構想についての企業・団体様向けアンケート調査

選択肢がある場合は、該当する番号に○をつけてください。

はじめに貴社・貴機関・貴団体についてお尋ねします。

Q 1. 所在する都道府県（主たる事業所・本社等）をお答えください。

（ ）都・道・府・県

Q 2. 業種について、主としてあてはまるものを1つお答えください。

1. 農業,林業
2. 漁業
3. 鉱業,採石業,砂利採取業
4. 建設業
5. 製造業
6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業
8. 運輸業,郵便業
9. 卸売業・小売業
10. 金融業,保険業
11. 不動産業,物品賃貸業
12. 学術研究,専門・技術サービス業
13. 宿泊業,飲食店
14. 生活関連サービス業,娯楽業
15. 教育学習支援業
16. 医療,福祉
17. 複合サービス事業
18. サービス業(他に分類されないもの)
19. 公務(他に分類されるものを除く)
20. 分類不能の産業

Q 3. 従業員数、職員数の規模をお答えください。(支店や支社を含めた数)

1. ～50人
2. 51～100人
3. 101～499人
4. 500～999人
5. 1,000人以上

Q 4. 新卒者を採用する際、どのような能力を重視しますか。(複数回答可)

1. 分析力
2. 構想力
3. 語学力(言語能力)
4. 論理的思考力
5. 国際(的)感覚
6. ホスピタリティマインド
7. 主体性
8. 責任感
9. ストレス耐性
10. 出身学部・学科
11. 学業成績・一般常識
12. コミュニケーション能力
13. 思考力
14. 実践力
15. 協働性
16. 課題解決能力
17. 協調性
18. リーダーシップ
19. 専門性
20. 成長力
21. 柔軟性・素直さ
22. 創造力
23. チャレンジ精神
24. 取得資格
25. 多様性
26. 調査力
27. 評価能力
28. 判断力
29. 応用力
30. その他()

Q 5. 現在の人材の過不足状況をお答えください。

1. 非常に不足
2. 不足
3. 適正
4. 過剰
5. 非常に過剰

Q 6. 直近(2021年4月)の新卒採用の状況、採用人数についてお答えください。

1. 採用した 名
2. 採用活動の結果、採用なし
3. 採用活動・採用ともになし

Q 7. 今後の新卒採用の計画についてお答えください。

1. 積極的に採用を増やしたい
2. 若干は採用を増やしたい
3. 現状のまま
4. 採用は減らしたい
5. 採用しない
6. 未定

以下は、東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）リーフレットをご覧ください。お答えください。

東京都市大学デザイン・データ科学部

分析力と創造力、国際的対応力を備えたイノベーション人材を育成

ものづくり、ことづくりにおいて情報をフル活用し、企業や社会におけるイノベーションを牽引できる人材の育成を目指しています。具体的には次のような力を育成します。

- ・ 定量・定性両方のデータを科学的な分析によって、読み解き、洞察を得る力
- ・ データ分析に基づく洞察から、新たな製品や空間など有形な「もの」を創造する力
- ・ データ分析に基づく洞察から、新たなサービスやビジネスモデルなど無形な「こと」を創造する力
- ・ インターンシップ・海外留学・卒業プロジェクト等を通じて習得する実践力・国際的対応力

Q 8. 「東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材は社会的ニーズが高いと思いますか。

1. ニーズは高い 2. どちらかといえばニーズは高い 3. どちらかといえばニーズが低い 4. ニーズが低い

Q 9. 「東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材は貴事業所にとって魅力を感じますか。

1. 魅力を感じる 2. どちらかといえば魅力を感じる 3. どちらかといえば魅力を感じない 4. 魅力を感じない

※以下Q10、Q11における採用意向・人数に関する回答は、実際の採用人数をお約束いただくものではありません。現時点でのご担当部署もしくはご担当者様ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。

Q 10. 「東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）」が養成する人材の、貴事業所での採用意向をお答えください。

1. 採用したい 2. 採用を検討したい 3. どちらとも言えない 4. 採用しない

Q 11. Q10で「1.採用したい」「2.採用を検討したい」を選んだ方は、現時点で採用を想定いただける人数をご記入ください。

●東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）

名

Q 12. 東京都市大学デザイン・データ科学部（仮称）にご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

尚、当該学部学科の名称、教育内容等は予定であり変更される場合があります。

東京都市大学 2023年、新学部設置 (構想中)

2023年4月
設置構想中

〔横浜キャンパス〕

デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科

入学定員
100名

イノベーションを創出できるグローバルな人材の育成を目的としたカリキュラム

人材養成と

教育研究における目的

定量・定性の両方のデータ科学に関する知識と技術に裏付けられた批判的思考力と論理的思考力、そしてグローバルリテラシーの涵養により、世界のあらゆる「もの」と「こと」を読み解く能力を修得させる。その上で、実社会における多種多様な課題を解決するために、新たな「もの」と「こと」を具体的に、構想・設計・構築、すなわち、デザインでできる実践的な専門力を持つ人材を養成する。

文理を超えた教養・多角的視野

データ分析技術と思考法	情報学理論 プログラミング応用演習 ビッグデータ解析演習 機械学習論 など
人と社会の現象・仕組みの理解	ウェブプログラミング インタフェースデザイン 経営戦略概論 金融・市場システム論 など
デザイン	英語・ディベート・プレゼンテーション 国際研究 異文化理解 海外留学 など
グローバルリテラシー	

データ科学に
関する知識と技術に
裏付けられた
批判的思考力と
論理的思考力

社会課題を
解決するための新たな
体験やサービス等を
構想・設計・構築できる
実践的な専門力

データ科学に関する知識や技術と、「もの」「こと」を構想・設計・構築し、デザインでできる力を活かして新たな体験やサービスを創出でき、社会の発展に貢献できる人材を輩出

2022年3月14日

東京都市大学 御中

株式会社日本ドリコム

東京都市大学 デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科（仮称）
設置に関する受容性調査 結果報告書【企業】「2. 調査結果まとめ」の補足

標記について、下記のとおり補足いたします。

記

Q8, Q9 の双方において肯定的な回答を行い、且つ Q10 において「採用したい」と回答した企業・団体 89 件には、Q7. 今後の新卒採用の計画を問う設問において「採用は減らしたい」「採用しない」と否定的な回答をした企業・団体は含まれていません。また、採用想定人数 288 名とのクロス集計の結果は、下表のとおりとなります。

今後の採用計画と採用想定人数に関するクロス集計

N=288

回 答	採用想定人数（名）
1. 積極的に採用を増やしたい	163
2. 若干は採用を増やしたい	45
3. 現状のまま	78
4. 採用は減らしたい	0
5. 採用しない	0
6. 未定	2

以上

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	ミキ チトシ 三木 千壽 <平成27年1月>		工学博士		東京都市大学 学長 (平成27.1～令和5.12)

（注） 高等専門学校にあつては校長について記入すること。